

社史
安達建設グループ

安達建設株式会社
観光日本株式会社
日観興業株式会社
太宰府ニュータウン株式会社

社史 安達建設グループ



はじめに



安達建設グループは明治・大正・昭和・平成の4世代にわたり、芝生に関する事業だけを営業の対象として参りました。

この間、いく度かの時代の激動、栄枯盛衰の世情にもまれ乍らも今日を迎える事が出来ましたことは、ひとえに皆様方の御愛顧、御鞭撻の賜と深く感謝申し上げます。

このたび、私共の社史を発刊することになりましたのを機会に、先覚者の功績に思いを新たにすると共に、皆様の御愛顧と共に歩んで参りました道のりを小史にまとめ、いささか御参考に供することにしました。

ここに資料の御提供など御協力を戴きました社外・社内の各位に対し厚く御礼申し上げる次第です。

平成6年12月

安達建設株式会社取締役 **安達慎三**

目次

	はじめに	安達建設株式会社取締役 安達慎三	3
	安達貞市翁の書		8
	「社史・安達建設グループ」発刊によせて		11
	三菱地所株式会社相談役 中田乙一		
	イラストで見る安達建設グループ		12
第1部	安達幸三郎商店から安達建設株式会社へ		17
安達商店の 創業から終戦まで	銀座の柳		19
	ゴルフ界への進出		20
	六郷ゴルフコース（昭和7年）	20	
	山中ゴルフコース（昭和10年）	22	
	淀川ゴルフコース（昭和10年）	23	
	信太山ゴルフコース（昭和10年）	23	
	函館ゴルフ倶楽部（昭和11年）	24	
	小金井カントリー倶楽部（昭和12年）	24	
	熱海ゴルフ倶楽部（昭和12年）	27	
	新霞ヶ関ゴルフ倶楽部（昭和13年）	28	
	秩父カントリー倶楽部（昭和13年）	30	
	東京ゴルフ倶楽部との合併（昭和15年）	32	
	海外工事		34
	本溪湖ゴルフ倶楽部（昭和14年）	34	
	安東ゴルフ倶楽部（昭和14年）	34	
	競馬場及び飛行場の芝張工事		35
	造園及び土木		36
	その他の工事一覧		37
第2部	終戦直後の安達建設株式会社		41
終戦から現在までの 工事経緯	京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース	42	
	横浜PX根岸ゴルフコース	46	
	川崎国際カントリー倶楽部	48	
	東雲ゴルフ倶楽部	50	
	小原台ゴルフ場	51	
	愛知カントリー倶楽部東山コース	52	
	新川崎ゴルフ倶楽部	54	
	東京都民ゴルフ倶楽部	56	
	白浜ゴルフ倶楽部	58	

茅ヶ崎ゴルフ倶楽部	60
樟葉パブリックゴルフコース	62
森林公園ゴルフ場	64
松山ゴルフ倶楽部川内コース	66
京都ゴルフ倶楽部舟山コース	68
若松ゴルフ倶楽部	70
芦の湖カントリークラブ	72
相生カントリー倶楽部	74
茨城ゴルフ倶楽部	76
姉ヶ崎カントリー倶楽部	78
田辺カントリー倶楽部	80
小野ゴルフ倶楽部	82
松永カントリークラブ	84
大阪パブリックゴルフ場	86
宇治カントリークラブ	88
樽前カントリークラブ	90
玄海ゴルフクラブ	92
知多カントリー倶楽部	94
鳴門カントリークラブ	96
札幌ゴルフ倶楽部	98
朝里川温泉スキー場	100
岡崎カントリー倶楽部	102
太宰府ゴルフ倶楽部	104
南九州カントリークラブ伊集院コース	106
奈良カントリークラブ五条コース	108
松ヶ峯カントリー倶楽部	110
神鍋高原カントリークラブ	112
ジャパンエースゴルフ倶楽部	114
熊本中央カントリークラブ	116
日野ゴルフ倶楽部	118
交野カントリー倶楽部	120
額田ゴルフ倶楽部	122
朝日野カントリー倶楽部	124
庄原カントリークラブ	126
美奈木ゴルフ倶楽部	128
白山ヴィレッジゴルフ倶楽部	130

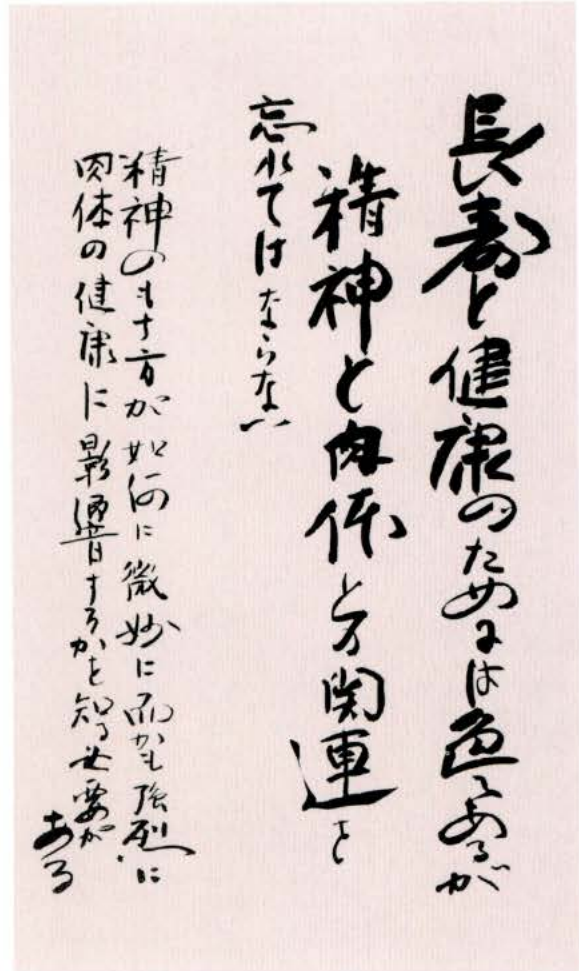
その他の工事一覧	132
コンピューターを減農薬、省農薬のためコース管理に導入した経緯	133
コンピューターによる病害発生予知システムとその実例 日野ゴルフ倶楽部	135

第3部 安達貞市翁の 回顧録から	貞市翁、商売人になる決意	141
	柏森尋常高等小学校の思い出	
	古知野尋常高等小学校の思い出	
	株式投資とこれからの目標	
	ゴルフ場の見学	
	職業の選定	
	誇大広告の戒め	
	北京他中国の思い出	
	開墾地「岩手県侍浜」顛末記	
	譲渡制度の採用	
	芝についての思い出	
	肥料について	
	洛鴨会について（別名チョロチョロ会）	
	京都府警に拘留の件	
札幌ゴルフ倶楽部草創期物語	神代システム設計社長 神代方雅	152
100代会の発足と記録		154
<hr/>		
第4部 会社経営にとっての 2大事件	1.小原台ゴルフ場	157
	2.京都ゴルフ倶楽部東コースキャディー争議	166
<hr/>		
第5部 資料編	観光日本株式会社に所属する倶楽部	170
	日観興業株式会社に所属する倶楽部	170
	太宰府ニュータウン株式会社	171
	安達建設グループ各社歴代役員在任年表	172
	安達建設グループ各社社歴	180
<hr/>		
あとがき	社史編集委員会委員長 大谷 毅	223

貞市翁の書



貞市翁が好んで用いられた言葉である。
「心中のわだかまりを洗い去り、心を清める」との意味で、中国の易学の中の『繫辞伝』からとられたものと思われる。



「生の灯」は約40頁綴で3冊が印刷されている。貞市翁が享年84歳まで書きつづったものであるが、若し天が翁に更に年を藉したならば、もっと多くの文に接し得た事であろう。

「社史・安達建設グループ」発刊によせて

三菱地所株式会社相談役 中田乙一

元代表取締役社長
元代表取締役会長



安達建設株式会社は、明治18年先々代安達幸三郎商店を設立されてから百年余を経ておられる歴史ある会社と聞いております。当初は、造林を業とされていたとのことですが、今では、ゴルフ場の造成をはじめ、傘下に、京都ゴルフ倶楽部を経営する観光日本株式会社、又、茨城ゴルフ倶楽部を経営する、日観興業株式会社などの会社をかかえ、大いなる発展をとげられております。

私は、先代社長安達貞市氏の知遇を受け、昭和37年9月、茨城ゴルフ倶楽部の開場当時から、ゴルフは下手で資格はないのですが、キャプテンに推挙され、今日まで早や30年を越えてつとめてまいりました。そろそろ引退させてもらおうかと思っていたところ、その縁で安達建設株式会社の盛業を記念する社史作成にあたり、一文を寄せる光荣を与えられたのです。

先ず思い出しますのは、故安達貞市氏との出会いであります。貞市氏は戦後まもなく観音崎の元の海軍用地の払い下げを受けて、素晴らしいゴルフ場を建設すべく執念を燃やしておられました。この計画は払い下げが取り止めになったため頓挫し、今の茅ヶ崎ゴルフ場がその替わりとして作られました。貞市氏はこれに飽き足らず、荒川の河川敷に東京都民ゴルフ場も作られたのです。当時のゴルフ熱勃興の波に乗り、押すな押すなとプレーヤーが押しかけ大変混雑したのを覚えています。この様子を見て貞市氏は、何とかして一流のゴルフ場を作りたいと考えて現在の茨城ゴルフ倶楽部を建設するに至ったのだと思います。その先見性とゴルフ場に対する情熱には心から敬服したものでした。

また、まだ戦後といえる諸事不自由な時でしたから、用地買収を担当された、現古賀理事長さんを始め、幹部の方々のなみなみならぬご苦心の様子を懐かしく思い起こします。既に18回にも及ぶ、公式競技であるダンロップオーブントーナメントが行われているとおりに、国内有数の権威あるコースとして名をなされたのは、まさに安達建設株式会社発展の成果として世に誇れるものと思います。今や、全国各地の由緒あるゴルフクラブの経営母体であると共に多数のゴルフ場を施工しておられる安達建設株式会社のご盛況は、ご同慶の至りです。今後とも、益々のご発展をお祈りする次第です。

イラストで見る

安達建設グループ

日観興業株式会社

会社設立 ● 昭和30年2月9日日観興業株式会社として設立。昭和52年10月1日、昭和39年5月30日設立の株式会社札幌スポーツセンターを合併。

資本金 ● 4,500万円

会社の目的 ● 1. ゴルフ場及び運動競技に関する施設経営 2. ゴルフ用具、煙草の販売
3. 飲食店ならびに食料品の販売 4. 土地経営並びに之に関する一切の施設業務
5. 索道事業並びにスキー場経営 6. 前記に付帯する一切の業務及び之を助成する事業

本社 ● 〒103東京都中央区日本橋3丁目4-13警眼ビル3F
TEL.03-3271-5511 FAX.03-3271-2887

事務所 ● 札幌事務所
〒060北海道札幌市中央区北1条西3丁目2大和銀行札幌ビル6F
TEL.011-232-5050 FAX.011-232-3419

直営コース ● 東京都民ゴルフ倶楽部
茨城ゴルフ倶楽部
札幌ゴルフ倶楽部
額田ゴルフ倶楽部
朝里川温泉スキー場

安達建設株式会社

会社設立 ● 明治18年安達幸三郎商店の名で造林を業として創業、昭和4年安達商会と改称。昭和18年8月10日株式会社安達組と改称。昭和23年2月20日安達建設株式会社と改称。

資本金 ● 1,575万円

会社の目的 ● 1. ゴルフ場設計監修及び建設並びに維持管理
2. 各種芝草販売 3. 土木一式

本社 ● 〒167東京都杉並区荻窪4丁目10-13
TEL.03-3398-2295~8 FAX.03-3398-2297

営業所 ● 京都営業所
〒607京都府京都市山科区音羽山等地40-8
TEL.075-502-4600 FAX.075-593-6622

観光日本株式会社

- 会社設立** ● 昭和23年1月近畿観光株式会社を設立。昭和23年5月7日近畿観光株式会社から観光日本株式会社に商号変更。
- 資本金** ● 8,000万円
- 会社の目的** ● 1.国際観光事業及びゴルフ場事業の施設経営並びに之に付帯する業務
2.土地経営及び之に関する一切の施設
3.ホテル及び食堂の経営 4.宣伝広告取扱業
5.工芸美術品、日用雑貨類の輸出入業及び国内販売業
6.損害保険代理
- 本社** ● 〒103東京都中央区日本橋3丁目4-13 警眼ビル3F
TEL.03-3271-5511 FAX.03-3271-2887
- 支社** ● 関西支社
〒603京都府京都市北区上賀茂本山京都ゴルフ倶楽部内
TEL.075-791-1526 FAX.075-702-5812
- 事務所** ● 大阪事務所
〒530大阪府大阪市北区梅田1丁目-2-2
大阪駅前第2ビル13F11号
TEL.06-341-5515 FAX.06-341-9223
- 直営コース** ● 京都ゴルフ倶楽部（上賀茂、舟山）
茅ヶ崎ゴルフ倶楽部
日野ゴルフ倶楽部
美奈木ゴルフ倶楽部

太宰府ニュータウン株式会社

- 会社設立** ● 昭和40年3月17日筑紫野観光太宰府ニュータウン株式会社として設立。昭和52年4月25日太宰府ニュータウン株式会社と改称。
- 資本金** ● 3,000万円
- 会社の目的** ● 1.ゴルフ場の経営 2.ゴルフ用具、煙草の販売
3.宅地造成並びに分譲 4.観光事業
5.前各号に付帯する一切の業務
- 本社** ● 〒810福岡県福岡市中央区那の川2丁目9-22
TEL.092-922-5231 FAX.092-921-4600
- 直営コース** ● 太宰府ゴルフ倶楽部

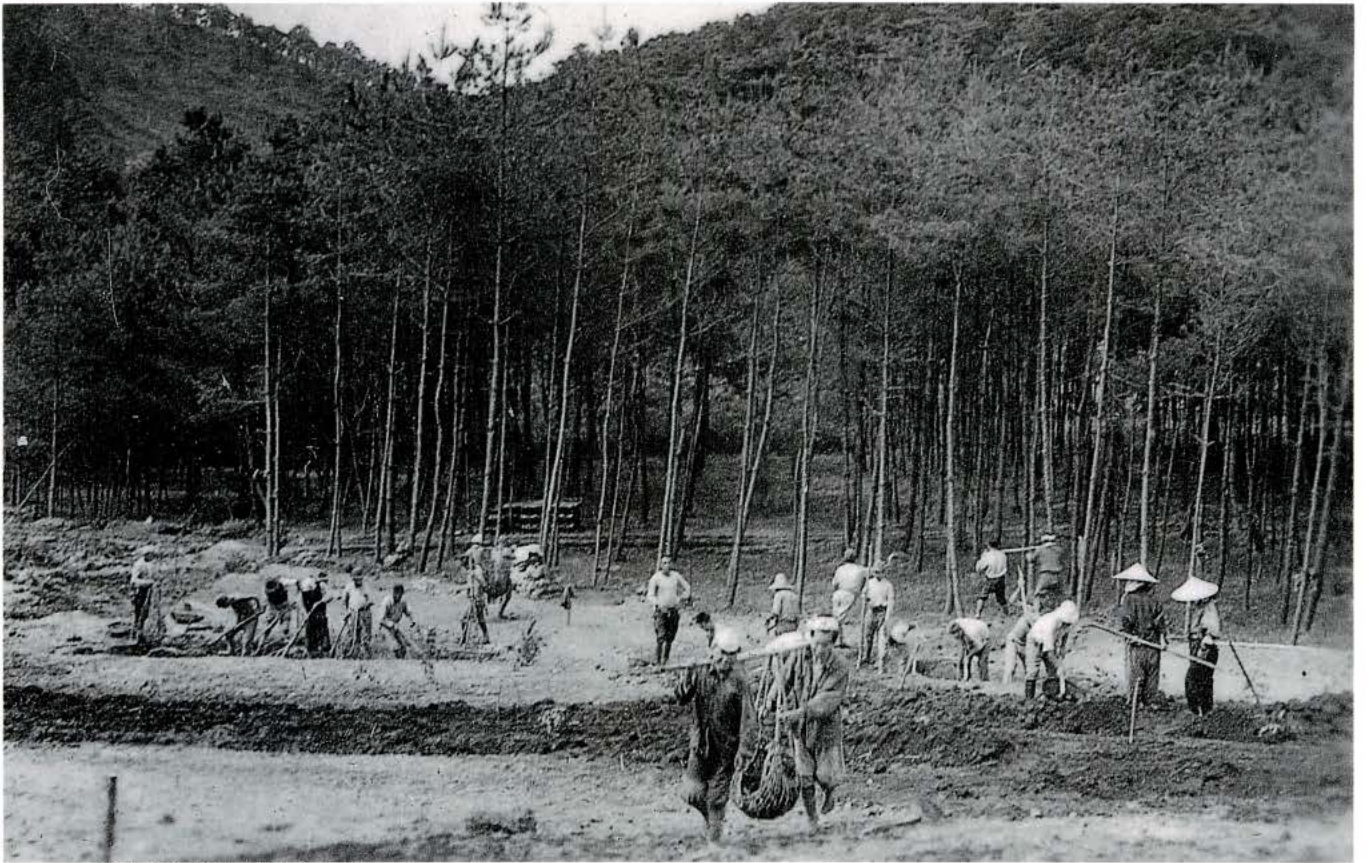


安達建設株式会社本社玄関



第 1 部

安達商店の創業から 終戦まで



モッコで芝造成作業をする風景
(京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース造成工事)



リヤカーで土を運ぶ
(川崎国際カントリー倶楽部切土工事)

安達幸三郎商店から安達建設株式会社へ

創業以来、安達建設株式会社が全国各所に建設したゴルフコースについては、それぞれが名声を得ている。この安達建設(株)及びこれを母体として発足した観光日本株式会社、日観興業株式会社、並びに太宰府ニュータウン株式会社の社史を綴るに当っては、安達建設(株)の前身、安達商店の創業者、安達幸三郎氏について語らねばならない。

安達幸三郎氏は安政元年2月20日に生れ、養父安達磯平、養母きやう夫妻の養嗣子として家督相続し、明治18年安達幸三郎商店を設立した。

その事業は、林野庁各地営林局の造林に従事し、昭和4年安達商会と改称、名古屋ゴルフ倶楽部の芝生造成に従事して、以後宝塚ゴルフ倶楽部等数多くのゴルフ場の芝生造成工事を業とした。事業は日を追って隆盛に向かい、中京地区に於いては安達商会の安達幸三郎として素封家の誉れが高かった。

安達幸三郎氏は明治15年9月14日、養父磯平長女安達りやう殿と婚姻し、2男5女に恵まれた。長男新作氏は家督を相続し、二男として明治29年2月7日に貞市氏が生れ、安達商会の発展に寄与するとともに今日の安達建設グループの確固たる基礎を築いた。

安達貞市氏(以下貞市翁と称す)が安達商会を引き継いだ後、ゴルフコースの建設から経営とその業績をひろめ、ゴルフ業界の第一人者と認められるようになったことは、紛れもなく貞市翁の先見の明によるものであり、創業者と呼んでも決して過言ではない。

貞市翁は、安達建設(株)を初めとして、ゴルフ場の経営を主眼とする観光日本(株)日観興業(株)、並びに太宰府ニュータウン(株)の今日の体系をつくり上げ、そのいずれもが繁栄をもたらしている。

貞市翁が、父幸三郎氏の経営する安達商会を手伝い、その後、この商会を引き継いでから今日に至る道程は決して平坦な道ではなかった。

貞市翁がゴルフを生涯の事業として決心する動機は、大阪の江崎氏に茨木ゴルフ場に連れて行かれ、その時ゴルフを楽しむ上流階級の人々の姿を見て、このスポーツは決して小数の貴族や富裕階級の独占的娯楽とすべきではなく、一般大衆に迄広める必要がある、との一大目標を立てた。しかし、終戦迄はまさにごく限られた人々によってのみゴルフは楽しまれ、大衆化ということは一般には理想としか思われなかった。

しかも、昭和12年7月、蘆溝橋において端を発した戦争が段々拡大し、日支事変となり、更に拡大して、昭和16年12月8日、真珠湾攻撃を緒戦とした大東亜戦争に突入するや、日増しに戦線拡大し、それにつれて物資不足となり世は挙げて軍国主義に塗りかえられた。

スポーツはすべてその規模を縮小され、広い敷地を必要とし、かつ、極く限られた人々によりのみ楽しまれてきたゴルフは一層白眼視された。

戦争が益々ひどくなると共に食料不足のため、ゴルフ場の敷地は芋畑等に変った。従って、ゴルフ場建設ということは到底考えられず、その建設どころかその芝生を刈り取って飛行場の建設に役立てられる様になり、戦争激化と共に安達組



安達商店創業者 安達幸三郎



安達建設株創業者 安達貞市



安達慎三

(昭和18年8月10日安達商会より改称)はゴルフ場の芝生造成工事から飛行場の表装工事が主な業務となっていた。

米軍の空襲は日を追って激しくなり、大都市のみならず軍需工場のある小都市、町村まで灰燼に帰した。大都市でこの難を逃れたのは京都市ぐらいであろう。

東京への空襲は連日のごとく続き、その頃持っていた

東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目856番地 株式会社安達組本社、

東京都中央区銀座5丁目4番地3 村鶴館ビル内 熱海ゴルフ株式会社本社、の二事務所も跡形もなく焼け落ちて、文字通り身一つで逃げたという状態で、重要書類もすべて焼失した。

このため、昭和23年2月20日安達組より安達建設株式会社に改称した同社の社史を纏めるに当って終戦時までの資料が乏しく、工事経歴書が唯一の資料であった。ところが、貞市翁が密かに書きためた回顧録というか覚書が発見され、社史作製に当って幸いした。しかし、この回顧録は下書きであったためか正確な日時が記入されていない。これを確かめようとしても、終戦から約半世紀たった今日、戦前から勤務していた人で消息の分かる人々はごく少なくなり、健在している人は久保田伊三郎(平成5年11月28日没)、鳥海房助、渡来新平(平成5年1月11日没)の三氏となり、この三氏にお尋ねすることとなった。

さて、貞市翁は、大正10年1月23日松浦エイ殿と婚姻し、2男2女に恵まれた。嫡男慎三氏は大正11年2月20日愛知県丹羽郡古知野町宮後にて誕生、平成5年3月現在、

安達建設株式会社	取締役
観光日本株式会社	代表取締役会長
日観興業株式会社	代表取締役会長
太宰府ニュータウン株式会社	取締役会長

の要職にあり、また、次男禮三氏は昭和4年8月6日愛知県丹羽郡古知野町宮後にて誕生、安達建設株式会社

代表取締役社長	
観光日本株式会社	代表取締役社長
日観興業株式会社	取締役
太宰府ニュータウン株式会社	取締役

の要職にあり、夫々父貞市翁の遺志を継いで会社の発展に尽力している。また、禮三氏は2男に恵まれ、長男雅克氏は観光日本(株)(平成6年4月1日入社)、次男幸三氏は安達建設(株)(平成6年4月1日入社)にそれぞれ勤務している。

貞市翁は日頃から健康については充分気をつけており、周りの者にも健康については日頃口喧しく言っていた。その貞市翁が逝去される前日は、いつも通り関東ゴルフ連盟のグリーン委員長としてグリーン研究会を開催、研究会終了後講師として招いた江原氏を囲んで幹部の人たちと夕食を共にした。会終了後8時頃帰宅、夜半腹痛を訴え、翌朝医師の往診をうけた処、即入院。

「入院出来て安心した」と喜んでいたが容態急変、午後逝去された。病名は「腹部動脈瘤破裂症」であった。周りの者は突然の訃報に驚いた。晩年、ゴルフのプレーはラウンド数こそ減ったもののプレーを楽しみ、また食事も進んでいたため、貞市翁自身に動脈瘤という病気があるとは知らなかった。周りの者にとっては青天の霹靂というか、文字通り茫然自失の状態に陥った。

時に、昭和55年9月11日。享年84才であった。



安達禮三

銀座の柳

昭和6年春のある日、東京市公園課で貞市翁が懇談中、偶々、井下公園課長から「実は銀座の柳を復活したいが、市内の専門業者に話をしても誰も引き受けてくれないので困っている。寄贈者は朝日新聞社で、銀座1丁目から8丁目迄で街路樹として銀座の柳を復活したい。品種は繭玉で枝下6尺、目通り8寸」という。こんなものを引き受けたら日本中探し回らねばなるまいと思い、体よく断っておいた。

某日、施設部の市川政司部長から「一度日を決めて来てくれ」との連絡があったので、行った処、朝日新聞社の成沢金兵衛氏と新田宇一郎氏を紹介された。そして「どうしても銀座の柳を復活したいが引き受け手がなく困っている。なんとか相談にのってくれないか」と懇々と口説かれた。

そうなるといつもの癖が出て「マア、なんとかやってみようか」と引き受けてしまった。

さて、買い集めにかかってみると他の業者達が逃げた事がよく分かった。そんなものを育成しているところは何処にもない。川崎あたりから小田原―浜松―稲沢（愛知）―大垣―池田（大阪）と虱つぶしに探した。

池田の岡本由兵平氏の協力は未だに忘れられない。大阪の池田は植木の産地である。今ならなんでもない事だが、当時では金の釘を探すようなもので、会社の中島はじめ従業員を泣かせてしまった。それでも漸く思う様に完成した。銀座4丁目の交差点で永田青嵐市長列席の下に盛大な「銀座柳祭り」が挙行され、朝日新聞社から丁重な感謝状を授与された。

当時、「東京行進曲」という流行歌の一節に「昔恋しい銀座の柳…」とあり人はなんでもなく歌っているが、柳の木の寄せ集めの最中の頃を思うと、貞市翁は思わずゾットしたそうである。

工事概要 銀座1丁目から銀座8丁目迄表通り
柳植樹（品種繭玉）

この銀座の柳も昭和43年（1968年）銀座通り改修のため約200本が引抜かれ、日野市の河川敷に移植されたが、殆ど枯れた柳のうち3本だけ残った。それを金春街の心ある人が知り、小枝150本を持ち帰り育成の結果、その内85本が芽を出し施肥養生の結果、今では10米を超える程成長し「御門通り」にあり、「銀座の柳二世」と名付け案内版もある由。（平成2年6月15日付朝日新聞朝刊掲載）



銀座の柳並木（昭和6年）

東京市と朝日新聞社の要請により貞市翁は川崎から大阪まで柳の木を探し歩いた。写真は昭和10年頃の朝の銀座四丁目付近

ゴルフ界への進出

六郷ゴルフコース（昭和7年）



満州国建設（昭和7年3月1日）

独立の形はとって皇帝、溥儀（中央）の身边は日本人で固められ、自由はなかった。



岡本忠雄氏

貞市翁はその後、時々上京していた。偶々新宿の武蔵野映画館主で且つ新宿の丸通の社長であった市島亀三郎氏と知り合う様になり、同氏との話の中で「実は多摩川六郷の河川敷でゴルフ場をやらないかと言われている。使用権を持っているのは山口県選出の衆議院議員の吉原月香氏と、区会議員の黒井直良氏及び利根川久衛氏の3人だが、10万円位の金があるので貴君も1口乗らないか。5人で10万円出来るとよい」という相談を持ちかけられた。

ゴルフというものはおよそ事業としてはなりたないことは判り切っている。しかし先日大阪の江崎氏に連れて行かれた茨木ゴルフ場の雰囲気や頭の隅に残り1口2万円出してやってみようかと思った。そこで父・幸三郎に「やってみたいと思うので2万円くれないか」とせがんで見た処、案外あっさりと「よからう」と快諾してくれた。

暮れの某日、市島邸で初会合し5人で2万円ずつ金を出し合って正月早々から仕事を始めようということになった。

ゴルフ場の設計は鈴木商会の清水一男氏という事であった。しかし重大事件が突発した。正月の5日朝、市島邸へ行った処「先日の金は3人の年越金に使用され、借用の手形が入っており、困ったことになった」と言われた。咄嗟に“この金は戻るまい”しかし事業はやらねばならぬ。仕方がないので父に話して追加として5千円出して貰い、難関を突破しようと決心した。

かくして安達建設株の前身である安達商会在六郷ゴルフ場建設というゴルフ場建設の第一歩を歩み始めた。

ゴルフというスポーツは当時貴族が一握りの富裕階級の娯楽としか思われていなかったが、このゴルフを是非大衆的なものにしようと計画した。

それで電車広告までして反響を見ていた。しかし梨の礫というのか全然反響がない。今から思うとこの考え方は40年ばかり早かったようだ。止むを得ぬので、倶楽部形式として会員を募集することにした。それには陣容を建てねばならないし経験のある支配人及び顔の広い募集担当者も必要である。

そこで、東京ゴルフ倶楽部（駒沢ゴルフ場）の当時の森村理事長に懇願して、支配人であった岡本忠雄氏を支配人として得た。英国の皇太子まで御出でになった名門コースの駒沢ゴルフ場の支配人が、海のものとも山のものとも分らぬ河川敷のゴルフ場の支配人によくなってくれたものだ。

また、大同炭鉱の前原多助氏及び盟友川上嘉市を得たことも仕事を進める上で、大いにプラスであった。

さて、仕事を進めて行く内に、「グリーンは表面は弾力性があって柔らかい方がよい。築造にあたっては河川敷に無数に生い茂っている葦を敷きならべて、その上に土をかけ、芝を張った方がよい」というのが設計者清水氏の意見であった。

当座は仲々よい着想だと思っていたが、3年目位から凹凸がグリーン面に出て来た。

(1) 葉を敷いた部分は当然腐りが早いので、凹んでくるが、茎の部分は容易に腐ってこない。

(2) この凹凸が全コースのグリーンに出て来たからたまったものではない。

ブカブカしていた1年位はよかったが思い出してもゾォッとする光景であった。全部やり直した。

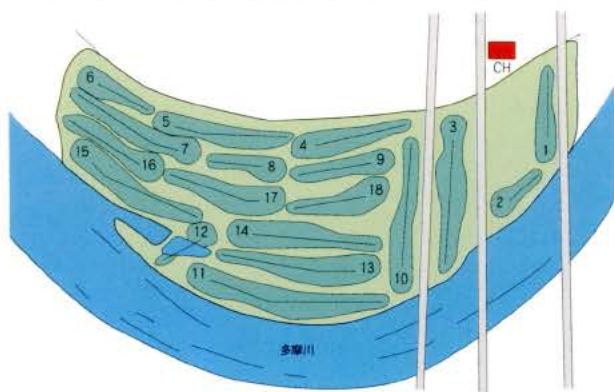
また、橋桁まで浸る洪水に何度見舞われたことか。一望洋々とした濁流に淀んだコースの姿を見る忍耐は、経験の浅い者には良い試練であったかもしれない。いずれにしてもゴルフ場は完成した。かくしてこのゴルフ場は日本ゴルフ史の一ページを飾ることになった。

この六郷ゴルフ場の誕生によって (1) 競争者のないもの (2) 事業としての形態を有するもの (3) 日本で1番になれそうなもの、という様なことが頭に浮かんで「ひとつゴルフ場の請負という事業をやってみようか、これなら同業者もないしよかろう」ということで、ゴルフ場の建設工事を請負うという形式で仕事を始めることにした。

それまでは専門的な請負人はなく、倶楽部の直営が常識であった。

工事名称 六郷ゴルフコース建設工事
工事場所 東京都大田区東六郷4-32
設計者 清水一男
工事概要 東京都と川崎市の間を流れる多摩川の東京側の河川敷コース
 従って平坦な18ホールズ
 5,580 Yd Par 68

安達建設(株)の前身安達商會がゴルフ場建設という第一歩を歩み始めた初めてのコースである。ゴルフの大衆化を計り、会員募集にあたって電車に吊り広告までしたが反響が少なく、倶楽部づくりには随分と苦勞した。名門東京クラブの支配人であった岡本忠雄氏を支配人として出発したこのゴルフ場は台風に幾たびも見舞われ、何度濁流に沈んだことか、これ程口惜しいことはなかったとの貞市翁の述懐がある。このコースは平成3年現在閉鎖されている。



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	350	170	400	350	455	125	270	300	370	2790	
パー	4	3	4	4	5	3	3	4	4	34	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	350	170	400	350	455	125	270	300	370	2790	5580
パー	4	3	4	4	5	3	3	4	4	34	68



六郷ゴルフコーススコアカード

スコアカード裏面のローカルルール(2)に面白いことが書いてある。「一番左の池に第1打が入った場合はペナルティーなし。第2打以後はペナルティー1を加える」ほかの水域に入った場合は総てウォーターハザードとして処理する様書いてあるが、なぜここまで特例を設けたのだろうか。

山中ゴルフコース（昭和10年）



品川主計氏



堀内良平氏



明石和衛氏

昭和7年暮れのある日、小田急神宮橋の駅の近くにあった品川主計氏（読売新聞社長、品川油化研究所会長）を訪問した。

品川氏のすぐ裏に山梨県選出の堀内良平代議士（当時、富士山麓鉄道㈱社長）が住んでおられ、品川氏の好意で堀内氏と会談することになった。

別段特別な話もないまま世間話に花が咲いた。偶々堀内氏が「うちの会社では富士山麓の梨ヶ原に300万坪の土地を県から借りており、何か事業をやらぬと今年で取り上げられる。なにか少しでも始めればよいが、社員にもう3ヶ月以上も給料が払えない状態で困っている」と嘆かれた。そこで貞市翁が「少しでも手をつけたら良いのか」と聞いたら「少しでも始められればよいが、何しろ給料が払えない位だから、どうしようもないしまた払う金もない」といわれた。貞市翁が「6、7万坪位つぶして、ゴルフコースを造って見たら期限の歯止めになるのでは」と重ねて聞いたら「給料が払えぬ位だから工事資金等見当がつかぬ」という。尤もな話である。

そこで貞市翁が第一期工事として9ホールズのゴルフコースを着工することで、県の期限到来による借地権の解消という問題を解決する。それには堀内氏の借りている県有地の一部を一口300坪位の単位に分割し、ここの借地権を分譲することにする。この分譲による入金を工事代金として、当方へ支払う、と提案した。この条件で双方に異論はなかった。

そこでコースの設計は明石和衛氏（荏原製作所オーナー）ということで発表した。本人了解の上、安達商会の手で設計を完成した。

会員募集は川上嘉市や経済倶楽部の中瀬勝太郎氏やまた深川喜一氏（新宿オリンピックレストラン経営）が協力してくれた。当時ここは現在と違って交通の便がよくない。国府津駅の「つたや」に泊って、その晩のうちに明日のコースを計画し、設計図を作って、籠坂峠を越えての現場行の毎日であった。しかし大した難関もなく9ホールズ総てが完了した。これが山中ゴルフコースである。

第2期工事（イン9ホールズ）について

堀内社長から「第1期工事が大変評判が良いので助かった。あとの分を續いてやって呉れないか」とのことであった。

第1期工事に準じて築造し、これも完成した。その内、役職員もきまり、本格的な倶楽部が誕生した。

この工事について

(1) 工事の作業は全部地元の労力によった。

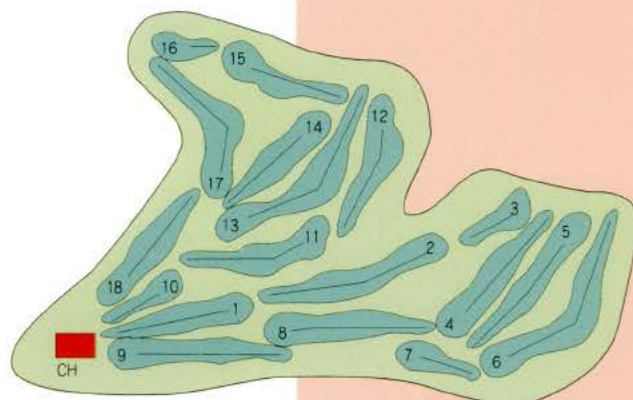
(2) このことが後年飛行場工事を行うに当って役立ち、その労務監督者もこの人達から得られた。また進駐軍の命令による終戦後の復旧工事も、この人達の力を借りて出来たものである。因みに東京都民ゴルフ場のグリーンキーパーの高村定治（平成6年3月20日退社）もこの時からの人物である。

また、分譲地の第1号地は貞市翁が取る事にした。白樺を取ってこさせ、茅葺きの日本草庵を作らせた。絶好の台地であり、現存している。それから段々別荘

地として脚光を浴びるようになった。

工事名称 山中ゴルフコース建設工事
(現在名称 富士ゴルフコース)
工事場所 山梨県都留郡山中湖村262-1
発注者 富士山麓鉄道株式会社
設計者 明石和衛
開場日 昭和10年8月
工事概要 18ホールズ 6,811 Yd Par 72

丘陵コース、フェアウエーは松林にてセパレートされており、距離は比較的長い上にフェアウエーに点在する松の木立がショットの方向を遮り、効果を上げている。



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	368	505	155	375	430	556	182	422	459	3452	
パー	4	5	3	4	4	5	3	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	208	418	395	600	375	362	138	507	356	3359	6811
パー	3	4	4	5	4	4	3	5	4	36	72

淀川ゴルフコース (昭和10年)

工事名称 淀川ゴルフコース建設工事
工事場所 大阪市東淀川区浜町168
設計者 小味淵筆
工事概要 大阪淀川べりの河川敷コース
9ホールズ 2,720 Yd Par 35
経緯 現在閉鎖されている

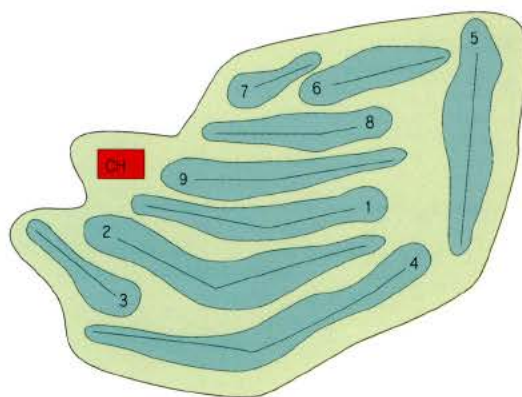
信太山ゴルフコース (昭和10年)

阪和電鉄（大阪から和歌山へ通じる私鉄、しかし昭和15年国鉄に吸収された）の平松憲夫社長の依頼により、同電鉄の信太山駅（現在のJR信太山駅）の付近に昭和10年最初の9ホールズを完成（昭和11年5月開場）。あとの9ホールズは昭和13年施工した。

平松憲夫社長の岳父は当時北越新聞の社主であり、生地が北越で当時人気絶頂であった角力界の大関（後に横綱）羽黒山の後援会の幹部であったため、貞市翁は場所が始まると場所毎に社長に御伴して見物した。後は必ず東京の花街の代表として挙げられる柳橋へ御伴した。

折角開場したゴルフ場も戦争激化に伴い、農地として開放され、終戦後はゴルフ場としては使用されていない。

函館ゴルフ倶楽部（昭和11年）



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	415	506	140	498	372	402	123	338	418	3212
パー	4	5	3	5	4	4	3	4	4	36

昭和2年11月創立された函館ゴルフ倶楽部は、函館競馬場内に6ホールズとして開場したが、昭和10年競馬場から障害馬場設置のため、ゴルフ場の施設の撤去と用地の返還を求められた。ゴルフ倶楽部としてはやむを得ず見晴公園付近に候補地を得、一部借用、一部買収して9万坪確保した。

コースの設計は赤星四郎氏に依頼、コース造成を安達幸三郎に依頼があった。そこで貞市翁が出向いて施工した。この

9ホールズは昭和11年8月完成、クラブハウスは地元木田組が担当した。

しかし昭和16年拡張計画を立て、18ホールズの建設を予定したが、戦争の熾烈化と共にこのコースも休場した。(以上については日本ゴルフ協会VOL.7号による)

尚、このコースは昭和22年米軍の要請により、9ホールズの内3ホールズオープンした。現在は9ホールズとなっている。

小金井カントリー倶楽部（昭和12年）



深川喜一氏

六郷ゴルフ場において、ある日プレーヤー達も帰って憩いの一刻、岡本支配人から「六郷ゴルフ場も一段落したので、どこか新しいゴルフ場を造ってみようではありませんか」と提案された。貞市翁は面白い話だと思った。「それなら交通の便の良い中央線の沿線がよさそうに思う。あそこならここ六郷ゴルフ場建設の時、芝生の買付けをしたので知人もある筈だ」と答えた。

この件につき、会社の中島伸一（故人、後に安達建設㈱社長）に話した処、「小金井なら地元の顔役鳥塚勘兵衛氏と懇意だから土地がまとまると思う」という。そこで現地を見てみると駅から遠くもないこと故、一応ここに決めた。そこで、先ず組織と機構について草案を作成した。機構については、東京ゴルフ倶楽部の会員中のだれかを物色することとし、その結果ウォルターヘーゲンのクラブの代理店もしている深川喜一氏に白羽の矢をたてた。就任の説得には相当手を焼いたものの、承諾を得た。

主体は小金井ゴルフ株式会社とし、資本金は15万円とした。

幹部には池貝杉二氏（東京鍛工社長）、明石和衛氏及び中川秀次郎氏等をお願いした。

当時、ゴルフは一般には理解されていなかった。それで地主達20人位を単位としてバスに乗せ、六郷ゴルフ場を見せ、そのあと大森の料亭「見晴亭」で夕食をとり、その折説明会を繰返し、ゴルフ場というものを認識させ、漸く理解にこぎつけ、買収を開始した。

買収の主任者は中島伸一と地元では当時ゴルフ場の入口にあるガソリン店の店主鳥塚勘兵衛氏であった。

買収の平均価格は補償を併せて2円30銭で終わった。この買収にあたってはスラスラと問題もなく終わったものではない。買収は予定地の大部分が完了した

が、唯一部、海岸寺と鳥塚氏の所有地の中間の場所の約2千坪の地主が仲々承諾しない。この土地は本人の自宅裏から短冊型に延びており、これが買収出来なければアウトコースは絶対に建設不可能だ。

それで八方手を尽くしたが頑固で手がかず、万策つきた形となった。そこで、貞市翁は中島に「新宿へ出て夕食にでも誘ってみたらどうだ」と話し、中島が交渉したら「頑固親爺も一緒に来るといっております」との鳥塚勘兵衛氏からの返事がきた。

それなら大切にしなければならぬ客なので当時新宿の一番の料亭「伊勢虎」に予約しておくよう言いつけた。

当日、夕食及び余興も済んで、大好評の裡に「お開き」となり車を頼んで帰って貰った。

翌朝10時半頃、中島がとんできて「小金井から電話が掛かってきて、これから直ぐ来てくれと言ってきました。どうしましょう」と言う。「どうしたって、仕様がな。行ってくれ」と中島に言うとう仕方なしにシブシブ出掛けて行った。

小一時間も待ったところ、中島から電話が掛かってきた。「親爺から昨夜はエライ御馳走様になり有難う。それから土地の件だが全部譲ってよろしい。値段はお前に任せる。また俺の実印を預けておくから登記して来い」と言われた

由。「すぐ登記して来い」と命令し、これで小金井ゴルフ場の建設が万事OKとなった。





竣工当時のクラブハウス(雪の日に)

設計はウォルター・ヘーゲンということになっているが当人の了解を得た上で、設計用紙の隅にサインして貰っただけである。

工事について言えば、ダブルグリーンとしたのは小金井が初めてであった。一つだけだと傷んで困るからダブルとして作った。昼夜兼行の工事は当時例をみないもので、1ヶ年で完成となった。

理事長の高石真五郎氏も非常に喜ばれ、手厚い感謝をこめた感謝状をいただいた。しかしこれも戦争で焼失した。

工事名称 小金井カントリー倶楽部建設工事

工事場所 東京都小平市御幸町331

設計者 ウォルター・ヘーゲン

工事概要 18ホールズ 6,739 Yd Par 72

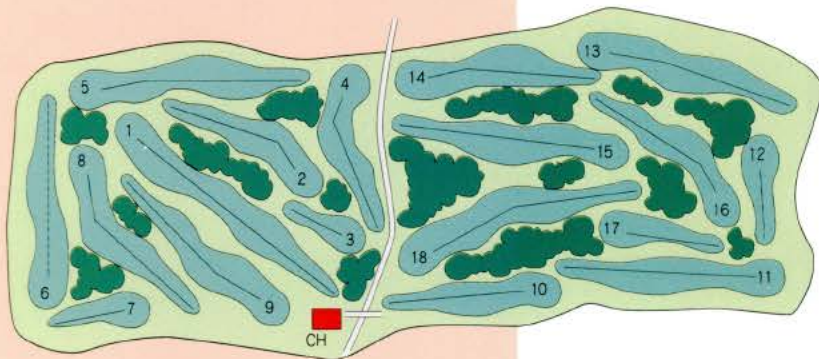
東京駅から普通電車で約一時間の近郊地で敷地面積16万坪

コース一带は関東平野特有の櫟、赤松の林の小丘、沼地、その間を縫う小流のせせらぎ等風致に富む。微妙なアンジュレーションがあり、意図した方向にボールを運ばないと良いスコアが出ない。

各ホールは雑木林でセパレートされており、グリーンは初めからダブルグリーンである。

日中戦争激化に伴い、貞市翁の所有の小金井カントリー倶楽部の株30株を次に述べる熱海ゴルフ建設のため手放したことは、現時点では悔やまれる。

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	515	425	190	365	505	359	145	380	430	3314	
パー	5	4	3	4	5	4	3	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	390	450	175	410	365	515	375	220	525	3425	6739
パー	4	4	3	4	4	5	4	3	5	36	72



熱海ゴルフ倶楽部（昭和12年）

小金井ゴルフ場が開場して、暫くたって川上嘉市と川奈ゴルフ場で一日プレーし、帰りに熱海温泉に寄った。川上が「伊豆山温泉に中田真平氏という知人がいるのでついでに訪ねてみよう」ということになった。

熱海の相模屋で夕食も済み、一風呂浴びた処で「どこか熱海にゴルフ場をつくる所はないか」という話になったら中田氏が「伊豆山の上に平らな処があるから、明日一度見てくれ」と言い出したので、翌日検分することになった。場所は伊豆山寄りであるが、ゴルフ場の出来るような土地ではない。精々5ホールズ位出来るだろうか。しかし高台であるだけ景色は仲々良い。

適地でないということで、話は中絶していた。

しかし、ある日ゴルフ場とクラブハウスを中心とした週末休養用の集団別荘地の土地分譲ということで、山中ゴルフ場の建設の時にした様にやってみようと思いついた。しかしそこに建設する住宅は30坪を限度とした。

計画の基本については

- (1) 熱海ゴルフ株式会社を設立し経営母体とする。
- (2) ゴルフ場は小型だが9ホールズの規模とする。
- (3) 会員制とし、土地分譲を主業とする。
- (4) 会員はコース隣接の分譲地が取得出来る。
- (5) クラブハウスは会員の歓談休養の場所とする。
- (6) 風呂は眺望の良い処に特に広くとっておく。

以上であるが、大体順調に進み完成した。

当時藤山愛一郎氏や芳沢謙吉前外相等の名士も参加者の一人であった。

日中戦争が激化の一途にあった時、常磐炭鉱岩崎清七社長から「今、炭鉱では金が遊んでいるから、返済はいつでも良いから使わないか」との申入れが熱海ゴルフ倶楽部川上社長にあり「借りてみようではないか」と言われた。当時会社には貞市翁の出資金と併せて約60万円位の借財があったが、折角の好意であり、一時的に融通がつくので借りることとした。その時「土地だけは担保に入れてくれ」と言われていると川上が言っていた。

終戦後のある日、「川上君、そろそろ岩崎さんからの恩借金を返済せねばならぬと思う」と川上に言い、川上が先方に出向き、返済しようとした処、青天の霹靂というか、先方の言うのには「戦後のインフレにより今は貨幣価値が変わってきているので、100倍の6千万円返せ」との返事だと言う。

都合の悪いことには、この金を借用の時、借用書を入れ、元金返済の時は担保をはずすという念書の交換があったが、東京大空襲の際、当社の東京銀座の熱海ゴルフ事務所にあった念書が事務所ごと焼失し、当社にこの担保解除の証書がなく先方へ提出した借用書のみが残っており、それで請求をうけたのである。

それでは「クラブハウスを売ったらよい」といった処、川上が借用の際、土地だけ担保とした処「どうせ同じ事だからクラブハウスも入れておけ」と言われて一緒に入れたということである。

万事休す。そこで一応株主総会を開いて経過を報告した。10倍位なら話も分



熱海ゴルフ倶楽部スコアカード

原寸は縦13cm横7cmである。

摂津茂和氏の「日本ゴルフ60年史」によると、熱海ゴルフは昭和12年2200ヤードの9ホールズとして発足し、同14年には12ホールズに拡張されたが、時すでに遅く発展をまたずして、時局逼迫のため解散したとある。

このスコアカードは初期9ホールズの時のものである。

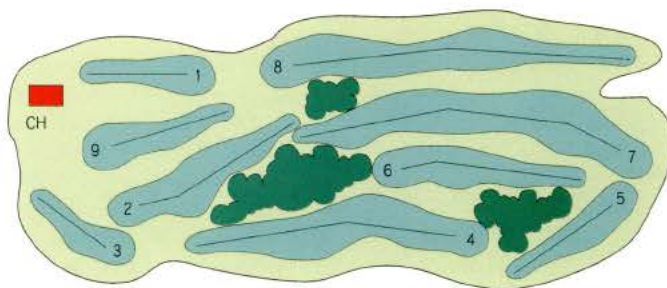
かるが、100倍とは一寸想像もつかぬ。それに担保を入れてあるなら仕方がない。相手に仕組まれた仕事らしいということで散会となった。

かくして熱海ゴルフ場はゴルフコースのみならずクラブハウス迄常磐炭鉱岩崎清七社長の手に渡ることとなった。

後味の悪いことであった。

工事名称 熱海ゴルフ倶楽部建設工事
工事場所 静岡県熱海市伊豆山1,171
設計者 赤星四郎
経営 終戦迄 熱海ゴルフ(株)
 終戦後 (株)熱海ゴルフコースホテル
開場日 昭和12年5月28日
工事概要 9ホールズ 2,357 Yd Par 33
 山岳コース

距離は短いが、起伏に富む。ハンディー10前後の人に向いているが、初心者でも思わぬスコアが出ることもある。難しい半面、楽しさもあるコースである。眺望は眼下に伊豆の海、初島、大島、遠く三浦及び伊豆半島まで一望出来る。



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	148	208	165	290	90	325	488	475	168	2357
パー	3	3	3	4	3	4	5	5	3	33

新霞ヶ関ゴルフ倶楽部（昭和13年）

このゴルフ場は、当初18ホールズの新霞ヶ関ゴルフ倶楽部として発足し、その後、近接の用地を入手することで36ホールズとなり、名称を秩父カンツリー倶楽部と変えた。しかし、急激な時局悪化に依って東京ゴルフ倶楽部の移転問題が発生し、両倶楽部の合併問題が検討されることとなった。昭和15年合併成立、新しく東京ゴルフ倶楽部と三度改称したこのゴルフ場は、戦争の激化に伴い増設したコースを売却し、最初の18ホールズの姿に戻った。

この間の経緯は次の通りである。

昭和12年頃のある日、ゴルフ誌の記者である近藤弥市氏から、「武蔵野鉄道（現在の西武鉄道株式会社）が沿線開発事業として埼玉県にゴルフ場を造りたい」と言ってきた。場所は霞ヶ関ゴルフ場のすぐ隣りで、大部分の土地は埼玉県の大地主、発智太郎氏の所有であるから、余り心配はないし、また武蔵野鉄道が責任

を持つというので好都合である。

しかし、「工事を着手するためには少し金が必要なので、2万円位出してくれないか。どうせ工事の方は御世話になることだから」と言うので「よし出しましょう」という事で即座に金を渡した。

武蔵野鉄道株式会社は当時池袋に本社があり、社長は山名義高氏で、同氏と本件について面談した。

これで順調に行けば問題はない。しかしある日、近藤氏がやって来て「発智氏が東京の高利貸から借りていた金の期日が来て、すぐに返さないと用地が競売にされてしまう。そうなったらコースが出来なくなってしまうから何とかして呉れ」といつてきた。

「そんなことは鉄道会社でやれば良いではないか」と言った処、「今回だけ、安達さんでやってくれと山名さんが言っているのは是非頼む」ということで、金額は覚えていないが立替払いをすることになった。これを契機として新霞ヶ関ゴルフ場の金融及び建設の一切を安達商会で行うこととなった。

後で判ったことだが、ゴルフ場の用地は何口かに分かれていて、13~14万坪の土地全部が高利貸の担保に入っていた。

用地の問題はすべて鉄道会社がやって呉れるものと思い、ろくに調べてもみなかったことが禍した。

そして、また競売だ競売だと何度繰り返した事であろうか。銀行では1銭も貸してくれない。しかし支払いは容赦なく来る。また工事の進行、指揮は必要だ。



新霞ヶ関の開場式に始球を打つ柳田諒三氏（昭和13年10月）



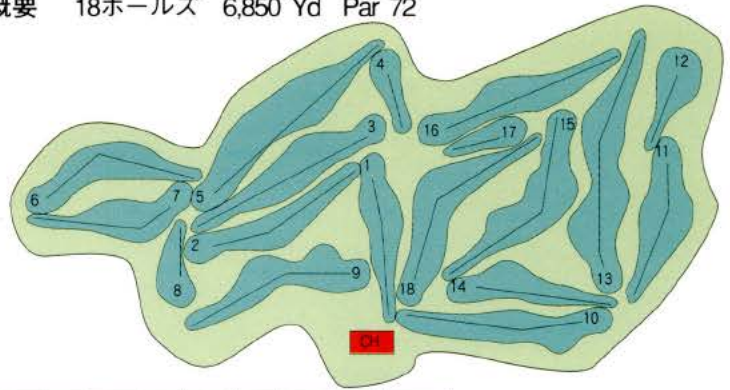
新霞ヶ関のコース風景

必要資金は入会金以外にない。従って会員募集に目が離せない。日が経つにつれコース建設もあらかたになり、役員を選任委嘱が必要になってきた。

昭和14年、理事長を柳田諒三氏（エンバイヤー自動車オーナー）にお願いし、支配人には安達商会の渡来新平（後に安達建設株式会社経理部長、平成5年1月11日没）を起用した。

この頃、経営も漸く安定の時期に達しており、一応倶楽部の体形を整えることが出来た。

工事名称 新霞ヶ関ゴルフ場建設工事
工事場所 埼玉県狭山市柏原1,984
開 場 昭和13年11月20日
工事概要 18ホールズ 6,850 Yd Par 72



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	365	401	524	153	546	413	376	189	459	3426	
パー	4	4	5	3	5	4	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	432	372	181	563	350	484	443	161	438	3424	6850
パー	4	4	3	5	4	5	4	3	4	36	72

秩父カンツリー倶楽部（昭和14年）

新霞ヶ関ゴルフコースが完成した頃、隣りの霞ヶ関ゴルフコースは36ホールズの完成したゴルフ倶楽部であったので、メンバーから“隣りと比べて見劣りする”という愚痴をよく聞かされた。

そこで柳田理事長に隣接地は完全なコースが出来そうな土地であり、用地内には何も障害がなさそうだから買い足して18ホールズ増設し、36ホールズの体形を整えてみようかと相談した処、話が纏まった。

基本的な方針

- (1) 地元、町長並びに有力者の協力方も約束出来た。
- (2) 倶楽部役員及び理事の大体の承認を得た。
- (3) コースの設計者として大谷光明殿下の承認も得た。

基本的準備が完了すると資金の調達方法も具体化し、たいした故障もなく、

順調に完成の域に進むことが出来た。

しかし、問題がないわけではなかった。それは

- (1) 村道が霞ヶ関ゴルフ場内を通っているので、秩父のコースと霞ヶ関のコースが隣接している処が随所に出来た。
- (2) 霞ヶ関ゴルフ場はコース内を延々と村道が通り、車の乗り入れとか農家の肥桶の往来に頭を痛めていた。
- (3) そこで霞ヶ関の牛島支配人と話し合っって村道を両コースの境界に移転して貰う様、村に交渉をした処話はうまく行った。
- (4) 双方共かなりの費用はかかったが、あの時期村道の解決をしなければあの道は今でも残っていたかも知れぬと思うと、思い切ってやって良かったとの所懐がある。

当時、霞ヶ関カンツリー倶楽部の理事長は清水揚之助氏（清水建設副社長）でキャプテンからも感謝の言葉をうけた。

倶楽部の名称は秩父山系でもあることだし、36ホールズの陣容も整ったこと故、新霞ヶ関ゴルフ倶楽部をやめて秩父カンツリー倶楽部と改名することにした。

18ホールズ増設工事

設計者 大谷光明貌下

開場 昭和15年12月15日

設計者大谷光明貌下が「東京クラブ50年史」に建設当時の感想文を寄せておられるが、その中で先ず「自分が設計したのでたいしたもの出来なかった」と卑下し、次に「然し現場監督には安達商会の小田島理想太君を得たことは最大の幸であった。彼は多年に渉るゴルフ場建設の経験を生かして私を補ってくれ、就中16番ホールの途中のバンカーの如きは、彼の案に随ってあの様な姿になし得た」と最大の讃辞で述べておられることは、我が社にとって誇りとすべきものである。



大谷光明貌下

大正中期の新進ゴルファーで駒沢をホームコースとして活躍、大正11年英皇太子プリンス・オブ・ウェールズとハルゼー侍徒の組に対し、昭和天皇（当時摂政宮）と大谷氏が組んで、4ボール・ベストボールの競技をされたことは有名。

コース設計にも非凡な才能を持ち、昭和初期のわが国のゴルフ界の発展に大きな貢献があった。

晩年は京都ゴルフ倶楽部のキャプテンとして余生を送られた。

東京ゴルフ倶楽部との合併（昭和15年）



東京ゴルフ倶楽部は大正3年世田谷の駒沢に誕生した。

しかし、その用地はすべて借地であり、段々世相が変るにつれて借地料が値上げされ、経営上どこかで自社の用地を購入してゴルフ場を経営したいとの方針から物色中のところ、埼玉県朝霞に適地があったので、そこへ移転が決まった。

この移転工事の時と前後して、コースのグリーンはベントグラスの方がよいとの風潮があり、朝霞コース新設に際しては東京クラブのグリーン委員長であった相馬猛胤氏がフェアウェーも高麗芝をやめてベントグラスにする案を採用した。

しかし、種子が悪かったためか、撒水設備がなかったためか、蒔いた種子は奇麗に発芽したが6月頃完全に全滅した。そこで倶楽部の依頼をうけて安達商会で全面高麗芝に張り替えて修理工事を終わった。

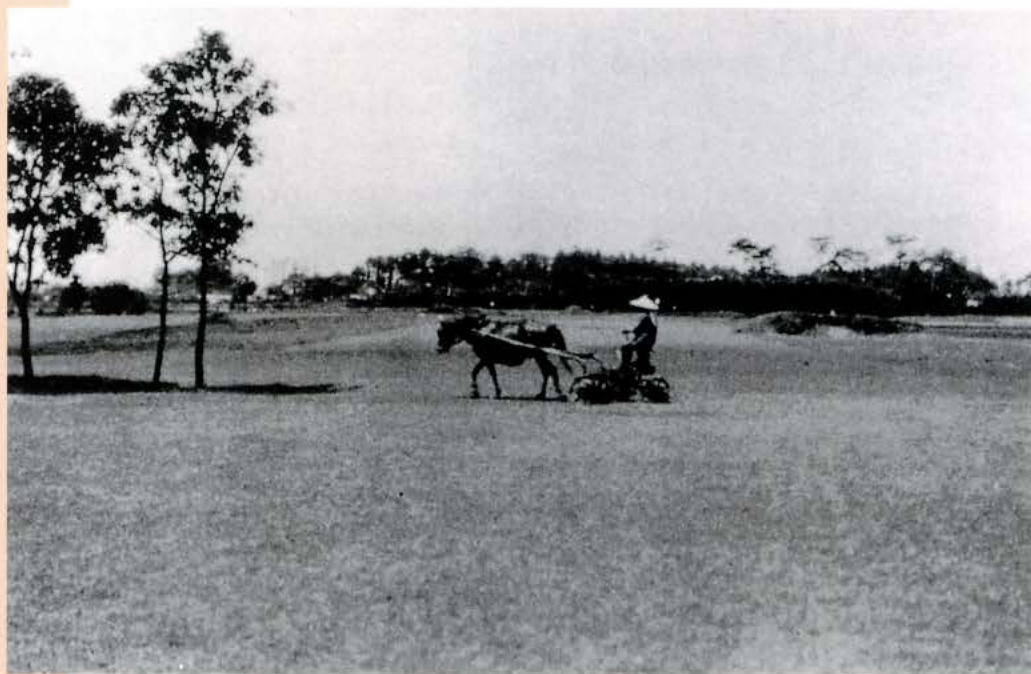
しかし、戦争が激しくなるにつれ、朝霞のコース全体を陸軍が徴用するという噂が流れて来た。

ある日、東京クラブの野村駿吉氏（三菱商事及び三菱石油役員）、浅野良三氏（浅野物産会長、萱場工業社長）及び三井弁三氏の三氏に逢った処「貴方の処では今霞ヶ関にゴルフ場を造っておられるが、当クラブでも朝霞の代わりにゴルフ場を造らなければならない。何処か良い処があったら探して呉れないか」と依頼された。その後物色の結果、朝霞と川越の間に三好村という処があって、松林も多く適地と思われるのでここを勧めた。ゴルフ場側も検分の上、ここに決定した。

「貴方の方は霞ヶ関の方で土地を買った経験を持っておられるので、今度の土



野村駿吉氏



馬が曳くフェアウェーの芝刈り風景

地を買収して呉れないか」と委嘱され、引きうけた。

買収を引きうけたものの、100人以上の地主があることで、仲々簡単には行かぬ。半分位買収の終わった頃、農地法という農林次官通牒が出され、農作地はゴルフ場へ転用してはならぬという事になった。用地の3分の1は農地であり、どうしようもないので買収は中止することになった。契約金もかなり渡してあったが、話し合いの結果、約20万円位の損で済んだ。勿論これは東京クラブ側で出し、ゴルフ場の建設は頓座することとなった。

この頃、新霞ヶ関ゴルフ場では18ホールズが完成し、更に隣地に用地を買い求めて隣の霞ヶ関カントリー倶楽部と比べて見劣りしないよう更に18ホールズ増設することになっていた。

設計は東京クラブのメンバーである大谷光明親下で工事の方は安達商会が担当し、工事は順調に進んだ。

その完成が近づいたある日、東京ゴルフ倶楽部朝霞コースが陸軍に徴用買収されることとなったので、秩父カントリー倶楽部との合併問題が出たのであった。

東京ゴルフ倶楽部といえば、何と言っても日本のゴルフの本山ともいべきものなのでその名の消滅することは名残り惜しく且つ新霞ヶ関ゴルフコースの増設の設計は東京クラブのメンバーである大谷親下が担当されたことなどよりして、秩父カントリー倶楽部としてはこの合併申し入れを受けざるを得なかった事情もあった様である。

東京クラブ側から資金100万円を出すという条件で、秩父カントリー倶楽部も承諾し合併が成立した。

名称は東京ゴルフ倶楽部という名称にした。安達商会への工事未払金もこの合併金で支払われた。

東京ゴルフ倶楽部は秩父カントリー倶楽部と合併することで、辛うじて其の名を残す事が出来たが、戦争激化に伴い新しく増設した18ホールズを日本鋼管株式会社に売却することとなった。合併当初は36ホールズであったが、これ以後は新霞ヶ関ゴルフ倶楽部当時の18ホールズに戻ったのである。

貞市翁としては、折角苦勞して建設した18ホールズが売却されたことは「身を切られる」想いがしたと述懐しておられる。

昭和17年頃から軍は飛行場の建設に力を注ぎ、昭和20年に入ると空襲は益々激しくなり、軍は飛行場の建設を急ぎ、昭和20年5月1日より安達組の手により海軍供出用として同クラブの11番ホールから芝の刈り取りが始まった、と東京ゴルフ倶楽部50年史に掲載されている。



秩父カントリー倶楽部と東京ゴルフ倶楽部の合併記念写真（昭和15年）

海外工事

満州事変も終わり、昭和7年満州帝国が樹立され治安も一応安定し、内地から新規開発を目指して日本人の移動が本格化した。

しかし安定も束の間、北支の蘆溝橋に端を発した北支事変は事変不拡大の方針にも拘らず長期化し、遂に日支事変と様相を変えて行った。

当時、日本本土においては戦時態勢に入り、あらゆる産業は軍事が優先するようになった。しかし一般国民の生活には多少窮屈さが感じられるとはいうものの未だ余裕があった。

そこで、貞市翁は新しいゴルフ場の建設は都心を離れた東北か北海道に建設の目標を置いたが、これとても到底実現不可能で、新たに目標を朝鮮及び満州に定め、その調査に赴く事になった。

渡航に当って、程ヶ谷カントリー倶楽部の顧問であり芝の専門家である農学博士の丸毛信勝先生及び現場監督として中島仲一、小田島理想太、久保田伊三郎、小林行雄及び外交係として吉田勝彦等を同道した。

先ず京城ゴルフ倶楽部を表敬訪問し、大連へ向かった。調べてみると、大連のゴルフ場ですらパッティンググリーンは泥で固めてあるとのことで、大連ゴルフ倶楽部のキャプテン古川文作氏と面談し、泥のパッティンググリーンは難しいから、芝生に張り替えた方がよいと進言した処、簡単に解決し、芝の大連輸出が決まった。

本溪湖ゴルフ倶楽部（昭和14年）

本溪湖ゴルフ場は低い丘陵地帯に接続した地域であった。従業員の宿泊設備及び炊事場の設備もあった。ゴルフ場関係者の人からある日、この辺は馬賊の本場であり、あの丘の辺りには時々姿が見えると教えられた。

現場には日払いの賃金もあるし、また食糧及び衣類もある。やられたら大変だが、工事を中断することは出来ない。「黙ってやれるだけやってみよう」と極秘にしておいた。

お陰で無事完了したが、今思い出しても気持ちの良いものではない。

工事概要 9ホールズ建設

安東ゴルフ倶楽部（昭和14年）

工事主任久保田伊三郎は、貞市翁が海外事業開発として渡満された時随伴、そのまま昭和14年6月1日安東ゴルフ場へ着任。安東ゴルフ場建設の準備中、翌7月5日招集令状が発せられ急遽帰京、入隊することとなった。

従って、同氏は工事準備中に現場を離れ、残留要員で工事を完了させることになった。

因みに、安東は中国と朝鮮半島の境界となる鴨緑江に面し、対岸は北鮮の新義州である。

工事概要 18ホールズ建設

その後、貞市翁は目標である青島及び上海のゴルフ場建設の旅に出発した。

北京では、中華民国（現在の中国）の特別建設公署の嘱託という地位を与えられ、随意勤務ということで北京飯店の一室を与えられ優遇された。ここでは西陵という西太后の居城で廃虚となっていた100万坪余りの場所での復興事業があり、近くに万壽山という風光明媚な処を控えていた。

その後暫くして、北支事変も日支事変と名称が変わり、世間も緊迫してきたので、一応総てを放棄して帰国の途についた。建設に従事した人々の引き揚げも、これと前後した。

競馬場及び飛行場の芝張工事

戦争の激化につれ、ゴルフ場の建設工事は段々望みがなくなったので、競馬場と飛行場の芝張工事に転業せざるを得なかった。

政府は、赫々たる戦果の陰の隠れた貢献者である軍馬の改良に力を注いだため、昭和14年には東京馬事公苑の馬場新設工事を施工している。また、昭和16年には宮崎、小倉、阪神及び新潟と各競馬場の改修、芝張工事も施工した。更に飛行場の芝張工事も次から次へと行われるようになり、これに従事した。この昭和18年8月に、安達商会から株式会社安達組と改称した。

昭和20年5月1日より、東京ゴルフ倶楽部11番ホールから海軍供出用として安達組によりその芝が刈り取られ始めたこと、同倶楽部50年史に掲載されている。

児玉飛行場をはじめとして飛行場に関係した処は31ヶ所もあり、終戦時手持工事は17ヶ所あった。

飛び飛びの現場であるから、旅から旅へは日常の事であった。

小松飛行場の思い出

ちょうど、長野県に作業現場を持っていたので、物資がない時であるから、長野県特産の林檎を六トンの貨車に半分位の量を手に入れ小松飛行場へ送った。一個の林檎も手に入りにくい時であるから大喜びされた。

日増しに戦争は激化し、緒戦の大戦果の報道は影をひそめ敗戦の色が濃くなり、度重なる空襲の被害を避けて疎開する人々が多くなった。従って本社の事務所は千駄ヶ谷から高井戸の仮事務所に移転した。現在の安達建設株本社事務所は終戦後購入したものである。

終戦時の陣容

名 称	株式会社 安達組
本 社	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目856番地
経営陣	取締役社長 安達貞市
	取締役 中島伸一
	〃 川上嘉市
	監査役 平山金輝
	松浦 銑

造園及び土木

昭和12年 阪和興業株式会社 分譲地区画及び水路建設工事
施工場所 大阪市中央区

馬事公苑馬場工事風景



14年 日本競馬会 馬事公苑馬場建設工事
施工場所 東京都世田谷区上用賀2-1-1

工事概要

馬事公苑営繕課出身奥田譲氏の「馬事公苑施設についての思い出 昭和62年2月」によれば「昭和9年7月の日本競馬会臨時総会で馬の競技場建設用地として5万坪の買収が行われた。これは昭和15年開催予定の東京オリンピック大会に備えた諸施設の計画の一つであったが、支那事変勃発によりオリンピック開催が返上され、計画も中止された。

しかし、昭和14年3月日本競馬会は再度理事会を開催、馬事公苑の設置については覆馬場の計画を除いて当初の計画通り実施されることになった。

土木工事としては、芝馬場、砂馬場、門、周囲の擁壁と塀及び排水工事であった。土木工事を担当したのが安達商会である。用地は数ヶ年放置されたままなので、荒地化し、その整地には並々ならぬ苦労があったようだ。

馬場造成工事は現在の様な建設機械がなく、モッコとトロッコ等すべて人力施工で今考えると大変であったと思う。

また敷地周囲の擁壁は当時としては珍しいコンクリート製間知ブロックを使用施工した。

敷地内の雨水等は馬場内の2つの池に一旦集めて排水パイプにより用賀地区へ流すよう工事を行った。

最初に着工したのは仮管理事務所、馬場設備、騎馬道及び障害練習場等の土木工事であった。

昭和15年8月末にはすべての工事が完了し、9月29日に開苑式が行われた」と記載されている。

16年 厚生省総合運動場建設工事
施工場所 東京都大田区

工事概要

昭和7年貞市翁等が造った六郷ゴルフ場は途中経営者が変わったが、依然経営は続いていた。昭和16年、国民体育向上のため、このゴルフ場は厚生省産業報国会が総合運動場とすることになりその工事を施工した。

その他の工事一覧

芝生納入及び造成

1) 国内工事

昭和4年	名古屋ゴルフ倶楽部	愛知県愛知郡
5年	宝塚ゴルフ倶楽部	兵庫県宝塚市
	鳴尾ゴルフ倶楽部	兵庫県川辺郡
6年	茨木カンツリー倶楽部	大阪府茨木市
	鳴尾ゴルフ倶楽部	兵庫県川西市
7年	相模カンツリー倶楽部	神奈川県大和市
	赤羽学士会ゴルフ倶楽部	現在なし
	軽井沢ゴルフ倶楽部	長野県北佐久郡
8年	大阪府堂山田ゴルフ場	現在なし
	川崎ゴルフ倶楽部	現在なし
	室蘭ゴルフ倶楽部	北海道室蘭市
9年	旭川ゴルフ倶楽部	北海道旭川市
	広野ゴルフ倶楽部	兵庫県三木市
	武蔵野カンツリー倶楽部	現在なし
	中山競馬場	千葉県船橋市
11年	仙台ゴルフ倶楽部	現、仙塩ゴルフ倶楽部
	植田山ゴルフ倶楽部	現在なし
	萩山ゴルフ倶楽部	現在なし
	広島ゴルフ倶楽部	広島県広島市
	別府ゴルフ倶楽部	大分県速見郡
	川奈ゴルフコース	静岡県伊東市
	東京競馬場	東京都府中市
12年	石山カンツリー倶楽部	現在なし
13年	東京ゴルフ倶楽部	埼玉県狭山市
14年	日本皮革株式会社	現在なし
16年	宮崎競馬場	宮崎県宮崎市
	小倉競馬場	福岡県北九州市
	阪神競馬場	兵庫県宝塚市
	新潟競馬場	新潟県豊栄市

2) 海外工事

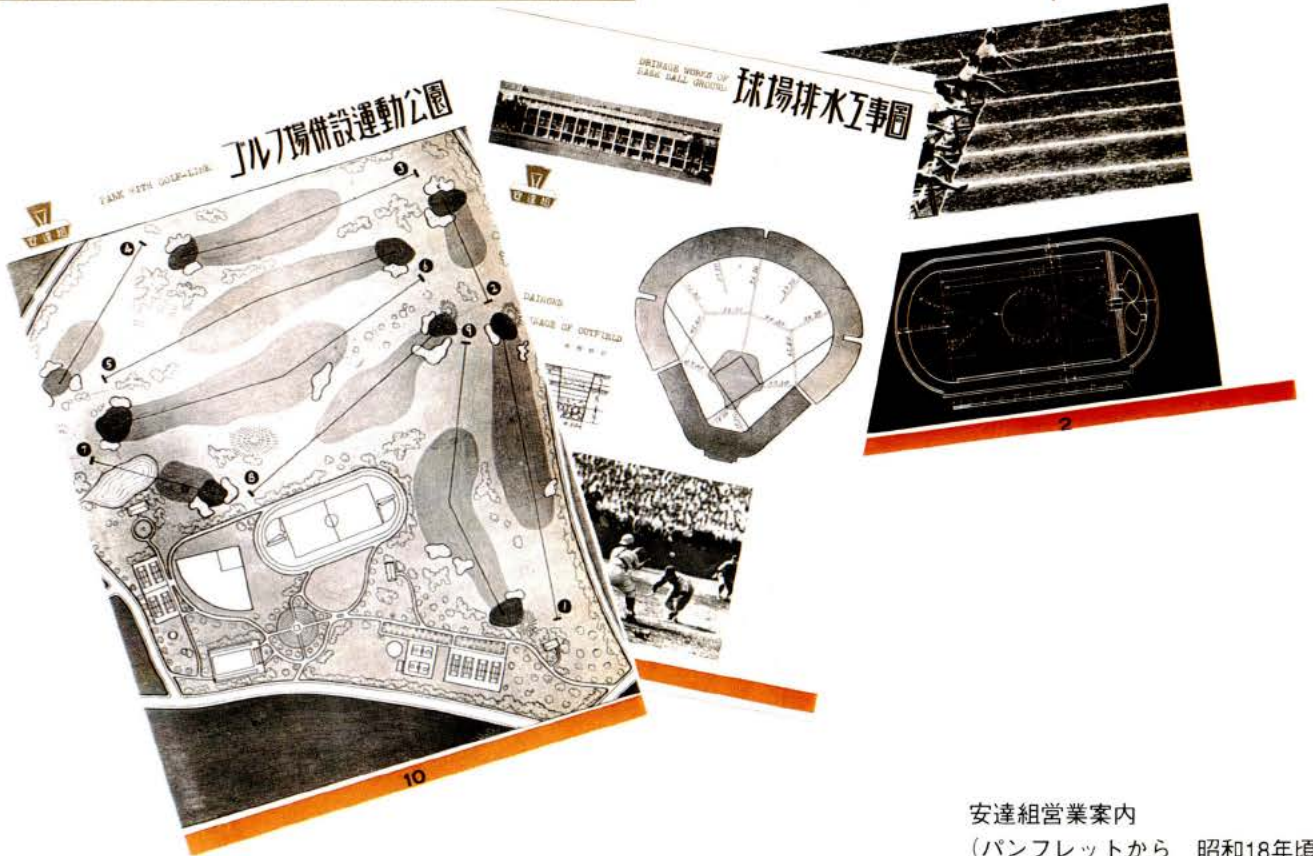
昭和5年	大連星ヶ浦ゴルフ倶楽部	中国
6年	釜山ゴルフ倶楽部	韓国
	元山ゴルフ倶楽部	北朝鮮
	京城ゴルフ倶楽部	韓国
	大邱ゴルフ倶楽部	韓国

	長春ゴルフ倶楽部	中国
9年	青島ゴルフ倶楽部	中国
11年	撫順ゴルフ倶楽部	中国
	奉天国際ゴルフ倶楽部	中国
	上海江湾揚樹浦ゴルフ倶楽部	中国

3) 陸海軍飛行場造成工事

(陸)	児玉飛行場	埼玉県児玉郡
(海)	竜ヶ崎飛行場	茨城県北相馬郡
(陸)	太田飛行場	群馬県太田市
(海)	姫路飛行場	兵庫県姫路市
(海)	小松飛行場	石川県小松市
(海)	松尾寺飛行場	所在地不明
(海)	綾部飛行場	京都府綾部市
(海)	東舞鶴飛行場	京都府舞鶴市
(海)	香良州飛行場	三重県一志郡
(陸)	前橋飛行場	群馬県前橋市
(海)	松山飛行場	愛媛県松山市
(陸)	米子飛行場	鳥取県米子市
(陸)	藤枝飛行場	静岡県藤枝市
(陸)	金谷飛行場	静岡県金谷市
(陸)	郡山飛行場	福島県郡山市
(海)	茂原飛行場	千葉県茂原市
(海)	霞ヶ浦飛行場	茨城県土浦市
(海)	瀬谷飛行場	神奈川県横浜
(陸)	百里ヶ原飛行場	茨城県東茨城郡
(海)	鹿島飛行場	茨城県鹿島市
(陸)	藤沢飛行場	神奈川県藤沢市
(海)	衣笠飛行場	神奈川県横須賀市
(民間)	明石飛行場	兵庫県明石市
(陸)	岡崎飛行場	愛知県岡崎市
(海)	白子飛行場	所在地不明
(海)	神町飛行場	山形県東根市
(陸)	厚木飛行場	神奈川県厚木市
(海)	矢本飛行場	宮城県桃生郡
(陸)	焼津飛行場	静岡県焼津市
(陸)	三沢飛行場	青森県三沢市
(海)	高茶屋飛行場	所在地不明

以上31ヶ所の飛行場造成



安達組営業案内
(パンフレットから 昭和18年頃)



第 2 部

終戦から現在までの 工事経緯



この絵は1700年代英国王ジェームス一世の頃に描かれたもので、アボットが描いたものとされているがさだかではない。絵はブラックヒースゴルフ場（ロンドン南郊）でイネスという商人が海軍病院自費学生をキャディーとしてプレーしている処である。

目をひくのはプレーヤーが着用している華麗なキャプテンの服装とキャディーが上衣からそっと出しかけているウイスキーの小瓶などであろうか。

終戦直後の安達建設株式会社

長野県菅平牧場で、飛行場向けの芝の刈り出しに励んでいた頃に終戦を迎えた。昭和20年8月15日である。

「くるべき日がやって来た。予定の行動をとらねばなるまい」と菅平牧場を下りた貞市翁は、いったん東京に引き揚げた。兼ねて手当をしてあった岩手県侍浜約20万坪の開墾の準備のためである。——これには社員全部を連れて行く積りであった。丁度この頃、横浜進駐の第八軍より、焼跡整理と植樹を兼ねた造園工事の発注がなされる様になり、安達建設へもその中の二つ許りが発注された。

侍浜での自給自足のための開墾事業もそろそろ軌道に乗りかかっている時の造園工事の発注であり、今後どちらの方向に進む可きか、貞市翁は迷ったに違いない。東京を切り上げる日が一日、二日と遅れて行ったのもそのためである。社員と共に疎開する考えとうらはらに、進駐軍からの工事発注が続いたことが疎開を断念させたのであった。

貞市翁が進駐軍より出頭命令を受けたのはこの頃の事であった。終戦の時には17ヶ所の飛行場表装工事を請け負っており、それ迄に14ヶ所を終わらせていた貞市翁にとって、それは戦犯指名とも受けとられた事であろう。

呼び出しを受けた東京会館を訪れた処、出て来たのは小金井ゴルフ場第五空軍の将校ラサフォードであり、話の趣旨は「小金井ゴルフ場の復旧について」であった。すっかり安堵した貞市翁とラサフォード中尉との間で話がうまく運ばぬ筈がない。第一期工事としてアウト9ホールズの復旧工事を10万円という格安の値段で引き受ける事となった。第2期工事としてのイン9ホールズの復旧工事の時、問題が起きた。もうその頃は日本政府と進駐軍の間に終戦連絡事務局という組織が出来ており、この工事はこの事務局を通さないで発注されたので、誰が支払うかということが問題となった。この問題を解決して呉れたのが、貞市翁と知己のあった建設省の岩沢次官であり、貞市翁と京都上賀茂コースを結ぶきっかけを作ったのも同氏であった。

進駐軍の造園工事を受注していた横浜事務所のその後はどうなったであろうか。最初ワークオーダーで二、三の造園工事を受注した頃、程ヶ谷ゴルフ場の復旧工事の話が第八軍スペシャルサービスより持ち込まれ、これと前後して更に数ヶ所の造園工事の発注があり、横浜事務所は多忙を極める日が続いていた。その頃の安達建設は（昭和23年2月、安達組より称号変更）PD（工事受注の際いちいち発注書を貰う必要のないもの）を入手して、このPDに依り、更に多くの造園工事を受注したものであった。

一方、ゴルフ場に就いては、程ヶ谷ゴルフ場改修工事、座間9ホールズ新設工事を契機にスペシャルサービスへの出入りが頻繁となり、仙石原、山中、熱海などのゴルフ場の復旧工事が発注され、工事が終わると引続き維持管理の作業の発注を受けた。

昭和22年頃の工事の中心は横浜にあったといっても過言でなく、貞市翁が観光日本株式会社の社長に就任し、小原台のプロジェクトに取り組む様になるのもこの頃であった。（後記“小原台ゴルフ場”の項参照）



玉音放送（昭和20年8月15日）

正午、天皇の「終戦の大詔」録音放送。日本は連合軍にたいして無条件降伏し、第二次世界大戦が終結した。

京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース (23.5~24.8)



和辻春樹氏

昭和21年9月20日は上賀茂神社にとって、まさに「青天の霹靂」の日となった。京都府社会教育課より「上賀茂神社境内に米進駐軍専用のゴルフ場を設置する」旨の通達を手にしたからである。神社側の翻意懇請に対しても、米第一軍団（当時京都駐留）は「9月22日に着工する」という返事だけであった。

9月23日に入林祈祷式があり、引き続き測量が始まった。11月15日には「上賀茂ゴルフ場起工式」が挙行され、工事は順調に滑り出すかと思われたが、12月7日工事は突然中止された。その理由は、この工事費が2億7千万円と計上されており、進駐軍のリクリエーションのためにこれ程の巨費の支出は出来ないという吉田茂外務大臣の意向に依るものであった。

政府の否認と米軍の要請の間の板挟みとなった京都府は、この一件を建設省に持って行った。建設省の岩沢次官は「それでは一度安達の意見を聞こう」ということで貞市翁の入洛が決り、こうして上賀茂コースの建設に関係を持つこととなる。

岩沢次官の話と前後して、第八軍エンジニアセクションのスミス中佐からも「2億7千万の工事費査定について」の依頼も来たのであったが、「上賀茂ゴルフ場」の設計者は赤星四郎氏であり、同氏とは終戦前より昵懇の間柄であった事もあり、依頼を受けた岩沢次官には適当な返事をしただけであった。

しかし、岩沢次官は執拗であった。

「兎に角第一軍団のシェフィールド軍政官に会って呉れ」と言う。

シェフィールド少佐は、「上賀茂ゴルフ場」建設については異常といえる程の執念を持っており、またいかにして作りあげるかに就いても既に一つの私案を持っていた。こうして貞市翁が岩沢次官の懇請もだし難く、二度目に入洛し、シェフィールド少佐に運命的に出会うのは一年後の昭和22年11月のことであり、この日が「上賀茂ゴルフ場」発足の日でもある。「シェフィールド少佐の“将来の古都京都を思う心”“ゴルフ場作りへの真摯な姿勢”などが私を上賀茂のとりこにしたのだった」と後日貞市翁は述懐する。

終戦直後の昭和23年に、一民間企業がゴルフ場を作るなどという事は、まさに無謀の限りと言ってもよい企てであった。如何に進駐軍からの機材の応援があるにせよである。

果たして神社側より猛烈な反対運動が起こされた。進駐軍の命令とあれば致し方ないが、一民間企業のために社有地を供与する事は出来ないと言う。

また、鞍馬街道寄りの農家の離作または移転を纏めねばならない。ゴルフ場の中央にある京都大学の演習林の移転先も決めねばならない。

これらの用地問題を抱えながら、兎に角、会社設立を見たのは昭和23年1月27日のことであり、社名は「近畿観光株式会社」社長は和辻春樹氏であった。

紆余曲折はあったが、用地解決の見通し——軍の重機協力と会社の設立と、一応体勢は整い、残る問題は資金3000万円の調達であった。

当初の目論みでは、京都側で1500万円、貞市翁側で1500万円という事であったが、折柄新円、旧円の切換えの時期と前後したため、京都側では浜村保三氏の150万円が筆頭であとは微々たるもので、勢い残額の株主募集は貞市翁の負担と



なってしまった。貞市翁は、東京での資金工作に奔走せざるを得なくなり、かねてからの交友関係にあった経済同友会の水野成夫氏（国策パルプ会長）、今里広記氏（日本精工社長）の諸氏の協力を得ることに成功したのだが、それもあくまで友誼的なものでしかなかった。このため貞市翁は自己の私財を売却して資金の一部に充てたのであったがそれらの金額は諺に言う焼け石に水の効果しかなかった。

昭和24年5月25日和辻社長の引退があり、そのあとを貞市翁が受けてから、資金工作の負担は更に重くなった。前記水野、今里両氏との親交を更に深めると共に、銀行関係への折衝も怠らなかつた。三和銀行より高額1500万円の融資が決定したのも丁度この頃であった。

ゴルフを生涯の生き甲斐とした貞市翁のゴルフに寄せる信念は次の様なものであった。

- ゴルフは事業として成り立つ筈のものである
- ゴルフは日本人の気風に添うものであり必ず発展する
- ゴルフは社交の場として、また友誼を深める最上のものである
- 健康的に之に勝るスポーツはあり得ない

などなどであって、貞市翁が持論とした上記の信念は、今見事に実証されている。因みに京都ゴルフ場の会員募集は当初3万円の株主会員で始められたもので、昭和23年7月6ホールズで開場された時の会員数は誠に微々たるものであった。これは、進駐軍のプレーヤーの多いゴルフ場でプレーする違和感がそうしたものかも知れない。

クラブハウスに日米両国旗が掲げられる様になり、18ホールズが完成したのは翌昭和24年8月10日であり、この頃になると日本人のプレーヤーの来場も増えて来た。安保条約が締結され地位協定が実施されるに及んで、第一軍団は京都より姿を消し、京都ゴルフ倶楽部も日本人のもとに戻って来たのであった。貞市翁が



水野成夫氏（1899～1972）
静岡県生れ。国策パルプ会長、文化放送社長、フジテレビ社長、産経新聞社長を務める。経済同友会発起人、日経連常任理事、経団連理事としても活躍。



今里広記氏（1907～1985）
長崎県生れ。日本精工社長、経済同友会代表幹事、日経連広報委員などを務めた。

京都ゴルフ場で試みた新しい発想に「法人会員制」なるものがある。今では致る処のゴルフ場で行われているものであるが、当時としては斬新な試みであったことも特筆すべきであろう。また「会員権の譲渡（書き替え）」も貞市翁がかつて秩父カンツリー倶楽部で創設したものである事を書き加えたい。

その頃の建設事情

芝生について

京都ゴルフ倶楽部上賀茂コースは、新設コースとしては戦後最初のものであった。従ってなにもかもないいづくしで始まったもので、グリーン用の高麗芝はどうか間に合ったが、フェアウエーの芝が問題であった。何しろ大量に必要なので野芝でということになったが、それが入手出来ない。致し方ないのでいわゆる「倍張り」と言って、野芝の目地を随分と広げて張らざるを得なかった。滋賀県八日市の飛行場跡に芝があると聞き、それを入手して裸地の補充をしたのが、昭和25年の事であった。

ブルドーザーで土を削った処へ、客土を余りせずに野芝を張ったフェアウエーだったから、プレーヤーの評判は悪かった。不評を買ったフェアウエーの野芝を高麗芝に取り換えたのは昭和36～37年の事であったが、現在でも1番、7番、16番のホールの一部に、当時の野芝が残っている。

管理機械について

芝生は生長する。生長した芝生の上ではゴルフは出来ない。どうしても芝刈機が必要となる。グリーンは面積が狭いので旧式のモアーで処理したが、フェアウエーはそういう訳にはゆかなかった。大鎌を持った作業員が刈り取るとか、小巾のモアーを一行に並んで刈ってゆくとか、今では想像も出来ない風景であった。

昭和25年になって、軽井沢にギャングモアーがあると聞いて、大枚15万円を出して買って来たのは、久保田グリーンキーパー（現管理本部長）であった。背に腹はかえられなかった事と思う。

また、ホールカッターの直径とホールカップの直径が違っている



当時の張芝工事



ものもあった。今では信じられない事だが、当時ではメーカーが違うと寸法も若干違っていたものである。

ウィンターグリーンについて

京都ゴルフ倶楽部で、ベントグリーンを試みた事がある。当時は、今と違って水銀剤を使用する事が出来たので、一応の成果はあった様に思うが、ベントグラスは6月、7月にブラウンパッチ、ダラスポットなどの病害に患り易く、場所に依っては全滅する様なグリーンも出たものであった。

米軍が持って来たティフトンという芝生に、ライグラスをオーバーシードする様になったのは昭和40年頃からであって、この手法での管理方式が暫く続いたあと、現在では、ベントグラスグリーンに再度戻りつつある。

病害と言えば、京都ゴルフ場のフェアウェーではフェアリーリングとさび病の発生率が多い様だ。殊にさび病の発生率は系列コースの中でも最も多い様だ。

肥料について

当時の肥料として入手出来るものは硫酸とか燐酸・加里といった単体のものばかりで、現在の様に窒素・燐酸・加里を適当に配分した配合肥料などというものはなかった。従って糞尿を薄めて使うこともしばしばであった。

悪臭のためプレーヤーからの苦情も随分あったが、施肥効果は抜群だったので、これらの苦情に頼かむりして強行した事も再三であった。

また、農薬などに就いても、当時は水銀剤の使用が許されて居たので、芝生の病害に対しては昇汞・甘汞などの水銀塩化物が薬剤の主流であった。除草なども人力に依るしかなく、クローバーなどに対しては只刈るだけというものであった。こんな管理方法が許されたのも、プレーヤーの数が少なかったからであろう。

工事名 京都ゴルフ倶楽部上賀茂
コース18ホールズ
新設工事
発注者 観光日本株
工事場所 京都市北区上賀茂本山
工事期間 自 昭和23年5月
至 24年8月
設計者 シェフィールド
請負金 金34,500,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,100 Yd
- (2) グリーン 19,833 m²
- (3) ティーグラウンド 4,752 〃
- (4) フェアウェー 240,422 〃
- (5) ラフ 202,950 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 塩野崎 任
工事担当 久保田伊三郎、久保田栄吉、
田口清美、勢ノ作造、



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	380	370	325	350	195	435	395	525	175	3150	
パー	4	4	4	4	3	4	4	5	3	35	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	350	385	160	485	335	130	385	315	405	2950	6100
パー	4	4	3	5	4	3	4	4	4	35	70

横浜PX 根岸ゴルフコース (24.9~45.6)



**朝鮮戦争
(昭和25年6月25日)**
朝鮮半島は国連軍兵士たちによって、いくたびか“死のローラー”にかけられた。

進駐軍の将兵のための住宅建設が横浜の焼け跡に進められ、それに伴う造園工事の発注が“ひきもきらない”有様で、それらの中で会社が施設したものは十数ヵ所を数える程であった。

また、会社の経歴がゴルフ場を主として居たこともあって、ゴルフ場関係の発注もいろいろあった。米海軍厚木基地内でのゴルフ場造成工事、座間ゴルフ場の造成工事などが次々と

発注される傍ら、軽井沢ゴルフ場、富士ゴルフ場、熱海ゴルフ場、仙石ゴルフ場等のコース維持管理の発注があった。

これら、ゴルフ場に関する工事の殆どを当社が消化して行った事が、旧根岸競馬場内での根岸ゴルフ場経営に連なって行ったのであった。

根岸ゴルフ場は、それまでのいろいろな工事発注が米第8軍よりなされたものと趣を異にして居た。このゴルフ場についての取り極めは、横浜PXと当社が昭和24年取り結んだもので、コンセッション（経営委託）という形で発足した。工事は、米軍のブルドーザーのオペレーター（運転手）の訓練という形で基礎工事



コース風景 (右1番フェアウェー)



コース風景 (左6番フェアウェー)



練習場開場式 (左端安達貞市翁)

の総てを行い、出来上がったものに当社の手で芝を植え、営業を開始するというもので、東京植木の三品氏、フィリピン系二世のモンテ氏などの協力で見事に軌道に乗ったものであった。

ただし、いざ経営となると、来場者が米軍人に限られて居たためか収入が至って少なく、収支償う位がやっとの事であった。この状態は講和条約が整い日米協会々員に門戸が解放されるまで続いた。



クラブハウス

経営が漸く軌道に乗って数年経った或る日、突然PXより呼び出しがあり、「今後は、収入はPXの方で扱い、経常経費だけ会社へ支払う」と云う申し渡しがあり、会社は只コースの芝生の維持管理だけという事になってしまった。

この状態は根岸ゴルフ場が日本政府に返還されるまで続いたのであったが、当社は芝生その他の財産がこのゴルフ場にあった為、歯を喰い縛ってここに残らざるを得なかった。

根岸ゴルフ場の施設の補償請求を国に申し出たのは、その後の事である。

工事名 横浜PX根岸ゴルフコース設立、経営

発注者 横浜PX

工事場所 横浜市中区根岸台

工事期間 自 昭和24年9月
至 昭和45年6月

設計者 安達建設株

経営 安達建設株

工事概要

(1) 9ホールズ 1,552 Yd

(2) グリーン 3,000 m²

(3) ティーグラウンド 900 ㎡

(4) フェアウェー 32,000 ㎡

(5) ラフ 70,000 ㎡

(6) プラクティス・ドライビングレンジ 15,000 ㎡

作業所長 尾形 浩

工事担当 角田三郎、斎藤源太郎、栗飯原金太郎、
根元弘司、椿竜次、椿藤雄

支配人 尾形 浩

事務所 村松秀夫、寺井章一、小島平吉、
石井武雄、横山晃、内山巖太郎、
小滝峯子、峯尾花子

プ ロ 村上儀一、杉本三義



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	161	273	135	125	125	180	122	270	161	1552
パー	3	4	3	3	3	3	3	4	3	29



平山 孝氏



川崎国際カントリー倶楽部 (26.3~27.4)

川崎国際カントリー倶楽部の建設が目論まれたのは、朝鮮戦争が勃発した昭和25年のことであった。終戦後日も浅く、日本経済は疲弊のどん底で喘いでいた頃であった。その様な時に計画されたのがこのゴルフ場であった。日本経済のどこにそんな活力が残されていたのか、今思うと不思議でならない。

用地は、川崎市が登戸に所有する市有地を中心にして、若干の私有地を買収して纏めようというもので、交通公社平山孝氏、金刺川崎市長が発起人代表となり事業は進められた。

貞市翁と平山氏が昵懇であった関係もあり、工事は安達建設に発注される事となった。当時国内にはブルドーザーが無く、土の移動は人力に頼るしかなく、トロッコ、リヤカー等が工事の立役者であった。手造りのコースという意味では、最後のコースとしての存在価値があるといえよう。

このゴルフ場の経営の主体は川崎林園という土地会社であって、この会社は土地保有面積の大半が川崎市であったことから川崎市が主体となっていた。この川崎林園の代表社員が小原台の鑑定書(第三部参照)に連署した佐藤兼蔵氏であり、このあと同氏と新川崎ゴルフ場の設立に乗り出す事になるのである。

設計は井上誠一先生で、先生が安達建設に入社されて初めて設計担当をされた本格的コース設計の第一号作品である。また、後年設計者として名を馳せた富沢誠造氏がグリーンキーパー要員として工事当初より配属されていた。

現地は、700人に及ぶ土方の集団を投入、各飯場が林立し、入墨男をはじめ無頼然とした衆が多く、刀傷沙汰も頻発した。また、食料事情が悪く野荒しなどの

苦情が持ち込まれ対応に苦慮したものである。

世相 朝鮮戦争勃発、李承晩大統領再任（韓国）、金閣寺全焼、NHK「君の名は」始まる

工事名 川崎国際カントリー倶楽部18ホールズ新設工事

発注者 川崎林園株

工事場所 神奈川県川崎市多摩区
区樹形7-1-10

工事期間 自 昭和26年3月
至 昭和27年4月

設計者 井上誠一

請負金 金50,227,787円

工事概要

(1) 18ホールズ 6,500 Yd

(2) グリーン 20,000 m²

(3) ティーグラウンド 6,000 ㍊

(4) フェアウェー 140,000 ㍊

(5) ラフ 150,000 ㍊

(6) 切土量 90,000 m³

(当時は全部人手によるトロッコ運搬であった)

作業所長 塩野崎 任

工事担当 大田重二郎、鈴木正一、渡辺弘、
久保田伊三郎、発知明、古木班、
関沢班、岩淵班、大沢班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	500	390	290	445	390	165	325	525	230	3260	
パー	5	4	4	4	4	3	4	5	3	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	490	400	430	180	425	280	170	515	350	3240	6500
パー	5	4	4	3	4	4	3	5	4	36	72



メーデー事件 (昭和27年5月1日)

投石と棒で襲撃するデモ隊に警官は催涙ガスを投げ、拳銃9発を発射、デモ隊は後退した。

東雲ゴルフ倶楽部 (27.5~27.11)

東雲ゴルフ場は、東雲スポーツセンター（社長川上嘉市）からの受注で、基本設計は井上誠一先生である。

用地は、周辺海の東京都都有埋立地であり、一望葦原であった。敷地の一部は日本の本産業が賃貸借権利を結んで借りていた。その土地は、終戦後は米軍に接収されて演習場として使われ、二年後には解除となっていたのである。

造成工事のための機材が現場に入ると、突然日本の本産業から不法侵入であるとの告訴があった。確かにそこには建物もあり居住者も居たが、ほとんど空き家で荒れ果てていた。

当時、毎日新聞に「もめる社交場の敷地、工事会社を相手に訴え」等の記事が掲載された。その後示談となって工事を続行することが出来た。

開墾抜根に苦労を重ね整地張芝を行ったものの、次々と蘇生する葦の生命力に驚き悩まされたものである。また、一雨毎に露出する貝殻の整理に大童であった。

この工事の途中に、社員平山金輝はじめ数人の退社があり、これ等が新会社を作り、残った工事を続行するという異常事態が起こった。我々はオープンを見ることなく現場員、機材を新会社に移譲して無念の撤退をした。

人心虚しいと言うか、渦中の人の多くは世界されて言うべき言葉もない。かえすがえすも痛恨事であった。

工事場所 東京都江東区有明2-2-22

工事期間 自 昭和27年5月
至 昭和27年11月

設計者 井上誠一

請負金 金13,000,000円

作業所長 鈴木正一

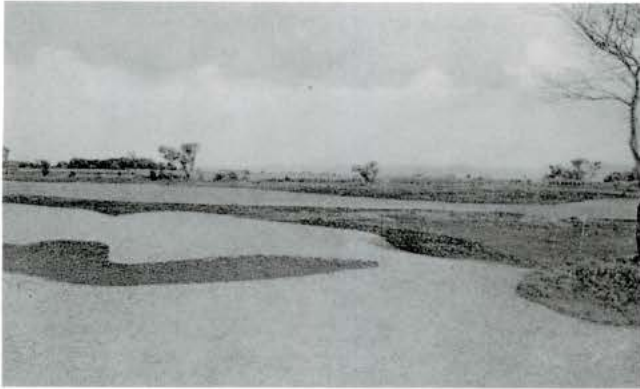
工事担当 堀江利重、神田実、片桐一男、渡部安久、青柳班

世相 メーデー事件、白井義夫ボクシングワールドチャンピオンとなる

小原台ゴルフ場 (24.3~28.2)

横須賀を過ぎ、海岸寄りに進むと観音崎灯台がある。この灯台の裏手の丘陵約30万坪が小原台である。昭和23年9月、横須賀海軍基地司令官デッカー大佐より大田市長宛一通の書面が届いた。「近々小原台地区は接収解除になる。就いては同地区を観光開発されたい」旨の申し入れであった。この書面は貞市翁の事業人生を狂わせ兼ねないものであった。事実、この日より昭和29年5月、保安庁との和議成立迄の5年間は小原台に翻弄された日々が続いたのである。

大田市長よりの懇談を受けた貞市翁は、ゴルフ場に依る観光開発を主眼として、計画、実施、経営に関しては会社が担当し、用地の提供は司令部及び市当局に於い



No.1フェアウェー及びNo.4
アプローチ



No.4ショートホール、グリーン
及びNo.9フェアウェー

とするという合意を成立させた。諸手続が終わった昭和24年3月、工事に着工すると直ぐ事件が起きた。地元農民と共産党員の反対である。この日より昭和29年撤退の日までの5年間は事件に次ぐ事件の連続であった。以下主だったものを並べて見る。

地元農民と共産党の反対

横須賀市長が協力者より離脱

朝鮮事変の勃発

米本国より小原台に無線基地設置の命令あり

米極東海軍要員の住宅候補地に指定される

対日講話条約の成立に依り用地使用不可能となる

以上は、昭和24～29年の間に発生した主な事件だけであるが、この何れを採っても短時間に解決出来るものではなかった。漸く、アウトコースの造成が終わったところで、保安大学からの申し入れがあったのである。貞市翁としては代替地の斡旋と、今までの工費の補償を考えたが、結果は無残なものであった。1億3千7百万円の補償請求に対して認定されたものは4千5百万円でしかなかった。地上権が十分に認められなかったのが痛手であった。

しかし、代替用地として茅ヶ崎市東海岸の神奈川県有地を借用出来る事になったのは、せめてもの償いであった。

代替ゴルフ場用地として斡旋された区域は、現在の茅ヶ崎ゴルフ場区画とこれに続く藤沢市の塵芥処理場（現在住宅用地と公園になって居る）の一角であったが、この二つの区域の間には県道があり、これを横切るにはトンネルしかないという事で、藤沢市側の土地使用を放棄したいきさつがある。



井上誠一氏（中央）



コース造成直後

愛知カンツリー倶楽部東山コース (27.11~28.11)

名古屋市千種区郊外東山緑地内に、昭和27年初頭より愛知県庁土木部の直営工事として建設が始まった。当時、ブルドーザーは稀に見る存在であったが、愛知県土木部より、試運転の形で投入されていた。

大概の土工事はブルドーザーで、其の他はトロッコで行った。

設計は井上誠一先生で、東雲を撤退した我々は、是非とも此の仕事の一端を担うべく、井上先生宅に日参したものであった。やっと井上先生からの推薦を得て、当時の土木部大津所長に会ってグリーン・ティーの造形工事を受注した。其の後、



張芝工事に新会社が入り、東雲で別れた元同僚と工事を分ちあって相見える仕儀となった。苦渋の時代で色々とトラブルも重なり、苦難に満ちた日々であった。造形仕上げはトロッコに依る搬出入であるため、千葉から牧野班を招いて飯場を建て、職員は民家の納屋に定住した。風呂はドラム缶で、炊事は戸外である。1週間玉葱だけの生活が続いたこともある。

飯場人夫と地元青年団の言い争いもあったが、飯場側が大敗したことによって以後ことなきを得た。作業の拡大につれて作業員が不足となり、やむなく名古屋刑務所より模範囚の刑余者の応援を受けて、対処したことがあった。

世相 スターリン死去、朝鮮戦争休戦調印、パチンコ狂騒の始まり、第一次鳩山内閣成立



平成5年の現況



**スターリン死去
(1879~1953)**

ロシア革命を指揮した一人。レーニンの後30年以上もソ連共産党の書記長として実権を一手におさめた。晩年は、個人崇拝と、大粛清などにより「スターリン批判」が行われた。

工事名 愛知カンツリー倶楽部東山コース一部新設工事

発注者 (社)愛知カンツリー倶楽部

工事場所 名古屋市名東区猪高町大字高針字山ノ中20-1

工事期間 自 昭和27年11月
至 昭和28年11月

設計者 井上誠一

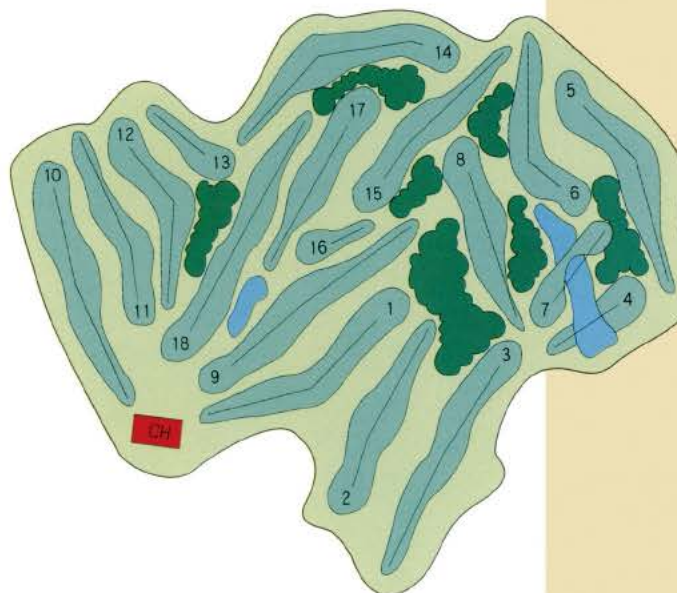
請負金 金2,539,445円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,907 Yd
- (2) グリーン 12,600 m²
- (3) ティーグラウンド 8,100 ㎡
- (4) フェアウェー 別工事
- (5) ラフ 別工事
- (6) 切土量 別工事

作業所長 久保田伊三郎

工事担当 田中正直、
新井松夫、
牧野班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	483	392	541	174	445	336	201	376	506	3454	
パー	5	4	5	3	4	4	3	4	5	37	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	483	323	400	221	539	337	151	453	546	3453	6907
パー	5	4	4	3	5	4	3	4	5	37	74

新川崎ゴルフ倶楽部 (29.7~30.2)

多摩川の河川敷には、六郷ゴルフ場の対岸に川崎ゴルフ倶楽部というコースがあった。このコースは昭和9年に開場したもので、コースの距離が長く、且つ都心に近いという事で、近隣のゴルファーに親しまれて来たが、戦争勃発と共に解散のやむなきに至った。

戦時中、このコースは農地となっていたが、度重なる河川の洪水のため食糧増産には仲々結びつかなかった。

戦後昭和27年、この河川敷を再びゴルフ場にと云ったのは川崎市の顧問弁護士佐藤兼蔵氏であった。佐藤氏と貞市翁とは小原台や川崎国際ゴルフ場以来の知己であり、話は当然の様にして貞市翁の処へ来た。その時の佐藤氏の申し入れは共同経営と云うことであった様で、貞市翁は自分の代りに安達建設を出すと云うことで話は決まった。

新川崎ゴルフ場の発足までの経緯は以上の様な次第であったが、ここで貞市翁は、彼の後半生に大きな役割をした柿沼エイ氏と出会うことになる。そのいきさつはこうである。小原台で関係のあった参議員議員大隅憲二氏は、議員食堂の経営者柿沼氏と面識があった。新川崎ゴルフ場では食堂を誰に委託するか迷っていた。これを聞いた大隅議員は、柿沼氏と相談して川崎市で食堂を経営して居る竹内氏を推すことにした。こうして上記の五名の人が顔合わせを行ったのが、貞市翁と柿沼氏との最初の出合いで、此の貞市翁と柿沼氏との結びつきが、後年都民ゴルフ場から茨城ゴルフ場の建設に繋がるのである。

農地の離作補償も予算内で解決が出来た。工事も河川敷のこととて至って順調に進んだ。クラブハウスは、前記川崎ゴルフ倶楽部のものを改修して使う事にした。会員の募集も殊の外順調に進んだ。こうして新川崎ゴルフ倶楽部は昭和30年5月開場の運びとなったのである。佐藤氏と貞市翁の間の当初の取り決めは、10年を限って共同経営という事であったので、昭和38年安達建設は新川崎より離れたのであったが、昭和40年になって、神奈川県庁より上流9ホールズ分の敷地の返還を求められる事になり、事後は9ホールズでの経営となった。その後、県からの申し入れがあり、国道より上流の敷地を返還せよと言う。これではゴルフ場の経営は覚束なくなるので係争問題に迄発展したが、示談となり、現在では国道下流の敷地に練習場と9ホールズを設置した経営となっている。

工事名	新川崎ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事
発注者	新川崎ゴルフ倶楽部株
工事場所	川崎市幸区小向仲野町
工事期間	自 昭和29年7月



**ビキニ島水爆実験
(昭和29年3月1日)**

ビキニ諸島で操業中の第五福竜丸は、アメリカの水爆実験に遭遇。“死の灰”をもろにかぶった。



旧クラブハウス

至 〃 30年2月

設計者 鈴木正一

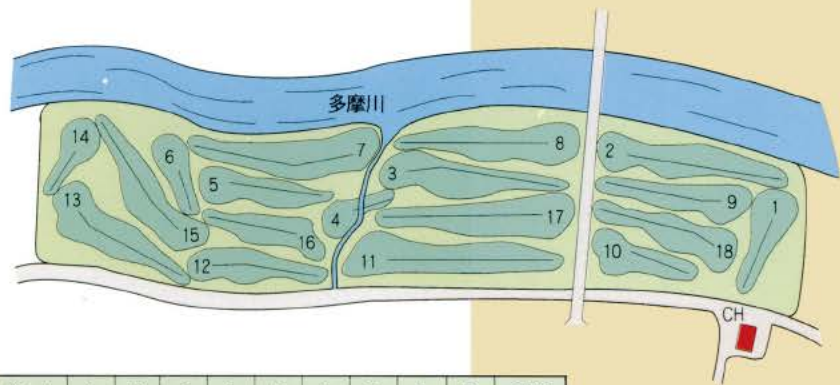
請負金 金20,200,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,027 Yd
- (2) グリーン 3,944 m²
- (3) ティーグラウンド 900 〃
- (4) フェアウェー 14,025 〃
- (5) ラフ 18,216 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 菊池 治

工事担当 大田重二郎、鈴木正一、久保田伊三郎、田中正直、新井松夫



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	190	465	420	100	350	150	580	429	320	3004	
パー	3	4	4	3	4	3	5	4	4	34	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	185	429	340	400	202	507	160	455	345	3023	6027
パー	3	4	4	4	3	5	3	4	4	34	68

東京都民ゴルフ倶楽部 (30.2~32.2)



安達貞市翁

兼ねてより貞市翁は、世田谷の砧にゴルフ場を作る構想を持っており、東京都建設局長石川栄耀氏は良き相談相手であった。砧にゴルフ場を作る目論見を東急電鉄が知るに及んで、この計画は東急に先を越される結果となった。

石川局長はこの結果に同情し、その頃、同局長等が進めていた荒川河川敷でのゴルフ場計画を紹介した。この用地は学士会ゴルフ場の跡地で、戦争のため荒れるに任せた状態であった。それは昭和28年頃の事であった。当時の足立区長大山雅二氏は嘗ては東京都に職された事もあり、石川局長とは同僚の仲であった事より、話は順調に進んだ。「足立区ゴルフ場運営委員会」が設けられ、当時としては画期的な、大衆ゴルフ場の開発が進むことになるのである。



年が明けて昭和29年頃より、着工前の仕事として離作補償に取り組む事となり、足立区からは津留土木課長、足立区会より畑三郎氏がこの取りまとめに尽力された。離作問題が解決した昭和30年に、都民ゴルフ場の建設が始まるのであるが、36ホールズを完工するまでに4年の歳月を必要とし、また、その後用地返還、用地変更など目まぐるしい変化を辿って現在に至っている。その経緯は次の通りである。

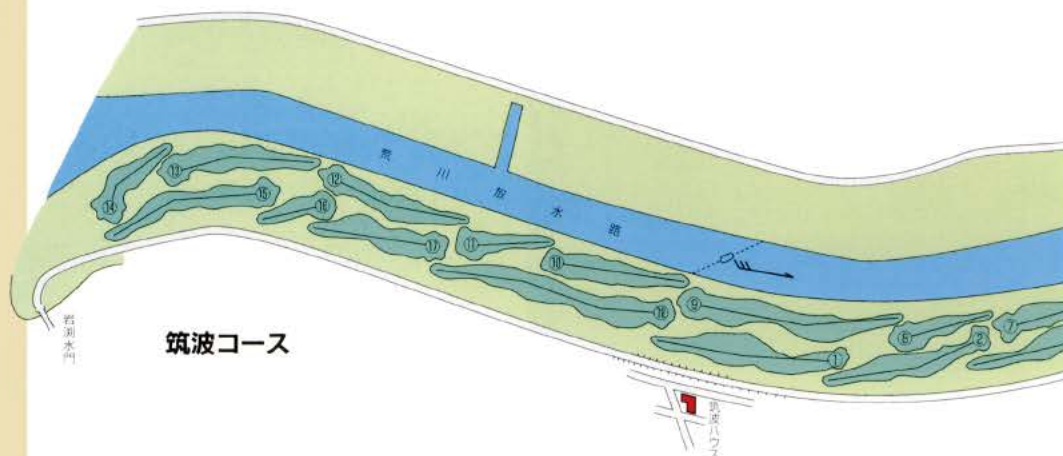
富士コース	9ホールズ開場	昭和31年2月
	18ホールズ開場	〳 32年9月
筑波コース	9ホールズ開場	〳 32年10月
	18ホールズ開場	〳 33年5月

コースの返還

富士コース	イン9ホールズ(対岸)返還	昭和41年9月
	アウト9ホールズ返還	〳 44年3月
筑波コース	コース一部返還	〳 37年9月
	上流の一部返還	〳 48年2月

この様に、開場ー返還ー縮小という経過を歩んで、現在は筑波コース18ホールズが残っている。

日観興業にとって、都民ゴルフ場の存在意義は極めて大きい。それは後年茨城



ゴルフ場の誕生に当たっての役割りを考えると、都民ゴルフ場という足掛りが無かったならば、茨城ゴルフ場も額田ゴルフ場も安達建設グループの中には存在しなかったかも知れぬと極言出来るからである。

因みに、前記各ゴルフ場は現在公園緑地として都民に開放されている。

工事名 東京都民ゴルフ倶楽部富士コース
18ホールズ新設工事

発注者 日観興業株
工事場所 東京都足立区宮城町2丁目地先
工事期間 自 昭和30年2月
至 〃 30年10月

設計者 上田 治
請負金 金11,430,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 5,517 Yd
- (2) グリーン 9,375 m²
- (3) ティーグラウンド 2,988 〃
- (4) フェアウェー 126,000 〃
- (5) ラフ 185,000 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 菊池 治
工事担当 渡辺弘、高村定治、久保田伊三郎、古木班

工事名 東京都民ゴルフ倶楽部筑波コース
18ホールズ新設工事

発注者 日観興業株
工事場所 東京都足立区新田1-15-1
工事期間 自 昭和31年2月
至 〃 32年2月

設計者 上田 治
請負金 金36,100,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 4,910 Yd
- (2) グリーン 11,835 m²
- (3) ティーグラウンド 4,724 〃
- (4) フェアウェー 111,000 〃
- (5) ラフ 166,888 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 久保田伊三郎

富士コース

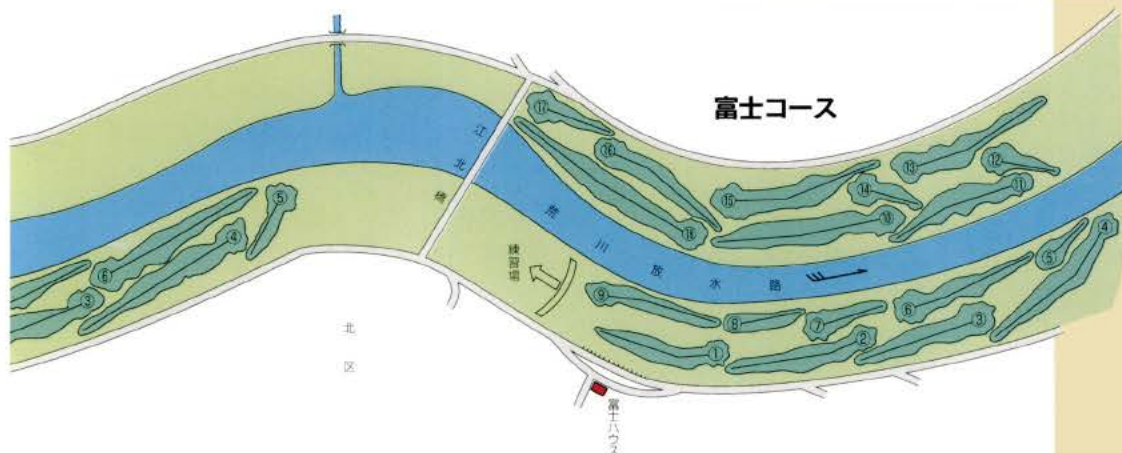
ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	370	365	290	420	110	310	152	180	320	2517	
パー	4	4	4	4	3	4	3	3	4	33	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	400	420	155	395	165	365	370	210	520	3000	5517
パー	4	4	3	4	3	4	4	3	5	34	67



昭和32年富士コースのイン9ホールズが対岸に完成。プレーヤーが船で渡る。

筑波コース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	180	300	395	175	310	200	180	360	600	2700	
パー	3	4	4	3	4	3	3	4	5	33	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	165	160	320	150	495	125	310	155	330	2210	4910
パー	3	3	4	3	5	3	4	3	4	32	65





佐藤儀一氏と成宮喜兵衛氏（右）



白浜ゴルフ倶楽部 (30.11~31.6)

白浜のゴルフ場受注のきっかけを作ったのは、当時京都ゴルフ場のキャプテンであった成宮喜兵衛氏であった。コース設計が佐藤儀一先生で、先生と成宮氏の間柄はゴルフを通じてのものであった。

話は遡るが、佐藤先生は昭和10年頃帰国されたもので、在米中は米国西海岸での屈指のゴルフプレーヤーであり、帰国後もその技倆は衰える事がなかった。先生が帰国される迄は、関西の名門ゴルフ場の競技は成宮氏が独占していたが、先生の帰国後はこの地図が一変した。致る処で佐藤一成宮の決戦が行われ、どちらかといえば先生に歩のある結果で終わっている。佐藤先生と成宮氏の関係はそんなことであった。

白浜ゴルフ場は、前南海電鉄社長寺田氏、南紀地方を走る明光バス社長小竹氏等が発起人となって、現白浜開発社長田中一也氏を擁して発足したもので、白浜景勝の地、平草原が用地と決められた。

安達建設のその頃は、平山事件のあおりのため、東京近郊では工事の受注が意に任せない状態で、勢い関西地方に目を向けていた時期でもあり、白浜ゴルフ場の工事発注を受けた事は、地方進出の第一歩として意義の深いものであった。

安達建設はその後、広島、松山、若松と受注を得て、逐次関西、中国、四国、九州、中京各地に進展して行くのである。

当時は、国土開発から専ら賃貸で重機を借りていた。此処ではキャタピラーD-7（ワイヤー式）を1台のみ投入、酷使したので、後半はキャタピラーもエンジンも摩耗して遂にはスクラップ状になるまで使い果たした。

平草原の一部は、昔、錫の採掘場であつたらしく、随所に「羊歯」と「浜木綿」

に覆われた堅坑が在って、作業に危険なことが屢々あった。また5番、6番ホールには岩石が壘々として、重機を受けつけず往生したものである。

工事の困難に比べて、現場生活は快適で、風光明媚の南紀の海を眺めながらの作業や、夜はランプの灯かげに、ドラム缶の風呂で満天の星を眺めての風情はひとしおであった。

眼下は湯の街、紅灯艶めかしく将に桃源郷であった。

白浜コースのオープンのみぎり、高松宮、同妃殿下のテープカットがあって、メダリストに佐藤儀一先生がなられ、オープニングカップを手にされた。

初代の支配人は、往年のアマチュアレディスチャンピオンの伊沢鈴子女史である。

世相 一円アルミ硬貨発行、ソニー初のトランジスタラジオ発売、流行語「もはや戦後ではない」、石原慎太郎「太陽の季節」、谷崎潤一郎「鍵」発刊

工事名 白浜ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事

発注者 白浜開発株

工事場所 和歌山県西牟婁郡白浜町

工事期間 自 昭和30年11月

至 31年6月

設計者 佐藤儀一 請負金 金24,240,000円

工事概要

(1) 18ホールズ 6,110 Yd (2) グリーン 6,257 m²

(3) ティーグラウンド 6,006 m² (4) フェアウエー 101,930 ㎡

(5) ラフ 124,330 ㎡ (6) 切土量 別工事

作業所長 鈴木正一 **工事担当** 久保田伊三郎、田中五郎、田中正直、滝島平八郎



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	395	380	175	490	430	140	485	185	480	3160	
パー	4	4	3	5	4	3	5	3	5	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	325	290	350	285	490	220	380	480	130	2950	6110
パー	4	4	4	4	5	3	4	5	3	36	72

茅ヶ崎ゴルフ倶楽部 (31.9~33.2)

小原台の代替地として用意されたのが、現在の茅ヶ崎ゴルフ場で、これは県有地の借用という事で発足したものであった。シーサイドリンクスといった環境に恵まれたこの用地を活かすには経験のある設計者に依頼するという事で、上田治先生の設計という事になった。

先生は、茅ヶ崎コースと同じ様なシーサイドコースを福岡県の古賀ゴルフ場で経験しておられる事より、工事仕様は先生の御意見に従う事とした。古賀での施工方法と異っていたところは、古賀が全面30cmの客土をして、その上に芝を張ったのに対し、茅ヶ崎では客土したものを砂と攪拌した点が違っていた。工事は昭和31年に始まり、翌32年春には終了していたのであるが、砂地に造成したこともあって大事を取り、開場は昭和32年11月17日、高松宮様、内山県知事等名士多数を集めて盛大に行われた。

高麗芝は年に一度緑色を失なう。冬季間光合成が行えないので生長を止め休眠するのである。しかし、茅ヶ崎の場合は下が砂地である事より、盛夏の時期にもこの様な状態が起きた。これは水不足のためである。コースの全面撒水に踏み切ったのは、日野ゴルフ場の建設が行われている頃の昭和47年で、この設備をした事で芝生の状態が著しく向上した。

現地一帯は砂防林で、樹齢10年位の赤松が点在するなだらかな砂丘であった。設計の上田先生は、殊の外、このリンクスランド風の地形を佳しとされて、設計意欲を増して居られ、頻繁に踏査された。

近隣は、砂地ばかりで、随分遠方から客土用土を採取した。トラック運搬は昼夜兼行で、場内に米軍払下げの滑走路用のポータブルプレートを沢山調達して搬入した。

現在の4番ショートホールは当時茅ヶ崎市の塵芥処理場であったが、客土を積み上げて造成し、前方の湿地を掘り下げたところ湧水したので自然の池となったものである。

当時は、近くの海岸で、時折地曳網漁が行われ、大漁の折は現場の食生活に大いに役立ち、作業員は舌鼓を打ったものである。



上田 治氏 (右)



世相 アメリカ大統領にアイゼンハワー再選、石橋内閣退陣、岸内閣成立、砂川事件



工事名 茅ヶ崎ゴルフ倶楽部 9 ホールズ新設工事

発注者 観光日本株

工事場所 茅ヶ崎市菱沼海岸

工事期間 自 昭和31年 9月
至 昭和33年 2月

設計者 上田 治

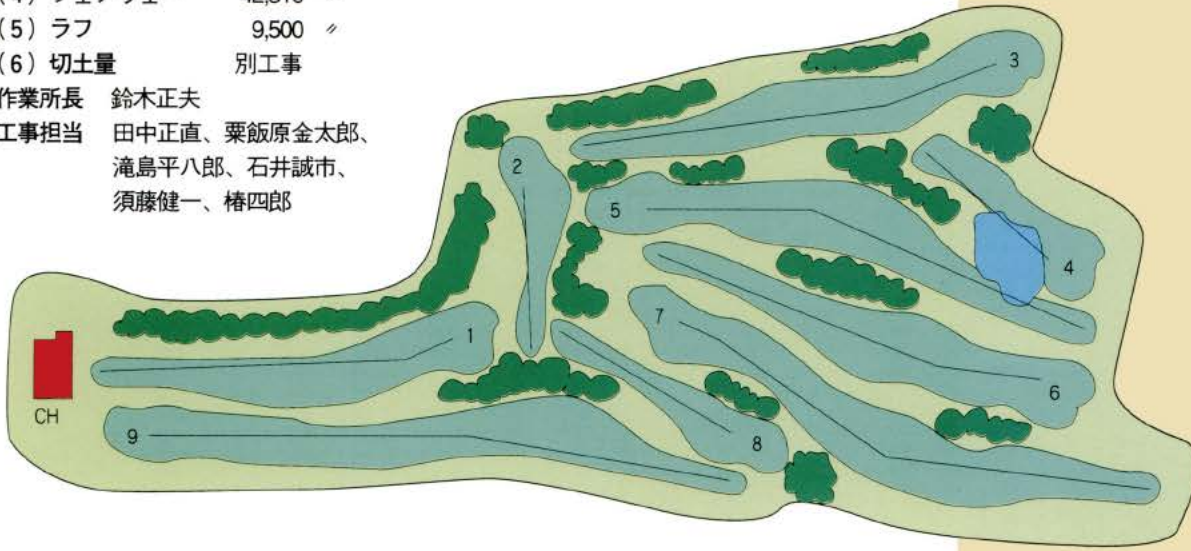
請負金 金40,489,000円

工事概要

- (1) 9ホールズ 3,025 Yd
- (2) グリーン 6,613 m²
- (3) ティーグラウンド 1,925 ♪
- (4) フェアウェー 42,310 ♪
- (5) ラフ 9,500 ♪
- (6) 切土量 別工事

作業所長 鈴木正夫

工事担当 田中正直、栗飯原金太郎、
滝島平八郎、石井誠市、
須藤健一、椿四郎



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	340	150	390	165	420	350	480	210	520	3025
パー	4	3	4	3	4	4	5	3	5	35

樟葉パブリックゴルフコース (32.3~33.7)



樟葉パブリックゴルフ場は、京阪電鉄（社長今田栄作氏）よりの受注で、設計は長谷川岱次氏（元満鉄星ヶ浦GC会員、当時大阪茨木GC管理部長）である。

桂川、木津川、宇治川の合流点近くの河川敷で、一帯は葦繁る平坦地である。工事中も、洪水となって水没することも度々であった。

往時はひなびた田舎で、一望の田畑のみであったが、現在は素晴らしく都市化され、コースも早春を飾る国際オープン戦等が企画され、大阪近郊のパブリックコースとして、盛業を極めて居る。

当時、作業要員が少なく、作業能率が低下していたが、折しも売春防止法が議会で可決となって成立し、近くの橋本遊廓も閉鎖を余儀なくされていた。そこに従事する男女多数が現場に作業員として応援して呉れることになった。

娼妓が張芝を行うなど前代未聞のことであった。



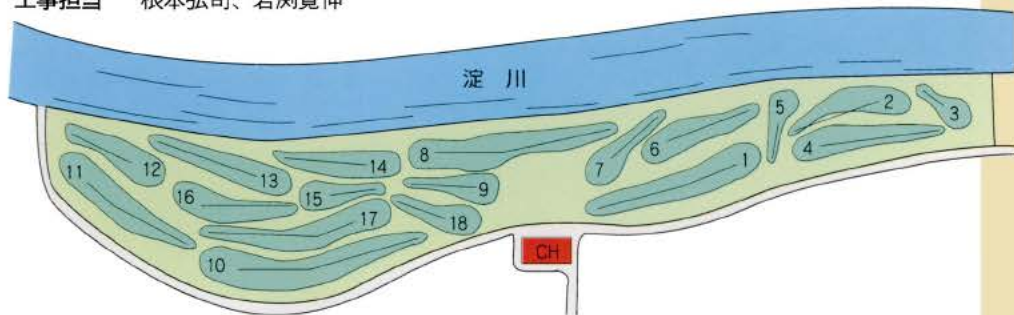
工事名 樟葉パブリックゴルフコース新設工事
発注者 (株)樟葉パブリックゴルフコース
工事場所 大阪府枚方市楠葉花園町14-2
工事期間 自 昭和32年3月
 至 昭和33年7月

設計者 長谷川岱次
請負金 金4,396,875円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,130 Yd
- (2) グリーン 15,048 m²
- (3) ティーグラウンド 5,049 ㍊
- (4) フェアウェー 143,814 ㍊
- (5) ラフ 0 ㍊
- (6) 切土量 別工事

作業所長 菊池 治
工事担当 根本弘司、岩淵寛伸



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	527	326	144	368	136	383	301	569	172	2926	
パー	5	4	3	4	3	4	4	5	3	35	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	561	360	208	389	363	213	358	577	175	3204	6130
パー	5	4	3	4	4	3	4	5	3	35	70



東京タワー
 (昭和33年12月18日)

東京タワーは、パリのエッフェル塔(320m)を抜いて世界最高の高さ(333m)の鉄塔として登場したが、モスクワのテレビ塔(533m)が完成して、トップの座を明け渡すことになった。





コース全景

森林公園ゴルフ場 (32.4~32.8)

瀬戸森林公園敷地内に、県営（当時）のパブリックコースを運営することになり、愛知県庁（知事桑原幹根氏）農林部の管轄のもとに設計は上田治先生と決定した。その頃は、ゴルフコース建設工事に堪能な業者が見当たらないということで、上田先生の推挙に依り、特命工事としてファースト9ホールズ（第一期）を受注した。

当時は、愛知県が誇るゴルフパークとして、県立のパブリックコースとしては全国に2ヶ所（他は雲仙）のなかの1つとして著名であった。

先に、東山緑地内の愛知カンツリー倶楽部を県の土木部が、統括工事したこと、井上誠一先生が設計されたこと等もあって、県農林部及び上田治先生は一層の対抗意欲を燃やして対応された様である。

第二期、第三期、第四期と日を置いて発注になり36ホールズが完成した。

当社は、いずれも競争入札に指名されながら、地元業者優先ということもあって競争激しく、受注には至らなかった。

森林公園は、当時は名古屋の中心から数時間を要し、交通もまことに不便であった。諸施設も野球場、乗馬クラブがあったのみで、面積は広いが、今で言う森



岸内閣誕生（昭和32年7月10日）

岸内閣は体制を固めるため、財界から藤山愛一郎を外相として起用するなど、異色の人事をして注目を集めた。

林浴と遊山の地であった。ゴルフ場が開設されてから高速道路も開通し、今では年間のプレーヤーの数は10万人を超える盛況である。

世相 一万円札発行、岸内閣誕生、砂川事件

工事名 森林公園ゴルフ場9ホールズ新設工事

発注者 愛知県

工事場所 愛知県尾張旭市大字新居 5182-1

工事期間 自 昭和32年4月

至 昭和32年8月

設計者 上田 治

請負金 金13,694,000円

工事概要

(1) 9ホールズ (東アウトコース) 3,425 Yd

(2) グリーン 6,300 m²

(3) ティーグラウンド 5,400 ♪

(4) フェアウェー 61,600 ♪

(5) ラフ 120,000 ♪

(6) 切土量 別工事

作業所長 久保田伊三郎

工事担当 鈴木正夫、栗飯原金太郎、田中正直、
滝島平八郎、内藤



破線部分は他社施工

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	430	170	370	525	205	435	385	415	490	3425
パー	4	3	4	5	3	4	4	4	5	36



松山ゴルフ倶楽部川内コース (32.7~39.7)

ゴルフコース設計者として評判の高かった上田治先生に知己を得たのは都民、茅ヶ崎の折であった。先生の御納得のいく様な仕事をする事で、当社は先生の厚い信用を得る事が出来、そのお陰でその後のいろいろな工事の斡旋をして戴いたものであった。

松山ゴルフ場の工事は、その初期のものであった。

この工事は、9ホールズずつ2回にわたって施工されたもので、第1期が昭和32年、第2期が昭和38年ということで、第1期と第2期の間にかなりの時間があつた。このわけは用地が仲々まとまらなかったためである。

第一期工事（9ホールズ）

当初は外注工事が増えて、工事要員が手薄であったため、岡、椿両氏のみの赴任であった。岡、椿両氏は工事の初陣であり、それに加えて、横浜から三橋組を投入したが、これもまた初陣であった。主要工事は地元業者の協力を得、重機は国土開発より賃借した。

孤軍奮闘していた岡勇氏は工事中、不慮の死を遂げたが、快男子かえすがえすも痛恨事であった。有為の人材を失なった。

街道筋の民家を借りて事務所開きをした。隣家が、日野ツギ（現渡辺）さん宅で、岡氏の葬儀を含め公私共色々な援助を受けた。

第二期工事（9ホールズ）

当初の予定地が入手不能となった為、より険しい地形に挑戦することになった。当時としては、9ホールズ50万m²を越す土工量は難工事であった。いかに用地が険阻であったかが知れる。雨量も多く、思えば今も慄然とする。

特に、38年2月麓の瀧見茶屋に投宿しての雪と寒さは殊の他厳しく、伐採測量中の駐留員は凍えて眠れぬ夜が続いた。また11番ホールのティーグラウンドの真



下に民家があり、その他にも土砂崩壊の危険地域が多発し、このための対策に懸命であった。特に昼夜にわたる集中管理と処置については、重岡主任の責任感と熱意に負うところが多い。防災に関しては四国電力のOBの鶴田氏の指導と適切な助言が忘れられない。

一期、二期にわたって、支配人の故相原隣仁郎氏に格別の恩顧を戴いたが、その清廉潔白、峻厳な人柄は古武士の如く、明治男の一徹さに敬服したものである。

世相 三池争議、60年安保、ケネディ暗殺、公明党結党

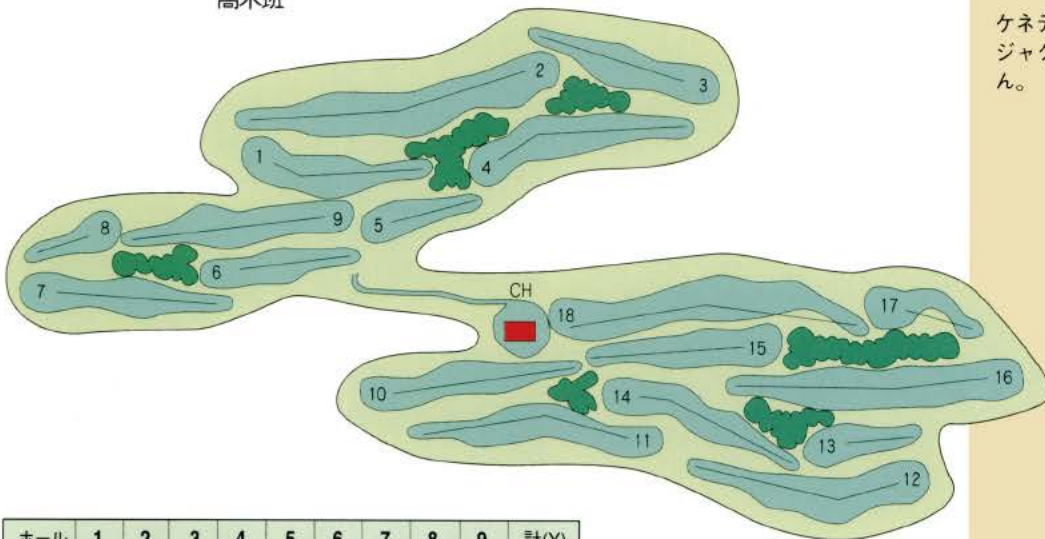
工事名 松山ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事
発注者 松山観光ゴルフ(株)
工事場所 愛媛県温泉郡川内町大字松瀬川乙997
工事期間 (1期)自 昭和32年7月 (2期)自 昭和38年2月
 至 〳33年10月 至 〳39年7月

設計者 上田 治
請負金 金157,240,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,581 Yd
- (2) グリーン 13,230 m²
- (3) ティーグラウンド 6,300 〳
- (4) フェアウェー 204,013 〳
- (5) ラフ 170,580 〳
- (6) 切土量 969,370 m³

作業所長 第一期 鈴木正一 第二期 安達禮三
工事担当 第一期 岡勇、椿藤雄、栗飯原金太郎、田中正直、広石、三橋班、細川班、松川班、松本班、国土班
 第二期 重岡頼利、寺井章一、栗飯原金太郎、川本班(鄭)、細川班、松川班、高木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	376	535	371	420	201	306	375	166	450	3200	
パー	4	5	4	4	3	4	4	3	4	35	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	391	460	450	168	356	319	495	175	567	3381	6581
パー	4	4	4	3	4	4	5	3	5	36	71



ケネディ暗殺
 (昭和38年11月22日)

ケネディ大統領の棺の前にひざまづくジャクリーヌ夫人とキャロラインちゃん。

京都ゴルフ倶楽部舟山コース (32.11~36.12)

京都上賀茂コースの建設が終わり、小原台事件も結着し、茅ヶ崎ゴルフ場の建設に忙しかった頃の貞市翁は京都滞在が多かった。上賀茂コースへの執着が人一倍大きかった故であったろうか。そんな或る日、井上議員（前京都市長）より、もう一つ京都にコースを作ったらどうかとの話が雑談の中に出たという。

そんな事が契機となったのか、或いは事業欲の旺盛な人柄であっての事か、貞市翁の新しいコースの土地探しが始まったのは昭和30年頃であった。

宇治黄蘗山の用地は、文化遺跡があるとのことで見送ることとなり、大山崎一帯は竹藪ばかりで適地ではなかった。折も折、進駐軍が上賀茂コースを選ぶ前の候補地とした西加茂一帯が候補地として浮び上がった。船山に登って用地を見渡すと、何とか物になりそうだと感触が得られたので、貞市翁の心は決まった。

当時は西加茂用地と賀茂川の間は一面に田畑で埋まっており、その中に民家が点々と散在するといった環境で、用地買収も案外と順調に運び、昭和32年11月、工事は着工された。

ところが、思わぬ事態が生じた。というのは、地元の協力者であった藤井京都市議員と右田市議の政争の渦に貞市翁の事業が巻き込まれた事であった。工事に違反はないか、水利権の侵害はないか、藤井市議との間に金銭の授受があったのではないか、などの嫌疑のため、検察の手が延びて来たのはこのためであった。このため貞市翁は取調べを受ける事になったのであるが、事件となる様な事実は何も出なかった。しかし、この間工事は中断されており、再開されたのは昭和34年3月の頃であった。

クラブハウスの位置の選定も難渋を極めたもので、最初は正伝寺の入口を改装してこれを使おうとの案であったが、正伝寺との折り合いがつかず、止むなく霊源寺の敷地を通る



安達貞市翁現地指導



安達貞市翁現地踏査

現在の進入路を選ばざるを得なかった。コースの中央にクラブハウスを置きたいという貞市翁の夢は遂に実現できなかった許りか、開場後もゴルフ場と正伝寺はことごとにいがみ合う日が続いたものであった。

途中で一頓挫した、このゴルフ場作りであったが、久保田グリーンキーパーのたゆまぬ努力とあいまって、このコースは昭和37年1月朝霞宮を迎えて賑々しく開場の運びとなったのである。

工事名 京都ゴルフ倶楽部舟山コース18ホール新設工事
発注者 観光日本株
工事場所 京都市北区西賀茂船山町
工事期間 (第1期) 自 昭和32年11月 (第2期) 自 昭和36年3月
 至 〃 33年7月 至 〃 36年12月

設計者 上田 治
請負金 金151,332,752円

工事概要

(1) インコース	2,575 Yd (第1期)	アウト 2,690 Yd (第2期)
(2) グリーン	6,600 m ²	5,280 m ²
(3) ティーグラウンド	1,914 〃	1,650 〃
(4) フェアウェー	108,372 〃	56,430 〃
(5) ラフ	61,215 〃	40,342 〃
(6) 切土量	146,987 m ³	5,478 m ³

作業所長 第一期 久保田伊三郎 第二期 重岡頼利
工事担当 第一期 鈴木正夫、田中正直、滝島平八郎、瀬戸島四郎、
 山下班、国土班、野間班、海老原班
 第二期 古木班、高木班、野間班、山下班、中辻班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	240	365	195	487	415	148	320	355	165	2690	
パー	4	4	3	5	4	3	4	4	3	34	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	350	130	365	395	110	230	445	355	195	2575	5265
パー	4	3	4	4	3	4	4	4	3	33	67



カナダカップ日本チーム優勝 (昭和32年10月)

中村寅吉氏カナダカップの優勝パレード (JGA年史より)

若松ゴルフ倶楽部 (33.3~34.5)



この工事は、一期（乙丸地区）、二期（有毛地区）、に分かれて居た。その理由は、インコースは海岸に面しており、その一部が玄海国定公園に入っていたので、許可が遅れたからである。設計者の上田先生は、戦前古賀ゴルフ場のファースト9ホールズを設計されたのであるが、この頃、古賀のセカンド9ホールズの設計を担当されたこと等からして、黒崎窯業の松本社長と懇意であった様で、松本社長―上田先生―安達建設の線で工事の受注をした。

当時、支配人として所属された矢野五六氏は、以前は門司ゴルフ倶楽部の支配人を永く務めておられた。門司は、上田先生の第一号の設計作品であり、その頃からの支配人であった。また、門司のグリーンキーパーの柴田和生氏は上田先生の薫陶をうけた人で、従って、矢野、柴田両氏の口添が工事受注に幸いした事と思う。

若松は、遠賀川の下流に位置して居り、名にしおう“遠賀川の川筋男”と別名される程気性の荒い処であった。

最初の試練は、起工式の日に起きた。式が終わったあと、鈴木所長が茶碗酒を無理強いされ、挙げ句の果ては戸板に乘せられて帰って来ると一幕があった。

若松は、洞海湾の荷揚衆が“花と龍”さながらに狭気を競って居たのである。この時はじめて、高木工務店が協力業者として参加したのであるが、博多の業者も若松の結束にてこずったものである。三転四転しながら、ようやく工事は軌道に乗った。高木工務店はこれを契機として以後幾多の当社工事に協力、太宰府ゴルフ場建設に当っても強力な支援を得たものであった。

当時、若松に行くには、戸畑より舁で向こう岸に渡ったもので、今の若戸大橋は工事完了後に出来たもので、この橋が出来た事で、若松ゴルフ場への来場者が随分増えたことであろう。



壹万円札発行（昭和33年）

はじめて発行された壹万円札は、大蔵省から個人の給料用に使わず、大口取引用を使用するよう提示があった。“せめて聖徳太子を拝みたい”の言葉が流行する。

世相 売春禁止法発令、フラフープ流行

工事名 若松ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事

発注者 (社)若松ゴルフ倶楽部

工事場所 北九州市若松区大字乙丸

工事期間 自 昭和33年 3月

至 〃 34年 5月

設計者 上田 治

請負金 金81,400,000円

工事概要

(1) 18ホールズ 6,892 Yd

(2) グリーン 12,600 m²

(3) ティーグラウンド 8,100 〃

(4) フェアウェー 112,200 〃

(5) ラフ 132,000 〃

(6) 切土量 320,000 m³

作業所長 第一期 鈴木正一 第二期 菊池 治

工事担当 第一期 安達禮三、椿藤雄、古木班、高木班、若松土建業組合、野口班

第二期 鈴木正夫、石井誠市、椿藤雄、瀬戸島四郎、根本弘司、後藤、高木班、城戸班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	353	391	178	511	454	535	470	220	351	3463	
パー	4	4	3	5	4	5	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	442	540	182	416	401	157	409	359	523	3429	6892
パー	4	5	3	4	4	3	4	4	5	36	72





芦の湖カントリークラブ (34.4~35.7)

芦の湖ゴルフ場工事で一番悔やまれることは、高麗芝を使った事である。何しろ標高880mという箱根の山中である。気温の低い処では光合成を行う事の出来ない高麗芝を持ち込んだのであったから、張った芝生は年々薄くなってゆき、しまいには裸地になってしまうという有様で、今更ながら、施工主には申し訳ない事をしたと思っている。このことについては貞市翁よりもきつい叱責をうけた事がある。

設計者の佐藤儀一先生は住まいが関西であり、しばしば来れないとの事で、同氏の知人野村氏が代理をされる事で工事が始まったのであるが、両氏の見解が合致せず工事の手待ちをさせられた事も再三であった。

工事の進入路は今のクラブハウスへ上る道を利用したものであったが、一時期この道を使えない状態になった事がある。国道寄りに降ろした芝生は毎日々々増える一方で、“ヘリコプターで搬入しようか”という突拍子もない意見までがとび出す始末であった。結局はブルドーザーを利用して山の上まで運んだのであったが、今思うと、山の様になった芝生の滞貨をよく上まで持ちあげられたものだと思う。

当時の箱根界限は、旧道のみで、現存する東急ターンパイクや高速有料道路は出来ていなかった。十国峠は屢々濃霧に包まれて、登山バスも途中で下車させられて、笛の音を頼りに歩くという状況であった。工事中は狩野川台風の直撃を受けて、箱根街道筋にあった工事事務所は床上浸水の被害を受けた。

今でこそ箱根銀座といわれて、レストラン群を見受けるが、その頃は峠の茶屋



皇太子御成婚 (昭和34年4月10日)

儀式後、皇太子御夫妻は、皇居から赤坂の東宮仮御所へ六頭立の馬車でパレードを行った。

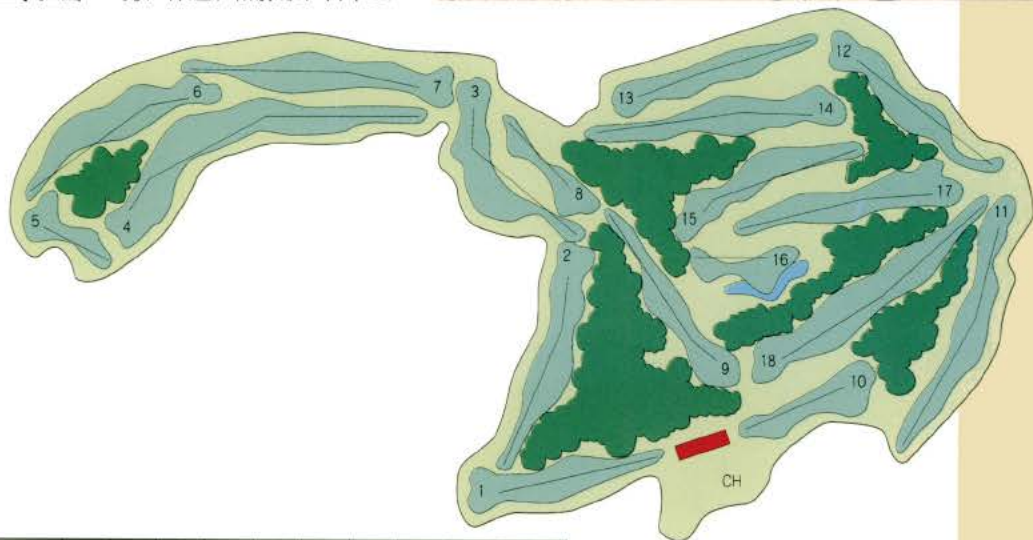
一軒のみで、専らそこを根城に準備工事をしたものである。夜はランプ生活を余儀なくされた。

気象状況も想像外に激しく、馴れるまでは、途方に暮れた時も多い。この状況下で、終始悪条件を克服して頑張り通した勢メ主任の忍苦は大変なものである。

完成後、多年にわたって、改造工事を受注したが、工事は11月から3月までに限られ極寒の中では苦労の連続であった。

世相 一万円札発行、安保闘争、皇太子（現天皇）御成婚

工 事 名 芦の湖カントリークラブ
18ホールズ新設工事
発 注 者 三島箱根観光開発株
工事場所 静岡県三島市南原管4708
工事期間 自 昭和34年 4 月
至 〃 35年 7 月
設 計 者 佐藤儀一
請 負 金 金49,450,000 円
工事概要
(1) 18ホールズ 6,491 Yd
(2) グリーン 11,031 m²
(3) ティーグラウンド 5,940 〃
(4) フェアウェー 172,554 〃
(5) ラフ 171,725 〃
(6) 切土量 別工事
作業所長 田中良一
工事担当 勢メ作造、椿藤雄、古木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	306	394	377	612	147	361	476	180	333	3186	
パー	4	4	4	5	3	4	5	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	218	481	361	377	415	306	153	437	557	3305	6491
パー	3	5	4	4	4	4	3	4	5	36	72

相生カントリー倶楽部 (34.9~35.4)

相生カントリー倶楽部の設計は、佐藤儀一先生の手になるものであるが、このゴルフ場用地は至って狭く、どうして18ホールズを入れる事が出来るかと懸念された様であった。

“ゴルフコースはボールの飛んでゆくところだけ広げれば良い”という佐藤先生の持論がここで遺憾なく発揮され、普通ならば1ホールしかとれない処へ2ホールを入れる様なこともあって、18ホールズの平面図を見ると蛇が蛙を呑んだ様な形のホールが随所に出来た。このため、直径2mのコレゲートパイプをコースの下に埋め込み、このトンネルを利用して次のコースへ行かねばならぬ様な箇所を作らざるを得なかった。

しかし、施工主の播磨造船では大変に満足であったのは、せめてもの救いであった。

この工事は、姫路の神崎組が防災、土木を担当し、当社は造形、張芝を担当した。神崎組は、播磨造船の古くからの出入業者である。

播磨造船は、外国船舶の新造、修理を主としており、外国人技術者が数多く駐留していた。ゴルフコースはこの人達のレクリエーション設備の一部として作られ



たもので、そこに地元ゴルファーがメンバーとして加わって、相生カントリー倶楽部が誕生した。当時は山陽線の寒駅で、人家も少なく、のんびりとした田舎町であった。

現在、コースは新幹線相生駅至近の場所で、街の中心地であり誠に便利な位置にある。

コース内の大切な松も、度重なる台風と松喰虫の被害に遭って、一時は惨状を示したが、丹精の結果随分修復された。

工事名 相生カントリー倶楽部18ホールズ新設工事

発注者 西播開発株

工事場所 兵庫県相生市那波野278

工事期間 自 昭和34年9月

至 〃 35年4月

設計者 佐藤儀一

請負金 金48,260,000円

工事概要

(1) 18ホールズ 6,084 Yd

(2) グリーン 12,830 m²

(3) ティーグラウンド 8,554 〃

(4) フェアウェー 93,664 〃

(5) ラフ 94,756 〃

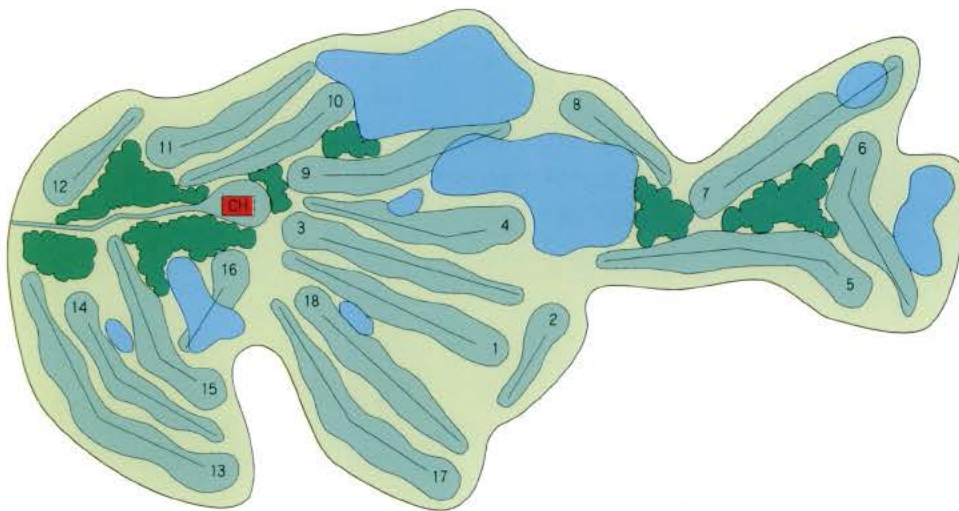
(6) 切土量 別工事

作業所長 鈴木正夫

工事担当 古木班



佐藤儀一氏



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	349	145	524	304	524	271	426	205	360	3108	
パー	4	3	5	4	5	4	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	284	314	158	494	371	369	144	481	361	2976	6084
パー	4	4	3	5	4	4	3	5	4	36	72



第一次池田内閣成立
(昭和35年)

岸内閣の後をうけて、池田内閣が成立。所得倍増計画が発表される。



貞市翁 (左から2人目)



茨城ゴルフ倶楽部 (34.12~37.6)

昭和30年に着工した都民ゴルフ場が、36ホールズとして開場する迄に4年の歳月がかかった。この頃、わが国はたびたび台風に襲われ、この都民ゴルフ場もその都度冠水していた。

昭和32年の大きな台風で、このゴルフ場が長期間クローズしたことがきっかけとなり、かねてからこのことに心を痛めていた貞市翁の新しいコース作りが始まるのである。たまたま日観興業の共同代表の一人である柿沼エイ氏の店舗移転が係争中で、相手方より代替としてゴルフ場用地の情報提供があり、数ヶ所を物色検分した。例えば現在の横浜CC、戸塚CC、高坂CC、柏GC等の用地である。しかし、貞市翁の条件は坪500円以下で36ホールズ建設可能であることだったので、いずれも条件には合わず見送った。

昭和33年春、柏市在住の川津某より紹介された斉藤兵五郎氏(谷田部在住)から、現茨城ゴルフ倶楽部の土地の検分を依頼され、同年8月、現地を検分した。検討の結果、斉藤氏を世話案内人として古賀始が主となり用地買収をすることとなった。

工事着工に先立つ諸手続、例えば農地転用などは県と伊奈村の協力に依り順調に進み、コース設計は貞市翁と昵懇の間柄であった上田治先生に依頼することとなった。

設計に入る前の上田先生の注文は“十分に広い用地を確保して貰いたい”ということであった。貞市翁の「シングルプレイヤーには難しく、アベレージプレイヤーには易しく」という理念のもとに上田先生が試みられた設計の



手法は、

- フェアウェーを広くとること
- バンカーを少なくし、要所にだけ配置すること
- バックティーよりの距離を長くすること
- 東コースはマウンドとスロープを主体とし、西コースは池を主体に考える。

といった様なもので、先生のイメージされたものはそのまま現在まで残されている。

工事は順調に進み、

昭和34年12月着工

昭和36年4月東コース18ホールズ仮開場

昭和37年9月東・西36ホールズ開場

という経過であった。

着工当時の現地には電灯線がなく、大阪茨木の作業所より着任した久保田伊三郎主任はさぞ戸惑った事であろう。現地地形が良かったのでブルドーザー2台で終わらせる事が出来た。最近出来るゴルフ場は数多くの重機を使う事を考えると、地形の良否は工事の難易を左右するもので、因みにここの作業所での要員は久保田伊三郎主任の他、栗飯原金太郎、田中正直、瀬戸島四郎、渡来平の五人で、この五人が下請を使うことなく工事を終了させたものであった。36ホールズの切土、造形、張芝がこの五人で行われたとは到底信じられないことであろうが、事実である。



第15回ダンロップオープンゴルフ選手権最終ホール風景

工事名 茨城ゴルフ倶楽部
36ホールズ新設工事
発注者 日観興業(株)
工事場所 茨城県筑波郡伊奈町
小島新田
工事期間 自 昭和34年12月
至 37年6月
設計者 上田 治
請負金 金150,420,000円



東コース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	504	238	462	381	415	192	395	424	524	3535	
パー	5	3	4	4	4	3	4	4	5	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	459	382	389	202	432	537	449	230	519	3599	7134
パー	4	4	4	3	4	5	4	3	5	36	72

工事概要

(1) 36ホールズ 東 7,134 Yd
西 7,052 〃

(2) グリーン 東 14,850 m²
西 14,850 〃

(3) ティーランド 東 5,940 〃
西 5,940 〃

(4) フェアウェー 東 241,847 〃
西 236,933 〃

(5) ラフ 東 115,071 〃
西 113,652 〃

(6) 切土量 東西ともに別工事

作業所長 菊池 治、久保田伊三郎
工事担当 栗飯原金太郎、田中正直、
瀬戸島四郎、渡来平

西コース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	365	428	541	214	435	211	393	538	408	3533	
パー	4	4	5	3	4	3	4	5	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	362	394	549	447	508	196	437	208	418	3519	7052
パー	4	4	5	4	5	3	4	3	4	36	72

姉ヶ崎カントリー倶楽部 (34.12~35.9)



菅 浦一氏



若松の工事が終わりに近づいた頃、小倉にコース新設の機運が持ち上がっていた。若松と至近の場所でもあり、当社としては工事の受注を是非にもという心境であった。夜討ち朝駈けと言うが、当社の姿勢はまさにこの言葉通りのものであった。漸く発起人の賛意を取りつけた矢先、困った問題が起きた。千葉県姉ヶ崎より工事の依頼が来たのである。

既に述べた様に、当社は平山金輝の造反以来、関東での受注工事は絶無の状態であった。何とかして関東でも工事をという思いは強かった。そこへ姉ヶ崎の工事の打診が来たのである。小倉を取るか、姉ヶ崎を取るか迷いに迷った挙句姉ヶ崎をとという事になった。

姉ヶ崎を受注した事が、平和観光菅 浦一社長及び金子安三氏と面識を得る事になり、このことが玄海、知多などのゴルフ場造成工事に連なる事になったのである。

姉ヶ崎カントリー倶楽部は、其の後18ホールズを追加して36ホールズとなり、隣接の立野地区に新たに18ホールズを造成し、社運は隆盛である。

建設当時の姉ヶ崎はひなびた寒村であった。この様なへんぴなところまでプレーヤーが来



るであろうかと、疑問視されたものであるが、現在は市原市のゴルフ銀座の中央にある。

用地は、大半が大地主の切替氏からの借地であるが、この土地は、むかし源頼朝の挙兵に参加して拝領したといういわれのあるところで、いたるところ、立派な森林と巨大な松、楠等が点在して居た。D-4級のブルドーザー2台で約15万一位の土工量があり、地形、土質に恵まれた素材であった。

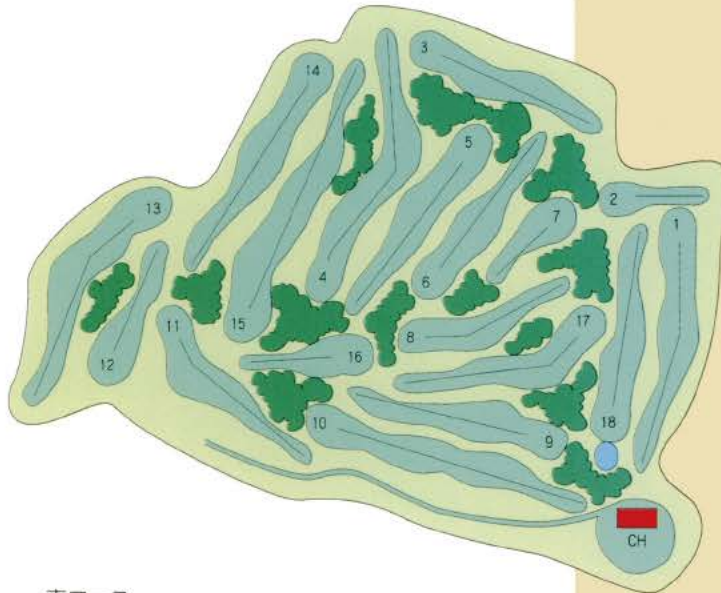
姉ヶ崎一帯の海浜は、海苔と簀立ての名所で、それなりの活況があったが、今は沖合20kmも埋立てられて巨大タンカーも接岸する臨海工業地帯となっている。

世相 60年安保

工事名 姉ヶ崎カントリー倶楽部
18ホールズ新設工事
発注者 平和農産工業(株)
工事場所 千葉県市原市立野
工事期間 自 昭和34年12月
至 35年9月
設計者 金子安三
請負金 金73,000,000円

工事概要
(1) 18ホールズ 6,873 Yd
(2) グリーン 16,600 m²
(3) ティーグラウンド 8,000 〃
(4) フェアウェー 177,000 〃
(5) ラフ 104,130 〃
(6) 切土量 118,000 m³

作業所長 鈴木正夫
工事担当 椿藤雄、勢ノ作造、古木班、高木班



東コース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	488	180	376	528	430	356	199	444	385	3386	
パー	5	3	4	5	4	4	3	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	519	381	244	375	430	547	201	439	351	3487	6873
パー	5	4	3	4	4	5	3	4	4	36	72



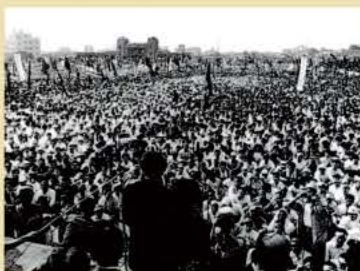
田辺カントリー倶楽部 (35.1～35.7)

このゴルフ場の工事を受注出来たのは、設計者の佐藤先生と施工主の大阪製鋼の高石義雄社長が懇意であった事に依る。佐藤先生の設計は、ややもすると山と山の間コースを選定されるのであったが、この田辺では地形にも恵まれていた故か、その様なことはなく、かなりフラットなレイアウトとなった。これが今でも人気の高い所以であろうか。

今でも記憶に新しいことは、クラブハウス前の送電線鉄塔の移転である。10本の送電線を持った鉄塔を移動させようというもので、現在の様に住民パワーの強い時勢では到底出来なかった工事であった様に思う。

農地転用は、どのゴルフ場工事でも経験する問題であるが、ここでは京都、大阪に近いだけに、許可が仲々出なかった。初代支配人藤井氏は転用許可が下りないのを知りながら工事を督促され、われわれは転用許可を早く取るか、さもなければ用地変更で作業を進めさせて貰いたいと、お互いに主張が平行線のままでの日が続いたものであった。

どうにか竣工期日に間に合ったのは、藤井支配人の一存で農地に作業を進める事が出来たからであると思う。



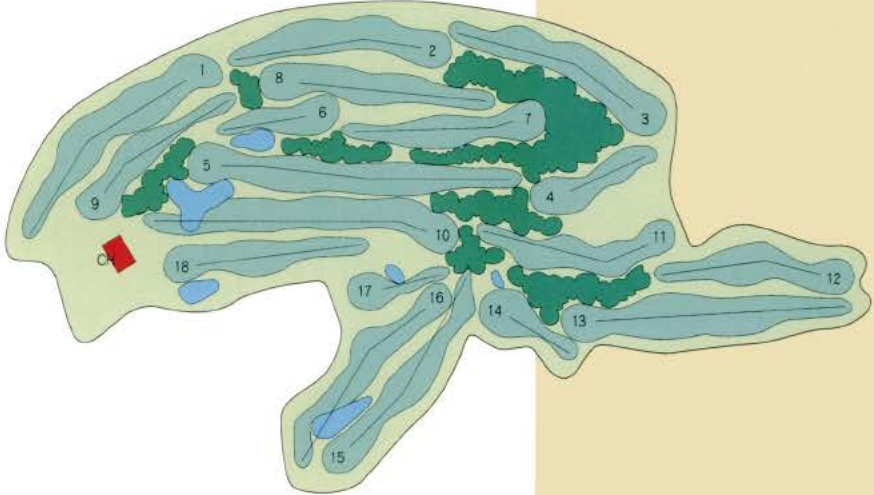
60年安保闘争 (35年6月)

6月15日、国会突入デモで死んだ樺美智子さんの三宅坂抗議集会





工事名 田辺カントリー倶楽部18ホールズ新設工事
発注者 高石義雄
工事場所 京都府綴喜郡田辺町
工事期間 自 昭和35年1月
 至 〃 35年7月
設計者 佐藤儀一
請負金 金91,900,000円
工事概要
 (1) 18ホールズ 6,630 Yd
 (2) グリーン 11,319 m²
 (3) ティーグラウンド 5,940 〃
 (4) フェアウェー 147,474 〃
 (5) ラフ 155,902 〃
 (6) 切土量 別工事
作業所長 菊池 治
工事担当 鈴木正夫、古木班、高木班

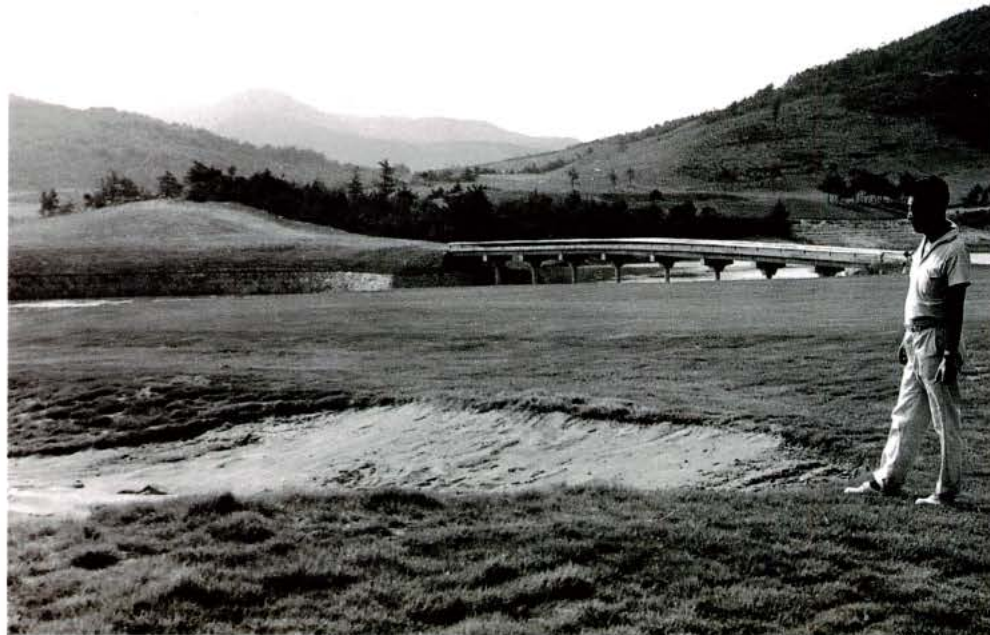


ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	490	420	355	177	600	200	365	408	361	3376	
パー	5	4	4	3	5	3	4	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	491	420	329	497	198	402	332	178	407	3254	6630
パー	5	4	4	5	3	4	4	3	4	36	72

小野ゴルフ倶楽部 (35.6~36.11)



乾 豊彦氏



小野ゴルフ倶楽部は、地元の有力者杉本氏（元小野市長）が用地をまとめ、これを広野ゴルフ倶楽部に持ち込んだ事より始まる。設計は上田治先生と決まり、広野ゴルフ倶楽部乾 豊彦理事長の特命に依り当社が施工する事となったものである。

上田先生の構想は、フェアウェーにうねりを作るというものであった。当時の当社の経験と知識では、それがどんなものであるかが判らず、只、先生の指図通りに施工したものであったが、後年、全英オープンが行われたセント・アンを見て、初めて先生の意図されたイメージを実感したという様な事があった。当社が無知のため、先生の考え方についてゆけなかった事は、誠に残念であった。

コース設計図に従って、フェアウェーは充分に広く施工したのであったが、後日、コース管理の方で随分と狭められた事があった。このため高麗芝のラフという事になり、小野はプレーしづらいとの悪評を買った事があった。今はどうなっているのだろうか。

開場後のことであるが、インコースの14番ホールを米国のパインバレーに似せて改造された事がある。それはティー前を砂地にしようというものであったが、砂が外へ流れ出てしまうので何時も裸地の状態で、パインバレーに似せたとは言えないものであった。因みにこのパインバレーコースは米国の名門コースであって、砂地の多いコースである。

此処は、近在に稀な鴨の越冬地で、巨大な鴨池を囲み、巧みにコースレイアウトされている。工事中は乾理事長も屢々来場され、上田先生と意見の衝突も度々あって困惑したものである。

18番ホールは鴨池の一部を埋立てなければ用地がないので、その埋立てについて、地元と紛糾があり、護岸工事と連絡橋工事に日時を費やした。

当時は、地元の顔役が随分と幅を利かせていた頃で、偶然山本組と知り合い、その支援で土地に馴染むことが出来た。後年、播磨地区の諸工事に揉め事のある度に協力をして貰ったものである。

工事の主力は、鄭班で飯場を構成していたが、その人柄の実直さが近隣に知れて敬愛され、地元労働者が大勢参加した。

この現場は、多彩であり、鈴木正夫所長の長期にわたる気苦労と統括とは、大変なものであった。

世相 社会党浅沼稻次郎刺殺さる

工事名 小野ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事
発注者 小野観光開発(株)
工事場所 小野市来住町
工事期間 自 昭和35年6月
 至 〳 36年11月
設計者 上田 治
請負金 金100,000,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,860 Yd
- (2) グリーン 20,250 m²
- (3) ティーグラウンド 8,100 〳
- (4) フェアウェー 218,700 〳
- (5) ラフ 111,780 〳
- (6) 切土量 285,000 m³

作業所長 鈴木正夫

工事担当 勢メ作造、田中正直、滝島平八郎、吉岡班、川本班、高木班、中村班



14番ホール



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	515	395	430	375	245	425	345	165	545	3440	
パー	5	4	4	4	3	4	4	3	5	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	355	575	185	470	360	365	530	180	400	3420	6860
パー	4	5	3	4	4	4	5	3	4	36	72



浦上 豊氏



松永カントリークラブ (36.4~37.9)

紀州白浜で面識を得た佐藤儀一先生の出生地は松永である。この松永市（現福山市に編入）郊外にゴルフ場を計画したのが地元県会議員であった内海得治郎氏であった。この様な経緯で設計は佐藤先生ということになり、佐藤先生を通じて当社に工事発注がされたものである。松永コースは池を挟んでアウト、インが分かれており、この池を練習場として利用する様な設計であった。

松永カントリークラブの取締役支配人大村英幸氏は、当時は地方紙の新聞記者であったが、この職を抛って支配人になった方で、会社とは殊の外折り合いが良かった。また尾道にある“世界の銘酒店”を紹介して呉れたのも同氏であった。尾道は呉や宇品を控えている関係で外国船員の出入りが多く、彼等が持ち寄ったボトルの銘柄はバラエティーに富んでいた。その数は千数百本にも達していた様だった。佐藤先生は、この店を格別に愛され、談論風発、在米時代の思い出を肴に、数刻を過ぎられるのが常であった。

このコースは、アウトは狭く誠にシビアであり、インは広くゆったりとしている。

工事はアウトより始められ、用地の関係で一休止して、インの着工になった。土質はこの付近が藺草（豊表の材料）の産地でいわゆる藺泥と称する粘土質である。従って水捌けが悪く、泥状になり易い。勿論砂を入れて吟味して造成したのではあるが、十年を経て、コースコンディションが誠によいのは、管理技術が卓越しているのであろう。

松永カントリークラブは、リョービの社長の故浦上豊氏が理事長をされて、特に御引立載っていたが、後日理事長の御遺言によって、広島庄原カントリークラブの建設を特命で受注した。

世相 日本海側豪雪、東京都の人口1000万人突破（世界初の1000万人都市）

工事名 松永カントリークラブ18ホールズ新設工事
発注者 備南観光開発株
工事場所 広島県福山市神村町1388
工事期間 自 昭和36年4月
 至 〃 37年9月
設計者 佐藤儀一
請負金 金81,386,000円
工事概要

- (1) 18ホールズ 6,823 Yd
- (2) グリーン 19,787 m²
- (3) ティーグラウンド 8,554 〃
- (4) フェアウェー 135,462 〃
- (5) ラフ 84,011 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 菊池 治
工事担当 重岡頼利、栗飯原金太郎、滝島平八郎、高木班、川本班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	390	394	407	145	327	505	136	416	501	3221	
パー	4	4	4	3	4	5	3	4	5	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	470	196	330	441	406	571	436	537	215	3602	6823
パー	4	3	4	4	4	5	4	5	3	36	72



大阪パブリックゴルフ場 (36.12~37.7)

南は生駒山、東は若草山を望む金剛生駒国定公園地域にあり、地主樋口組の土取場跡が用地である。当時土取後、掘削出来ない花崗岩柱が随所に屹立して、異様な状態であった。

発注は、大阪パブリック（社長坂本長作氏）で、コース設計はコース委員会、第一次として9ホールズを当社が建設、4～5年において、樋口組がバックナインを建設した。

阪奈道路に面して居り、眼下に東大阪を控えた絶好の地であり、繁栄中である。



工事名 大阪パブリックゴルフ場9ホールズ新設工事

発注者 株大阪パブリックゴルフ場

工事場所 大阪府四條畷市大字上田原

工事期間 自 昭和36年12月

至 37年7月

設計者 コース委員会

請負金 金45,660,000円

工事概要

(1) 9ホールズ 2,619 Yd

(2) グリーン 8,959 m²

(3) ティーグラウンド 2,948 〃

(4) フェアウェー 51,992 〃

(5) ラフ 51,144 〃

(6) 切土量 97,252 m³

作業所長 鈴木正夫

工事担当 古木班、山下班、高木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	245	313	561	243	471	128	179	304	175	2619
パー	4	4	5	4	5	3	3	4	3	35



ガガーリン少佐来日
(昭和37年5月21日)

ソ連の宇宙飛行士、ガガーリン少佐夫妻が来日。大歓迎を受ける。

宇治カントリークラブ (37.3~40.5)

はじめは、川崎興産と加古川信用金庫の合体で発足、発注は宇治観光である。

コース設計は上田治先生であったが、再三用地の変更があり、その都度設計変更を余儀なくされた為、段々と設計意欲を失って行かれる傾向があった。工事は遅々として進まず、度々頓挫することが多かった。

黄蘗山天下峰一帯は花崗土であり、全域砂防指定地域であった。そのため防災対策の許可がなかなか下りず、当時砂防学の権威者である、京都大学の遠藤博士に依頼して指導を仰いだ。

工事は、柴田建設が防災工事と土工事の一部、当社が土工事の大半と造形、張芝を担当した。工事量は当時の開発工事としては膨大なもので、請負金額も億単位になった。

施主からは岡崎氏、木村氏、藤木氏等が折衝担当者であった。殊に岡崎氏にはあらゆる点で配慮を戴いた。氏は故成宮喜平衛氏と同業であり、ゴルフのお弟子さんでもある方で、なかなかの風流人であった。藤木氏は、後に交野でゴルフ場を作られる事になり、会社と深い関係が生まれる様になる。

当時は、コースからの展望は、茶畑が連なり、田園風景ものどかであった。今は立錫の余地もない程市街地で埋まってしまっている。

宇治工事の途中で、川崎興産に依って苦小牧樽前ゴルフ場の開発が進められ、当社も工事に参加することになる。



**北陸トンネル開通
(昭和37年6月10日)**

長さ13,869mの北陸トンネルが開通した。敦賀駅では、十河国鉄総裁らが祝賀列車のテープカットを行った。

工事名	宇治カントリークラブ18ホールズ新設工事
発注者	宇治観光株
工事場所	宇治市五ヶ庄広岡谷
工事期間	自 昭和37年3月 至 〳 40年5月



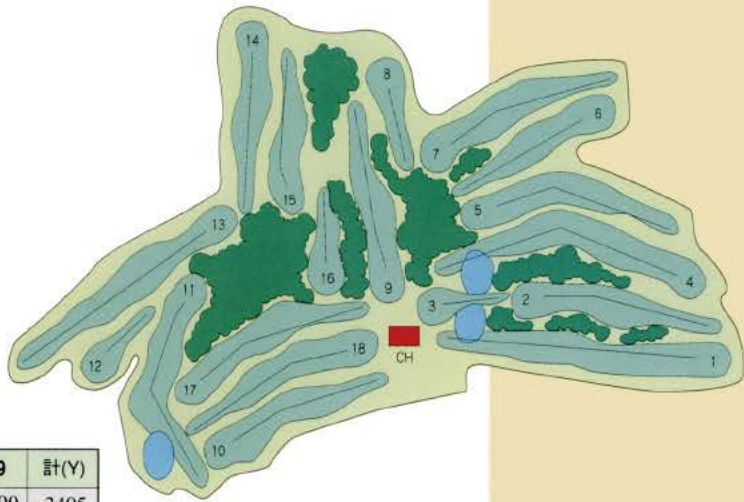


設計者 上田 治
 請負金 金433,000,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,770 Yd
- (2) グリーン 13,500 m²
- (3) ティーグラウンド 5,400 //
- (4) フェアウェー 136,000 //
- (5) ラフ 180,000 //
- (6) 切土量 1,200,000 m³

作業所長 鈴木正夫
 工事担当 滝島平八郎、重岡頼利、山下班、
 中辻班、高木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	570	385	165	540	435	330	405	185	390	3405	
パー	5	4	3	5	4	4	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	440	520	190	475	370	345	180	425	420	3365	6770
パー	4	5	3	5	4	4	3	4	4	36	72

樽前カントリークラブ (37.10~38.6)



堀江謙一氏太平洋ヨット単独横断
(昭和37年8月12日)

マーメイド号で太平洋単独横断に成功した堀江謙一氏の帰国後記者会見の様子。

宇治ゴルフコース建設中にこの話が発生した。

北海道、苫小牧近郊に樽前ゴルフコース18ホールズを着工することになったのである。施主は川崎興産を母体とする苫小牧観光開発で、社長は坂口千雄氏である。設計は上田治先生で、広大な、なだらかな地形を巧みに活かした設計は土工量も極めて少量なものとされたので、異例な速さで進捗した。

苫小牧一带は、雪は少ないが、寒気は厳しい。1m余り凍結した処を剥いで地肌を出してから作業であった。凍結した氷板は堆積してマウンドとして造形した。春來と共に解氷して、マウンドの形も崩れて行った。誠に滑稽な姿である。重機は苫小牧臨港開発に申し入れ、冬期待期中のものを20数台投入した。急がねば、地肌が夜凍結するからである。機械に追われて社員は死に物狂いで突貫した。

この時、指揮をとったのが阿部恒雄氏で、後年設計家として大成された。

ここではスルーザグリーン播種でターフを形成した。

グリーンはハイランドベントグラス、ティーとフェアウェーはケンタッキーブルーグラスを主体としたミックスシード、ラフはクリーピングフェスキューを主体としたミックスシードであった。

播種の選定、施工は坂田種苗に任せ、庄司忠雄氏が指導して成功した。

樽前コースも宇治と同様、柴田建設（排水、防災）、当社（土工、造形、緑化）の組合せによる施工であった。



樽前工事中の挿話

会社のジープが、濃霧の中で、室蘭本線の貨車に衝突し、列車を9分間停めて了った。幸い人身事故には至らなかったのは何よりであった。

もう一つは、札幌HBC局でのテレビ出演である。樽前コースの紹介

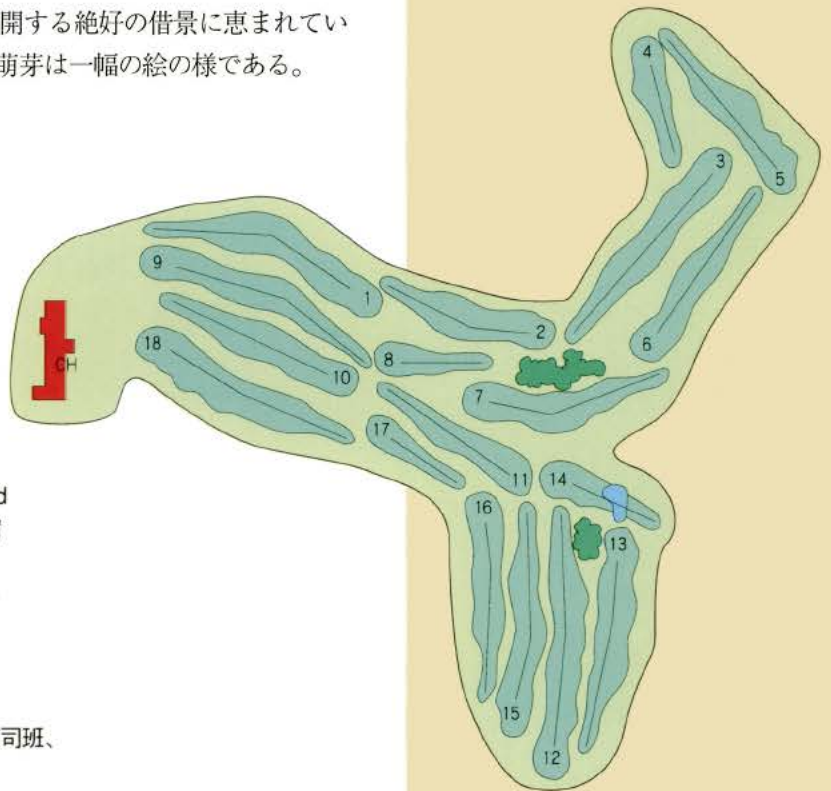


残雪の中で作業をするブルドーザー

を30分間にわたって行ったもので、上田先生が急用のため安達慎三が代行した。

安達建設グループがテレビに出たのはこれが最初であったろう。オープン間近の昭和39年頃であった。

当コースは、北に樽前山を望み南に太平洋が展開する絶好の借景に恵まれている。コースの周囲は落葉松林に包まれて、陽春の萌芽は一幅の絵の様である。



工事名 樽前カントリークラブ
18ホールズ新設工事
発注者 川重苫小牧観光開発(株)
工事場所 北海道苫小牧市錦岡
工事期間 自 昭和37年10月
至 38年6月
設計者 上田 治
請負金 金44,520,000円
工事概要

- (1) 18ホールズ 7,273 Yd
- (2) グリーン 13,500 m²
- (3) ティーグラウンド 9,000 〃
- (4) フェアウェー 248,752 〃
- (5) ラフ 116,000 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 寺井章一
工事担当 勢メ作造、阿部班、庄司班、
臨港開発グループ

南コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	515	403	455	213	404	426	387	203	580	3586	
パー	5	4	4	3	4	4	4	3	5	36	
中コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	合計(Y)
ヤード	470	403	552	467	203	424	411	181	576	3687	7273
パー	4	4	5	4	3	4	4	3	5	36	72



玄海ゴルフクラブ (37.11~38.9)

平和観光の菅社長が姉ヶ崎ゴルフ場に続く第二のコースとして、福岡県宗像町に新しいコースを計画される事になった。姉ヶ崎に続いての事とて、発足迄のいろいろな相談ごとが当社へ来た。その中で最も苦勞したのは、設計者の選定についてであった。菅社長は当社で設計をとという事であったが、当時はまだ佐藤先生、上田先生が健在でおられたので、両先生をさしおいての設計も如何なものかという悩みであった。結局関西プロゴルフ協会に委任しようという事で菅社長の同意を得たものであった。当時の関西プロゴルフ協会の会長を京都の石井支配人が務めておられた事もあって話は順調に進んだ。

平和観光は三菱系の会社であった。従って三菱関係の業者の出入りも多く、その中に三菱商事の坂田嘉久氏がいた。坂田氏はのちに大輝興産という商事会社を設立することになるのである。あとで述べる事になるが、坂田氏は会社が熊本県日向町で計画したゴルフ場や、福岡県で設立した太宰府ゴルフ場に大きくかかわって来る事になるのである。

玄海ゴルフクラブのクラブハウスは、高木工務店の設計施工になるものであったが、このクラブハウスは非常に使い易い仕様となっており、太宰府のクラブハウスのモデルともなったものである。

環境は、玄海国立公園に連なる防風林で年経た松が点在し、絶好の素材であった。今ではこの様な処にコースを作ることは絶対に出来ない。

一帯は砂丘であるから客土をしなければならないので、以前、古賀ゴルフクラブで納入した土取場から採取使用した。



若戸大橋完成
(昭和37年9月29日)

福岡県の若松 戸畑を結ぶ洞海湾のかけ橋。全長2,068m。

世相 若戸大橋完成、恵庭事件、北九州市誕生、松川事件被告全員無罪

工 事 名 玄海ゴルフクラブ18ホールズ新設工事
 発 注 者 西日本開発株
 工事場所 福岡県宗像郡玄海町江口
 工事期間 自 昭和37年11月
 至 38年9月
 設 計 者 関西プロゴルフ協会
 請 負 金 金148,000,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,940 Yd
- (2) グリーン 11,880 m²
- (3) ティーグラウンド 7,200 〃
- (4) フェアウェー 206,736 〃
- (5) ラフ 213,467 〃
- (6) 切土量 168,640 m³

作業所長 菊池 治

工事担当 古木班、高木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	503	430	209	413	529	400	188	383	426	3481	
パー	5	4	3	4	5	4	3	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	516	391	430	209	415	529	378	197	394	3459	6940
パー	5	4	4	3	4	5	4	3	4	36	72

知多カントリー倶楽部 (38.3~39.7)



金子安三氏



知多半島の南端、三河国立公園知多湾に面した処に知多カントリー倶楽部がある。この倶楽部の理事長小杉仁造氏は経営会社の社長でもある。

小杉社長がこのゴルフ場を目論まれた時、その良き相談相手が平和興産(当時)の社長菅 浦一氏であった。菅社長は同社の金子安三氏を派遣して小杉社長に協力するという事で工事は発足した。

さきにも述べた様に、会社は姉ヶ崎ゴルフ場工事の折、菅社長や金子氏にお世話になっており、この関係で工事受注が出来たものである。

コースの設計は、金子氏の協力のもとで当社が行い、工事は金子氏の監督のもとで当社が行うという事で進められ、工事竣工迄に16ヵ月を必要とした。建設当時のこのゴルフ場の立地条件は、甚だ貧弱で、名古屋からのプレーヤーは名鉄河和線が唯一の足の便であって、車の利用などは悪路のため敬遠されがちであった。知多半島道路という高速道路が開通し、ゴルフ場の近くにインターチェンジが出来てから、このゴルフ場は名古屋のゴルフプレーヤーの身近なものになっている。

当初、建築は大成建設の特命となり、コース造成は大成建設、国土開発、そして当社の三社見積り合せとなったが、大差で当社の受注となった。その頃は、当社の手持工事が多く、多忙を極めていたので、現場要員不足で、加えて機械や芝が払底して、各現場獲り合いの状況で往生した。

用地は高台で、周囲は海を見渡す景勝地であった。土質も非常に良く、土壤も頃合いで順調な工事の進展であった。中央部がどうしても買収に応じないので、その部分を割愛したために無理を生じた。このために色々と煩わしいことが起こったが、後は倶楽部で収めた。

惜しむらくは、開発時に植栽を軽視したために、同時期の他コー



スが緑豊かにセパレートされて居るのに比べて、見劣りがするのは残念である。

オープン以降暫くは、ゴルファーの誘致と経営の合理化に金子氏が大変苦勞された。また、金子氏と共に姉ヶ崎から赴任された山岸氏が完成を見ることなく夭逝されたことが惜まれる。

工事名 知多カントリー倶楽部
18ホールズ新設工事
発注者 スギー産業株
工事場所 愛知県知多郡武豊町富貴
工事期間 自 昭和38年3月
至 〃 39年7月
設計者 金子安三
請負金 金160,000,000円
工事概要

- (1) 18ホールズ 6,666 Yd
- (2) グリーン 14,400 m²
- (3) ティーグラウンド 7,830 〃
- (4) フェアウェー 206,773 〃
- (5) ラフ 236,430 〃
- (6) 切土量 428,390 m³

作業所長 鈴木正一
工事担当 樺藤雄、根本弘司、
市田班、阿部班

東コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	498	153	427	383	170	377	432	530	443	3413	
パー	5	3	4	4	3	4	4	5	4	36	
西コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	合計(Y)
ヤード	391	170	388	372	514	163	367	363	525	3253	6666
パー	4	3	4	4	5	3	4	4	5	36	72



黒四ダム完工
(昭和38年6月5日)

北アルプスの秘境、黒部渓谷の高さ1500mを越える深山幽谷の山腹をくりぬいたこのダムは、石原裕二郎主演の「黒部の太陽」の舞台にもなった。



鳴門カントリークラブ (38.9~39.10)

鳴門は、徳島の北15kmにある。この鳴門市の北、堂の浦の丘陵にゴルフ場が計画される事となった。徳島市の有力者が発起人で、中でも市内で割烹を営む橘氏は最も熱心な推進者であった。

橘氏には、発足に先立ってゴルフ場作りがどんなものであるかという勉強が必要であった。この手引きを依頼されたのが当社であった。安達建設のその頃は、工事の受注が全国的に拮据しており、業績への評価も良く、橘氏が白羽の矢を当社に向けられたのも、この様な事情に依るものと思われた。

橘氏を京都、宇治、松永、小野などに案内しているうちに、何となく“工事は安達建設に”という事になって、鳴門工事の受注が決まったものである。コース設計の佐藤儀一先生のお口添えがあった事も見逃せない要因であった。

鳴門カントリークラブは、小鳴門の渦潮を挟んだ台地に位置しており、樹木の無い処では内海よりの風当たりが強く、吉野川の河川敷でプレーをしていた徳島のプレーヤーにはかなりこたえた様だった。そのためコース配置変更の申し入れが設計者へなされたが、これは受け入れられなかった。

瀬戸内海、特に鳴門海峡の展望を重視して、クラブハウスが高台に決められたために、ホール配置にアップダウンが必然的に多くなってしまった。

土工事は国土開発が担当して、其の他は当社が担当したのである。



**東海道新幹線開通
(昭和39年10月1日)**

時速220キロの夢の超特急「ひかり第1号」の出発式。

今でこそ淡路島から架橋され高速道路も開通し、四通八達の地となっているが、当時は重機を入れる道とてなく、分解して現地入りする状態であった。また、芝の搬入にも手古摺ったものである。

佐藤先生は橘氏の御店で、鳴門の鯛、もずく、小えび、すだち等を特に好まれて痛飲されたものである。

徳島には名代の阿波踊りがある。橘氏は豪放磊落な方で、連に参加する様再三勧められたが「あだち連」はとうとう結成されなかった。残念至極である。

世相 ケネディ暗殺、東海道新幹線開通、東京オリンピック

工事名 鳴門カントリークラブ18ホールズ新設工事
 発注者 鳴門ゴルフ(株)
 工事場所 徳島県鳴門市瀬戸町北泊字泊529-1
 工事期間 自 昭和38年9月
 至 39年10月
 設計者 佐藤儀一
 請負金 金77,221,000円
 工事概要
 (1) 18ホールズ 6,651 Yd
 (2) グリーン 10,404 m²
 (3) ティーグラウンド 5,940 〃
 (4) フェアウェー 139,065 〃
 (5) ラフ 160,515 〃
 (6) 切土量 別工事
 作業所長 菊池 治
 工事担当 古木班、高木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	520	414	295	161	391	186	375	430	542	3314	
パー	5	4	4	3	4	3	4	4	5	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	470	420	377	206	356	394	159	430	525	3337	6651
パー	4	4	4	3	4	4	3	4	5	35	71

札幌ゴルフ倶楽部 (39.6~40.10)



東京オリンピック
(昭和39年10月10日)

第18回オリンピック東京大会は、アジアで初の開催として成功をおさめた。

札幌ゴルフ倶楽部は、昭和39年に着工になったものであるが、どうして、当時斜陽の都市小樽にゴルフ場を計画する様になったのか、その経緯については複雑を極めるので省く事とするが、忘れる事の出来ないのは、当時、茨城ゴルフ在籍の関水プロの存在である。関水プロと福神漬の酒悦、酒悦と札幌農協、札幌農協と広野善明氏などの関係のある中で、関水プロが輪厚コースでの日本プロに出場し、広野氏の世話になった事などが絡み合っ、小樽の朝里川の用地がわれわれに紹介されたものであった。

用地入手にあたって問題となったのは、どうして山の上迄道路をつけるかという事であったが、これも当時小樽市助役田巻氏の発想になるヘアピンカーブで上る事で解決した。

工事着工当時は、いざなぎ景気がまさに始まろうとしている頃で、道内でもぼつぼつゴルフ場の新設が試みられる様になっており、札幌ゴルフ場は道内第17番目のコースであった。現在道内には120コースを超えることなどと思わせると、当時ゴルフの普及は未だしの感も深く、従って創世紀の会員募集には随分と苦勞があった。

現地踏査は2月降雪後、案内人は山スキーのいでたち、吾々は馴れぬ「カンジキ」姿でついて行くのがやっとの思い。ところどころで脚を埋没してしまう。

雪と吹だまりに結構よいスロープが続いていたので、着工と決まって、雪解け近く乗り込んで見て驚いた。進入路に計画したところは3m程の積雪である。現場員の合宿所は昭和31年までは営業していた女郎屋さんである。いくつものに仕切られた部屋があって分泊には誠に都合が良い。



測量をはじめると、何しろ永い間斧鉞を加えたことのない原生林である。基準点の三角点を捜すのに1週間もかかった。コースの選定も大変であった。熊にも遭遇した。



クラブウェイが完成したのはオープン間近であり、それ迄は小樽まで出て迂回して赤井岳の麓から進入路を作った。白樺林とブナ、イタヤ楓、熊笹の繁茂する中を悪戦苦闘しながらやっとの思いで貫通させた。工事終了、機械撤収までこの道路が頼りであった。

何しろ、工期を急ぐことと冬將軍至れば雪解けの初夏までは工事不能となるため、物量投入の突貫工事となった。重機は先に樽前で応援を受けた苫小牧臨海工業より40台、紺谷班より5台、24時間フル稼働で、炊き出しも大童。將に戦場そのものであった。重機の指導は阿部恒男氏が当り、鬼神の如く君臨した。

北海道第17番目のコースとして誕生したこのゴルフ場は、暫くしてスケート界の名士有坂隆祐を取締役支配人として迎える事になる。昭和40年9月のことであった。

有坂が着任してよりコースの状態は見違える様に良くなった。スズメノカタビラが激減したのだ。これは北海道農事試験場を札幌ゴルフ場に結び付けようと発案したことに依る。同試験場の眞木芳助博士と頻繁に連絡を持つことでコース改善に努力した功績は高く評価せねばならない。

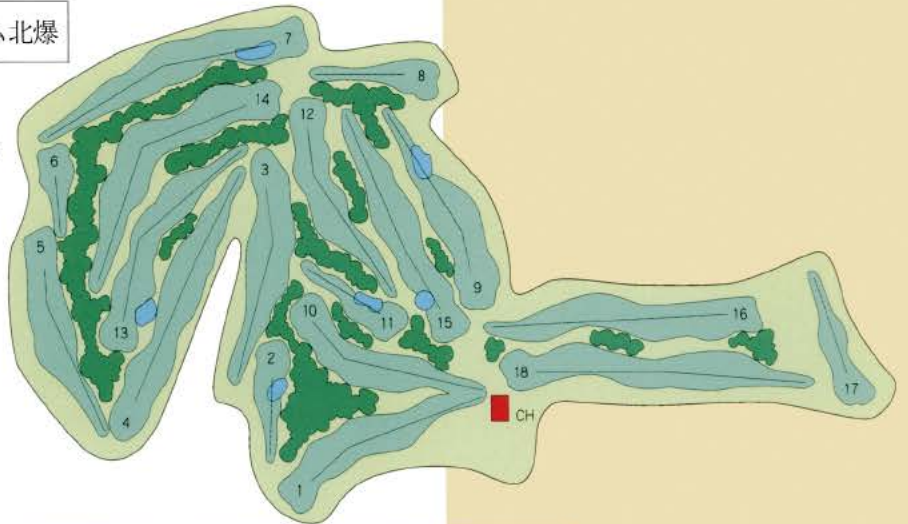
昭和61年北海道アマの開催をこのコースへ招くことが出来たのも、こんな事情があったのだ（第3部P.148「札幌ゴルフ倶楽部草創期物語」参照）。



有坂隆祐氏

世相 東京オリンピック、新潟大地震、ベトナム北爆

工事名 札幌ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事
発注者 日観興業株（発注当時は札幌スポーツセンターで後に日観興業に合併）
工事場所 北海道小樽市朝里川温泉1-504
工事期間 自 昭和39年6月
 至 40年10月
設計者 上田 治
請負金 金150,000,000円
工事概要
 (1) 18ホールズ 6,485 Yd
 (2) グリーン 12,600 m²
 (3) ティーグラウンド 8,100 ♪
 (4) フェアウェー 221,000 ♪
 (5) ラフ 234,000 ♪
 (6) 切土量 別工事
作業所長 寺井章一
工事担当 鈴木正夫、栗飯原金太郎、勢メ作造、阿部班、紺谷班、古木班、苫小牧臨港開発グループ



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	371	175	412	514	361	148	510	186	356	3033	
パー	4	3	4	5	4	3	5	3	4	35	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	354	170	367	416	509	469	444	200	523	3452	6485
パー	4	3	4	4	5	4	4	3	5	36	71



朝里川温泉スキー場 (43.12開場)

北海道には短期雇用という制度がある。冬季積雪の間に労務補償をするものである。

ゴルフ場に雇用を結ぶ人達は5月より10月末迄が勤務の期間で、11月より5月の間はこの制度に依る休業補償を受けることになる。しかし受ける補償の額は基本給には及びもつかぬものである。

貞市翁は、札幌ゴルフ場を開場してより直ぐこのことに気が附いた。何とかして年間雇用にする方法はないものかという命題がしばしば翁の脳裏をよぎっていた様である。

幸い北海道は冬にスキーというスポーツがある。夏はゴルフ、冬はスキーという組み合わせが出来れば年間雇用という問題は解決するのではないかと考えた貞市翁は、スキー場経営の可否についての調査を始めることになる。

札幌ゴルフ場の向い側に“鹿の踊り場”という小さなスキー場があったが、貞市翁はこのことを知って居たかどうかは判らない。しかし小樽市内に天狗山スキー場という強敵が居ることは知っていた。

旭川を中心とした幌内地区は北海道でも随一の豪雪地帯である。小樽は旭川に次いで積雪地帯であることが判った。また、雪質はサラッとした粉雪で、水分の多い内地のボタ雪と違ってスキーには最適のものだということも判った。ゴルフ場寄りの台地を足掛りにして、ゴルフ場迄スキー場を上げようとの構想のもとに、朝里スキー場の第一歩が始まるのである。

この台地は小樽市の市有地であったが、これを入手する前に、この場所がスキー場として使えるかどうか、専門家の意見を求めねばならない。

小樽スキー連盟会長柴田信一氏を中心に、東京より中川氏が参画して検討がなされることになる。測量図面を前にしていろいろな構想が書かれては消され、消されてはまた書かれてゆく中に、レストハウス・リフト・駐車場等の位置が決まり、あとは小樽市よりこの土地を譲り受けることだけが残った。ゴルフ場開場2



年後の昭和42年の頃であった。

昭和43年小樽市より用地の払下げ通知と共にスキー場建設が認可され、名称を朝里ホワイトバレースキー場と称しその年の12月に発足した。諸手続が極めて短期間で終了したのも、志村小樽市長がスキーの愛好者であったことなどが幸いしたものであった。

この様にして朝里ホワイトバレースキー場は発足したもので、当初の施設の規模は次の様なものであった。

リフト	1基	延長	200m
レストハウス			100人収容
駐車場			300台

このスキー場は、その後、昭和54年12月より名称を朝里川温泉スキー場と改称し、発足してから26年を経過した平成6年現在、施設の規模は大巾に拡大され次の様になって居る。

リフト	6基	延長	2800m	スノーエスカレーター延長	350m
センターハウス			400席	スナックハウス	120席
コーヒーハウス			40席	バーガーハウス	40席
駐車場			1000台		

当初、ファミリーゲレンデとして出発した朝里川温泉スキー場は、規模、設備の拡充に伴い、中級者、上級者も楽しめる様なコース設計がなされている。貞市翁が着想した“ゴルフ場の麓の台地からゴルフ場迄スキールートを作る”という目論見は既に実現を終え、現在はスキー場の中間にゴルフ場が位置する様になっている。

ちなみに朝里川温泉スキー場の平成4年度のリフト輸送延人数は2,634,000人となっており、道内135スキー場の中で10位にランクされて居る。これを昭和43年開設時の199,000人と較べて見ると、隔世の感が深い。



朝里川温泉スキー場の沿革

昭和43年12月	イエローリフト	1基
	レストハウス	1棟
	駐車場	300台
昭和45年	イエローリフト追加	1基
	初、中級ゲレンデ	造成
昭和51年	カラーシャドー照明	
昭和52年	コーヒーハウス	1棟
昭和54年	レッドリフト	2基
	スノーエスカレーター	1基
	駐車場拡張	500台
昭和55年	スナックハウス	1棟
	グリーンリフト	1基
昭和60年	センターハウス	1棟
昭和63年	パープルリフト	1基
	バーガーハウス	1棟
平成3年	レッドリフト	搬架更新
	グリーンリフト	〃



岡崎カントリー倶楽部

(旧称 美合ゴルフ倶楽部)

(39.9～40.10)

コースのオリジナルプランは、往年のベストアマチュアの菅隆三氏である。先に修善寺、枚方国際、岡崎（3ホールズ建設後中止）等に関係のあった田中清兵衛氏（後に交野CCの理事）より依頼があって、現地踏査したところ、用地が狭く岩盤が沢山露出していて、あまりよい条件とはいえなかった。

当時、鉄建（元鉄道建設工業）名古屋支店の土木部長であった小田島隆氏より話があって、鉄建で施工することになったが、当方ではコース造成の経験が浅く、是非応援いただき度いとのことであった。但し工事は立替という条件であるので分担してよろしくという次第であった。

防災、土工事は鉄建、造形、張芝は当社ということで、別個に契約することになった。工事は案ずる通り岩盤が多量で、鉄建の土工事は難渋を極めた。

小田島土木部長は名古屋支店長に栄進されたが、このゴルフ場の立替の始末はなかなかつかず、遂には鉄建を辞職して、岡崎ゴルフ倶楽部の社長となり、この倶楽部の盛衰を担われることになった。

星霜を加えて、額田ゴルフ倶楽部建設の頃にはやっとすべてが清算出来て軌道に乗った由を伺い何よりのことと思った。

この工事現場で忘れられないことがある。それは現場事務所の入口の田圃で藁を細かく切り刻む作業風景を見たことである。これが後年太宰府ゴルフ場で役立つ事になる。というのは米軍岩国基地より入手したテイフトンを、播き芝で使う考えであったが、テイフトンの根をどうして小指位に切り刻むかでハタと行き詰まってしまった。包丁で切るには量が余りにも多すぎる。この時思い出したのが、上記の農作業であった。この発想により大量のテイフトンが見事な苗となって、太宰府に供されたのであった。

世相 新潟大地震、東京オリンピック、山陽特殊鋼倒産

工事名	美合ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事
発注者	(株)美合ゴルフ倶楽部（後年(株)岡崎ゴルフ倶楽部に改称）
工事場所	愛知県岡崎市池金町字下北山2-39
工事期間	自 昭和39年9月 至 〃 40年10月
設計者	菅隆三
請負金	金90,000,000円



新潟大地震（昭和39年6月16日）

日本海新潟沖を震源地とした大地震は、死者26名、家屋全壊1960戸を数え、最悪の結果となった。





工事概要

- (1) 18ホールズ 6,694 Yd
- (2) グリーン 15,700 m²
- (3) ティーグラウンド 9,520 ㊦
- (4) フェアウェー 126,990 ㊦
- (5) ラフ 172,490 ㊦
- (6) 切土量 別工事

作業所長 菊池 治

工事担当 重岡頼利、江口班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	400	591	396	558	240	375	329	230	366	3485	
パー	4	5	4	5	3	4	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	351	174	324	454	355	165	490	376	520	3209	6694
パー	4	3	4	4	4	3	5	4	5	36	72



太宰府ゴルフ倶楽部 (40.10~41.10)

玄海のゴルフ場建設が終わって間もない昭和39年6月頃、大輝興産社長坂田さんが、熊本に恰好な土地があるからどうだという話があり、用地の検分に行った。

申し分のない土地なので、建設を進める事とし、地元熊本市の有力者に話もちかけたところ、殆どの人達から賛意を得る事が出来たので、用地買収に踏み切る事とした。

驚いた事に、われわれが土地の手付金を支払い始めたその日に、地元の某企業が多少難色を示していた部落に手付をうつという状態となり、この目論見は見事に失敗した。この用地は5年後、安達建設の手で熊本中央ゴルフ場として生れ替わるのである。

熊本でのゴルフ場建設の失敗が糸口となり、その年の秋、学問の神、太宰府天満宮の近くに用地を見つけて作ったのが、現在の太宰府ゴルフ倶楽部である。

協力者の高木工務店の事務所で、この用地の大半を持っているという人物に会ったのは昭和39年の春頃で、その人が安河内久敏現社長である。



コースのレイアウトは鈴木正一、施工の監修は関西プロゴルフ協会ということで昭和40年5月起工式を行った。

用地は約25万坪確保出来たが、入口の左側3万坪はミニコースでも作ろうかとコースレイアウトから外して置いた。このことが後日太宰府ゴルフ場に大きな恵みを与える事になった。というのは当時の世情では入会金かと思う様に集らず、ゴルフ場が出来上がった時にはかなりの借財が残ったのであり、この3万坪を売却して借財を清算する事が出来たのである。もっともこれは開場3年後の事であった。

工事は可成り大規模なものとなった。当初計画した120万m³の切土量では到底間に合わず、結局180万m³の土量を動かす事となった。またクラブハウスの敷地は山の裾を削って作るというもので、ここから出た土で1番、9番、10番の凹地を埋めてフェアウェーにしようというもので、今考えると随分と思いついた仕事をしたものだと思うが、反面こうしたふんぎりの結果が今日の太宰府の名声を得ているのだと感じられる。

ゴルフ場の造成とクラブハウスは昭和41年6月には完成していた。西日本新聞社より野口社長を理事長に迎え、理事の陣容も整ったので同年10月の吉日を期して開場の運びとなった。

開場の翌年、系列コースの先輩京都ゴルフ倶楽部が恵まれない人々への贈物としてチャリティー大会を開いている事に着目し、太宰府でも年末毎にチャリティー大会を開催している。

史跡に恵まれた太宰府の名を持ったこのゴルフ場は、その知名度だけでも充分である。開場以来九州オープンを経験し、全日本女子オープンを1回行うなど、ゴルフ界への貢献度も大きい。



シンザン初の五冠馬（昭和40年）

さつき賞、日本ダービー、菊花賞、天皇賞、有馬記念を制したシンザンは史上初の五冠馬となる。

世相 ベトナム北爆開始、ソ連宇宙遊泳成功、全日空機羽田にて墜落

工事名 太宰府ゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事

発注者 太宰府ニュータウン(株)

工事場所 福岡県太宰府市石穴3467-39

工事期間 自 昭和40年10月
至 41年10月

設計者 鈴木正一

請負金 金150,187,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,824 Yd
- (2) グリーン 13,300 m²
- (3) ティーグラウンド 8,100 〃
- (4) フェアウェー 225,000 〃
- (5) ラフ 224,800 〃
- (6) 切土量 1,820,000 m³

作業所長 重岡頼利

工事担当 田中正直、滝島平八郎、栗飯原金太郎、
椿藤雄、根本弘司、中村享治、古木班、
高木班、紺谷班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	402	527	393	183	422	495	428	180	399	3429	
パー	4	5	4	3	4	5	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	383	185	451	501	412	185	370	384	524	3395	6824
パー	4	3	4	5	4	3	4	4	5	36	72

南九州カントリークラブ伊集院コース (41.10~42.8)

鹿児島県川内市の植村建設社長植村近氏は、鹿児島市郊外伊集院にゴルフコース用地を確保して、施工業者の選定に余念がなかった。

たまたまその頃太宰府の開場式があり、同社の役員松下嘉明氏が招かれていた。松下氏は、太宰府ゴルフ場のたたずまいにいたく感銘された様で、このことが会社と植村社長を結びつける緒となったものである。

鹿児島一帯は、桜島の噴火による火山灰土で、俗に「しらす」と言う。「しらす」は細かい灰の堆積したもので、水に弱い。僅かの勾配でも次々に流出して深い溝となり、遂には崩壊の原因となる。従って、あらゆる斜面、崖は垂直の断面で、流水の集中を阻むのが古来からの工法であるようだ。

ゴルフコースの法面は、このような状態では面白くない。緩やかな法面、自然に近い造形が植村社長との論議のもとになった。説得の末、垂直に切ることを断念しては貰ったが、そのかわり、造形後直ちに張芝、目土をし乍ら工事を進めたのであるが、降雨の度に心配、不安でびくびくしていた。

一度台風が襲来して、数ヶ所崩壊したことがあったが、南の雨は男性的で恐ろしい思いをした。まずは無事に完成して一安堵したものである。

用地の取得が原設計と相違したり、クラブハウスの位置が全く変わってしまったたり、種々困惑したものである。

その後、植村氏は大隅（志布志湾沿大崎）、奄美大島（名瀬）、川内（市比野）等に次々とゴルフ場を完成させて、盛栄であると聞く。



エレキブーム（昭和41年）

練習場所に窮した若者たちは終業後の工場練習することもあった。

世相 中国文化革命、中東戦争、羽田事件（三派全学連）





「しらす」の崩壊を修復



ヘリコプターで現地視察を終えた鈴木部長

工 事 名 南九州カントリークラブ
伊集院コース18ホールズ新設工事
発 注 者 南九州開発(株)
工事場所 鹿児島県日置郡伊集院町郡
工事期間 自 昭和41年10月
至 〃 42年 8月
設 計 者 鈴木正一
請 負 金 金145,000,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,900 Yd
- (2) グリーン 12,600 m²
- (3) ティーグラウンド 5,400 〃
- (4) フェアウェー 185,000 〃
- (5) ラフ 175,500 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 田中良一
工事担当 古木班、紺谷班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	435	395	175	515	410	185	435	505	390	3445	
パー	4	4	3	5	4	3	4	5	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	410	220	520	360	415	215	500	450	365	3455	6900
パー	4	3	5	4	4	3	5	4	4	36	72

奈良カントリークラブ五条コース (43.2~44.10)



小久保 勇氏



箱田育弘氏



奈良カントリークラブは、五条コースと大野コースを持っている。当社が施工したのは五条コースの方で、上田治先生の設計に依るものである。このゴルフ場は、用地関係を小久保社長、会員募集関係を箱田専務というコンビで発足したものであった。このゴルフ場の設営会社である奈良開発の社運は、五条コースをコースレート74.2という難コースに仕上げるだけに留まらなかった。昭和44年8月、五条の開場式を終える暇もなく大野コースの造成に着手し、これも成功裡に手中のものとされた。

箱田専務は現社長である。小久保前社長との間に姻戚関係はない。だとすると小久保社長より箱田社長へ譲られた事は事業を守ろうとする人の心意気を偲ばせるものである。

松、杉、檜など豊富な立木でおおわれたこの丘陵コースは、広いフェアウェーと十分な距離を持っており、大きな競技を迎えるに十分な要素を多く持っている。

五条は金剛山、熊野、高野山に囲まれた紀州街道筋にあるために、気象の変化が激しく、特に冬の寒さは格別底冷えがする。夏の日照りも相当なもので、各所に灌漑用水の溜池がある。土工に際して、溜池に被害を及ぼさぬ様十分な配慮が必要であった。その他にも重機が落ちて埋まったり、トラックが転落して人身事故を起こしたり、色々と面倒な事態も発生したが、所員一同結束して事に当たったために大過はなかった。

夏、冬の厳しさは現場員を大いに悩ませたが、春、萌芽から若葉、秋の紅葉はまことに見事なもので、ひとときの安らぎがあった。



世相 名神高速開通、三億円事件、学園紛争

工事名 奈良カントリークラブ五条コース18ホールズ新設工事
発注者 奈良開発興業(株)
工事場所 奈良県五条市今井1141
工事期間 自 昭和43年2月
 至 〃 44年10月
設計者 上田 治
請負金 金220,420,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 7,227 Yd
- (2) グリーン 21,600 m²
- (3) ティーグラウンド 21,600 〃
- (4) フェアウェー 211,700 〃
- (5) ラフ 285,300 〃
- (6) 切土量 1,378,220 m³

作業所長 重岡頼利
工事担当 中村享治、滝島平八郎、中辻班、
 高木班、牧野班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	451	440	230	535	185	415	409	576	423	3664	
パー	4	4	3	5	3	4	4	5	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	559	443	388	165	535	370	448	210	445	3563	7227
パー	5	4	4	3	5	4	4	3	4	36	72



東大紛争

機動隊導入に抗議する全学総決起集会。(昭和43年6月15日)



松ヶ峯カントリー倶楽部 (43.7~45.6)



アポロ11号月面着陸
(昭和44年7月21日)

人類初の月面着陸は、全世界に放送され、大きな感動を呼んだ。写真は、月面に立つオールドリン飛行士。

昭和41年、茨城ゴルフ倶楽部で寿観光社長海老原亀久寿氏を紹介された。氏は京都舟山コース第一期時代、当社の協力業者として参加された方である。今度、妙高高原にゴルフコースを設立計画しているが、については専門的意見を伺いたいとのことであった。

日を置いて、現地を視察した処、妙高山を借景とした山麓のなだらかな丘陵地で、広さも申し分ないものであった。道路を隔てて山麓一帯は自衛隊の演習地である。隣接地は松ヶ峯温泉村でひなびたペンション風のもので数十戸程貸別荘となっている。様子が解らないので、兎も角レイアウトして見て、それから相談に応ずることになった。敷地が充分あるので、申分ない基本設計が出来た。

当初は設計及び工事監修ということで協力することになり、主体は寿建設で伐採、重機作業を施工したのであるが、途中で思いがけぬことが起こった。

用地の入手経路その他で寿観光に容疑がかかり、現場所員にも退職者が相次ぎ、続行困難の状態となった。

容疑は無事解決したが、残る職員は幾許もない。海老原氏の苦渋も推察出来るし、残ったスタッフでは未熟で成果を期し難い。その後は新契約のもとで当社が施工することになり、勢メ主任のもとに阿部班を配して推進したのである。結果は、好首尾に完成を見てなによりであった。

この地は、当時はまれに見る豪雪で、積雪も平地で2mに及び、グリーンのパントグラス（ハイランドグラス）はトロトロに融けてしまった。また、フェアウエーのミックスシードも雪害に遭った。試行錯誤の結



現地踏査

果、今日の状態になったのである。

海老原氏の子息寿人氏は3年間当社員として研修し、今は副社長として要務に当っている。

海老原氏は、その後、水戸グリーン（茨城）、球磨（熊本人吉）、十和田（青森）、夏泊（青森）等のゴルフコースを経営、着々と成果を取めている。

世相 小笠原諸島正式返還、東大紛争、大阪万博、淀号ハイジャック

工事名 松ヶ峯カントリー倶楽部18ホールズ新設工事

発注者 寿観光開発株

工事場所 新潟県中頸城郡
中郷村大字岡川字
水上383

工事期間 自 昭和43年7月
至 〃 45年6月

設計者 鈴木正一

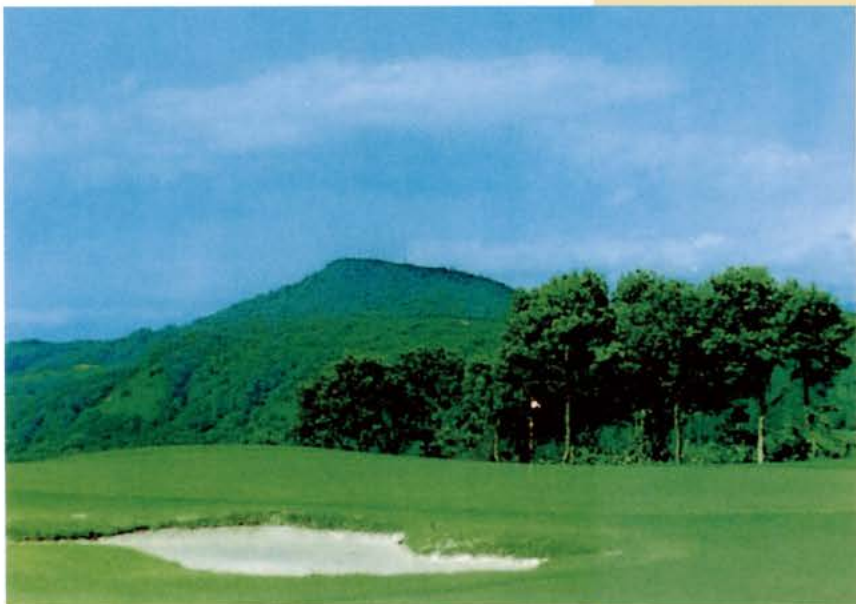
請負金 金74,500,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,595 Yd
(妙高、神奈コース)
- (2) グリーン 12,600 m²
- (3) ティーランド 9,000 〃
- (4) フェアウェー 180,000 〃
- (5) ラフ 200,000 〃
- (6) 切土量 別工事

作業所長 勢メ作造

工事担当 阿部班



コースより妙高山を望む



妙高	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	505	205	440	330	525	370	185	370	400	3330	
パー	5	3	4	4	5	4	3	4	4	36	
神奈	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	合計(Y)
ヤード	500	375	325	395	175	380	175	500	440	3265	6595
パー	5	4	4	4	3	4	3	5	4	36	72



神鍋高原カントリークラブ (44.8~45.11)

神鍋山は兵庫県の最北東にあり、冬はスキーで賑わうところである。この神鍋山の山裾にゴルフ場を計画したのが神戸の全但バス株式会社であった。夏はゴルフ、冬はスキーという目論見が同社にはあった様で、ゴルフにもスキーにも熟練の人であった大津新一氏がゴルフ場造成の衝に当たられる事となった。

大津氏は、京都市内で歯科医を開業しておられ、傍ら京都ゴルフ倶楽部の古いメンバーでもあったので、当社の経歴に就いては充分承知しておられた様だった。そのためか、神鍋ゴルフ場の造成工事は特命の様な形で受注したものであった。

大津氏は、このゴルフ場作りに大きな夢を持っておられた。それはこのコースを関西学生ゴルフ連盟の指定コースにしようというもので、そのためには既存の名コースを凌ぐ様なものにしたいたとの抱負で一杯であった。しかし、予定された用地が16万坪弱という、極めて狭小なものであった事が、氏の夢の実現を拒んだ。



造成中

誠に残念な事であった。

神鍋山のゲレンデにスキーハウスが有り、作業員はそこに駐在、宿営した。さすがにスキー場である。入所の頃は一面2m余の積雪で、機械の搬入はうず高い雪を除雪しながらやっとの思いでロッジに到着した。

この辺は、高所に登ると石楠の群生を見ることが出来、部落は、ほとんどはスキーヤーの民宿である。春は鶯が囀り、秋は萬山紅葉が見事である。

大津先生は毎週の様に来られて、熱心に指導されていた。夜は至近の城崎温泉に宿泊されるのが常で、英気を養って貰うとの口実で、折々御相伴させて戴いたものである。

当時は、神鍋開発の社長は近藤氏で、専務は佐野氏であったが、万事に細かい方で工事の進め方にも細心の配慮を行ったものである。



大阪万博
(昭和45年3月15日)

大阪府吹田市で開催された日本万国博覧会に、77カ国が参加。期間中6421万8千人の入場者を数え、大成功のうち幕を閉じた。

世相 東大安田講堂封鎖解除、マンガブーム、大阪万博、淀号ハイジャック

工事名 神鍋高原カントリークラブ18ホールズ新設工事

発注者 神鍋高原開発株

工事場所 兵庫県城崎郡日高町東河内

工事期間 自 昭和44年8月

至 45年11月

設計者 大津新一

請負金 金165,000,000円

工事概要

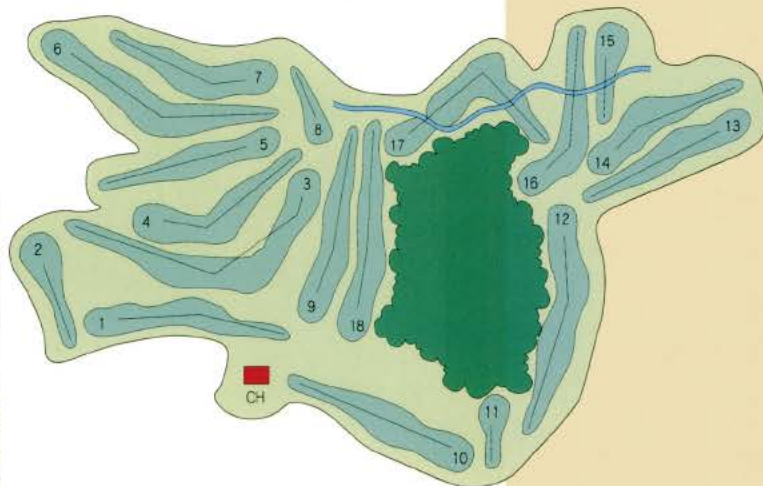
- (1) 18ホールズ 6,431 Yd
- (2) グリーン 10,800 m²
- (3) ティーグラウンド 2,700 〃
- (4) フェアウェー 173,000 〃
- (5) ラフ 164,295 〃
- (6) 切土量 519,272 m³

作業所長 田中良一

工事担当 中村享治、椿藤雄、石井武雄、古木班、巴班、中部班



開場式風景



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	344	175	510	386	371	490	389	205	347	3217	
パー	4	3	5	4	4	5	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	451	150	483	355	351	153	347	490	434	3214	6431
パー	4	3	5	4	4	3	4	5	4	36	72



河本嘉久蔵氏

ジャパンエースゴルフ倶楽部 (45.1~46.11)

このゴルフ場は、故河本嘉久蔵氏が作られたものである。河本さんは京都で300坪の敷地に石井ガーデンというミニチュアゴルフ練習場を持ち、京都ゴルフ場の石井治作プロ（当時）が指導していた。また、河本さんは京都に住んでおられた関係で、故成宮喜兵衛氏とも親交があった。

滋賀県にゴルフ場を作るという事で、相談は成宮さんの処へ行き、成宮さんは京都ゴルフ場の主の様な方であった事などから、工事発注はなんとなく当社へ向かったものである。

ジャパンエースの工事が発足すると間もなく、成宮さんが物故された。成宮さんは、われわれを連れて庭石とか滝とかを見せに連れて行かれたもので、同氏の存命中にジャパンエースが出来ていたとすると、コース内には京都風情を偲ばせる庭園風の造作が随所に出来ていたと思う。

故河本氏はその後参議員議員を二期続け、入閣して国土庁長官（兼沖縄・北海道開発庁長官）となられたこともあり、県下に君臨されていた。

ジャパンエースの原形、素材は、ゴルフコースとしては近年では最高のもので、ゆるやかな起伏と田園風景がわれわれの創造意欲を昂めた。惜しむらくは、開発の条件とされていた部落の道路が、10番ホールに添い挿入されてしまった為に、初期のレイアウトの変更を余儀なくされたことと、18番ホールのグリーン前の在来の池を原形のまま残さねばならないこととなって、トリッキーな池越えホールとなったことである。

地形が良いために土工量も通常の半分で済み、土質も良好で、万事施工し易く、樹木も沢山残って、理想的に近いものが出来た。

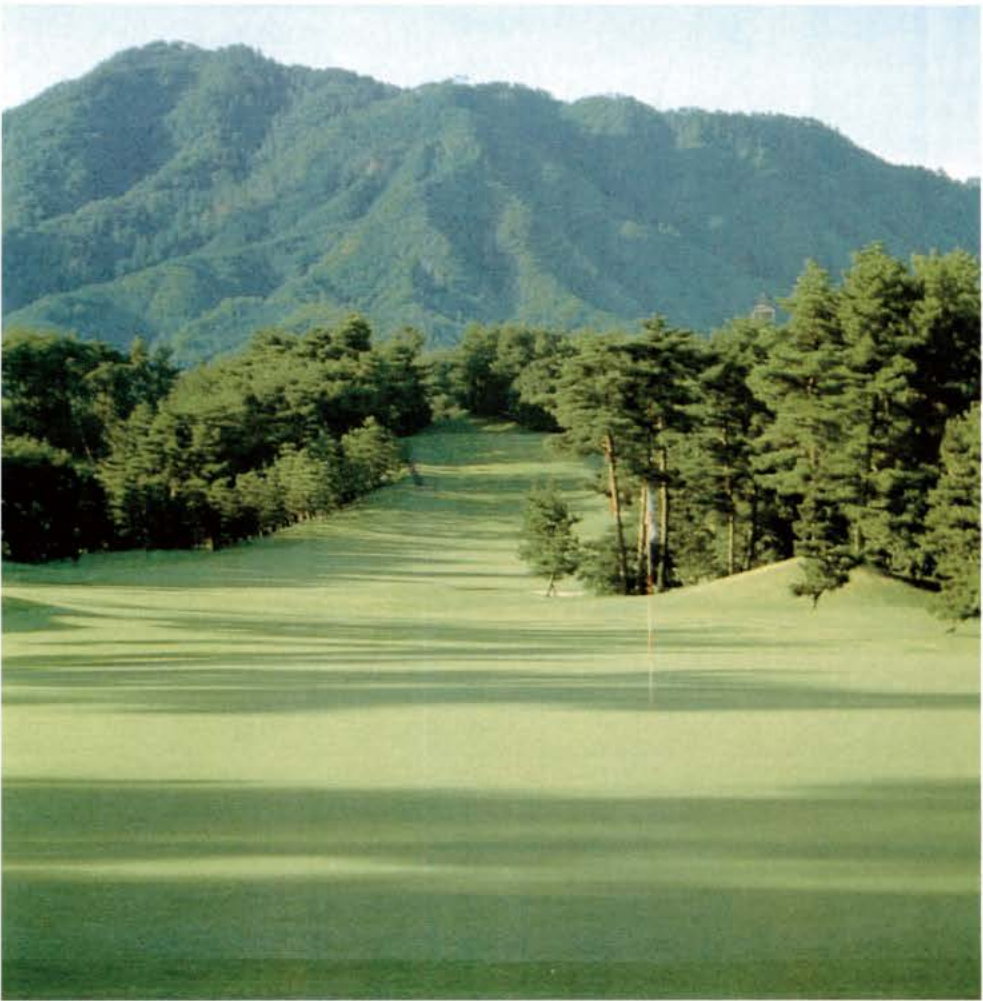
成宮さんが存命ならば、さぞかし御悦びになったことであろうと残念至極である。

ジャパンエースを契機として、河本氏（綾羽工業）に依るゴルフ場工事は次々と当社が受注の榮に浴することになるのである。

世相 三島由紀夫割腹、大阪万博、「淀号」ハイジャック、環境庁発足

工事名 ジャパンエースゴルフ倶楽部18ホールズ新設工事
発注者 (株)アヤハゴルフリンクス
工事場所 滋賀県栗太郡栗東町下戸山500
工事期間 自 昭和45年1月
至 〃 46年11月





「よど号」ハイジャック事件
(昭和45年3月31日)

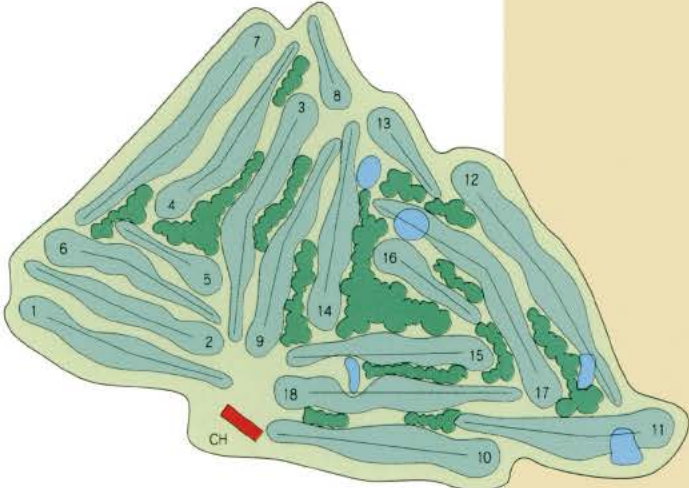
羽田発福岡行きの日航機「よど号」を赤軍派学生9人がハイジャック。「北朝鮮への飛行」を要求。搭乗口で日本刀を持って監視する犯人。

設計者 鈴木正一
請負金 金393,201,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 6,880 Yd
- (2) グリーン 12,600 m²
- (3) ティーグラウンド 9,000 ♪
- (4) フェアウェー 221,820 ♪
- (5) ラフ 217,030 ♪
- (6) 切土量 597,393 m³

作業所長 重岡頼利
工事担当 小島平吉、滝島平八郎、椿藤雄、石井武雄、中辻班、高木班、小松班、牧野班、伊藤班、中部班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	410	370	525	405	210	340	535	180	465	3440	
パー	4	4	5	4	3	4	5	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	405	395	540	220	410	360	180	500	430	3440	6880
パー	4	4	5	3	4	4	3	5	4	36	72

熊本中央カントリークラブ (45.9~46.7)



ニクソン・ショック
(ドルショック)

(昭和46年8月15日)

ニクソン米大統領は、金とドル交換の一時停止、10%の輸入課徴金などを含むドル防衛策を発表した。

玄海ゴルフ場の工事が終わった昭和39年頃、熊本市郊外でゴルフ場用地の買収に失敗した事はさきに述べた。当社と熊本中央が一つの土地を持ち合ったままの状態が暫く続いた或る日、太宰府ゴルフ倶楽部の開場記念の行事が行われた。熊本中央ゴルフ場の佐々木社長もこの行事へ出席という事になって、ここに当社と熊本中央との話し合いの機運が再燃した。

結局、当社は用地を購入価格で地元譲る代りに施工の一任を得るという条件で、永い間の懸案の事業が出発点に着く事となった。

コース施工は当社、クラブハウス施工は高木工務店という事にし、設計を上田治先生にお願いする事にして、熊本中央ゴルフ場の造成が始まった。

台地に作られたこのゴルフ場は、高低差10m内外という絶好の地形に恵まれていたこともあって、設計者上田先生の熱の入れ様も一入であった。果たして出来上がったコースのたたずまいは素晴らしいものとなり、小金井ゴルフ場に似て雑木林に囲まれたこのコースは、四季を通じての景観も素晴らしく、開場早々にして、九州での名門コースの地位を約束づけられていた。



コースは、比較的平坦であるが距離があり、グリーン廻りに変化があり正確なアプローチショットを要求している。また、バンカーも深いフェアウェーに樹木が多数残されているので、戦略性を強調している。各グリーン共高く作られているので正確なピッチショットでなければ通用しない。

16番ホールグリーン手前の樹木を残すか切るかで、上田先生がしばらく思案されていた。結局残すことに決まり、星霜を加えて今は亭々と繁り、プレーヤーの高度の技術を要求している。

当時は、役員に取締役支配人として土生清人氏、経理に藤川謙三氏がおられて、いずれもユニークで洒落な方々であった。

世相 ニクソンショック(ドルショック)、横井庄一氏グアム島で発見

工事名 熊本中央カントリークラブ
18ホールズ新設工事
発注者 中央ゴルフ(株)
工事場所 熊本県菊池郡旭志村川辺1217
工事期間 自 昭和45年9月
至 46年7月

設計者 上田 治
請負金 金162,514,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 7,132 Yd
- (2) グリーン 12,600 m²
- (3) ティーグラウンド 12,600 ㍊
- (4) フェアウェー 216,900 ㍊
- (5) ラフ 132,915 ㍊
- (6) 切土量 205,528 m³

作業所長 尾形 浩
工事担当 中村享治、石井武雄、古木班、高木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	549	433	187	371	543	406	170	434	435	3528	
パー	5	4	3	4	5	4	3	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	570	440	210	425	580	387	183	397	412	3604	7132
パー	5	4	3	4	5	4	3	4	4	36	72

日野ゴルフ倶楽部 (46.3~48.10)



昭和40年代に入ると、世情はいざなぎ景気で潤うことになり、ゴルフ界は尾崎選手のパワーゴルフでブームを巻き起こしていた。この時期、京都ゴルフ場東西の両コースではプレーヤーの収容能力が限界にせまりつつあり、新コースの建設が切に望まれる様な状態であった。

高速道路を利用出来ること、36ホールズの用地が確保出来ること、関東風の平坦なコースが出来ること、などを目指して用地探しが始まり、結局、八日市インターチェンジ寄りの日野町に決定したのは昭和45年夏の頃であった。当時、日野町では工業団地の誘致に力を注いでいた事もあって、この地にゴルフ場を作る事には異存はなく橋田町長以下、町役場あげての協力が得られた事は幸いであった。

36ホールズを容れる50万坪の用地買収に拘るいろいろな苦労話が多いが就中、柚区長山田治三郎氏の協力だけは忘れられない。柚部落の24万坪が用地に組み込まれており、それは柚部落北部の山林、田地、田畑の総てであった。従って土地を手放す地主の不安も強く、その説得に当っての山田氏の功績は絶大であった。

紆余曲折はあったが、年が明けた2月25日に、地主、会社の調印式が行われ、起工式-工事着工-キングコース仮開場と工事は順調に捗り、昭和48年10月15日36ホールズ開場となった。

完成したキングとクイーンの両コースのたたずまいは、チャンピオンコースとしての風格を備え持っており、このあと日本オープン、関西オープン等の選手権競技の場となったのである。

キングコース建設時にはじめてモータースクレーパーを投入した。スピード、作業能力とも抜群で貞市翁はいたく感興を示されて、終日足を止めておられたことであった。

キングコースとクイーンコースは町道に依って二分されている。クラブハウス



**沖縄返還
(昭和46年6月17日)**

沖縄県民の悲願であった沖縄返還協定が調印され、本土復帰を祝うちょうちん行列が各地で行われた。

よりクイーンコースに行くときに、橋を渡る違和感をなくし、あたかもキングコースの地続きであるかの様に、自然体で導入することを旨として発想せよとの貞市翁から指示があった。

このことが、連絡橋の中員を10mに拡げることになったのである。

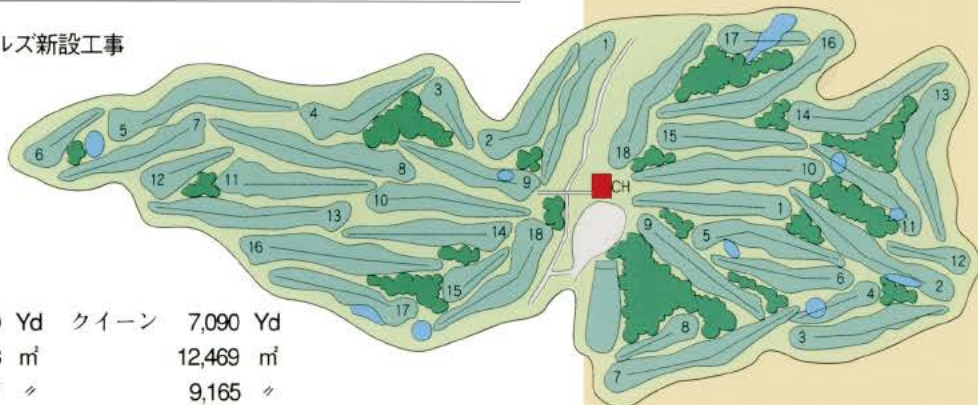
日野は、その昔応仁の乱で都落ちした公卿の定着した土地と言われるところで、近くに永源寺、百済寺などの名刹が多く雅の趣きがある。

世相 沖縄返還、日本列島改造論（田中内閣発足）浅間山荘事件、ゴルフブーム、金大中事件、第二次オイルショック

工事名 日野ゴルフ倶楽部36ホールズ新設工事
発注者 観光日本株
工事場所 滋賀県蒲生郡日野町杣
工事期間 自 昭和46年 3月
 至 48年10月
設計者 鈴木正一
請負金 金1,455,550,000 円
工事概要

(1) 36ホールズ	キング	7,040 Yd	クイーン	7,090 Yd
(2) グリーン		13,413 m ²		12,469 m ²
(3) ティーグラウンド		9,917 ♯		9,165 ♯
(4) フェアウェー		207,485 ♯		208,360 ♯
(5) ラフ		233,301 ♯		279,166 ♯
(6) 切土量		1,000,000 m ³		1,500,000 m ³

作業所長 キング 鈴木正夫 クイーン 重岡頼利
工事担当 キング 勢ノ作造、横山良、西川善雄、椿藤雄、小島平吉、石井武雄、山田班、小林班、牧野班、中部班、加藤班
 クイーン 西川善雄、椿藤雄、小島平吉、勢ノ作造、中辻班、牧野班、中部班、山田班、小松班



キングコース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	415	510	405	225	410	365	560	205	420	3515
パー	4	5	4	3	4	4	5	3	4	36

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	505	380	200	435	430	415	530	200	430	3525	7040
パー	5	4	3	4	4	4	5	3	4	36	72

クイーンコース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	430	400	180	380	520	220	420	550	390	3490
パー	4	4	3	4	5	3	4	5	4	36

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	430	410	240	540	440	180	550	390	420	3600	7090
パー	4	4	3	5	4	3	5	4	4	36	72



昭和59年「関西オープン」が開催された



藤木安蔵氏

交野カントリー倶楽部 (46.4~47.12)

国道1号線の京都と大阪の間に洞ヶ峠がある。史実に有名なところである。土豪の領士筒井順慶が豊臣と徳川をてんびんにかけ、どちらに味方しようかと思案した場所とも言われている。この洞ヶ峠の大阪寄りに天野川の交叉点がある。この交叉点は別名くらわんか船の交叉点とも呼ばれ、ここを左折して暫くすると交野ゴルフ場に着く。

このゴルフ場は、宇治カントリークラブにおられた藤木安蔵氏が作られたもので、設計、施工共当社に一任された。

このゴルフ場については因縁がある。それは数年前観光日本の貞市翁が用地検分に赴いた事のある場所であるからだ。新しいコースを求めてか、或いは京都舟山コースの代替地を求めてか、今となっては故人の胸中を知る術もない。その時の道順は現在の様に迂回した道を取らず、交野市用水地の真下のところより山道を登ったものであって、貞市翁が再びこの地を訪れる事が無かったのは、登り道が急峻過ぎたのか、或いは用地が狭小に過ぎたのか、その理由は不明である。

交野は全域土質が花崗土であり、随所に硬い花崗岩が壘々としていた。爆破量も相当なもので工事は難工を極めた。用地が部落の共有地であった為か、林野の手入れも疎かであって、風倒木もそこかしこにあり原生林さながらであった。従って当初の測量伐採からして容易には進行しなかった。4番、5番ホール沿いの「白旗池」の沿岸の擁壁は最も苦勞して防災施工を試みたものである。

当初の設計に対して、6番、7番ホールの谷筋の用地がどうしても入手出来ず、心ならずも変更設計を余儀なくされ現状の結果となったのはかえすがえすも心残りである。この用地の入手、その他の事情で工事は一時中断、待機したことがあった。

また、クラブハウス眼前は転石壘々として視界が遮られて誠に鬱陶しい環境であったが、後年これら一切を取り除き、練習グリーンを設け、スタートをのびのびとさせることが出来た。

ここから発生した巨岩の数は夥しいもので、中辻土木の労苦も筆舌に尽し難いものであった。また、この時神戸の辰己組の発想で、巨岩の細断に「カーム・マイト」を使用した。今までの様な爆破では至近の距離にあるクラブハウスに被害が及び兼ねないからである。結果は爆音も小さく満足に処理出来た。

現在の交野口から登る進入路は最終段階で出来上がったもので、工事中は裏の畜産団地を経て進入していたのであるが、或る日、当社のジープが崖下の団地にもんどり打って転落した事故があった。幸い軽傷で救われたが、危ういことであった。



世相 浅間山荘事件、1ドル308円、山陽新幹線岡山迄開通、
沖縄県発足、第一次田中内閣発足



第一次田中内閣
(昭和47年7月7日)

「日本列島改造論」を引っさげて
登場した。

工 事 名 交野カントリー倶楽部18ホールズ新設工事
 発 注 者 交野開発株
 工事場所 大阪府交野市倉治2937
 工事期間 自 昭和46年4月
 至 47年12月
 設 計 者 鈴木正一
 請 負 金 金747,000,000円

工事概要
 (1) 18ホールズ 7,010 Yd
 (2) グリーン 12,600 m²
 (3) ティーグラウンド 12,000 〳
 (4) フェアウェー 289,100 〳
 (5) ラフ 155,100 〳
 (6) 切土量 2,120,000 m³

作業所長 田中良一
 工事担当 中村享治、山田班、紺谷班、
 古木班



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	450	500	200	385	135	435	510	440	435	3490	
パー	4	5	3	4	3	4	5	4	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	395	390	405	220	555	180	380	435	560	3520	7010
パー	4	4	4	3	5	3	4	4	5	36	72



バンダブーム
(昭和47年11月5日)

「トントン」は姿を見せず、両親がいるだけのバンダ舎。連日大勢の人達の行列ができた。

額田ゴルフ倶楽部 (47.3~49.12)

昭和45年になると、日本のゴルフ界に第二回目のゴルフブームが訪れた。尾崎選手等に代表されるパワーゴルフブームである。この時期、貞市翁は7番目の系列コースとして、日野で36ホールズのゴルフ場作りに励んでいたのであるが、その旺盛な事業意欲は日野だけにとどまらなかった。目を中京地区に向け、候補地の探索に余念がなかった。

東春日井、桑名、四日市と用地の物色をしたのであったが、条件に見合うようなものに出会えず、日を過ごしている中に、岡崎市の近くの額田町南大須の話が出て来た。用地検分をして見ると、地形は思った程悪くはなく、36ホールズ分の土地が纏まりそうだが、花崗岩が随所に出るといふ。用地内外の古木の林の景観からして、岩盤地帯は恐れる程広くないと見当をつけて始めたのが額田ゴルフ場であった。

用地買収に当って困惑したのは、不動産業者が既に数人入っていた事である。何しろ50万坪という広さだからそれも致し方の無い事ではあったが、これでは用地買収が捗らない。思案の挙げ句辿りついたのが地元東海銀行の不動産部であった。ここで用地買収を一括して請け負って貰うことになって、漸く愁眉を開く事が出来たのであった。

この工事には火薬30トンが必要であった。神戸の爆破専門業者である辰己組にその一切を任せ、設計、施工は安達建設が取りしきった。しかし、何しろ海拔400mの高地だからかなりの地形の起伏があり、36ホールズを作り終わった時、東コースが西コースに較べて見劣りがするものも致し方のない事であった。東コースにとって更に条件を悪くしたものが保安林の存在で、このためコースの配置変えを余儀なくさせられた。

ハウスの設計は彦谷設計事務所で行い、施工は清水建設が行ったが、完成間際に第四次中東戦争に依るオイルショックが起き、一部の設計変更を余儀なくさせ



られた。また変電所よりハウスまでの銅線の入手にも難儀を極めた。架線で繋ぐのであれば細い銅線に間に合うのであるが、地中を走らせるとなるとかなり太いものを使わねばならず、戦争勃発直後の状態では殆ど入手不可能であった。然し貞市翁の鶴の一声で、それこそ金の草鞋を履く思いで探したものであった。



工事名 額田ゴルフ倶楽部36ホールズ新設工事
発注者 日観興業(株)
工事場所 愛知県額田郡額田町大字南大須字桃之沢41
工事期間 自 昭和47年3月
 至 〃 49年12月

設計者 鈴木正一
請負金 金2,400,000,000円

工事概要

(1) 36ホールズ	西	7,060 Yd	東	6,740 Yd
(2) グリーン		24,442 m ²		12,860 m ²
(3) ティーグラウンド		5,323 〃		7,300 〃
(4) フェアウェー		103,219 〃		162,685 〃
(5) ラフ		112,069 〃		235,660 〃
(6) 切土量		1,186,590 m ²		1289,980 m ²

作業所長 鈴木正夫
工事担当 粟飯原金太郎、田中正直、滝島平八郎、石井武雄、横山良、牧野班、辰己班、山田班、堂坂班、中部班



西コース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	400	415	230	520	200	430	405	530	390	3520	
パー	4	4	3	5	3	4	4	5	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	550	190	430	390	410	530	400	220	420	3540	7060
パー	5	3	4	4	4	5	4	3	4	36	72

東コース

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	330	520	150	445	450	360	500	220	360	3335	
パー	4	5	3	4	4	4	5	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	520	390	200	380	530	420	380	190	395	3405	6740
パー	5	4	3	4	5	4	4	3	4	36	72



朝日野カントリー倶楽部 (49.1~52.2)

先にジャパンエースゴルフ倶楽部を作られた河本嘉久蔵氏が、次いで蒲生町に計画、建設したのが朝日野カントリー倶楽部である。

河本先生は、ジャパンエースが比較的易しく、シニア級が愉しくラウンド出来ることを目指したのに比べて、今回はチャンピオンシップトーナメントコースをとの要望であった。はじめクラブハウスはコースの中央に位置するレイアウトであったが、用地の取得が儘ならず、現況の様に変更せざるを得なかった。為に駐車場のエリアが狭く、練習場を設けることが出来なかった。(後年練習場は別に設定した)

先のジャパンエースと異って、朝日野の原形は結構厳しく、土工量も多かった。土質も粘土質が多く、原生樹林も貧弱であった。中央に長く深い巾広い水溪が在って、之を埋めたり生かしたりすることが工事に差障りを生じたが、これらは重岡所長の技倆と熱意で克服され、見違える様に造形された。

ここは日野と同様に冬期の積雪が多く、その対策にも悩まされたものである。最近のゴルフ場建設には、住民パワーを疎かにすることは出来ない。その住民パワーのはしりが、ここ朝日野にもあった様に思う。それは県道よりクラブハウスに至る迄の河川改修であった。億単位の金が此のために必要であったのである。

この現場で優秀なオペレーター藤近氏を失なった。ふとしたはずみの事故死であったが、誠に遺憾なことであった。御冥福を祈る。

世相 小野田元少尉ルバング島から帰国、フォード米大統領来日、エリザベス英女王来日、沖縄海洋博、第一回サミット、ロッキード事件、モンテリオールオリンピック

工事名 朝日野カントリー倶楽部18ホールズ新設工事
発注者 (株)アヤハゴルフリンクス
工事場所 滋賀県蒲生郡蒲生町鈴1120
工事期間 自 昭和49年1月
 至 52年2月
設計者 鈴木正一
請負金 金1,412,068,000円

工事概要

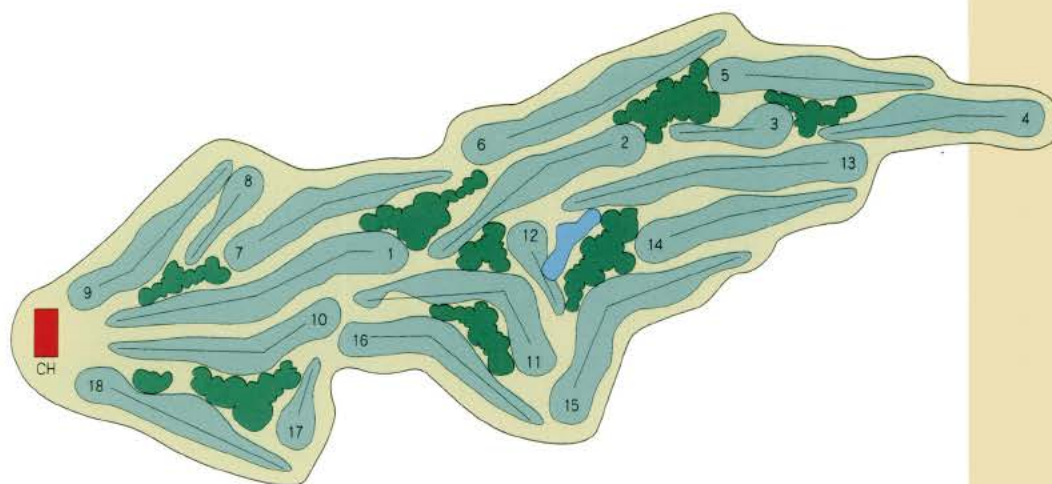
- (1) 18ホールズ 6,920 Yd
- (2) グリーン 13,500 m²
- (3) ティーグラウンド 9,000 〃
- (4) フェアウエー 149,000 〃
- (5) ラフ 243,000 〃
- (6) 切土量 1,500,000 m³

作業所長 重岡頼利
工事担当 滝島平八郎、西川善雄、小島平吉、村田晴、中辻班、紺谷班、正川班、中部班



**小野田元少尉
ルバング島より帰国
(昭和49年3月10日)**

「残置謀者」という特殊任務を帯びて30年間ルバング島にとどまった小野田元少尉が奇蹟の生還を果たす。



ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	550	420	180	380	390	520	430	220	370	3460	
パー	5	4	3	4	4	5	4	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	430	440	170	560	400	500	380	160	420	3460	6920
パー	4	4	3	5	4	5	4	3	4	36	72

庄原カントリークラブ (49.3~51.7)

松永カントリークラブの故浦上理事長は、かねてから次のコース建設が御願であった。しかし、近隣には帯に短し、襷に長しで、なかなか手頃の候補地が見つからないままに時が過ぎた。

リョービの社長は、浦上豊氏、御舎弟浦上秀夫氏、御子息浦上浩氏と継承されていたが、同社が中国縦貫道三次インターに近い庄原にゴルフコースを持つことになり、設計、施工を当社で受注することになった。これは先代故浦上豊松永CC理事長が、数回にわたって当社と係わって計画したコースが実現しなかったことに対して、次回可能性のあるときは是非参加させよとの御意志に基づくものであった。有難いことである。

当時の庄原は、交通の便の悪いへんぴなところであった。広島より芸備線で約3時間、福山よりは福塩線塩町乗り換えで3時間半ということであったが、今では中国縦貫道が開通しているので至便である。

庄原は中国山脈の中に有って、松茸の産地であり「比婆ゴン」の棲息も噂される山間であり近くに帝釈峡がある。

コースは台地に有るので、各ホールで三次盆地、中国山系の景色を眺める事が出来、丘陵コースにふさわしい眺望を持ったゴルフ場である。

起伏を十分に生かし、バンカーと池を巧妙に配置した各ホールは、此のコースをより戦略性に富んだものになっている。

当初27ホールズを計画したが、用地の不足その他で18ホールズとなった。松永



とは対照的に広く、トータル
ヤーデージも長いので、松永
ゴルフ場のシングルプレーヤ
ーに好評である。

用地の問題、許認可の件な
どで施工途時暫くの中断があ
り、工期は延引したが、大過
なく竣工することが出来た。

道路、防災工事はリヨービの
出入業者が担当した。



世相 田中金脈問題、三木内閣誕生、ロッキード事件

工 事 名 庄原カントリークラブ18ホールズ新設工事
発 注 者 リヨービ開発(株)
工事場所 広島県庄原市板橋町600
工事期間 自 昭和49年3月
至 〃 51年7月
設 計 者 鈴木正一
請 負 金 金742,000,000円

工事概要

- (1) 18ホールズ 7,030 Yd
- (2) グリーン 12,600 m²
- (3) ティーグラウンド 9,000 〃
- (4) フェアウェー 136,400 〃
- (5) ラフ 267,130 〃
- (6) 切土量 1,490,000 m³

作業所長 田中良一
工事担当 中村享治、勢ノ作造、横山良、牧野班、堂坂班、中部班



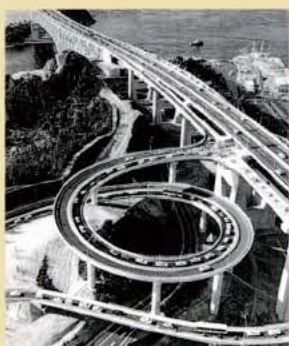
ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	400	360	180	540	420	200	430	410	570	3510	
パー	4	4	3	5	4	3	4	4	5	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	360	580	400	220	560	370	410	200	420	3520	7030
パー	4	5	4	3	5	4	4	3	4	36	72



ロッキード事件
(昭和51年2月4日)

ロッキード事件に関する外為法違反容
疑で逮捕され東京拘置所へ向かう田中
前首相。

美奈木ゴルフ倶楽部 (61.10～平成1.4)



瀬戸大橋開通
(昭和63年4月)

開通した瀬戸大橋。与島インター上空から岡山県側を望む。

貞市翁没後暫くしてであった。京都上賀茂コースで幹部会が開かれた時の事である。“貞市社長はわれわれの年頃には京都、茅ヶ崎を完成していた”という話がきっかけとなり、それではわれわれも動いて見ようかというのが、美奈木発足の発端であった。

それから一年、いろいろな用地が話題にのぼりそして消えて行った。それらの中で最後迄残ったものが吉川インターチェンジの周辺にある二ヶ所であり、美奈木はその一つであった。吉川インターより至近の距離に位置していた事も選定に当たっての有力な要素であった。

用地は約30万坪を予定し、その境界をどこに決めるか、また、決めた用地内の地主が買収に応じて呉れるかどうかという難問をクリアせねば前に進めない。

部落会を何度も開いて説得に努めた結果、用地を纏める見通しも出来たのであるが、用地に計画した楨部落だけが説得に応じて呉れなかったのは痛手だった。関係官庁へ出す工事許可申請書が整ったのは昭和61年5月頃であった。申請の時には地主全部の売買承諾書の添付が必要であり、あとは許可証が来るまでに承諾書を取り交した土地の売買を成立させなければならぬという事情があった。工事許可が出たのは予定より若干遅れた9月で、この間16ヵ月を要した。

起工式は昭和62年11月18日、現在のクラブハウスの位置で行われた。36台のブルドーザーの行進を見ながらの門出であった。

コース用地は土地選定の時に充分検討してあったので比較的平坦な場所に造成することが出来た。リフト、架橋などの構造物を作らないという方針に沿っての工事であったが、地形の利に併せて安達建設の技術が見事にこの条件を満した。



会員の募集は、当時としてはかなりの高額であったため、これを会社で行うことはせず、総てを取引銀行に任せた。この着想は思いの外順調に運び、このあとこれを真似るゴルフ場が続いた。

クラブハウスの意匠には随分と迷ったもので、結局クラブハウスを手掛けた事のない札幌のブク設計事務所に、斬新な構想に依る設計の総てを依頼する事とした。

開場の約束は昭和63年秋の筈であったが、会員の方々の了解を得て、半年後の平成元年6月24日盛大に開場式を行った。お陰で芝生の状態も申し分なく、プレーはノータッチで行える程であった。



工事名 美奈木ゴルフ倶楽部
18ホールズ新設工事
発注者 観光日本株
工事場所 兵庫県三木市口吉川町大島
工事期間 自 昭和61年10月
至 平成1年4月
設計者 鈴木正一
請負金 金4,235,000,000円
工事概要

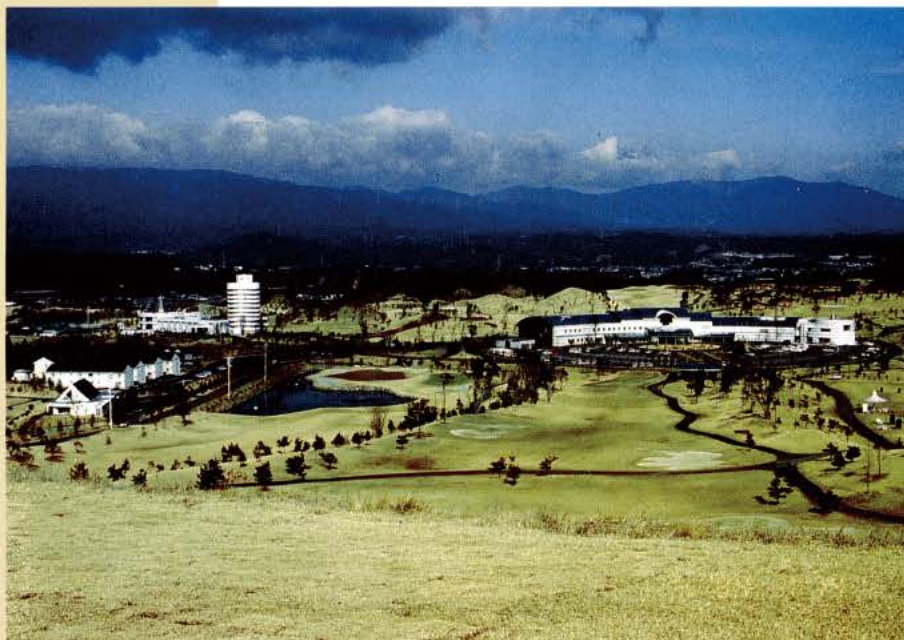
- (1) 18ホールズ 7,073 Yd
- (2) グリーン 21,725 m²
- (3) ティーグラウンド 12,035 ♪
- (4) フェアウェー 129,130 ♪
- (5) ラフ 422,395 ♪
- (6) 切土量 1,722,000 m³

作業所長 横山 良
工事担当 西川善雄、勢ノ作造、村田晴、
市岡芳男、東山民雄、正川班、中部班、牧野班、山崎班

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)	
ヤード	530	403	462	213	378	373	536	206	405	3506	
パー	5	4	4	3	4	4	5	3	4	36	
ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計(Y)	合計(Y)
ヤード	392	569	198	459	392	215	536	371	435	3567	7073
パー	4	5	3	4	4	3	5	4	4	36	72



白山ヴィレッジゴルフ倶楽部 (61.7~平成5.5)



イラン・イラク戦争が始まった昭和55年、第二次オイルショックの暗雲が日本経済の上に加えられた。列島改造ブームも下火になったこの時期、安達建設は大きな仕事を受注していない。東京ー千葉ー箱根ー中京ー四国ー阪神ー中国ー九州と車を駆って、活路を求めて東奔西走した。しかし、改造工事以外新しい事

態はない。じっと身を屈めて嵐の過ぎるのを待っていたのだ。

昭和60年頃になると、新しい景気の胎動が感じられるようになった。第三次ゴルフブームのはしりである。

ゴルフ界の活況のさざしに水をさす様な事件が起きた。奈良県や長野県で起きたゴルフ場流域、河川の水質汚染の問題である。そしてこれに追い打ちをかける様にして、北海道で養魚大量死事件が起きた。

これ等の事件は、行政官庁のゴルフ場建設に対する態度を硬化させた。加えて自然環境の保護、農薬の制限が拡大し、ゴルフ場開発規制はますます厳しくなった。新設コースは無農薬でという千葉県の事例も発表された。

安達建設が昭和59年受注した三重白山の工事はこんな問題の発生する直前であった。

昭和56年、伊藤忠ハウジングからの紹介で、京都ゴルフ場で福田純一氏と面接、三重白山の事情を伺った。東急建設起案の開発許可済の物件の説明を受けたが、原案のままでは立派なコースは出来ないで、根本的な設計変更が可能ならば再考するという引き取って戴いた。

その後、提示のあった条件はすべて差支えないのでよろしくとの返事があり、早速設計変更して見ると意外に良いものが出来る確信を得たのでその旨を伝えた。福田純一氏は平城開発社長で、専ら奈良県で宅造、分譲をしておられたのであるが、是非ゴルフコースを持ちたいとの非常な熱意と執着を持っておられた。上記の通りの時勢で、昔からの協力業者の配転に苦慮していた頃であり、食指は動いたが、慎重に対処すべきだとの結論になった。福田氏からは再考の要請があり、推移を見て居たが、物件を持ち込んだ東急建設に代わって、新井組が福田氏の提示する条件で受注することとなったので、当社は新井組の協力会社として参加、設計、監修は当社受注となって発足したものである。幸いに工事も順調に推移



雲仙普賢岳大噴火
(平成3年6月)

多数の死者、行方不明者を出した
大火砕流。

し、時運も恵与して、三重白山ゴルフ倶楽部は成功したのである。

三重白山の成功に依り多大の自信を得た福田氏は、続いて近隣の土地に27ホールズの企画を練った。この時第三次ゴルフブーム到来、世はバブル経済に突入する。

用地は大半は大倉建設の既得地で、福田氏はこれを譲り受け、若干の追加用地買収を行った。用地決定後、開発許可申請は大倉建設が担当して、間もなく許可が降りた。これが白山ヴィレッジ27ホールズ建設工事である。工事は各社個別契約とし、大倉土木（土工事、防災工事）、安達建設（コース設計、造形仕上、植栽工）、新井組（クラブハウス、クアハウス、ログハウス等の建築）に分担された。建築設計は黒川紀章氏である。

工事は多少の紆余曲折はあったが、大局は順調に進展し、開場の運びとなった。しかるに福田氏は27ホールズで飽き足らず、続いてあと9ホールズ（ロイヤルコース）を建設することになった。そしてこれも大過なく用地買収、建設許可、工事を完了して現在に至った。万事手際よく、迅速な判断、行動は鮮やかなものであった。

これは将に天の運、地の運、人の運の然らしめるもので、およそ10年間の長い間、福田氏の信任を得、また当社の石橋を叩いて渡る合理性を貫いて、設計、施工の責任を果たした中村享治の功績である。

今ではコース内のアザレアホテルの豪華な設備を提供されることがあるが、吾々は誠に苦手で、贅沢な雰囲気よりも、村はずれに在る現場宿舎で屯することに、言いしれぬ愛着と満足感を覚えるのは初心忘れぬ根性であろう。

世相 リクルート事件、昭和天皇崩御、湾岸戦争、PKO協力、バブル経済と金融スキャンダル

工事名 白山ヴィレッジゴルフ倶楽部
36ホールズ新設造形仕上工事

発注者 白山開発株

工事場所 三重県一志郡白山町

工事期間 自 昭和61年7月
至 平成5年5月

設計者 鈴木正一

請負金 金4,778,400,000円

工事概要 (キングコース) (クイーンコース) (プリンスコース) (ロイヤルコース)

(1) 36ホールズ 3,493 Yd 3,480 Yd 3,453 Yd 3,401 Yd

(2) グリーン 11,640 m² 10,645 m² 11,265 m² 6,550 m²

(3) ティーランド 7,875 ♯ 7,355 ♯ 7,990 ♯ 6,520 ♯

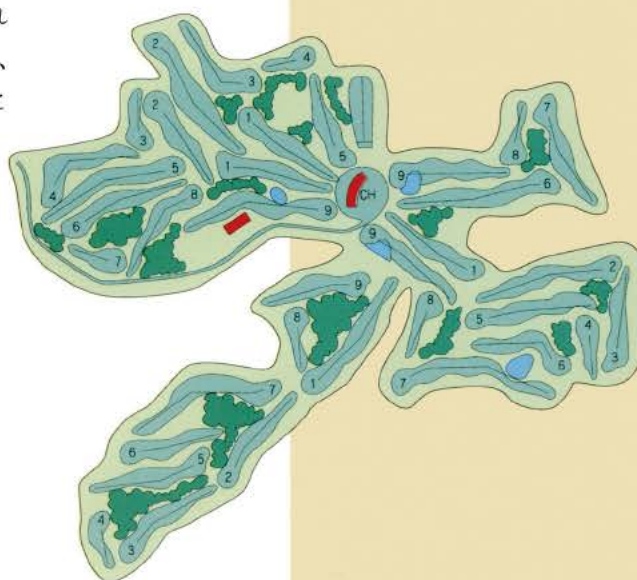
(4) フェアウェー 52,550 ♯ 49,100 ♯ 50,710 ♯ 57,250 ♯

(5) ラフ 205,920 ♯ 178,850 ♯ 158,290 ♯ 64,180 ♯

(6) 切土量 別工事 別工事 別工事 別工事

作業所長 中村享治

工事担当 勢メ作造、東山民雄、村田 晴、山根智文、市岡芳男、栗山、中村英次



キング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	383	521	361	186	454	417	569	202	400	3493
パー	4	5	4	3	4	4	5	3	4	36
クイーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	410	366	175	395	541	459	188	372	574	3480
パー	4	4	3	4	5	4	3	4	5	36
プリンス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	399	525	390	180	361	591	405	219	383	3453
パー	4	5	4	3	4	5	4	3	4	36
ロイヤル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計(Y)
ヤード	512	399	385	171	448	363	567	205	351	3401
パー	5	4	4	3	4	4	5	3	4	36

その他の工事一覧

進駐軍工事

昭和20年8月15日終戦を迎えたが、連日連夜の空襲により京都市を除いて大都市の殆ど総てが焼野ヶ原となり、機能は全く打ちそがれた。この間にあって復興は進駐軍によつての種々改修工事等で当社も漸く活路を見出した。

その後のインフレにより、現在では考えられぬ工事価格ではあるが当時としては膨大なものであった。

(1) テニスコート築造他 (21.9~22.3)

進駐軍K N G C横浜公園テニスコート他14件
8,366千円

(2) ゴルフコース増設 (21.9~29.6)

程ヶ谷ゴルフコース他2件
31,788千円

(3) ゴルフコース新設 (21.9~27.8)

座間ゴルフコース他1件
10,723千円

(4) ゴルフコース復旧 (21.11~22.3)

和合ゴルフコース
5,274千円

(5) ゴルフコース改修 (22.5~24.6)

塩釜ゴルフコース他3件
6,042千円

(6) ゴルフコース維持管理 (22.3~30.2)

程ヶ谷ゴルフコース他5件
36,457千円

(7) 造園工事 (22.11~25.12)

横浜第二地区第1期他4件
21,467千円

(8) 造成工事 (22.12~29.2)

成増地区他2件
7,389千円

(9) 建物改修工事 (25.9~26.4)

パブリックワーク#548他2件
13,898千円

官公庁工事 (22.6~30.3)

東京競馬場障碍馬場改修他6件工事
6,974千円

下請工事

(1) 清水建設株

広島カンツリー倶楽部西条コース9ホールズ増設 (31.2~31.8)
17,500千円

広島カンツリー倶楽部西条コースグリーン改造 (42.1~42.4)
8,000千円

(2) 株大林組

茨木カンツリー倶楽部18ホールズ造成 (34.1~36.5)
82,000千円

豊川ゴルフクラブ18ホールズ造成 (35.6~36.6)
38,600千円

茨木カンツリー倶楽部改修 (37.2~37.5)
3,400千円

東海カントリークラブ改造 (54.10~55.4)
55,000千円

朝日放送A B Cゴルフ倶楽部18ホールズ造成 (58.10~61.4)
776,000千円

市野ミニゴルフコース造形 (62.1~62.6)
30,000千円

キングスロードゴルフ倶楽部18ホールズ造成 (H2.1~3.7)
752,000千円

ベルフラワーC C 1 8ホールズ造形他 (H3.6~5.6)
847,600千円

シーダーヒルズ18ホールズ造形仕上他 (H3.7~4.6)
880,750千円

(3) 大日本土木株

岐阜カンツリー倶楽部18ホールズ造成 (33.11~34.5)
40,000千円

長良川カントリー倶楽部改修 (37.7~37.9)
2,980千円

岐阜関カントリークラブ18ホールズ造成 (38.11~39.10)
45,000千円

伊賀パブリックゴルフコース9ホールズ造成 (41.10~42.5)
68,000千円

岐阜関カントリークラブ9ホールズ増設 (43.2~43.8)
40,000千円

賢島カンツリー倶楽部18ホールズ造形他 (43.5~44.5)
35,762千円

(4) 株増岡組

広島ゴルフ倶楽部鈴ヶ峯コース造成 (42.3~42.10)
41,698千円

(5) 大谷建設株

小野東洋ゴルフ倶楽部18ホールズ造成 (44.11~45.10)
150,000千円

(6) 東急建設株

花屋敷ゴルフ倶楽部吉川コース18ホールズ造成 (46.10~47.8)
68,520千円

(7) 青葉工業株

こんぴらレイクサイドゴルフ倶楽部増設設計 (62.4~H3.5)
30,000千円

(8) 奥村建設株

ザ・クラシックゴルフ倶楽部27ホールズ造成 (63.10~H2.8)
1,150,000千円

(9) 株新井組

三重白山ゴルフ倶楽部18ホールズ造成 (59.12~61.10)
837,000千円

コンピューターを減農薬、省農薬のため コース管理に導入した経緯

日野ゴルフ場は琵琶湖の近くにあるため、湖の水質を農薬汚染より護ることが最大の関心事とされて来た。このためには農薬の撒布量を少なくしたい—いい換えれば減農薬、省農薬の考え方はずっと以前より持っていた。国がゴルフ場の農薬制限を言い出した昭和61年より前からこの考え方は日野ゴルフ場管理部の頭にあったテーマである。

このためには病害の発生が予測出来れば、薬剤の予防撒布など不要となり、これが減農薬、省農薬に対応する方法だろうとは思っていたが、いざ実行に移すとなくなると行き詰まる事ばかりであった。会社の了解を得て精密な気温計、湿度計其の他を購入することにしたが、適当な機械が選定出来ず、徒に日を送るばかりであった。

昭和62年の秋、関西連盟が催すコース管理機械の展示会で、ウェザーステーションというオランダ製の機器の展示があった。この機器は気温、湿度の他に風速、日照、雨量、気圧等の計器をひとまとめにしたもので、同僚の山田明がいち早く見つけ、病害発生の子知に使用しては如何かとの提案があった。安達慎三会長の了解を得てこの機械を日野ゴルフ場に設置したのはそれから間もなくの事であった。

この頃のウェザーステーションは日本電気（NEC）のパソコンと組み合わせた単純なもので、ウェザーステーションより来る情報をそのまま図形化して画面に出るようになっていた。これでは使いものにならないので、これらの情報を組み合わせたものを図形に出す方法に就いての検討を会長にお願いする事にした。

会長の指示に依りわれわれ菊地、椿、山田、布施の四人がまず最初に取り組んだのは、気温、湿度、風速にある係数を掛け、これを組み合わせてその日の棒グラフを作る事だった。1日24時間の気温、湿度、風速を対象にして行うこの作業は途方もない時間のかかる大変な作業だった。斯うして出来た一日分の棒グラフを日順に並べ、その山の上り具合と危険線を入れる事で病害発生を予知しようという画期的な発想に基づいたものであった。案外この方法がうまく行ったので、これをコンピューターで画面化しようということになり、富士通（富士テレコム社）に依頼することになった。

富士通はK-10というコンピューターにこれ等の作業をさせる様にして、日野ゴルフ場に納入したのは昭和63年であった。

見ると計画通りのものが出るが、しかし未だ充分でない。疑問な処があってもその問い合わせ先が解らない。問い合わせをしても要領を得た返事が返って来ない。試行錯誤の日々が続いた。

われわれのゆく道に僅かな明



日野ゴルフ倶楽部

[概要]

開場 昭和47年10月10日

設計者 鈴木正一

施工業者 安達建設株

総面積 165 ha

規模 36ホールズ

営業期間 例年1月～12月

(クローズド期間:平均
年15日)

年間入場者数 平均85,000人

立地 丘陵

標高 最高165m 最低140m
平均150m

土質(原土の種類) 古琵琶層

主要樹種 アカマツ、クヌギ

水源コース灌用水 井水

使用芝草

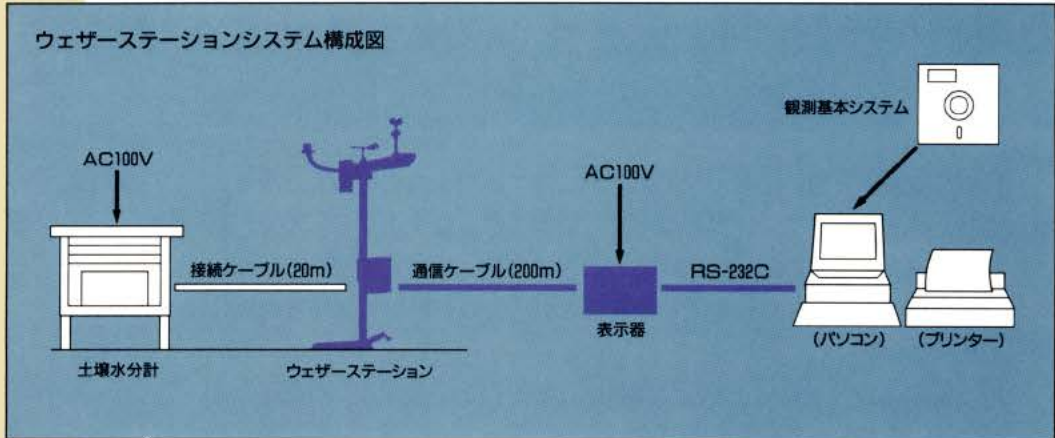
ベントグリーン: ベンクロスベント

コウライグリーン: ヒメコウライシバ

ティー: コウライシバ

フェアウェイ: コウライシバ

ラフ: ノシバ



かりが灯ったのは、平成元年5月、会長が神戸大学の松本教授を訪れてからの事であった。われわれは今までナマの情報をいろいろと組み合わせて棒グラフを作っていたが、松本教授の示唆は違っていた。“ナマの情報を分解する方程式があるのではないか”と示唆されたのだった。その示唆がどんなものであるかを解明するため会長の国会図書館通いが始まった。

斯うして出来上がったものは以前のものに較べ精度も高く何処でも使えそうだと結論が出たので、系列の京都、美奈木、額田、茨城の管理部にこのシステムを導入する事になった。

平成2年はこれらのコースでこの病害予知システムがうまく作動するかを確かめる試運転の年でもあった。結果は非常にうまく行った。この頃このシステムで予知出来る病害は次の様なものであった。

ブラウンパッチ	ダラースポット
ピシウムブライト	葉枯病

この後、系列コースより各種のデータが入手出来る様になり、また新しい試みのテスト報告も受けられる様になったので、現在コンピューターの画面で表示出来るものは上記の他に次のものが加えられている。

ホワイトパッチ	さび病
撒水の管理	施肥管理
管理作業の集計、分類	在庫管理

コース管理には、この他に害虫、雑草等の発生予知が必要と思われる。害虫の発生に就いては額田ゴルフ場の管理部が主体となって計測を進めているのが現況である。

当社で採用した、コース管理へのコンピューターの導入という業界初の画期的な試みは富士通の協力を得て好結果をもたらした。

そこで富士通はこの好結果を以ってゴルフ業界へそのコンピューターソフトの普及を図るべく格段の営業推進をしているので、近く業界全般に広まることと思う。

わが社の卓越した企画及び実績の恩恵を、業界全般がうけるのは決して遠いことではないと確信している。

平成5年9月
日野ゴルフ倶楽部管理部長 榎 藤雄

コンピューターによる 病害発生予知システムとその実例

日野ゴルフ倶楽部管理部

コンピューターを使って芝生に発生する病害をすばやく予知することはできないだろうかという考え方は、芝生管理に携わるわれわれが日頃から望んでいたことであった。

しかし、このためには気温、湿度、風速、日射、雨量等の計測が必要となり、市販の計器でこれを行うには設備、費用の面で難点があり、なかなか実現の運びにならなかった。ところが、ウェザーステーションという器材が開発されるに及んで、その夢が実現することとなった。以下富士通と提携して組みあげたシステムの概要を紹介する。

まず、このシステムで何ができるのかを述べ、ついで当ゴルフ倶楽部をキーステーションとして、系列4コースの過去3年間のデータを中心に、その実績をふまえて下記の各々について説明する。

●予知できる病害の種類

ブラウンパッチ 葉枯病
ダラスポット ウィンターパッチ
ピシウムブライト さび病

●減農薬への指針として

●散水システム（夏期、散水を適量に行うためのグラフ表示）

●施肥状況照会（施肥成分の過・不足を表わすグラフ）

1. 病害発生予知システムについて

芝生の病害発生予知をするために使用するグラフは、1) 棒グラフ、2) 線グラフ、3) 時間帯グラフの3種類であり、以下病害例をヘルミントスポリウム葉枯病をそのモデルとして説明する。

1) 棒グラフ

ウェザーステーションより伝達される情報を芝生の発病に関係のあるものを分析集計し、組み上げたもので、これをその日の棒グラフとして表示する。

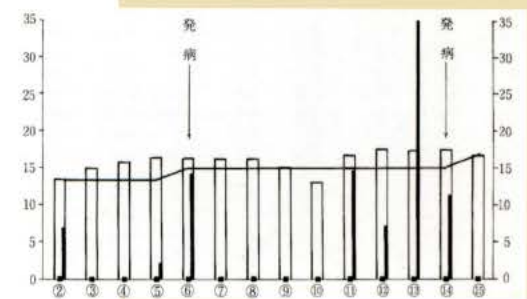
図1はこの棒グラフを2週間分グラフ画面にしたものである。

この画面には各日の棒グラフの他に横線が危険線として入っている。この危険線の位置は病害の種類によって異なり、また、気温の変化によっても異なるので、その各々の何れにも対応する位置にくるように設定してある。

このグラフで、ある病害を指定すると、その日から2週間前までの棒グラフと危険線が画面に表示され、棒グラフが危険線を越えているような場合、それは病害発生の危険信号が出ていることを表わす。

図1は、当コースにおける1992年7月2日～7月15日間のグラフで、

図1 ヘルミントスポリウム葉枯病92年7月15日16時以前
(日野ゴルフ倶楽部)



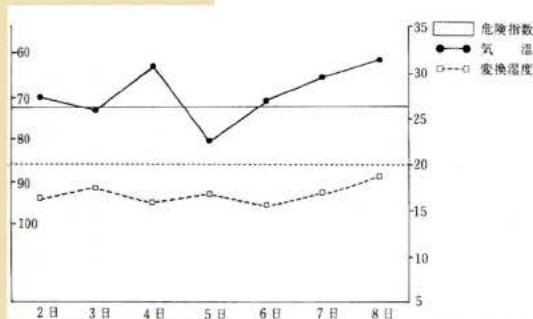
このグラフでの葉枯病の発病所見は7月6日および7月14日であった。このことは発病数日前よりグラフの頭が危険線を超え続けていた結果、発病が確認されたということを示す。なお、予知を確実にするため次に述べる線グラフ、時間帯グラフも併用している。

2) 線グラフ

図2、3は発病の有無を確かめるためのグラフで、上側（実線）に気温、下側（点線）に湿度の危険線が入っている。気温、湿度等が共に高くなって棒グラフが危険を超える場合と、気温、湿度の何れかが異常に高くなって棒グラフが危険線を超える場合とがある。これを判別するために用意したのがこのグラフである。

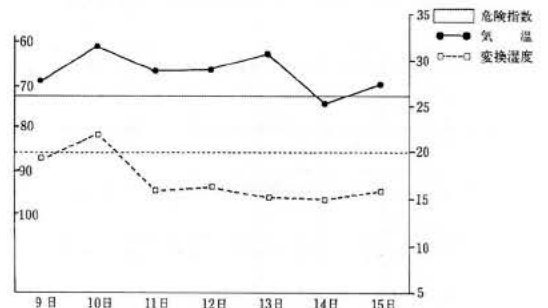
このグラフの表示データは、棒グラフが危険線を超え、線グラフでも気温、湿度が危険線を超えている場合は発病の可能性があるということで、気温、湿度の何れかが危険線を超えない場合は発病の可能性がないことを示している。発病の可能性のある例を図1、2、3に、可能性のない例を図4、5に示す。

図2 ヘルミントスポリウム葉枯病
92年7月8日以前（日野ゴルフ倶楽部）



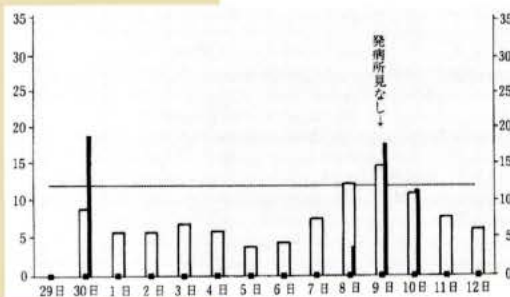
線グラフでは7月5日を除いて、総ての日で気温、湿度が危険線を超えている。

図3 ヘルミントスポリウム葉枯病
92年7月15日以前（日野ゴルフ倶楽部）



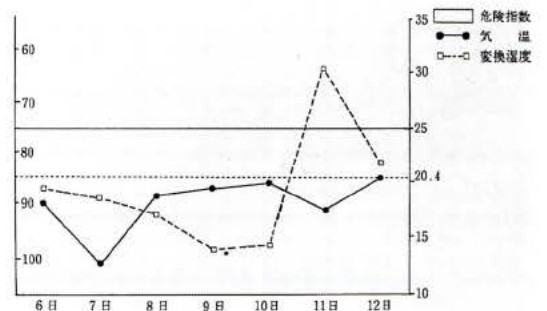
左の図2に続くグラフ。ほとんどの日が危険線を超えている。従って図1の棒グラフでもほとんどの日が危険線を超えているので、常時発病の危険性があった。

図4 ヘルミントスポリウム葉枯病
92年5月12日以前（額田ゴルフ倶楽部）



5月8、9日の両日とも危険線を超えている。

図5 ヘルミントスポリウム葉枯病
92年5月12日以前（額田ゴルフ倶楽部）



しかし5月8、9日の両日の気温は危険線を超えていない。従って発病の可能性はないと判断する。

3) 時間帯グラフ

棒グラフを画面に出した時、グラフの頭の変化が著しく少ない日が続くような場合は、発病の予知が困難である。そのような場合、前夜が熱帯夜であったかどうかを確かめるため図6に示すグラフを用意した。このグラフは前日の21:00から当日8:00までの各時間毎の最高気温と最高湿度をグラフで表わし、これに熱帯夜の条件を危険線で表わしたものである。

翌朝このグラフを見て図6のように危険線をはみ出した部分が多ければ、昨夜は熱帯夜であり、病害発生の可能性も大きいということになる。

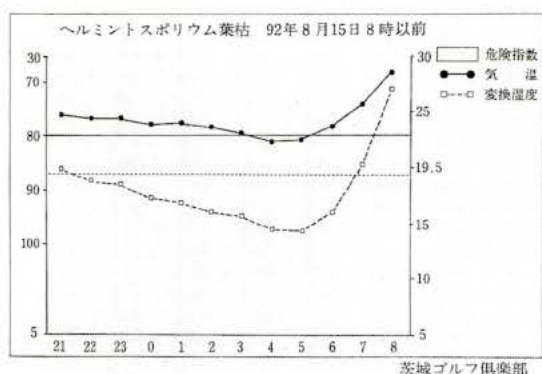


図6 時間帯グラフを示す。このグラフでは昨夜の22:00~3:00時の間、気温、湿度とも危険線を超えており、それは熱帯夜であったことを示す。

2. 減農薬への指針として

前項で述べた病害予知システムは減農薬を進めるためにも利用できる。これまでの農業の使用方法は、気象条件の変化で直感的に必要なでないかも知れぬ予防施薬が行われていた例がよくみられた。

しかし、この予知システムを減農薬の指針として利用するならば、病害の発生が適切に把握できるので、不必要な予防施薬をしなくても良いことになる。前出の図4、5は棒グラフが危険線を超えているが、線グラフでは気温が危険線に達せず、したがって発病の所見もなく、予防施薬も不要であった例である。

3. 散水システムについて

この散水システムの作成にあたっては、大田計器製作所のow-20という大型蒸発センサーを補助計器として使用した。

ウェザーステーションより送られる情報に対してある計算式を設定し、この計算が上記蒸発センサーと合致するように考案したもので、このほかに芝生からの蒸散量も考慮してある。また、降雨の場合は下限-10を限度として当日値より減算することとした。図7に示すものが散水グラフで、単位はmmで表示している。

ここに表示されるデータに基づき、散水グラフの移動を+10~-10の間で維持しようというものである。このためにはスプリンクラーが1mmの散水をするために必要な時間(分および秒)を知っておく必要があり、また、土質の種類によっ

ては上限+10が若干上下することも考慮する必要がある。

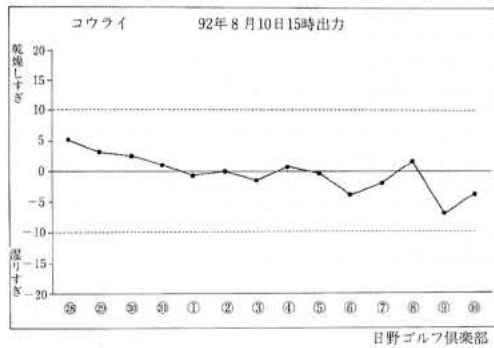
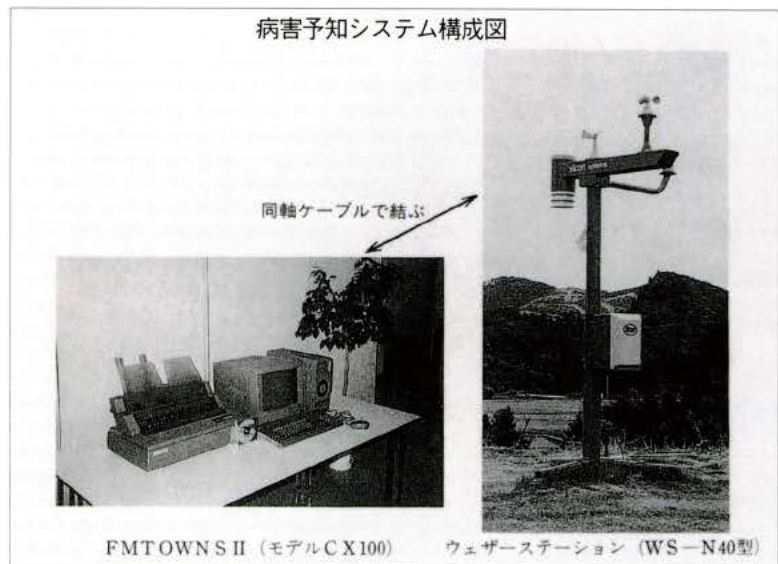


図7

このグラフで上昇する要因は蒸発散量である。1日に4mm以上の蒸発散を示すことは非常に少ないので、適切な散水することでグラフの推移を+10~-10の間に保つことは難しいことではない。

大気温が下がれば相対湿度は上昇し、日照度(Lux)も下がってくるので、芝生は水を必要としない。この理屈からすればこのグラフは6月~9月の間に利用すべきものである。



4. 施肥状況照会グラフについて

何れのゴルフ場でも年間施肥計画を立案されるはずである。この計画をコンピューターに入力することにより、ある月での施肥成分の具合を調べたいとき、瞬時にその過不足が判断できるようにしたものが図8に示す施肥状況照会グラフである。

このグラフの右下隅に表示されたデータが、年間計画施肥量(左側)とその時まで施した肥料の成分量(右側)を表わしている。

施肥状況照会						
92年度	9,360 m ²					
02 Q・KG						
	施肥量 g/m ²				当月総量	
	4月	5月	6月	7月		
1 芝グリーン	—	10.0	9.4	—	—	0kg
2 エスサン肥料	—	—	—	—	—	0kg
3 PKマグカスタム	—	—	—	—	—	0kg
4 カーボリック	—	—	8.0	8.23	—	0kg
5 HDグリーン	—	—	—	2.14	15.0	15.06
6 尿素	—	—	—	—	—	0kg
7 芝ドクター-G	—	65.71	70.0	—	—	0kg
8 芝ドクター-L	—	—	—	16.0	20.3	16.0
9 グリーンセンサー	—	—	—	20.0	19.87	—
10 キレーター-F	—	—	—	—	—	4.81

26.01	N	10.86	実 施 量
13.46	P	5.8	
28.19	K	12.35	
0.0	Ca	0.0	
6.0	Mg	1.88	
0.0	Fe	0.0	
0.0	Si	0.0	

日野ゴルフ倶楽部

図8 左上のQ・KGとはクイーンコースのコウライグリーンの略字である。この表は7月末における施肥の配分状況をコンピュータにより検出した画面で、上欄の表は各月の施肥の計画(左側)と実施(右側)が示されている。この枠は施肥の過・不足の推移を見るために設けたもので、左右に移動できるので、月を遡っての経過を見ることが可能である。右下の欄は7月末において、年間計画量と実施量を比較できるようにしたもので、この表の主役である。

ソフトサイエンス社
「ノシバ・コウライシバ」誌より抜粋



第 3 部

安達貞市翁の 回顧録から

「ゴルフを築く」の記事は昭和36年頃業界紙が取材し、掲載されたものである

ゴルフを築く

(3)

観光日本株式会社社長
日興興業株式会社社長

安達貞市氏



どんな社会にも、その道徳を代表するシンボルの存在の人物がいる。野球でいえば、さしずめ巨人の黒島、ゴルフ界でいえば中村寅次郎といふように……ところが同じゴルフ界でも「ゴルフ場漁り」の分野で、かくいふ人物はいらぬだろうか？、いるいる安達貞市がその人である。ゴルフ界に、最も古典的な名に「遠くかつ正確」という言葉がある。いまから二十幾年の昔、少壮業家安達氏は、すでに今日のブームを、遠くかつ正確に見通していた。同氏の人生を、この時すでにスクラップする胸前を備えていた。

「日本ゴルフはあんまり高すぎる。もっと安くできるようにせよ。あかんわ。それに民主的にできるものにせよ。ならん。にできるものにせよ。ならん。大体一つの会社で、偉い人は会員になつて、警々と二百円でプレーができる。片方の社員はやりたくも、莫大な金を払つて会員になれんし、といつてビシターでやれば、五千円はかか

たガツしりした休戦、まきりあげたワイシャツから、ぬつと出たたぐましい胸腕は、かぎりなく黒い。陽射しした顔に、鋭い眼がキラキラと光る。おぢやかな態度で、一言一言と丁寧に話す。

三十年前、誘われるままに初めてゴルフをやつた。これはおもしろいと思つた。それから東



茨城ゴルフ倶楽部の初代理事長を務めたころの安達貞市翁(左)

遠くかつ正確な判断

30年前、今日のブームを読む

る。こんな金を払つて誰ができる。だからわしは偉い人。法に入つてやれという。そうして一人でも多くの者ができる。でも結局はもつと多くなつて、公共団体が目覚めて、もつとパブリックを酒にやあかんわ」

観光日本、日興興業両社の社長を兼ねる同氏は、均勢のとれ

て、どやつて合理的なバンカーがレイアウトできるのか、どだい無理なとや……」

またナイターは絶対やらぬといふ。なぜなら夏の陽のながいと、夜までプレーする必要もないし、キャティが可哀想だといわれる。同氏はカートを先づけるだろ。

また夏の冷房も反対する。ゴルフ場に来て、部屋の中で涼ひのはむすかしい。部屋に不経済でもある。それだけ安いプレーをという論議からだ。

船を知らせぬ引締まった若々しい端正な顔つき。ふと、安達将軍という幻想が浮ぶ。大衆に心をほせ部下を思い、そして将来を語り。これまでも「遠くかつ正確」だった。今日の明日の目標に向つて球は正しく飛びつ

貞市翁、商売人になる決意

貞市翁は、小学校は生地の愛知県丹羽郡旭村宮後（現在の愛知県江南市古知野宮後）に通学した。

成績は普通であったようだが、活発な少年で、学校迄3～4町（350～400米）ある通学に際しては、いつもその行進のリーダーを務めた。

高等小学校は4ヶ村を統合した高等小学校が隣村柏森村に設置され、ここに通学することとなった。投票で副級長に選任され、この任を全うした。この学校は1年余りで町村統合の関係で現在の江南市古知野町東の尋常高等小学校に移ることとなった。

高等小学校卒業後、愛知県安城農林学校へ入学した。その農林学校3年の折、時の文部大臣小松原英太郎氏が来校。その講演に感銘をうけ、将来商売人になろうと決意した。

当時、世は「3綿」といって綿糸、綿花及び綿布は商売の花と謳われ、これに目標を定めた。幸い、名古屋の園井町で義兄が綿布の販売をしていたので、ここに入って見習小僧から叩き上げてみようと思った。3年の卒業3ヶ月前ではあったが父に退学の意味表示をした処、案に相違して無造作に「それもよかろう」と承諾してくれたので、退学し綿布店に入ることとなった。しかし、入社後間もなく義兄が腸チフスで急逝し、その遺産相続で種々雑用があり、2年が過ぎた。

途方にくれ、店頭装飾業とか、活字販売をしようかと思ったが止め、父幸三郎氏の経営する安達商会の手伝いをし芝生納入の仕事をする事となった。

柏森尋常高等小学校の思い出

柏森に在学中の出来事で胸の中にホノボノとする思い出のひとつがある。

貞市翁の部落と学校とは14～15町（約1.5軒）の距離があり、中間に通称長山という長方形のかなり大きな雑木林があった。ここは甲虫や源氏蛭と色々な昆虫類がいることで有名であった。

7月中の暑い期間は学校行きを止めて、ここで過ごす一案をたてた。10人余りの仲間がおり、この中から一人だけ交替で学校へ行き、その日の様子を見てこさせ、状況をとっていた。あとは皆弁当を持っているので、ゆっくり遊んで半月許り過ぎた。余り長いとバレルだろうし、暑中休暇もくるので止めたが、一寸したスリルがあったひと月であった。

古知野尋常高等小学校の思い出

学友の高田肇と川遊びに出掛けた。付近に木津用水という木曾川から名古屋へ送る給水路がある。兩岸コンクリートで水の流が早い。高田がここへ落ちて流れている。貞市翁は裸になって飛び込んだ。そして高田を掴んだ瞬間、しがみつかれた。恐ろしい力だ。どうしようもない。相手の手足が折れる程もぎ離して、つき流した。こんどは足先を掴えて引きずり上げた。

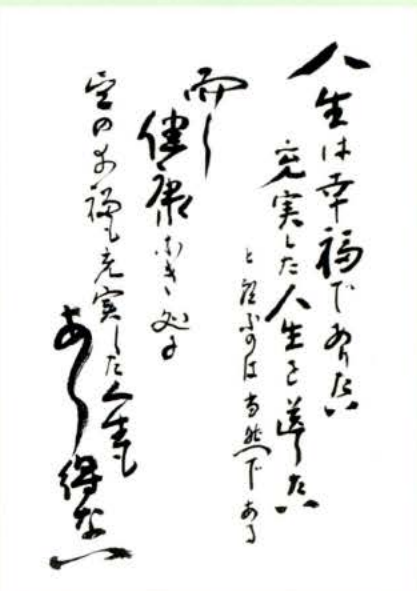
溺れる者の力の強さ、未だ何十年の昔のあの強さが思い出される。また、ある年のお正月、酒を飲みながら30～40人が座っていた。その中にどうしても虫の好かない人物が眼についた。「どうも気に喰わぬ奴だな」と思いながら見ていると、

『生の灯』について (P.9参照)

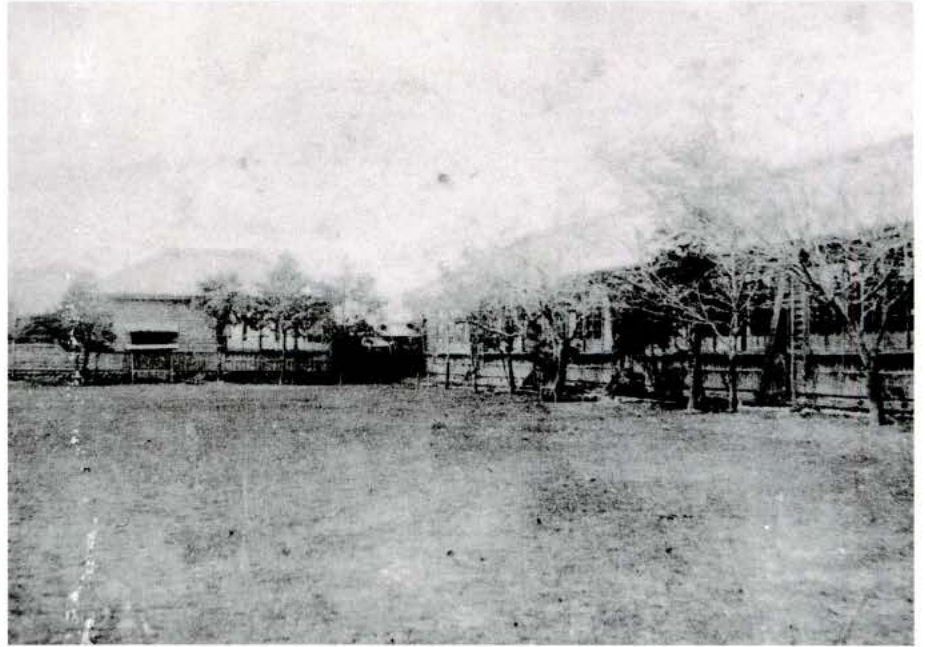
貞市翁は達筆の人であった。

翁が健康について折に触れ、思い浮かぶままに書き記した随想文を集めて「生の灯」として発刊したことがある。ここではその中のいくつかを紹介することにした。

因みに翁は健康についての関心が人一倍だった。昭和51年5月茅ヶ崎ゴルフ場へ京大の宮田博士を招いての「健康と長寿」の大講演会は絶賛をあげたものだった。



心の備へ
 其の人生
 限られた全
 さ味を
 聴の備へ



古知野尋常高等小学校

どうも便所へ行ったそうな顔付だ。そこで貞市翁は便所へ行くなと思ったので、一つしかない家の外の便所の入口に、下駄を揃えて帰って来た。

案の定、そそくさと出掛けて行ったが、すぐ帰って来た。暫くするとまた出掛けて行った。そしてまた、間もなく帰って来た。当り前だと思って見ていた。また暫くすると出掛けて直に戻って来た。先客があるので入れるものかと一寸痛快だった。

大分人相が変って来た。また出掛けたがすぐ引返して来た。全く真っ青で死相とはこんなものかと思う程で、今度は自分の方が一寸気持ちが悪くなって来た。2、3分もいたが全く悲壮そのものの恰好で、また出掛けて行った。今度は帰って来ない。バレタと直感し、愕然とした。逃げなければならない。自転車に乗ると一目散に古知野の町へ走った。

生憎、お正月で大方の店は休んでいる。夕方迄帰れない。銭はない。逃避行の5時間余りの時間の長さをシミジミ痛感した。

人間の好き嫌いは別として「あの蒼白になってくる人の顔、無慙に苦しむ姿」あの時の姿は70年後の今でもありありと目に浮かぶ。悪戯がすぎると後味の悪いものだということをつくづく思い知った。

株式投資とこれからの目標

前々から、父から借りた金を元本として株式投資をやっていた。

(1) 利回り本位の東邦電力の株、鉄道株等 (2) 先物取引と、資金を二分して運用して来たが5年たった頃、両立ての収支計算をした結果、五分五分の数字が出た。こんなことなら何んで浮身をやつして苦勞することがあろうかと、この日から株式投資からは一切、手を引くこととした。

爾来一顧だにしていない。

三綿事業(綿糸、綿花及び綿布)をやめたら何を正業としようか、株をやりな

がら考えていた。

特許によるもので、他からすぐ競争されないものならどうか。しかし、更にそれ以上のものが出来れば駄目になる。

良い事業に育成した場合といえども、資本の力で競争されれば危険がある。

種々考えて見ても仲々競争者の事業を考えると安全なものは簡単に見当りそうにない。

若い頭の中で社会のことを考えても安全地帯はない。先ず頭の上りそうなものは仲々見当らない。

こんなことは何年考えて見ても無駄なことは当たり前のことだ。

そうしたら非常に狭い、小さな部門であっても、その業種の中で一番になれば、夫れでもよいではないか。

何かなかろうか。一番になったら、一番が一番だ。日本が五大強国の一員になった今日目標を立てねばならぬ。

小さくても結構だ。その一番を探して見よう。

これらは全く夢の様な事だが真面目に考えていた。

青壮年の時代は夢があっても良いと思う。

ゴルフ場の見学

ある日、父幸三郎から大阪へ行って空心町の江崎さんを訪問するよう言われた。江崎さんは興津の井上さんの紹介で大阪の鴻池の顧問をしておられ、林学博士で大阪学士会の理事長であった。

江崎さんを訪問した処、良い処へ連れて行ってやろうといわれ、連れて行かれたのが茨木ゴルフ場であった。

金持ちが嬉々として楽しんでいる。しかし、スポーツは貧乏人にとっても面白いに違いない。良いものを見せて貰ったと思った。

これが、自分の生涯をかけた仕事になろうとは、露思いもしなかった。

職業の選定

六郷ゴルフ場の誕生によって（１）競争者のないもの（２）事業として形態を有するもの（３）その社会に於いて、日本で一番になれるものはないか

こんな事は愚者の悪夢だが、考え方は自由だ。

仕事が済んで一息入れた頃、「待てよ、いっそゴルフ場の請負という事業をやってみようか、これなら同業者もないし、よかろう」。

こんなことでこの仕事を始めた。

それまではゴルフ場建設工事というのは、専門的な請負人はなく、クラブの直営が常識であった。これを請負工事として始めようと考えた。

このことは、後年の小金井ゴルフ場建設工事から始めた。ところがゴルフ場の建設なんかそんなに次々に出来るものではない。手持工事中に次年度の工事が決っておらなければ、作業員の始末がつかぬ。

貞市翁が計画発案してやった工事が、いつもいくらかあるのはこういった事情に起因する。



安達貞市翁

しかし、貞市翁は完成したゴルフ場にはいずれも役員として残らなかった。

(1) 本業はあくまでゴルフ場の建設業という狭き門に止どめ (2) 次の工事をする上で、完成したゴルフ場の役員としてその名を残すことは工事の獲得に邪魔になる (3) 純粹に業者として立つべきである — として役員に残らなかった。これは貞市翁の固い信念であった。

誇大広告の戒め

小金井ゴルフ場建設工事中で頭に残るものは、無責任な土地会社の売出し広告である。

色とりどりの旗を立てめぐらせ、蓄音機を騒々しくかきならし、「道路はつけます」、「瓦斯、水道は入れます」、「電気も入れます」等宣伝しておいて、売り出しが済むと、旗も蓄音機も夢の様に消えて、あとは土地を買った人達の当惑の姿だけであった。こんな罪深い商売をしてはならない。これが後日、熱海ゴルフをつくる資料になった。



中島伸一

小金井ゴルフ場建設にあたって、土地の買収は予定用地の大部分が完了した。しかし、ただ一部、海岸寺と鳥塚氏の中間の場所の約2000坪の土地の地主が仲々承諾しない。この土地は自宅の裏から短冊型に延びている。これが買収出来なければアウトコースは絶対に建設不可能だ。

それで、八方手を尽くしたが頑固で手がつかず、万策つきた形となった。仲々買収出来ないことで、深川喜一氏は、「こんなことでは自分の社会的信用を失うことになるので、今日限りで自分は離脱する」との声明になった。深川氏はやめるといってやめることは出来るが、貞市翁にしてみれば自分はそうはゆかない (深川喜一氏は小金井カントリー倶楽部の代表者)。従って、会社の中島君には「この件は黙っておけよ」と固く口止めしていた。しかし、人間と人間のことから時間をかけて話し合ってみるより仕方がなかりや、何とかするより仕方がなかりやと、暗い心をいだいて数ヶ月が流れた。

ある日、中島君に「どうだ。新宿へ出て夕食へ誘って見たら」と話し、中島君が交渉したら、「来るそうです。頑固頭も一緒に来ると言っています」とのことだった。それなら、大切にしなければならぬ客だから「伊勢虎」に予約して置くよう言いつけた。ここは、新宿で一番の料亭だ。

当日夕食も済んでソロソロ帰る頃合いになってきた。

折角、新宿へ来た事だから何か土産はないかなと考えたが、うまい知恵も浮かばない。早速、知り合いの女中頭をつかまえて「アレを見せてやってくれないか」と話してみた。「駄目、駄目、警察に分かったら営業停止です」という。色々口説いてみた末、隅の方の4帖半で見せることにした。今でこそストリップは珍しいことではないが、当時では大変難しいことであった。3番見せてお開きとして、後は車を頼んで帰って貰った。

翌朝10時頃、中島君が飛んで来た。

「小金井から電話がかかって来て、これから来てくれと言って来ました。どうしたことでしょう。警察へでも話しに行ったんでしょうか」という。

精神のストレスを避ける
肉体的な運動をすることが
重要な要素であるか
は云うまでもない
新しい健康長寿法も
ここに尽きるのである。

精神的なストレスを避け

肉体的に過度な運動をすることが

重要な要素であるかは云うまでもない

新しい健康長寿法も

ここに尽きるのである。

「どうしたって仕様がな。行って来てくれ」というと、中島君も仕方なしにシブシブ出掛けて行った。小一時間も待った処、電話が中島君から掛かって来た。

「昨夜のことで村中エライ評判です。『お前の処の親爺はエライ道楽者だな』と散々やられた揚げ句、あの不売の頑固親爺から『昨夜はエラク御馳走様になりまして有難う。それから土地のことが全部譲ってよろしい。値段はお前に任かせる。俺の実印を預けて置くから登記して来い』と言われました。どうしましょう」という。

「どうもこうもあるものか。すぐ行って登記して来い」と命令した。ここでお茶屋の有難さをつくづく感じた。

このことはこの暫く前、盟友前原さんと五反田の花街で一夜この踊りを初めて見た。その当時としては極秘ものであった。これが前途真暗闇の小金井の土地買収の打開にあたって鮮やかに効果を表わそうとは夢にも思わなかった。

北京他中国の思い出

朝鮮、満州のゴルフ場開発を目指し滞在中、
中国の特別建設公社より与えられていたホテルにて

北京のホテルの最上階では、毎晩の様に姑娘のダンスが催されていた。暇だから夕飯を済ましては毎晩の様に最上階に行っていた。

支那服というものは、帯がないので、しなやかな腰の曲線の美しさが、夜の電気の光と支那服の色とりどりの美しさに溶けこんで、女の美の極致かと思わせる程、優雅なものであった。

下肢の関節当りで割れた服の下から、チラチラと見える白い脛、奇麗な色とりどりの靴の光、男への誘惑というものはこんなものらしい。

ホテルのボーイは、日本語もペラペラで、懇意になっているので部屋へ時々遊びに来る。そして序でに親切に簡単に誘惑の手を差しのべてくる。

しかし、貞市翁は、かつて渡満の第一歩の際、大陸の花柳病の恐ろしさをイヤという程教えられていた。絶対に不治だと。

この教訓を、忍耐で守り抜いたお陰で、今日まで5体満足で暮し得た。

思うに、自然の美というものはこの上なく美しいが、洗練された色気のある女というものも限りなく美しい。

上海へ行って驚いた。奇麗な河辺の都だとばかり思っていたのに、河は海のようなもので、その上濁流である。これが揚子江の下流だ。流石に支那は広いつくづく思った。百年一日の如き濁流だという。

広いホテルの一室にいたが暑苦しくて夜は寝られない。初めて避暑というものの必要を体験した。

そこで、仕方がなく、夜の避暑には最適だと思って、毎晩の日課としてドッグレースへ出掛けた。完全に競馬場の小型だ。毎晩、奇麗に着飾った社交婦人連も来ていて満員だった。

兎の形の模型を追って走らせるゲームだが、毎晩必ず儲けて帰った。即ち、中型の犬を買って置くのが秘訣らしい。

犬のことだから、皆一生懸命になっているのに、サッと途中で止める犬があっ

日々を新鮮に生きる
自分の一日一日のすばらしい日々に
開眼したい
やさしい小鳥のさへずりも
星夜の静けさも
月の清らかさも又、
花の美しさも、緑も
すべては自分の生活の内にある
力とうるおいの人生が好ましい

日々を新鮮に生きる
自分の一日一日のすばらしい日々に
開眼したい
やさしい小鳥のさへずりも
星夜の静けさも
月の清らかさも又、
花の美しさも、緑も
すべては自分の生活の内にある
力とうるおいの人生が好ましい

て、仲々愛敬のあるゲームだ。

青島は、全く風光明媚の土地であった。上海辺りからの避暑地として多く利用されていた。

ゴルフ場は一つあったが、一級品ではなかったので改造計画の中に入れて後回しにして置いた。

折角、支那でも稀な美しい土地へ来た事だからとあって、今まで、土産物というものは大小に拘らず買ったことのない貞市翁が、「青島特産の繻子」を6本も重いのを堪えて買って来た。

お礼の一つでも言わせようと思っていたら、ナントそれが全部「神戸産」ですよときた。

これでは、威張った土産ではない。それから土産というものは事の大小を問わず一切止めた。サッパリしたものの、思い出はよくない。

開墾地「岩手県侍浜」顛末記

愈々来る所まで来て、終戦の詔勅となった。

唯、呆然として、することもない或る日、社員の渡来新平君が来て、「軍関係の仕事の金を全部支払ってくれるそうですから、貰ったらどうでしょう」という。そこで試みに横須賀迄出掛けてみた。

すると、工事関係金は全部支払ってくれ、また、他の未済の17ヶ所ばかりあった請求金も全部支給された。

生涯、お金が少しあるな、と思ったのはこの時だけだった。入るだけで出る金がないのだから。

世の中は騒々しい。アメリカが占領するそうだ。やれソビエトが進駐するそうだ。ソ連兵は時計を知らぬ。こんな連中に占領されたら全く終りだろう。掠奪暴行この世の地獄だ。いづれにしても世は終りだ。一寸金はある。

山奥へ行って生き延びよう。仕方があるまい。どう考えても東北地方よりないだろう。僻地へ逃げよう。前から用意して置いた「侍浜」行となった。

三沢の飛行場にいた関係もあって、ここを探したものであったと思う。侍浜という駅は、東北本線八戸駅から支線の八戸線に乗り1時間40分かかる。

この侍浜駅から奥へ2里許り入った県道側に、一大丘陵地を見つけ、これを買収した。ゴルフ場が二つ位出来ますねと、社員の者が言っていたから、3、40万坪位はあったのではないかと思う。

工具類は、各飛行場の現場から寄せ集めたもので事足りた。

ここは、米は出来ぬが、特産物は大豆で、ここ大豆は有名なものだと言っていた。大豆で米や麦と替えればよからう。

伐採を始めてポツポツ開墾を始めてみると、住めば都で、案外ノンビリして居心地もよさそうだ。都はもう駄目だから、社員他50家族位は連れて来て、村長位にはなつてやろうと実際に考えていた。

山奥はノンビリしたもので、県道といえども人通りは殆どない。伐採した薪は県道に並べて積んでいた。延々と長く並べてあったように思う。

或る日、久慈浜の塩の関係者が来て、この薪を塩一貨車分と交換してくれない

人の歌

人の歌は金くさま〜だ

その中に コクのある歌といふものがある

旧年五の誓ひ歌、手へたもの、長いもの、

い〜あまが

その歌の奥に、^口底光りの精神、^口こもろ

コクのある歌は、^口おりになる人なり〜歌だ

かと申込まれたと報告して来た。

当時、塩は貴重品で、今から考えると可笑しいが、その一握りが手に入らぬ時期だ。

「これは大変な儲けになりますね」と、やりたそうな顔付きをしているので、5合や1升なら間も出来ようが、一貨車分なんてやったら、1時間もたたぬうちに「御用だ」となる。体よく断って置くよう、と話をした事もあった。

特別な事件もなく、作業は順調に進められていた。

丁度この頃、小金井のゴルフ場の工事の話があり、上京した。上京して荻窪の自宅にいた時、岩手県農政課員3名が来宅され、是非、侍浜開墾地の譲渡を得たいと申入れて来た。

「侍浜の開墾地は婦農者の収容地として県の予定地であった。入植者は現在、盛岡駅前の旅館に収容中である。現地へ行ってみたら貴方に買収されて了っていた。県として代替地もないので是非譲って貰いたい」という。これでは誰でも困るだろう。県の当事者もいい加減な仕事をしているものと思った。

普通なら出来ぬ相談だ。しかし、彼等は良い時期に来たものだ。というのは、丁度その時、米軍から小金井ゴルフ場の復旧工事の話が出ており、これから本業に戻るかも知れない。よい時期にぶつかった。

貞市翁はそこで次の条件を出した。

- (1) 現在食糧難の時代だから、絶対に全地域の開拓を行うこと
- (2) この確約が責任を持ってやれるかどうか

これに対し彼等は開拓のため、駅前の旅館に十数家族をとめている位だから責任を持ってやります、と答えた。

そこで貞市翁は、全地域開墾を条件として、

- (1) 土地は買いとり価格でよいから同額を支払って貰えば譲ります
- (2) 県道に置いてある薪は全部あげます
- (3) 工具や開墾地はそのままあげます

と、話をすすめた。

これで開拓地の1件は落着した。

しかし、この開拓地については後日談がある。

それから数年後、航空本部の飛行場関係の係官だった某氏と偶然新宿の喫茶店であった。

話が、開拓地の其の後のことに及んだ時、某氏はかつて、岩手県の農政課にいたのであそこの話はよく知っているが、あそこは譲渡をうけてから、少しも開拓事業が行われなかった、と言っていた。

世の中には、随分いい加減な役人もいるものだ、とつくづく後味の悪い思いがした。

工具や伐採した薪はどうなったか。着服したのかなと実に嫌な気がする。

彼は何才か、彼は何年生まれか、と頼りに年齢を知りたがる
終点を予想して、これからの生きる中間年限を計算して
見やうとする
こんな事に引っかけたらお終いだ
自分でも、これを考へたら同じ事だ
六十年以上は健康が年令だ
六〇にして八〇があり又八〇にして六〇がある
自分は百才にして六〇歳である事だ

彼は何才か、彼は何年生まれか、と頼りに年齢を知りたがる
終点を予想して、これからの生きる中間年限を計算して
見やうとする
こんな事に引っかけたらお終いだ
自分でも、これを考へたら同じ事だ
六十年以上は健康が年令だ
六〇にして八〇があり又八〇にして六〇がある
自分は百才にして六〇歳である事だ

彼は何才か、彼は何年生まれか、と頼りに年齢を知りたがる
終点を予想して、これからの生きる中間年限を計算して
見やうとする
こんな事に引っかけたらお終いだ
自分でも、これを考へたら同じ事だ
六十年以上は健康が年令だ
六〇にして八〇があり又八〇にして六〇がある
自分は百才にして六〇歳である事だ

経営者は時の流水も知水

自分の年代

自分の知る世界から都合をとり

思ひまゝ自分下からぬ事だ

思長の流水世界の流水も知水
の心算

譲渡制度の採用

京都ゴルフ場の施工にあたって、貞市翁は画期的な制度を採用した。即ち、

(1) 会員権の取扱い (株主会員制)

(2) 会員権の譲渡制

の実施である。昭和22年11月に民営として京都ゴルフ場が建設施工された頃は、終戦後で日本の経済は混乱をきわめ、未だ回復の兆候がみられない。ゴルフは単なる遊びと見做され、事業としては考えられない。時の情勢として資金は短期的なものへ投資されるが、長期的なものへは投資されない。資本を投下しても即効的効果が得られない、というのが一般的傾向で、しかも「旧円封鎖」の後遺症で、戦後経済の超インフレの混乱の渦中にあった。

従って、個人には余裕金等はとても覚束かず、といって法人は人でないゆえ、狭義には会員とは言い難いが、法人内の在籍者の登録によって法人名で取扱う制度とした。

この制度の実施によって会員が大幅に増加した。

また従来、ゴルフ倶楽部の会員権は「終身制の原則」によって、譲渡ということは考えられなかったし、その制度化もなかった。一代限りで権利が消滅するのは不合理である。会員権も財産である。

そこで、貞市翁はその譲渡について、(1) 身分、立場の変化 (2) 健康上の理由 (3) その他やむを得ない事情の発生等によっては譲渡を認め、財産保護、権利保護が出来るようにした。

これは社会全般に支持され、定着して行くことになる。

芝についての思い出

京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース (東コース) は、戦後初の新設ゴルフ場であったため、何もかも「ないないづくし」でスタートした。

本文にもある様に、ゴルフ場で一番困るのは芝がないことである。

滋賀県八日市の、旧陸軍飛行場に芝があると聞いて、佐藤勝弥グリーンキーパー (故人)、石井治作 (現取締役、京都ゴルフ場総支配人) 及び久保田桑吉 (現取締役、管理本部長) が現地へ飛んだのは、昭和25年2月の事であった。飛行場の跡地には、当時外地引揚者が開墾入植しており、彼等は「こんなものが売れるのか」と怪訝な顔付になった。

後日、改めて久保田が現金5万円を持って、単身野芝の買付けに赴き、2万坪の野芝の買付けに成功した。

野芝は、日通トラックで、連日東コースへ運びこまれた。土つきが良く、しかし、重くて、多くは積載出来ず、運搬に1ヵ月を要し、予定以上に高価についた。

当時食糧不足であったので、米俵を闇買いし、野芝の下に、隠して運んだこともあった。飽食の今から考えると想像もつかぬことである。

逢坂山の検問所で検査に引っかかってしまった。「米を隠しているだろう」と検査官がいう。「米なぞ隠していません。ゴルフ場の芝です。下ろせと言われれば下しますが、米を積んでいなかったなら、その時は芝生を元通りに積み直して貰えますか」と、窮鼠の論理である。

検査官は、流石に山積みの芝の量に手を下しかね、「よし行け」と逢坂の関を野芝のトラックは無事通過した。

八日市の野芝は、オープン時代には大活躍した。2万坪の野芝は今でも現在の1番、7番、16番ホールで40年も生きつづけている。

芝生は、万葉集にもその名を残し、奈良朝の頃から庭園に植えられている。

しかし、芝刈りの道具の方はその発達が遅れ、長い間鎌で刈ってきたもので、機械化されたのは60年位前のことでしかない。東コースの開場時も、ラフ刈りは「6尺柄鎌」を使用していた。約2メートルの柄の先に刃渡り40センチメートルの大鎌を取り付け、作業員は、一列に並んで「江州音頭」を歌いながら鎌を打ちふってナギ倒すのである。“ヨイトヨイ、オヤマカドッコイサノセー”の掛け声の間で、4回打ち振るわけで、のどかで原始的作業であった。

フェアウェー用の芝刈機は6台あった。15インチガラガラモアーと称し、別名トンボモアーと呼ばれている。これも6台一列に並んで、各作業員が手押しでフェアウェーを走って刈るのである。「ガラガラ」は刃の回転からきた表現で、「トンボ」は刈機の形態からの別称であろう。この作業は運動会の競争に似ていた。

グリーン芝は、「グリーンモアー14インチ」で刈りとった。このグリーンモアーは2台しかなかった。これは前引き1人、後押し1人合計2人で作業する。グリーンモアーはモッコに担がれてグリーン上に運ばれ、1人が前の紐を握って走り、1人は後部を押さえて駈け、グリーン上をフルスピードで往復するのである。スピードがなければ「モアー」の8枚刃の回転が遅く、芝が切れない。しかも、この8枚刃は「髭」が剃れる位、刃を立てて置かねばならない。専用の研磨機もない。刃は振じれて巻いており、研磨方法が難しい。それを鋸の目立てヤスリで丁寧に刃立てする。根気がいるし、手の指が痛む作業で、仕上げるのに半日もかかった。怠けるとその日の芝の切れ具合ですぐ判ってしまう。それで作業員には嫌がられていた。

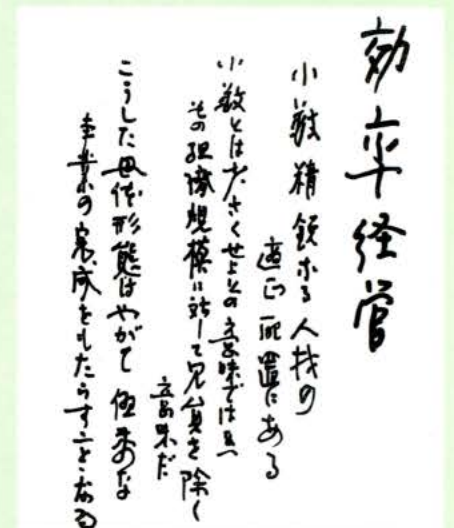
本文にもあるが、昭和25年、久保田栄吉グリーンキーパーが軽井沢へ出張して、1台15万円のギャングモアーを入手した。しかし、「ギャングモアー」にはエンジンが付いていないので、ジープで引っばってフェアウェーを刈りこんだ。それでも作業員は眼を見はったものだった。

肥料について

ゴルフ場の戦前の肥料といえば、油粕、豆粕、魚粉、骨粉の類である。それが戦後はすっかり姿を消した。水と肥料がないと芝は育成出来ない。京都ゴルフ倶楽部東コースの完成当時は、近所の農家に依頼して「下肥え」を集荷して肥料にした。他に方法がなかった。

「下肥え」は、肥壺に入れて十分な日時をかけて発酵させる。その、よく発酵したものを水でうすめて液肥とする。はじめての液肥第1号は、日没を待ってまずグリーンへ散布させた。

ところが、翌日になって大変な事件に発展した。コースへ出た進駐軍ゴルファーが、続々と頭に湯気をたてて、「グリーンへ人糞をまき散らした奴がいる。臭くてプレー出来ない。責任者を出せ」と大騒ぎになった。コースの管理責任者は、唯々、平身低頭して嵐のすぎ去るのを待つより仕方がない。



嗅覚が日本人と相違するのであろうか。

結局、人肥は東コースでは絶対使用禁止になった。だが、たった1回の人肥がグリーンを見違える程つややかにし、元気に蘇生させたことは事実である。

人肥が使えないとなると、コース管理部はまた考えなければならない。よくねかせた「下肥え」を、土に混ぜて乾燥しながら臭気を抜く方法が考案された。先ず、篩を通した良質の土を小山の様に盛り上げる。その盛土に数ヶ所の穴をあけ、梯子で「下肥え」を運び上げて穴の中へ流しこみ、全体に浸透したところで、こね廻すのである。

陽に乾かし、風で乾かしながらこれをこね廻すのだ。これをキリカエシという。このキリカエシを3～4回くりかえし、日数をかけ完全に乾燥させる。それをまた篩にかけるとキメのこまかい最上の肥料土となる。つまり目土になる。ただし、この工程の中でたまらないのは、キリカエシ作業時の悪臭である。これは「鼻がビンマガル」という形容では追いつかない。作業員は誰も敬遠する。この作業を命じられると「頭痛」、「腰痛」、が発生する。なかには仮病ではなくて、本当の「胃けいれん」になるものもあった。しかし、芝生にとってはこの良質の「目土」程有難いものはない。肌が輝き表情も実に豊かになるし、背丈も延び美しくなる。しかも、この「目土」は乾燥過程で悪臭を除去しているから、進駐軍golferからもクレームが付かなかった。化学肥料が大量に生産されるまでの苦労話である。

洛鴨会について（別名チョロチョロ会）

この会が出来たのは古い。倶楽部には種々な会があるが、この会は一寸愛敬のある存在である。

会の精神として（1）不平は一切言わない（2）悪口は勝手である（3）何を言われても怒らない（4）楽しくやって規則に縛られない。

発起人は、田坪栄吉氏、木村常次郎氏と貞市翁である。会の名前はチョロチョロやっている連中ばかりだから、当時のキャプテン成宮氏の軽い悪口をもじって付けた名前であると思う。

この会のメンバーは、腕前なぞ何処に吹く風かと、川奈に茨城に広野、小野、宝塚と一流コースへ出掛け、戦歴は多い。

川奈へ行った時の笑話。

貞市翁は、田坪、畑、木村の三氏と一組で大島コースをスタートした。そして2番ホールで、木村氏がグリーン前の左側のごく浅いバンカーへボールを叩きこんだ。パターでも出きるような処で穴もない。

他の人は側で立って見ていた。4つ5つと叩いたが出ない。貞市翁が一べん後へ出してやったら、と言った。これが感に触ってか、顔をダンダン真赤にして来て、14まで叩いた。まだ出ない。流石に15打目で後へ出してグリーンへ上げた。深いバンカーでは14や15は珍しくないが、ここでは一寸可笑しい。自分でやったことだから文句は言えない。木村氏の顔に笑のカケラもない。9番を上ってから田坪氏が「木村君会則を忘れるなよ」と。

14打までやれば出るまでやるのが普通と思うが、15打目で後へ出した処が木村氏らしくて可愛い処だ。あとのインは正常で廻った。



洛鴨会のメンバー（川奈ゴルフ場にて）

京都府警に拘留の件

昭和33年11月10日早朝7時頃、京都府警捜査課係官3名が木屋町の貞市翁の宿へ来て、これから本署へ来てくれという。これは拘留というのか、留置というのか、一応留置場へ連れて行かれた。

京都ゴルフ倶楽部東コースは、京都軍政部と京都府との合作で仕方なくやったことで、盟友川上君とも、府か、市から、せめて感謝状位出しても良いのにと話し合っていた位だから、刑事事件など起こす筈がない。

東コース12番の上側と、西コースの今の12番に、荒地の田圃があった。ここは、芝の育成地として芝地としてあった。全国的に取り締まりの厳しい時代であったので、粗略な扱いはしていない。

また松嶋助役には、京都市の観光開発事業のためにやっていることだから一度位昼飯でも御馳走したらどうだと冗談まじりに話していた位だから、只の一度も饗応したこともない。

また現在の西コースは、東コースが狭隘になって来たために、あれこれ物色の末、当時の井上副知事の推薦で今の処に決めたもので、何の違反もないことは確信があった。

この捜査の同じ日、同時に東京の日本橋事務所も捜査され、中尾専務（故人）の机の中までも調べられたらしい。

留置中、昼は木屋町へ行ったり、近所の神社へ行ったりの生活であった。木屋町の宿舎からは、汁付きの温かい弁当をくれるし、何だか済まぬような数日であった。

留置中、型通りの法廷で係りの検事の尋問となった。

「安達さん、親方同志の喧嘩の側杖を食ってお気の毒ですね」

この言葉は今でも覚えている。

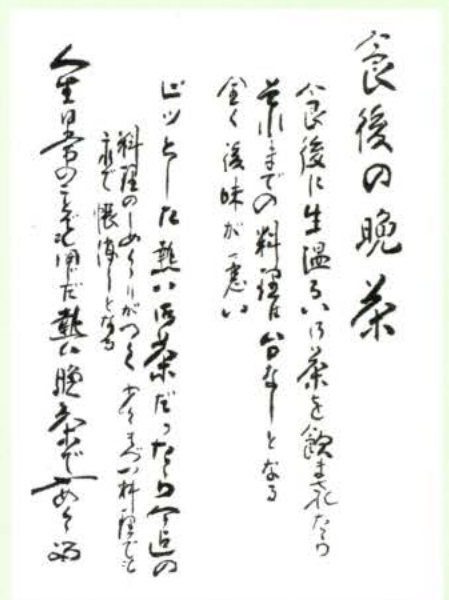
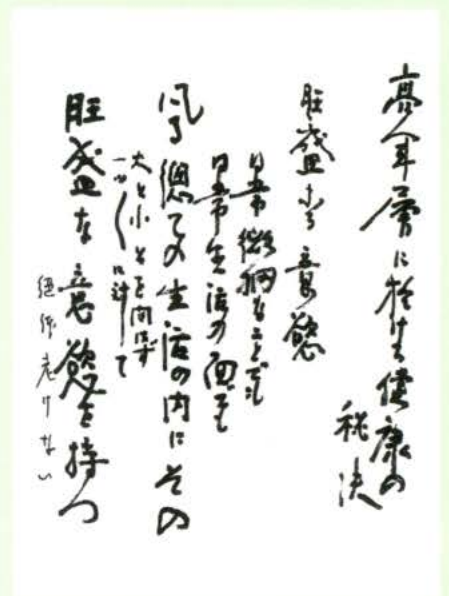
後で聞いた噂話では、西賀茂部落へ道路新設費用として1000万円寄付した金が何か松嶋助役に関連があると思って、「貞市翁を叩いたらこの辺でホコリが出るだろう」と想像したことに原因があったらしい。真偽の程は不明である。結局、会社が農地委員の前原勘三郎氏（満州帰りで鎌田支配人の友人）に金を貸したことがよろしくないということで結末となった。

この貸金の、ことの真相は、鎌田支配人が貞市翁に対し「私の友人の前原勘三郎君が今老人ホームをやっているが、そのために20万円ばかり貸して貰えませんか」という。社会事業で要るというなら貸して上げようと言って貸した（これは間もなく利息も貰って返済されている）。この人物が農地委員だったからという次第である。

大山鳴動して鼠一匹も出なくて、何だったのか形容出来ない。この拘留された時、時を同じくして貞市翁を倶楽部内から除こうとして、京都ホテル、また、木屋町通りの料亭、先斗町の料亭などに20~30人が集まり、謀議が行われた。

しかし、これは田坪栄吉氏等の人達の手によって解消した。

空巢というものか。



札幌ゴルフ倶楽部草創期物語

神代システム設計社長（当時 小樽市役所企画部）

神代方雅



それは昭和38年、日観興業株式会社の現在の社長である古賀始氏が小樽市企画部の彼の許を数名の関係者と共に訪れた所から始まる。

朝里温泉の山の奥のその上にとんでもない平地があることに彼は先ず一驚。そしてそんな高い所にゴルフ場を作りたいというのにまた驚かされた。たしかその時彼は平磯岬（今の望洋台）あたりを図上で指さして、ここの方が良いのではないかと愚問を發した。（この時古賀氏は多分心の中でこの企画部主幹は本当の土地

利用計画の考え方ができていないなと思っていたに違いない）。

愚問ということは今になって明白に歴史が証明をした。それは土地利用の最適化と高度化という観点である。

望洋台は宅地に最適であったのである。そして放っておけば狐と蛇が住むしかない山がゴルフ場になりスキー場になり、今なら各自治体が目の色を変えてる事をいち早く実現してしまったのである。そうだ彼はその時土地利用のあり方を教えられたのである。

昭和42年に策定した小樽市総合計画の中で彼は平磯岬部分に住宅団地計画を入れ、企画部長の高橋暢氏はこれを道営とすべく折衝したが広島町に一步先んじられた。

そして最初の古賀さんとの話し合いでは彼はゴルフ場計画にはあまり賛成でない、それよりスキー場を作ってほしいなどと勝手なことを言った。それは彼のその時のゴルフに対する考え方であり、大体女の子に道具をもたせるスポーツなど日本男子たるものの名折れであるなどとまじめに考えていたからである。

しかし古賀さんは、失礼ながら朝里温泉はあまり発展していない、とやんわり指摘し、温泉街の振興策としてもゴルフ場が必ず功を奏すると強調したのである。

そもそも朝里温泉は彼が都市計画課長であった昭和28年に水道課長の武光さんがボーリングして朝里に温泉を掘り当てて彼に計画を立てるよう要求されたので、彼は日本の都市計画の学問的創始者でもあった早稲田大学教授（当時）石川栄耀博士の指導を受けて温泉街の計画をしたことからその発展を願っていたし、何とかしたいものと考えていた矢先であった。そこで古賀さんの意見に大いに心動き、ゴルフ場計画に同意し、同時にスキー場を作ることを強く要請した。それは天狗山のスキー場もロープウェイしかなく何とか朝里にスキー場を本格的に計画したいと考えていたからであるが古賀さんの快諾を得た。

そんなわけで、翌年春先の堅雪（日中とけて夜凍る）を利用して現地視察を行った。これには当時の社長の安達貞市さんまで70才の高齢で参加したのである。今思うと5番ホールティーあたりまで登って全体を見渡し、それから16番ティーを目がけて歩いているうちに雪が柔らかくなり、一歩ずつ膝を没する始末とな



昭和40年頃のクラブハウス風景

ったので心配して安達さんをみたら平気な顔をして雪をこいでいる。

「社長は何人（彼女を）もっていますか」と冗談を言ったら、片手を上げて豪快に笑った。安達さんは京都にも山岳ゴルフ場を作り、国民の脚を鍛えて国家に貢献しているが、小樽のコースもそういう目的があると如何にも明治人らしく主張しておられた。その時感化された彼は勿論、今日札幌のゴルファーはひとしく安達さんの方針に従って足腰を鍛えているものであり、故人となられた安達さんに謹んでご報告したいと彼は考える。

スキー場用地は市有地であり、一部からピース1個の坪単価で売ろうとしていると恰も悪い事をしているかの如き意見があり、特別議会が招集された。委員会では彼も最悪の役人として標的にされ、某議員が彼を悪罵した。彼は咄嗟に名誉棄損で訴える決意をし、『もう一度言ってみろ』と大喝した。市長の安達興五郎さんは目を白黒させて彼の顔を見たが何も言わなかった。その議員はあとから彼の部屋に来て謝ったので一件落着。あの何の役にも立たない山地がスキー場になって大きい経済効果を上げているが、あの特別議会をもう一度やって日観興業(株)に感謝状ぐらい上げたいと彼は考えるのである。

ゴルフ場まで道路をどうつけるか色々と会社では研究したが、そのため熊笹を分けて夏の頃であるが実地調査をした。

結局、田巻春造（市助役）さんがヘアピンカーブの今の道路を計画し立派に解決した。

コースが出来て市の職員も率先してやろうと、島田さん（今の支配人）の特訓を受け、また倶楽部会員になって、市役所のはづき会や民間と共につつじ会を作ったのであるが、石コロだらけ蛇も住むと悪口を言う人もいたコースが今日の奇麗な立派なものになるとは当時は誰も判らなかった。関係者の善意と努力により社会が発展することを30年の歴史の中から彼はしみじみと教えられたのである。

因みに彼は今年76、私こと神代方雅である。死ぬまで朝里コースに通おうと執念を燃やしている。

(P.98「札幌ゴルフ倶楽部」参照)

100代会の発足と記録

安達建設株式会社は毎年夏の社内慰安旅行の折、社内ゴルフコンペを催していたが、次第に系列会社が増え、またゲスト参加者も増えてきたので、昭和29年4月に会社の社員を正会員とし、会社が指名する系列会社の社員を特別会員として、社内に100代クラブを創設した。各会員の18ホールプレースコアを100以内でプレーできるように励む会というのが趣旨である。

かくて、第1回100代会ゴルフ競技会は昭和29年6月箱根仙石ゴルフコースでスタートし、その後毎年夏に開催し昭和55年の第28回大会まで続いたが、オイルショックによる不況の影響もあり、残念乍ら以後の開催は取り止めとなった。

	年 月 日	コ ー ス 名	参加者数	優 勝 者
第1回	昭和29年6月6日	仙石ゴルフコース	16	寺井 章一
第2回	昭和30年9月21日	富士ゴルフコース	21	安達 禮三
第3回	昭和31年8月20日	伊東一碧ゴルフコース	28	岸 亨
第4回	昭和31年8月21日	伊東国際ゴルフコース	28	片桐 誠一
第5回	昭和32年8月19日	京都ゴルフ倶楽部 (上賀茂)	25	高村 定治
第6回	昭和33年8月6日	仙石ゴルフコース	31	名古屋兼久
第7回	昭和34年7月15日	箱根カントリー倶楽部	46	瀬戸島四郎
第8回	昭和35年8月10日	森林公園ゴルフコース	47	瀬戸島四郎
第9回	昭和36年8月9日	大洗ゴルフ倶楽部	46	太田重二郎
第10回	昭和37年8月21～22日	伊香保カントリークラブ (36ホールプレー)	48	田中 良一
第11回	昭和38年8月7～8日	茨城ゴルフ倶楽部 (東、西36ホールプレー)	45	太田重二郎
第12回	昭和39年8月4～5日	京都ゴルフ倶楽部 (東、西36ホールプレー)	43	成宮喜兵衛
第13回	昭和40年8月10～11日	仙石ゴルフコース及び芦ノ湖カントリークラブ (36ホールプレー)	48	根本 弘司
第14回	昭和41年7月19～20日	茨城ゴルフ倶楽部 (東、西36ホールプレー)	47	石井 武雄
第15回	昭和42年7月11日	太宰府ゴルフ倶楽部	50	角田 三郎
第16回	昭和43年8月13～14日	茨城ゴルフ倶楽部 (東、西36ホールプレー)	60	勢メ 作造
第17回	昭和44年8月28日	京都ゴルフ倶楽部 (上賀茂)	59	鈴木 正夫
第18回	昭和45年8月27日	大熱海国際ゴルフクラブ	44	名古屋兼久
第19回	昭和46年8月4日	太宰府ゴルフ倶楽部	58	安河内嵯通
第20回	昭和47年8月8～9日	茨城ゴルフ倶楽部 (東、西36ホールプレー)	58	石井 武雄
第21回	昭和48年7月24～25日	仙石ゴルフコース及び芦ノ湖カントリークラブ (36ホールプレー)	50	西川 善雄
第22回	昭和49年8月27～28日	日野ゴルフ倶楽部 (36ホールプレー)	69	野間 巖雄
第23回	昭和50年7月2～3日	茨城ゴルフ倶楽部 (東、西36ホールプレー)	70	市川 恵治
第24回	昭和51年7月6～7日	額田ゴルフ倶楽部 (36ホールプレー)	75	中村 享治
第25回	昭和52年8月3日	軽井沢72ゴルフ場	18	横山 良
第26回	昭和53年7月5日	大箱根カントリークラブ	16	鳥海 房助
第27回	昭和54年7月26日	札幌ゴルフ倶楽部	18	西川 善雄
第28回	昭和55年7月4日	額田ゴルフ倶楽部 (東コース)	12	西川 善雄



第 4 部

会社経営にとっての 2大事件

観音崎施設図



この施設図は、三浦半島観音崎地区に昭和23年頃安達貞市翁が観光日本株式会社の社名に相応しい総合観光施設として立案したものです。

計画図には小原台ゴルフコースを主軸とした国際ホテル、国際クラブ、野外劇場、テニスコート、ヨットハーバー、別荘住宅等があり、当時既に貞市翁の脳裏には、今日における一大リゾート計画があったのです。

1.小原台ゴルフ場

小原台ゴルフ場は、多年に渉って幾つもの難事件が発生し、そのため延引に次ぐ延引を重ね、幾多の困難と折衝のもとに漸くアウト9ホールズが完成し、いよいよ開場という矢先に、保安大学（現・防衛大学）建設用地として指定されたことで、この計画は挫折したものである。

終戦後50年を経過した今日、世代も変わり、戦後生まれの人々にとっては、米軍占領下に於ける混乱した世相

については想像もつかぬことと思われるので、ここに詳しく書くことにする。

ことの起こりは昭和23年4月5日付横須賀米海軍基地司令部からの一通の書簡に始まる。この書簡は横須賀市長に宛てられたもので、その内容は、「横須賀観音崎一帯を民間資本に依り観光開発を進められたい」というものであった。

横須賀海軍基地司令部

横須賀市長殿

観音崎地区管理の件

昭和23年4月5日付シーエーピー書翰エッチ…連続番号 879

(1) 観音崎地区の管理は第八軍より横須賀海軍基地に移管された。

(2) 優秀なる遊覧地区及びキャンプ地区として開発し得る該地区は、横須賀に資本を導入するに意義のあるものと信ず。本目的達成の為、市当局は該地区開発の計画を立て、承認の為、司令部に提出され度し。

(3) 目下市当局は財産の所有者又は借地権者たる事を必要とするかも知れぬが、究極に於いて該財産は民間企業の手へ委ねられ、市は民間企業の運営より手を引くべきものと思ふ。

昭和23年9月16日

この覚書に従って横須賀市長と会社の間で、小原台ゴルフ場並びに周辺観光開発について種々懇談が重ねられた。その成案に対し司令部の見解は「まずゴルフ場を作ること。但し計画の資金は民間で持つこととし、土地の提供は司令部と市当局で行う」というものであった。

諸手続が終わり、海軍基地からのブルドーザーが入って工事が開始されたのは昭和24年3月2日であった。ところが開始2日後の3月4日に、次に述べる様な事件が起き、3月10日には工事中断ということになった。

当時の用地事情としては、食料難の時代で農地優先ということから、用地内の総ての農家に離農の同意を取りつけなければならなかった。地元農協の同意は得てあるが、用地内での旧軍人婦農者の中の5名が新農村連盟なるものを組織し、浦賀地区共産党と提携してゴルフ場建

設に猛烈な反対運動を起こしたのである。

事情は極度に悪化する一方であったので、市長は司令部に対し“本件より手を引く”と言明せざるを得なくなった。従って、本件離農問題は司令部と会社の間で行われる事になった。

この時司令部が取った措置は、小原台一帯を軍事基地として再接収するということであった。このため新農村連盟は解体した。これで漸く工事の再開となったが、またしても事件が発生した。昭和25年6月25日に始まった朝鮮戦争のためである。いきおい工事は2回目の中断を迎えた。この頃2ホールズが完成していた。

朝鮮戦争の勃発

朝鮮戦争での休戦条約が結ばれたのは、昭和27年7月

27日であったが、その前に戦況は好転していたので工事再開の準備をしていた昭和26年初頭、今度は米本国より小原台地区に大規模な無線基地設置命令が来た。これでは工事再開も出来ない有様である。

幸い、この無線基地は横浜市外瀬谷地区に設ける事となり、工事は続行されるかに思えたが、またまた障害が起きた。それは昭和26年9月8日、対日講和条約と同時に結ばれた日米安保条約のためである。この安保条約に含まれる行政協定に依ると、小原台一帯は使用出来ない

ことになっていた。従って何等かの措置を講じなければゴルフ場の再建は難しい。

日米合同委員会は、この行政協定を円滑に運ぶために設けられたもので、小原台にゴルフ場を作ることができるかどうかの鍵はこの委員会が持っていた。幸い、基地司令部スュー大佐の理解及び、石渡横須賀市長の努力もあって、昭和27年9月29日付下記書面を以って、ゴルフ場建設に同意する旨の表明があった。

昭和27年 9月29日
米海軍横須賀基地司令部

横須賀市長
石渡直次殿

親愛なる石渡市長
本書面は今朝御来訪の折、貴下とお話した件を確認するものであります。小原台演習砲台の土地をゴルフコースとして使用することに関する貴処の許可要求をここに同意致します。

米海軍横須賀基地司令部
海軍大佐 J.P.スュー

以上の様な経過を踏んで、小原台9ホールズは昭和28年4月に完成し、仮開場を待つばかりとなっていた処、今度は保安庁より保安大学設置の申し入れが来たのであった。

以上述べた経緯を箇条書きにすると

- 昭和23年 4月5日 司令部より観光施設の勧誘
- 9月16日 横須賀市長宛許可書面到着
- 昭和24年 3月2日 工事着工
- 3月4日 共産党浦賀支部の猛反対起こる
 工事中止
- 昭和25年 1月 再接収のため、反対運動収まる
 工事再開 2ホールズ完成
- 6月25日 朝鮮事変起こる 工事中止

- 昭和26年 初頭 無線基地に指定される
 工事中止
- 9月8日 日米安保条約のため用地使用不可となる
 工事中止
- 昭和27年 9月29日 基地司令官より建設同意書到着
 工事再開 9ホールズ完成
- 昭和28年 2月19日 保安大学の候補地と指定される

保安庁との交渉経過

昭和27年暮頃から、噂として流れていた保安大学を小原台に設置するということが、遂に現実となって現われ

て来た。それは昭和28年2月19日、保安大学校長横智雄氏より当社宛て、小原台を保安大学の敷地として同意されたい旨の申し入れであった。その趣旨は次の様なものであった。

拝啓、厳寒の候、貴社には益々御隆昌の御事と存じます。

扱て、昨年以来開設準備を進めて参りました保安大学も愈々来る4月よりとりあえず久里浜臨時施設において開校することになりました。既に御承知と存じますが、本校は来年迄に恒久施設に移る必要に迫られており、その敷地決定については、将に関係方面の協力を得て鋭意研究して参りましたが、その結果横須賀市観音崎付近の小原台を唯一の候補地として定めるに至りました。承れば、貴社におかれましても同地に対してすくなからずの御関心を持たれ、特に観光のため種々御計画を進めておられる由、実に申し上げ難いこととは存じますが、本大学校の設置は急を要し、且つその場所も教育上の条件に抑えられ、他に適当なる土地も無き有様にて折角の御計画に支障あることとは存じ乍ら、まげて小原台一帯を本大学設立地として定めることに、貴社の御協賛を願う次第であります。本大学校としまして、この地方の健全なる観光事業の一環ともなり、その発展のための色々な御計画に準じた理工学系統の大学校でありまして、特に将来の保安隊、警備隊の幹部としての素質技能を磨くに必要な深き教養を持つ学生の教育訓練に当るものでありまして、4年後の完成時には全国より集まる1600名以上の学生を全て寄宿舎に収容する予定であり、教職員も数百名に達します。これらの施設においても他大学に劣らぬものとなろうと考えております。私共も将来の任務に十分耐え得る身体が強壯にして有能なる青年を育成するにはどうしても一般社会とも遊離しないようにと心懸けて養成するつもりでおりますので、何卒御同意の上、今後共協力下さるよう切に御願ひ申し上げる次第であります。

敬具

昭和28年2月14日

保安大学校長 横 智雄

観光日本株式会社

取締役社長 安達貞市殿

侍 史

また、保安庁木村長官からも同様な申し入れがあった。

昭和28年2月18日

保安庁長官 木村篤太郎

観光日本株式会社

取締役社長 安達貞市殿

拝啓、厳寒の御益々御清栄のことと拝察いたします。

今般当庁におきましては、昨年末発足しました保安大学校の校舎を新営することとなり、その敷地を物色中のところ横須賀市小原台地区は学校敷地として各種の条件を具備する好適の候補地であります。

しかるところ同地区は駐留米軍よりの提供解除後貴社においてゴルフ場その他の施設を建設する計画あるやに仄聞いたしているのであります。当庁としましては保安大学校の目的を実現し得る教育環境を有する

敷地の入手が困難の現状であること、及び新入学の生徒も来る4月から入校することとなるために、その収容施設の設置が焦眉の急務となっていること等、諸般の理由から小原台地区を学校敷地として至急入手いたしたいと存じている次第であります。右事情御了解いただき該地区に対する当庁の計画について貴意を得、今後の御協力を得たくお願いいたします。なお参考までに当庁の建設計画の概要を示す位置図を添付いたします。

基地司令部、横須賀市及び当社は、緊急会議を開き対策を重ねたが、市の立場は微妙であった。旧軍港都市としての特殊性から、保安大学の設置も無下に拒み難いし、また、小原台ゴルフ場も横須賀市が観光立市として生まれ変わる建前上欠くことができないというものであった。

しかし、貞市社長の決意は固く、横須賀市及び転換委員会に対し観光立市としてのこの計画の遂行を強く要望すると共に、小原台ゴルフ場の計画は社運を賭したものである事を強調した。この時木村長官に宛てた返書は次の様なものであった。

拝啓、厳寒の候、御清穆の御事と存じます。扱て2月18日付貴書簡に依り保安大学々舎建設候補地として、横須賀市小原台地区を選ばれましたに就き、協力方の御求めの御趣旨を拝誦いたしましたに付き、此状を以て取り敢えず御返事を申し上げます。御趣旨につきましては、国民の一員といたしまして能う可くんば御案の御賛同申し上げ微力を尽くすにも吝な者では御座いませんが、残念ながら実情は小原台地区に關します限り如何しても同意申し上げ得ない現況にあります。小原台転換計画の事は何分にも終戦直後の占領下に端を発し、当地の横須賀基地司令官と横須賀市長との間に於いて此地をゴルフ場とする基本方針が決定し、同時に観光日本株式会社が之れに参画しましたもので、爾来5年の長年月に亘り、斯様の一書面を以ては到底尽し難い多岐複雑な事件と難関とをあらゆる犠牲を投じて処理しつつ、此の間一日と雖も所期に対し些の疑念を挿む余地なく、間断なき努力を傾注し続けて参り、全く抜くことの不可能な根を下ろした事柄であります。洵に貴意に添い得ず残念に存じますが、右の事情何卒御賢察の上、小原台地区に關する限りは御計画に含められませぬように切に願ひ上げる次第で御座います。

昭和28年2月21日
観光日本株式会社
取締役社長 安達貞市

保安庁長官 木村篤太郎殿

昭和28年5月頃の事情は、保安庁側他に適地がないため是非小原台を要望する。

- 横須賀市側
- 1) 軍港都市としての特殊性を持つ横須賀市としては、是非保安大学を武山地区に招致したい。
 - 2) 小原台一帯は観光地として保存する。

というもので、両者の希望はあくまで平行線をたどり、何等決定を見ることなくいたずらに日時を費す有様であった。

横須賀市の転換委員会は、この問題について数次にわ

たり審議を重ねたが、小原台ゴルフ場地域は観光地帯に決定されており、既定方針を貫く可きであるという姿勢であった。

保安庁では建設を急ぐのと他に適地なしとの理由によって、横須賀市長及び議長を招請し、保安大学設置に關し、重ねての依頼があった。

梅津横須賀市長はこの決裁を市委員会にかけるとした。委員会は市長の提案に対し関係者の意見聴取など約半年間にわたる話し合いの結果、次の様な結論に達した。

- 1) 横須賀市が旧軍港都市としての特殊性格都市の立場から大学を失なうことの不可能なる事。

- 2) 小原台ゴルフ場の代替地を他に斡旋すること。
- 3) 会社に対する補償については極力善処協力する。

- 8) 社員等の退職慰労金 3,000,000円
- 9) 事業放棄による慰謝料 25,000,000円

合 計 137,051,723円

会社としては死活の問題であり、市側、関係筋と連絡を取って最善の努力を払ってきた。しかし、この最終段階に立至った以上諸種の事情を勘案して、これ以上反対することは得策でないと判断して昭和28年7月15日、次の条件を以って応諾の意志表示をした。

(1) ゴルフコース18ホールズ建設の可能な代替地の斡旋

(2) 補償請求額

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1) 建設関係費 | 34,878,357円 |
| 2) 事務所費 | 13,707,116円 |
| 3) ゴルフコース関係費 | 27,518,250円 |
| 4) 営業開始遅延の為の損害金 | 9,448,000円 |
| 5) 新ゴルフ場再準備費 | 5,000,000円 |
| 6) 増資株式の適正利息 | 15,000,000円 |
| 7) 関係者の処理費及び慰謝料 | 3,500,000円 |

交渉経過：

当初、保安庁は土木課の担当であったが、経理部、更に中央建設部不動産班担当と次々と変わり、また補償についてもその根拠と方針が仲々決まらず、大蔵省、建設省、調達庁及び会計検査院等関係官庁との協議、意見調整に時日をいたずらに空費して、その間会社はあらゆる参考資料を提出し続け、既に10月も下旬となった。

会社は、以上の如く延引されるに忍びず、早期解決のため会議を要求して年内には必ず解決するということを再確認した。

補償に対する法的見解及び範囲について松永会計課長より当社に対し、「本件については筋道の通るものを出来る丈け多く補償するよう研究をし、他官庁（調達庁、大蔵省、法制局等）の意見も聞き、一応の結論を出すことにした」との説明があり、その要旨は次の通りであった。

要旨

- 1) 「国有財産法」或いは昭和27年法律第110号「日本国トアメリカ合衆国トノ間ノ安全保障条約第3条ニ基ク行政協定ノ実施ニ伴フ国有財産ノ管理ニ関スル法律」等により慎重に研究して見た。
- 2) ゴルフ場を建設したいという事実から会社に占有権があったとは認められる。従って民法第196条（占有権の費用償還請求権）第二項（有益費用の償還）により処理し補償したいと思う。
- 3) 従ってその条項の示す所に従い現存する有益費について算定する。即ち具体的に云えば道路工事については改良工事ならば有益費と云えるが、会社が工事を利用する為の維持修理は有益費とは云い難い。又ゴルフコースについても客観的に見て土地の価格増になったと思われる整地工事、客土工事或いは芝に対する費用は認められるが、グリーンの盛土とかバンカーの穴とかは将来ゴルフ場として使用するならば兎も角、保安庁としては邪魔にこそなれプラスになった費用とは考えられない。
- 4) この様な主旨で一応会社の請求項目を取捨し、その金額は裏付けとなる証拠により決定したいから、別に至急その書類を持参されたい。
- 5) 仮に借地権があったとしてこの権利を試算してみるに、小原台の面積14万坪に対しこの付近の現在売買価格坪当り300円としてこの土地価額は4,200万円、権利金として東京銀座当りならば90%なれど、この付近では20%程度と見て800乃至1,000万円という所が相当である。
- 6) 結論として以上の様な主旨で算定した補償金は恐らく2,000万円程度ではないかと思う。これ以上のことはどうにもならないので、会社としてもこの程度で承諾された方が早く解決し得策ではないかと思われる。
- 7) 保安庁としては以上申した程度であるが、司令部としても市としても国有地にゴルフ場を造ることは無謀である。

会社としては、正当な方法によってゴルフ場を作ってきたもので、若し保安庁がこの様な方針ならば本件は白紙に戻すより他ないであろうと答えて会見を終わった。

会社は改めて経理局長、土木課長を訪問し、会計課長の発言に対する抗議をした。また、保安庁が前項の様な見解ならば絶対承諾不可能であり、会談は決裂一歩手前という状態になった。

梅津横須賀市長は、長官より本件取捨について委任を受けておられる関係上、改めて長官と市長会談を行い、年内解決について再申合わせを行った。この時の両者の見解は次の様であった。

- 1) 保安庁側 小原台ゴルフ場地区に対しては占有権のみ認めて補填対象とする
- 2) 市及び会社側 ゴルフ場は建設着手の動機が占領

管理権を持つ米海軍司令官の許可によって実施したものであり、更に日米合同委員会の決定に基づき、外務省国際協力局長が市長宛ゴルフ場を作ってよろしい旨の書簡により実施したもので、正当な地上権を有するものと解釈している。且つ日米合同委員会は駐留軍に関する両国政府の代表機関であることは論を俟たない。従って投資した費用、得べかりし利益は当然支払われるべきである。

これを要約すると保安庁は占有権ありとして、これに基づく有益費を補償しようというのに対し、会社側は地上権ありとし、これに基づく損害賠償と遺失補償を求めているのであって、去就に困惑した保安庁長官は法曹大家の本件権利関係の鑑定書の提出を求めて来たのである。

依って、会社は次の2通の鑑定書を提出した。

鑑 定 書

観光日本株式会社が横須賀市小原台を含めたる左記地区

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 小原台 | 1. 花立砲台 |
| 1. 旧三軒家砲台 | 1. 旧浦賀衛所 |
| 1. 腰越保壘 | 1. 旧走水観測所 |
| 1. 旧小原台高角砲台 | 1. 旧走水第二砲台 |
| 1. 旧走水防備隊 | |

右地区のゴルフ場の施設並に之に関連する諸施設は別紙添付の文書及び現実に施工せられている事実並に説明の聴取に依り、右会社が地上権を所有するものと認められる。 右鑑定する。

昭和28年12月29日

福井 盛太
石川 勲蔵
佐藤 兼蔵

東京都中央区日本橋通三丁目8番地
観光日本株式会社
取締役社長 安達貞市殿

昭和28年12月29日

鑑 定 書

弁護士 青木 一男

観光日本株式会社御中

御依頼に係る横須賀市小原台地区ゴルフ場権利関係に関する件、左の通り鑑定致します。

1. 本件地区は米海軍の接収に係るところ、米軍当局は昨年6月18日付合同委員会覚書に対する回答に於

いてゴルフコースを作ってもよい旨の意志表示があり、このことは同年8月14日外務省協力局長から横須賀市長宛通知があった。更に昨年9月29日米軍横須賀基地司令部から横須賀市長宛公文を以て、本件土地をゴルフコースとして使用することを正式許可する旨通知があった。

2. 昭和23年9月16日横須賀海軍基地司令部は横須賀市長宛公文を以て、観音崎地区を遊覧地区として開発の計画を立てるべきこと、並びにその運営は民間の経営に委ねるべきことを要求した。観光日本株式会社（以下会社という）は右米軍当局の方針に基づき、観音崎地区を観光地域とし、国際観光と横須賀市の発展に資する為、市の代行機関として、その事業を進めて来たものであり、ゴルフコースはこの観光施設の中核をなすものであった。会社は右の趣旨に基づき横須賀市当局の指示の下に又米国海軍当局並に関東財務局横須賀支所と連絡諒解の上ゴルフコースを建設し、本年3月、9ホールを完成した。
3. 然るに保安庁は本年2月以降保安大学敷地として本件地所を使用した旨申出があり、会社及び横須賀市としては観光施設既定計画の根本的変更となり、且つ既に莫大な経費を投じていたことであるから、いたく当惑し容易に応諾し難い状況にあったのであるが、保安庁の国家的要請に鑑み譲歩して応諾することとした次第である。しかし、会社は適当な補償金を貰えることの諒解の下に応諾したものであることは明らかである。
4. 横須賀市長は保安大学用地取得に関する協力方依頼に対し、本年6月25日付を以てこの要望に応諾を与えると共に保安庁の方針実施に際しては本地域に利害を有する関係者とは特に十分なる協議を遂げることを要望する旨申入れ、保安庁は之を諒承したものである。
5. 米国海軍は接収によって、本件土地の使用権を取得したものである。その権利の実体は必ずしも民法支けで律することはできないが、大体に於いて使用貸借に準ずるものとする。会社は右の使用権を米軍当局から承継しているものであって、之については合同委員会は関東財務局横須賀支所を通じて土地所有者たる日本政府も諒承済みであると解する。
6. 会社は当初占領軍の指示に基づいて観光地の経営に着手し、本件土地の占有者の立退きその他の準備行為を進めて来て、独立後米海軍当局の許可に基づいて本件土地を使用し、当初の計画通りゴルフコースを建設したものである。接収解除後は改めて正規の手続きにより国有土地の貸付を受ける方針であったことは、本件周辺の土地が既に全部国から会社に貸下げられていることと、ゴルフコースは建設に巨費を要し、且つ移転不可能のものであるに拘らず、関係方面何人もこの計画に異議をはさまず明示又は黙示に承認していたことから推知されるものである。然るに会社は保安庁の要請に基づいて計画を抛棄し、立退に同意したのである。保安当局は横須賀市長との諒解に基づき会社に対し権利抛棄並に立退き代償とし相当の金額を支払うことは当然である。市も会社もこの補償をうけることを前提として保安庁の要請に応諾したものである。民法の規定や一般の慣行、衡平の観念などから見てもこの支払は当然である。保安庁の会社に支払う金額はゴルフコース建設に関しての支出金額とその廃止に伴う前後処理とするを妥当と考える。

以上

これらの鑑定書を提出すると、保安庁事務当局では、この鑑定について若干の疑義ありとし、経理局長は法制局に意見を求めたが、即答を得ることが出来ず、補償額の査定は遅れる一方であった。長官はこの事態を慮って、

政界に関係のない大家の鑑定書の提出を依頼して来た。依って会社は有馬忠三郎先生に依頼して次の様な鑑定書を提出した。

昭和29年 1月 9日
有馬法律事務所

観光日本株式会社御中

鑑 定 書

下記第一項の記載の小原台地区ゴルフ場の権利関係に付て左記の通り鑑定する。

横須賀市観音崎地区（通称）

- | | |
|-------------|------------|
| 第一 小原台 | 第二 旧花立砲台 |
| 第三 旧三軒家砲台 | 第四 旧浦賀衛所 |
| 第五 旧腰越砲台 | 第六 旧走水観測所 |
| 第七 旧小原台高角砲台 | 第八 旧走水第二砲台 |
| 第九 旧走水防備隊 | |

但シ第2項以下第9項マデハ昭和24年以降接收解除後大蔵省トノ間ニ賃貸借契約ヲ締結シ居ルモノナリ。

- (1) 右地区中ノ第1項小原台地区ハ米国海軍ノ接收ニ係ル処、昭和27年8月14日付外務省国際協力局長ヨリ横須賀市長宛ニ本地域ニ「ゴルフコース」ヲ造ッテモヨロシイトノ通知ガアッタ。更ニ同年9月29日米海軍横須賀基地司令部ヨリ横須賀市長宛公文ヲ以テ右上地ヲ「ゴルフコース」トシテ使用スルコトヲ正式ニ許可スル旨ノ通知ガアッタ。
- (2) 之ヨリ先昭和23年9月16日米海軍横須賀基地司令部ハ横須賀市長宛公文ヲ以テ、横須賀市ハ速ニ観音崎全地域ヲ遊覧地区トシテ開発ノ計画ヲ立テ、ソノ運営ハ民間経営ニ委スベキコトヲ要求シタ。観光日本株式会社（以下会社ト称ス）ハ右米軍海軍当局ノ方針ニ基ツキ、観音崎地区ヲ観光地域トシ、国際的ナル観光地域トシテ横須賀市ノ発展ニ資スルタメ、市ノ代行機関トシテ米国海軍基地司令部ノ諒解ノ下ニ、ゴルフ場トシテ昭和24年3月2日ブルドーザヲ以テ工事ニ着手シ爾來ソノ事業ヲ進メテ来タモノデアル。ゴルフコースハコノ観光施設ノ中核ヲナスモノデアッタ。会社ハ右ノ趣旨ニ基ツキ米海軍横須賀基地司令部並ニ関東財務局横須賀支所及ビ横須賀市当局ノ指示ノ下ニ連絡諒解ノ上「ゴルフコース」ヲ建設シ、昭和29年3月9日ホールヲ完成シタモノデ会社ハ右地域ニ地上権ヲ有スルモノデアル。
- (3) 然ルニ保安庁ハ昭和28年2月以降保安大学敷地トシテ第1項ヨリ第9項ニ渉ル全地域大部分ヲ使用シタキ旨申入レアリ、横須賀市並ニ会社トシテハ観光施設ノ既定計画ノ根本的変更ニナリ、且ツ既ニ事業ハ遂行中デ莫大ナ経費を投ジテ居タコトデアリ、痛ク当惑シ、容易ニ応諾シ難キ状況ニアッタノデアルガ、保安庁ノ国家的要請ニ鑑ミ讓歩シテ之ヲ応諾スルノヤムナキニ至ツタモノデアル。要之本件ノ土地ハ接收解除ニヨリ再ビ日本国家ノ所有地トナルベキモノナルモ、既ニ接收中会社ニ於イテゴルフ場設置等ノタメ地上権ヲ取得シタルモノナルコトハ一切ノ証拠書類ソノ他ノ証拠ニヨリ十分ニ之ヲ認メ得ベキデアル。既ニ地上権ノ取得ガ認メラレル以上ハ、ソノ所有者タル国ハ地上権ヲ抛棄セシメルニハ代償及ソノ他ノ投資費用ヲ賠償シナケレバナラナイコトハ民法上当然デアル。況ンヤ相当ノ賠償ヲナスベキコトノ合意ガ既ニ成立シテ居ルト見ルベキコトモ証拠上極メテ明白デアルカラ国ガ相当ノ補償ヲナスベキ義務アルコトハ論ヲ俟タナイモノデアル。

以 上

この鑑定書は、前2通のものよりも更に強く地上権の存在することを認めていたので、保安庁も漸く地上権ありとしての解決をすることになった。

昭和29年1月11日防衛庁長官と市長の会談が行われ、

- イ) 社会通念上常識的に見て補償せねばならない
- ロ) 地上権に準ずるものがあつたことを認め、之に基づいて補償金を算定する
- ハ) 補償要求項目の1)、2)、3)については事務当

局に於いて算定し、他は別途協議する
という結論が提示され、会社は安堵した。

更に、1月27日、市長と経理局長の会談に於いて局長より補償の基本方針として

- 1) 小原台地区に対しては地上権に準ずるものとして解釈し、この地区に関して実際に投じた費用は補償する
- 2) 事務所費等実際必要だったものは加算する
- 3) 花立地区は占有権として有益費を支払う

という原則のもとに、補償要求の第3項迄を審議し、第4項以下は前者の金額が出た上で改めて協議するという言明があり、事態は一段と好転した。

保安大学の申し入れがあったのは2月であり、補償請求を申し入れたのは7月である。今は12月であるが、未だに解決しないのは、保安庁側に次に述べる様な考え方があったのではなかろうかと思われた。

- 1) 本地区は国有地であって終戦以来米海軍の接収地であり、米海軍の指令により会社が施設したもので、国として正式には関係していなかったと解釈し、この为国として補償する必要がないとの意見を持つ向きがあったこと
- 2) 講和条約後引続き米海軍に土地を供与し、尚接収は解除されていなかった為、保安庁はこの解除を待ち法律第110号（日米安全保障条約第3条による行政協定の実施に伴う国有財産の管理に関する法律）第4条によるか又は解除財産の処理を調達庁に委託し、保安庁は無償で大蔵省より移管をうける予定であった如くに思われる。しかもこの解除が遅延した為
- 3) 会社に地上権又は使用権のあったということについて諸大家の鑑定が提出される迄、この根拠の認定に手間取ったこと
- 4) 時節柄汚職事件が続出し、処理に当って特に慎重を期したこと及びこの様な事務に不慣れと人員不足の為等

と解される。

好転したかに思われた本件の補償要求であったが、書類審査になるとその審議は遅々として進まなかった。一件毎の関係書類、領収書等の調査―審議―書類作成の順序を踏まなければ前へ進めない。この複雑な作業に思わぬ日時が流れ、会社としてもこれ以上の犠牲に堪えられ

ず3月25日限りの期限付解決請求を木村長官に出した。これに対し保安庁からの回答は補償準備中との事であった。

米海軍は3月23日同地の接収を解除した。同時に保安庁は横須賀収市及び会社に対して、一片の通告もなく無断で、しかも無謀にもブルドーザー十数台を入れて小原台の整地工事を開始した。

会社側は、本件の交渉過程にあるにも拘らず敢行することの不法に対して即時工事の中止を要求し長官宛内容証明の書簡を発送した。

これに対し保安庁の言い分は、

- 1) 工事は保安庁予算支出の関係上どうしても実行着手しなければならない
- 2) 補償に関する処理は並行して進める

というもので、会社は保安庁の無断工事着手の不法に対し、仮処分執行についても研究した。仮処分申請は即決困難にして決定には弁論を要すること、裁判上の問題に移行する時は更に多くの月日を要すること、政府を相手にしてこの論争があながち会社に有利に扱われるや否やの疑問等を勘案して交渉経過により決断することとし一時成り行きを見て決行することとした。

3月末日、保安庁事務当局は第1項乃至第3項に於いて4,500万円程度を認めることとなったと発表した。第4項以降の会社の要求については凡て長官が決裁されるので先ず上記3項に対する書類整備に協力した。市長は仲裁人として隔月に上京、保安庁及び会社間の斡旋につとめられた結果

- 1) 補償金は4,500万円以上支出の方法がない
- 2) 且つ右補償は小原台及び花立地区
- 3) 代替地茅ヶ崎に対しては充分の協力をする

以上が4月10日前後の状況であった。

仲裁案応諾の顛末

- 1) 本事件発生以来1ヶ年有余、補償要求提示後既に9ヶ月を経過して居り、此の上交渉に没頭することは余りにも会社の負担が大である
- 2) 保安庁側は時日の遷延に対して何等の痛痒を感じない
- 3) 補償金額は提示額以上支出方法がないと言明し、これ以上は裁判の判決によって支払いたい。判決による支払いならば事務当局は責任がないからという

今日までの長時日の交渉経過を考慮した結果、この仲裁案を棄却することは、裁判により決定するより方法がない結果となる。その時は何時解決されるか予測が出来ぬ。

国家が民間事業の処理にあたって、余りにも納得出来ぬことが多いが、又長い交渉努力の結果、この不満足な金額で解決することは誠に残念なことではあるが裁判によって勝ったとしても、果たして実質上有利な結果が得られるかどうかは未知の問題であるので不本意ながら応諾をした。

補償額は4,500万円、昭和29年5月に受領した。

昭和24年3月2日工事着手以来、幾多の事件に遭遇し

て満5年1ヶ月の長期に及んだ。敗戦による経済界の疲弊は未だ傷深く、経済状態は困窮の時代で、補償額は要求の3分の1にも満たぬ不満足なものであったことは、誠に残念なことであった。しかし、これ以上裁判で争って、月日を要することは会社の今後の経営に支障を来たすので、応諾は誠にやむを得ないものであった。敗戦を知らぬ戦後生まれの人々、また敗戦後半世紀近く経ち、今日の繁栄の恩恵に浴している人々にとっては誠に奇異なことと思われるかもしれぬが、この難関に当たって、会社が一丸となって真剣に応接した態度というものは、この一文によって充分記憶に止めて置きたいものと思う。

2. 京都ゴルフ倶楽部東コースキャディー争議

労働争議は、企業の恥部とも言える部分であり、企業サイドからこれを編集して公表する例はまことに少ないが、今日では労働争議は極く一般的な社会的事象であり、これをおおい隠そうとする心理の方が滑稽である。

昭和46年11月に発生し、昭和49年12月30日の解決まで3年余りの労働争議は当然社史に記録されなければならない。

京都ゴルフ倶楽部の労働組合は、昭和40年から同盟系の組合として活動して来たが、昭和46年11月東コースキャディー全員（64名）が組合を脱退して京都総評に加盟し、京都ゴルフ東コースキャディー労働組合を結成した。このため西コースキャディーは大阪一般同盟、東コースキャディーは総評全国一般と、それぞれ上部団体を異にしコントロールのきかない走り方を始める事となったのである。

別組合結成当日から数えて3年の長きにわたる争議のテーマは「労働時間の問題」ということであった。その争点である、キャディーの始業時間は8時か9時かという事だけで3年間泥沼にはまり込んでしまったのである。

従来からキャディーの出勤時間は早番8時、遅番9時となっていた。他の職種と異なりキャディーは全員一斉に就業することの出来ない職種である。全員8時に出勤してもAのキャディーは8時に就業するがBのキャディーは10時すぎになる。そこで家庭の主婦が多いということも考えて、早番遅番の制度で20年来実施して来た。

当時、キャディー人員の減少、来場プレーヤーの増加という現象の中で、早番20人確保のための班編成を組み替える協議を組合側と行っていた。

ところが、東コースキャディーは9時が出勤の定時であり、8時に出勤するのは早番出勤であり時間外勤務であると主張したのである。

会社側は、ゴルフ場の開場は8時であり従業員が開場時間に出勤するのは当然で、事業場が8時に開場しているのに従業員の出勤定時が9時というような事はあり得ない、また、ゴルフ場の開場時間は全国的に8時が常識であり、所によっては7時に開場している所もあり8時が早朝時間外などという事はあり得ないと主張。組合側も納得し労使は円満解決して実施日を昭和46年11月24日と決定したのである。

ところが、東コースキャディーはこの解決を不満とし全員組合を脱退し、「京都ゴルフ場東コースキャディー

労働組合（東キャディー労組）」という新組合を結成して総評に加盟への道を歩き始めたのである。

東キャディー労組は組合結成届と共に次のような要求

書を11月21日に会社に提出し、併せて11月22日の団体交渉を求めてきた。

要求書（全文）

当組合は去る11月20日新組合結成総会に於いて労働時間問題について協議した結果、左記の通り全員の総意を得たのでここに要求します。尚本要求に対する会社回答は書面にて11月24日午前10時までに組合に回答お願い致します。

記

1. 労働時間の件について
会社の労働時間を8時間とし始業時刻を午前9時、終業時刻を午後5時とすること
2. 午前8時からの就労については組合として班別構成して協力する。但し午前8時からの出勤者に対しては早出出勤手当を支給すること

以上

会社側は当惑した。3日前の11月18日に協定したばかりの労働時間を反故にするような要求書を受け取ることはできない。11月24日実施を含んだ労務時間協定を簡単に変更するわけにはいかなかったのである。

京都ゴルフ労働組合にとって、11月18日付の労務時間に関する協定は東キャディーも含んだものであり、これを反故にして新組合を結成して要求書を出すということは、労使の信頼関係を根元からくつがえすこととなり、到底認める事はできなかった。

また同盟は組織の一部が分離したことに依り不穏な状況にあり、京都ゴルフ連盟（西コースキャディー）からは、「東コースキャディーのいう団交開催は組合の分裂を招くもの」として強い非難を受けることとなった。

11月22日の団交は開かれなかった。11月24日の新編成の実施は平穏で何のトラブルもなく過ぎたが、翌25日になると新組合は会社にもスト通告書をつきつけ、「8時出勤を拒否して朝1時間の時限ストに入る」と宣言した。これが、延々3年間にわたる労使争議の始まりとなったのである。

12月に入って、安達貞市社長は当面の基本方針を決定した。

その第1は「従業員の出勤は8時である」ということ。

9時始業を認めることはゴルフ業界全体に多大の影響を及ぼすこととなり、且つ又、組合の意志が経営者の経営権を上廻る権力を有することとなる。そんな事は絶対に許されない。

その第2は「同盟系と総評系の2組合が存在することは好ましくない」ということであった。京都ゴルフ場を土俵にして同盟と総評が主導権を争い組織拡大を争うなどということは労働界の問題を抱えこむ事になる。従って会社はあくまで組合の一本化の努力をする。そして一企業、一組合の正常な労使の姿にもどさなければならない。

この、2つの基本方針は昭和49年12月30日の争議解決の日まで、会社の不変の方針として貫かれた。

組合は、総評全国一般の指導のもとに12月に入ってから日曜日毎に全面ストに入った。300人以上にもものぼるオルグの応援を得て、コース内にすわり込みクラブ競技を妨害し、度々競技中止のやむなきに至った。断続的に行われた団交も会社側は8時開場、8時出勤を主張、組合は9時出勤を叫ぶばかりで平行線をたどった。

翌昭和47年に入り、度重なるストライキのため組合内には疲労の色が濃くなり脱退者が相次いだ。

春闘の賃上げ交渉も同盟系組合とは円満に妥結した

が、総評系の東コースキャディー組合はこれを拒否、賃上げ凍結のまま、さらにストライキをエスカレートさせた。

7月に入って、倶楽部の四大競技である京都新聞杯が組合の妨害により中止せざるを得なくなり、会員から、会社はもっと強硬に対処すべしの要請があり、会社は会社の経営権と会員のプレー権確保のためロックアウトを宣言し、ゴルフ場から組合をしめ出すこととなった。76日間におよぶロックアウト中には社会党、共産党の国会議員まで動員して抗議行動を行ったが、組合は脱退者が相次ぎ組合員は25名になっていた。

昭和48年に入って、争議は法廷闘争に重点がおかれるようになった。ありとあらゆる些細なことまで労働委員会や裁判所に持ちこまれ、会社はこれの対応に忙殺された。この年の春闘も同盟系組合とは早々と妥結し賃上げを決定したので、総評系組合の高額の要求に対し会社は一步も譲るわけにはゆかなかった。

総評系組合は、争議発生以来賃上げは凍結のままであり、さりとて同盟系組合の妥結に従うわけにもゆかず遂に同盟系西コース組合に抗議に押しかけ西コース組合を吊るし上げる事態となった。

激怒した同盟本部は、支援労組員150名余を動員して東コースに向けてデモを行った。当日は、理事長杯競技を阻止すべく、総評は200人の支援団体を動員して東コースの入口にピケを張り、コース内にすわり込む戦術をとっていた。

同盟デモ隊はピケを蹴ちらして東コースに突入、遂に旗竿を振りかざして会社そっちのけの同盟と総評の大激突となったのである。

機動隊まで出動し、幸い大事には至らなかった。

会社が、当初から危惧していた総評と同盟の激突が現実のものとなり、会社もキャディーも関係のない別の次元の争いに発展して、その年も暮れた。

前年から、和解についての仲介の動きがあったが、昭和49年になり和解に向けての動きが活発になってきた。

会社の、キャディー制度の廃止と、これに伴うキャディー全員解雇の通告をきっかけに、49年5月仲介者を交えて会社と総評との直接交渉の場が設けられた。

組合員の全員解雇という事は、総評にとって「東キャディー労組」という組織の消滅は完全な敗北を意味することであり、交渉は難行し半年にもおよんだ。争議の長期化と、交渉の難行のため、総評の組合員に対するしめつけも限度に達し、遂に総評も全員解雇に応ずる事となり、昭和49年12月30日、会社は未払賃金と退職金合計、7,250万円を支払う事により3年半におよんだ争議は全面解決した。

妥協出来ない要求をつきつけ、組合員の生活など全くかえりみず、上部組織の面子だけの争議にまきこまれ、職を失ない、友を失なったキャディー達には同情の念を禁じえない。



第 5 部

資料編



観光日本株式会社に所属する倶楽部他

	京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース	京都ゴルフ倶楽部舟山コース	茅ヶ崎ゴルフ倶楽部
開場日	昭和24. 8. 14	昭和37. 1. 2	昭和32. 11. 17
所在地	〒603 京都府京都市北区上賀茂本山	〒603 京都府京都市北区西賀茂舟山町	〒253 神奈川県茅ヶ崎市菱沼海岸 9-38
電話	075-791-2161	075-491-8150	0467-82-4141～2
F A X	075-712-4502	075-493-4680	0467-82-3758
コース規模	18ホールズ、6,100ヤード、パー70	18ホールズ、5,265ヤード、パー67	9ホールズ、3,025ヤード、パー35
総支配人	取締役 石井 治 作	取締役 石井 治 作	村松 秀 夫
支配人		大西 勉	柳 幸 作
副支配人			浅野 幾 雄
グリーンキーパー	川口 末 良	古村 昭 三	男 12名 女 11名
従業員	男 26名 女 19名	男 12名 女 14名	女 33名
キャディー			(委託)
食堂(業務委託)	(委託)	(委託)	(委託)
食堂売店	男 12名 女 6名	男 7名 女 2名	男 4名 女 6名
歴代支配人			
初代	24. 4. 15～26. 3. 31 取締役 武藤 照 道	53. 3. 26～63. 5. 13 久保田 糸 吉	32. 11. 17～45. 6 岸 亨
2	26. 4. 1～42. 5. 31 鎌田 勝 時	63. 5. 14～H3. 5. 5 浜田 剛	45. 7～現在 村松 秀 夫
3	42. 6. 1～53. 5. 31 福島 慎太郎	H3. 7. 1～現在 大西 勉	
4	53. 6. 1～62. 5. 31 尾形 淳		
5	62. 6. 1～現在 取締役 石井 治 作		
記念行事	昭和37. 9. 24 36ホール開場記念 53. 12. 1 30周年記念並びに記念誌発行		昭和62. 11. 12 30周年記念

日観興業株式会社に所属する倶楽部他

	東京都民ゴルフ倶楽部	茨城ゴルフ倶楽部	札幌ゴルフ倶楽部
開場日	昭和34. 2. 4	昭和37. 9. 28	昭和40. 9. 15
所在地	〒123 東京都足立区新田1丁目15番1号	〒300-23 茨城県筑波郡伊奈町小島新田	〒047-01 北海道小樽市朝里川温泉1丁目504番地
電話	03-3919-0111	0297-58-1216	0134-54-5511
F A X	03-3919-0115	0297-58-1961	0134-52-1815
コース規模	18ホールズ、4,910ヤード、パー65	東コース 18ホールズ、7,134ヤード、パー72 西コース 18ホールズ、7,052ヤード、パー72	18ホールズ、6,485ヤード、パー71
総支配人	取締役 渡辺 操	取締役 渡辺 操	島田 敏 夫
支配人	家村 一 敏	渡来 平	石沢 正 光
副支配人	中桐 宏 明	瀬戸島 四 郎	男 41名 女 15名
グリーンキーパー	高村 定 治	滝島 平八郎	女 49名
従業員	男 17名 女 16名	男 38名 女 32名	女 49名
キャディー		女(常)27名 (準)44名 (臨)46名	(直営)
食堂(業務委託)	(委託)	(委託)	(直営)
食堂売店	男 6名 女 6名	男 10名 女 18名	男 4名 女 12名
歴代支配人			
初代	30. 9～32. 7. 31 (富士コース)村松 秀 夫	36. 4. 28～43. 4. 30 取締役 古賀 始	40. 9～54. 3. 31 有坂 隆 祐
2	32. 8. 1～43. 4. 30 (筑波コース)草薙 一 郎	43. 5. 1～54. 3. 31 草薙 一 郎	54. 4. 1～現在 島田 敏 夫
3	43. 5. 1～H4. 1. 15 渡辺 操	54. 4. 1～H4. 5. 31 織田 末 雄	
4	H4. 1. 16～現在 家村 一 敏	H4. 6. 1～現在 渡来 平	
記念行事		昭和47. 9. 11 開場10周年記念 57. 9. 25 開場20周年記念 平成4. 9. 23 開場30周年並びに記念誌発行	昭和50. 7. 12 開場10周年記念 61. 8. 29 開場20周年記念

日野ゴルフ倶楽部	美奈木ゴルフ倶楽部	大阪事務所
昭和48.10.15	平成1.6.1	昭和55.6.20
〒529-16 滋賀県蒲生郡日野町柚1146-1	〒673-07 兵庫県三木市口吉川町大島 字行司谷1187-3	〒530 大阪府大阪市北区梅田1丁目2番2号 大阪駅前第2ビル13F11号
0748-52-2115	0794-88-2525	06-341-5515(代)
0748-53-1427	0794-88-0551	06-341-9223
キングコース 18ホールズ、7,040ヤード、パー72 クインコース 18ホールズ、7,090ヤード、パー72	18ホールズ、7,073ヤード、パー72	
取締役 石井 治 作		取締役所長 安 達 精 太
細 島 昭 八	進 藤 三 男	
	竹 野 敬	
椿 藤 雄	男 32名 女 23名	女 4名
男 51名 女 34名	委託キャル 女 56名	
女 99名	(委託)	
(委託)	男 9名 女 20名	
男 18名 女 23名		
47.5.1~63.5.13 石井 治 作	HI.6.1~現在 進 藤 三 男	
63.5.14~現在 細 島 昭 八		
昭和58.10.12 開場10周年記念	平成1.5.26 開場記念	

額田ゴルフ倶楽部	朝里川温泉スキー場
昭和50.6.29	昭和43.12.21
〒444-34 愛知県額田郡額田町大字南大須 字桃之沢41番地	〒047-01 北海道小樽市朝里川温泉1丁目 504番地
0564-84-2311	0134-54-7451
0564-84-2339	0134-52-1815
東コース 18ホールズ、6,740ヤード、パー72 西コース 18ホールズ、7,060ヤード、パー72	リフト6基、スノーエスカレーター1基、全長3,000m
石 野 仁 平	島 田 敏 夫
鈴木 正 夫	担当部長 畑 中 史 雄
男 50名 女 39名	(札幌ゴルフ場従業員稼働)
女(常)74名 (準)12名	
(直営)	(直営)
男 13名 女 22名	(同じ)
49.6~60.12.31 尾 形 浩	43.12~54.3.31 有 坂 隆 祐
61.1.1~現在 石 野 仁 平	54.4.1~現在 島 田 敏 夫
昭和60.11.5 開場10周年記念	札幌事務所(従業員 男3名 女2名) 〒060 北海道札幌市中央区北1条西3丁目 2番 大和銀行札幌ビル6F 電 話 011-232-5050 F A X 011-232-3419

太宰府ニュータウン株式会社

太宰府ゴルフ倶楽部	
開 場 日	昭和41.10.18
所 在 地	〒818-01 福岡県太宰府市石穴3467-39
電 話	092-922-5231
F A X	092-921-4600
コース規模	18ホールズ、6,824ヤード、パー72
総支配人	
支配人	取締役 押 方 昌 己
副支配人	
グリーンキーパー	窪 田 道 雄
従 業 員	男 29名 女 19名
キャディー	女 49名
食堂(業務委託)	(委託)
食堂売店	男 3名 女 20名
歴代支配人	
初 代	41.10.18~44.7.31 取締役 安河内 久 敏
2	44.8.1~現在 押 方 昌 己
3	
4	
記念行事	昭和46.10.16 開場3周年 51.10.18 開場10周年並びに記念誌発行 56.10.18 開場15周年並びに記念誌発行 61.10.20 開場20周年並びに記念誌発行

安達建設グループ各社歴代役員在任年表

■安達建設株式会社

役員氏名	年度		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	明治 18	昭和 4																						
安達幸三郎																								
安達貞市				取社長					取															
安達慎三								取	代取社長															
安達禮三																		取						
吉田勝彦				取 退任																				
中島仲一				取					代取社長										退任					
川上嘉市				監	取								監 退任											
松浦 銚				監	退任																			
平山金輝					監					取	退任													
岸 亨								取											監					
鳥海房助													監						取 辞任					
大谷 毅																								
片桐誠一																								
鈴木正一																								
重岡頼利																								

■観光日本株式会社

役員氏名	年度		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	明治 18	昭和 4																						
和辻春樹								代取社長	取	退任														
安達貞市								取	代取社長															
村田省蔵								取											退任					
桐村四郎								取												退任				

■ 観光日本株式会社(つづき)

役員氏名	年度																																						
	明治 18	昭和 4	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39															
後藤耕造								取 退任 5/7 4/27																															
平山 孝								監 5/7																													取 5/27		
川上嘉市								監 5/7																													退任 5/27		
武藤照造								取支配人 退任 5/7 5/25																															
浜村保三								取 5/7																															
横田 巖									取 9/26																														
松原延年																																					監 5/27		
井上清一																																					取 5/25		
中尾庫一																																					取 5/25		
岸 亨																																					取 5/25		
小寺卯三																																					取 退任 5/25 5/28		
古賀 始																																					監 5/25		
安達慎三																																							
安達禮三																																					取 5/28		
福島慎太郎																																							
石井治作																																							
大谷 毅																																							
安達精太																																							
尾形 淳																																							
久保田兼吉																																							
片桐誠一																																							
鳥海房助																																							

取締役 監査役 (就任月日は登記上の就任日とします) 平成5年7月1日現在
 代取社長(代表取締役社長) 取副社長(取締役副社長) 取(取締役) 監(監査役)

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64 平成 1	2	3	4	5						
											代取会長		死去																					
											7/28		9/11																					
											取															死去								
											7/28																			5/23				
											取副社長															代取社長								
											7/28																			5/31				
				死去																														
				1/10																														
											退任																							
											5/30																							
																			退任															
																			5/29															
					取		代取社長										代取会長																	
					5/28		7/28										5/31																	
					監		取										死去																	
					5/28		1/25										3/9																	
							監																											
							1/25																											
										取		取副社長										取												
										10/1		5/29										5/31												
										取																								
										10/1																								
										取		死去																						
										10/1		11/27																						
														取																				
														5/29																				
																	取		取副社長															
																	5/30		5/31															
																			取															
																			5/31															
																								取										
																								5/28										

■ 取締役 ■ 監査役 (就任月日は登記上の就任日とします) 平成5年7月1日現在
 代取社長(代表取締役社長) 取副社長(取締役副社長) 取(取締役) 監(監査役)

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64 平成 1	2	3	4	5
代取社長																取会長												
3/15																4/15												
取												取副社長				代取社長												
10/1												4/6				4/15												
取																												
3/15																												
取																												死去
3/15																												2/14
取 退任																												
3/15 6/25																												
取 退任																												
3/15 6/25																												
取 退任																												
3/15 6/25																												
取 退任																												
3/15 6/25																												
監 退任																												
3/15 4/28																												
取										退任																		
10/1										2/28																		
取												死去																
1/21												9/11																
取												死去																
1/21												3/9																
取 監																											退任	
3/15 6/25																											4/9	
														取副社長						取								
														4/6						4/8								
																	取											
																	4/15											
																					取							
																					4/12							
																							取					
																							4/8					
																											監	
																											4/1	

安達建設グループ各社社歴

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
明18.12			安達幸三郎氏が安達幸三郎商店として創業 明治大正年間林野庁各地営林局等の造林に従事	
昭 4	名古屋ゴルフ倶楽部へ芝生納入		安達商会と改称	
5	宝塚ゴルフ倶楽部へ芝生納入 鳴尾ゴルフ倶楽部へ芝生納入 中国大連星ヶ浦ゴルフ倶楽部へ芝生納入			
6	茨木カンツリー倶楽部へ芝生納入 鳴尾ゴルフ倶楽部へ芝生納入 朝日新聞社発注により銀座の柳植樹 韓国釜山ゴルフ倶楽部へ芝生納入 北朝鮮元山ゴルフ倶楽部へ芝生納入 韓国京城ゴルフ倶楽部へ芝生納入 韓国大邱ゴルフ倶楽部へ芝生納入 中国長春ゴルフ倶楽部へ芝生納入			
7	相模カンツリー倶楽部へ芝生納入 赤羽学士会ゴルフ倶楽部へ芝生納入 六郷ゴルフコースへ芝生納入及び一部施工 軽井沢ゴルフ倶楽部へ芝生納入			
8	大阪府営山田ゴルフコースへ芝生納入 川崎ゴルフ倶楽部へ芝生納入 室蘭ゴルフ倶楽部へ芝生納入			
9	旭川ゴルフ倶楽部へ芝生納入 広野ゴルフ倶楽部へ芝生納入 武蔵野カンツリー倶楽部へ芝生納入 中山競馬場へ芝生納入 中国青島ゴルフ倶楽部9ホールズ建設			
10	淀川ゴルフコース9ホールズ建設 山中ゴルフコース18ホールズ建設 信太山ゴルフコース9ホールズ建設			
11	仙台ゴルフ倶楽部へ芝生納入 植田山ゴルフ倶楽部へ芝生納入 萩山ゴルフ倶楽部へ芝生納入 広島ゴルフ倶楽部へ芝生納入 別府ゴルフ倶楽部へ芝生納入 福岡カンツリー倶楽部へ芝生納入 川奈ゴルフコースへ芝生納入 東京競馬場へ芝生納入 函館ゴルフ倶楽部9ホールズ建設 中国撫順ゴルフ倶楽部へ芝生納入 中国奉天国際ゴルフ倶楽部へ芝生納入 中国上海江湾楊樹浦ゴルフ倶楽部へ芝生納入			

日 観 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
		<p>◎銀座の柳植樹 銀座1丁目から8丁目迄の舗道に柳を植樹。柳の大量使用により集めるのに苦労したが、完成により銀座に潤いをあたえ当時流行の歌謡曲“銀座行進曲”の歌詞にも歌われ市民(現在都民)の好感を得た。</p>
		<p>◎六郷ゴルフコースの完成 六郷ゴルフコースの完成をみて、先代安達貞市氏がゴルフコースの建設を生涯の仕事として決心した。</p>

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭12	小金井カントリー倶楽部18ホールズ建設 信太山ゴルフ倶楽部9ホールズ建設 熱海ゴルフ倶楽部9ホールズ建設 阪和興業株分譲地区画及び水路建設 石山カントリー倶楽部へ芝生納入			
13	秩父カントリー倶楽部36ホールズ建設 東京ゴルフ倶楽部へ芝生納入			
14	日本競馬会(馬事公苑)馬場造成 霞ヶ関ゴルフ倶楽部へ芝生納入 日本皮革株式会社へ芝生納入 中国本溪湖ゴルフ倶楽部9ホールズ建設 中国安東ゴルフ倶楽部18ホールズ建設			
16	厚生省総合運動場建設 宮崎競馬場へ芝生納入 小倉競馬場へ芝生納入 阪神競馬場へ芝生納入 新潟競馬場へ芝生納入			
17以降	児玉飛行場へ芝生納入 竜ヶ崎飛行場へ芝生納入 太田飛行場へ芝生納入 姫路飛行場へ芝生納入 小松飛行場へ芝生納入 松尾寺飛行場へ芝生納入 綾部飛行場へ芝生納入 東舞鶴飛行場へ芝生納入 香良州飛行場へ芝生納入 前橋飛行場へ芝生納入 松山飛行場へ芝生納入 米子飛行場へ芝生納入 藤枝飛行場へ芝生納入 金谷飛行場へ芝生納入 郡山飛行場へ芝生納入 茂原飛行場へ芝生納入 霞ヶ浦飛行場へ芝生納入 瀬谷飛行場へ芝生納入 百里ヶ原飛行場へ芝生納入 鹿島飛行場へ芝生納入 藤沢飛行場へ芝生納入 衣笠飛行場へ芝生納入			

日 親 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
		<p>◎小金井カントリー倶楽部 六郷ゴルフコースが完了し、次のゴルフ場建設を小金井に定めた。土地の買収はすべて行い又会員募集もすべてを行った。</p> <p>◎熱海ゴルフ倶楽部 当初熱海ゴルフ倶楽部及び付随の分譲住宅もすべて安達建設の所有経営で発足したが、戦災による書類の焼失により、心ならずも、常磐炭鉱株の手に渡ってしまった。</p>
		<p>大東亜戦争が激しくなり、飛行場建設のため芝の供給が間に合わずゴルフ場の芝をもって各飛行場の滑走路に使用した。</p>

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭17以降	明石飛行場へ芝生納入 岡崎飛行場へ芝生納入 白子飛行場へ芝生納入 神町飛行場へ芝生納入 厚木飛行場へ芝生納入 矢本飛行場へ芝生納入 焼津飛行場へ芝生納入 三沢飛行場へ芝生納入 高茶屋飛行場へ芝生納入			
18 8 10			株式会社安達組(昭和18年8月10日改称) 本社 東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目856番地 取締役社長 安達貞市 取締役 中島伸一 // 吉田勝彦 監査役 川上嘉市 // 松浦 銑 資本金 50万円	
20 2 15			役員異動 取締役社長 安達貞市 取締役 中島伸一 // 川上嘉市 監査役 平山金輝 // 松浦 銑	
	◎以上 創業より昭和20年8月終戦迄			
21 6 1			増資・役員 本社 東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目856番地 取締役社長 安達貞市 取締役 中島伸一 // 川上嘉市 監査役 平山金輝 新資本金 150万円	
9	進駐軍造園、テニスコート施設他14件 22.3竣工	8,366		
9	程ヶ谷ゴルフコース増設 22.2竣工	2,916		
9	座間ゴルフコース9ホールズ新設 22.3竣工	5,082		
11	和合ゴルフコース復旧 22.3竣工	5,274		
22 3	程ヶ谷、仙石、山中、熱海、阿蘇ゴルフコース維持管理 30.2終了	33,457		
5	塩釜、山中ゴルフコース改修 22.8竣工	2,924		
6	東京競馬場障害馬場改修 22.10竣工	1,998		

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
		昭20年 8 月の終戦時、未完の飛行場芝張りが10数ヶ所あった。

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭22 8 1			安達慎三取締役役に就任	
11	横浜(本牧、根岸)、東京(成増)造園及び造成 23.12竣工	13,629		
23 1 27				近畿観光株式会社設立 本社 京都市中京区烏丸通錦小路上ル 代表取締役社長 和辻春樹 取 締 役 村田省蔵 // 平山 孝 // 安達貞市
2 20			株式会社安達組を安達建設株式会社に社名変更 本社 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5丁目856番地 代表取締役社長 安達貞市 取 締 役 川上嘉市 // 中島仲一 // 安達慎三 // 岸 亨 監 査 役 平山金輝	
5	京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース18ホールズ新設 24.8竣工	34,500		
5 7				近畿観光株式会社から観光日本株式会社に商号変更 本社 京都市中京区烏丸通錦小路上ル 代表取締役社長 和辻春樹 取 締 役 安達貞市 // 村田省蔵 // 浜村保三 // 桐村四郎 // 後藤耕造 監 査 役 平山 孝 // 川上嘉市 資本金 3,000万円
7 30				京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース6ホールズにてオープン
24 2 ~ 9	小金井カントリー倶楽部、仙石、高館、広野 ゴルフ倶楽部改修 24.10竣工	7,858		
3 2	観音崎小原台ゴルフ場18ホールズ新設 28.2(9ホールズ)竣工	15,230		観音崎小原台ゴルフ場建設に着手

日 観 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
		<p>※小原台ゴルフ場18ホールズ新設</p> <p>昭和24年3月2日進駐軍海軍司令部の命令により工事に着手した。然し浦賀地区労働組合より集団的建設反対の声が上がリ一時中止。その内朝鮮戦争勃発により又々工事中止。昭和27年9月29日漸く本格的に工事再開、28年2月9日ホールズ完成した。折しも防衛庁が防衛大学建設用地として当ゴルフ場敷地を選定、当社としては極力反対したが諸般の事情を勘案し補償費と代替地を要求した。補償費は4千5百万円で到底我慢出来るものではないが押し切られ、代替地として茅ヶ崎ゴルフ場用地を得た。 (P157「会社経営にとっての2大事件」参照)</p>

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭24 4 27				本社を移転 本社 東京都中央区日本橋通り3丁目8番地 京都支社 京都市北区上賀茂柵野本山町無番地
				役員異動 代表取締役社長 和辻春樹辞任 代表取締役社長に安達貞市就任 他の役員は変更なし
				京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース18ホールズ完成オープン 取締役支配人 武藤照造
	9	横浜PX根岸ゴルフコース経営始まる 45.6終了		
	10 5		本社を移転 本社 東京都渋谷区 千駄ヶ谷5丁目996番地	
	11 30		役員異動 代表取締役社長 中島伸一 // 安達慎三 取 締 役 安達貞市 // 川上嘉市 // 岸 亨 監 査 役 平山金輝	
	25 2 6			増資 新資本金 8,000万円
	2 ~ 7	進駐軍八戸公社住宅造園他4件 25.10竣工	13,430	
	5 26			取締役和辻春樹退任
	6			京都ゴルフ倶楽部上賀茂コースに於いて第14回関西プロゴルフ選手権開催 優勝 石井治作
	8 ~ 10	進駐軍程ヶ谷ゴルフコースハウス改修造園他4件 25.12竣工	14,626	
	12	横須賀基地建物改修並増築、三ツ沢競技場造成及びスタンド新設 27.5竣工	7,513	
	26 3	川崎国際カントリー倶楽部18ホールズ新設 27.4竣工	50,227	
	4			京都ゴルフ倶楽部鎌田勝時支配人就任
	5	軽井沢ゴルフコース維持管理 26.10終了	3,000	

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭27 3	進駐軍NAS海軍航空隊厚木ゴルフコースアウト9ホールズ新設 27.8竣工	5,641		
3	川崎国際カントリー倶楽部追加工事 28.2竣工	29,792		
5	東雲ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 27.11竣工	13,000		
9				京都ゴルフ倶楽部上賀茂に於いて第16回関西プロゴルフ選手権開催 優勝 上田悌造
10 30			役員平山金輝他職員数人 退社する	
11	愛知カントリー倶楽部東山コース一部新設他 1件 28.11竣工	3,050		
28 4 30			鳥海房助 監査役に就任	
11	キャンプ座間ゴルフコース9ホールズ増設 29.8竣工	14,400		
29 1	厚木海軍航空隊厚木ゴルフコースイン9ホールズ増設 29.6竣工	14,472		
2 ~30 3	瀬谷海軍通信隊バスケットボール場造成他2 件 30.3竣工	1,420		
29 7	新川崎ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 30.2竣工	20,200		
30 2 9				
30 2 ~31 2	東京都民ゴルフ倶楽部富士及び筑波コース各 18ホールズ新設 32.2竣工	47,530		
30 5 27				取締役村田省蔵退任 監査役川上嘉市退任
9 9				
11 18				

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
		東雲ゴルフ場工事中、平山金輝他数名が造反を起し、当社は工事終了をまたず撤退し苦窮に陥った
日観興業株式会社設立 本社 東京都中央区日本橋通り3丁目7番地 代表取締役 安達貞市 // 柿沼エイ 取締役 古賀 始 // 中尾庫一 // 大山雅二 // 横田 巖 監査役 藤縄英作 資本金 250万円		
東京都民ゴルフ倶楽部練習場オープン		
東京都民ゴルフ倶楽部富士コース6ホールズオープン 支配人 松村秀夫		

年月日	安 達 建 設 株			親 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭30 11	白浜ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 31.6竣工	24,240		
31 2 11			本社移転及び役員異動 本社 東京都杉並区荻窪3丁目5番地 代表取締役社長 安達慎三 // 中島伸一 取 締 役 安達貞市 // 岸 亨 監 査 役 鳥海房助	
2	広島カントリー倶楽部西条コース9ホールズ 増設 31.8竣工	17,500		
2				
3	淡ノ輪ゴルフ倶楽部コース改造 31.5竣工	1,100		
5				役員異動 代表取締役社長 安達貞市 取 締 役 桐村四郎 // 平山 孝 // 浜村保三 // 横田 巖 // 井上清一 監 査 役 松原延年
9	茅ヶ崎ゴルフ倶楽部9ホールズ新設 33.2竣工	40,489		
32 3	樟葉パブリックゴルフコース新設 33.7竣工	4,396		
3	東京都民ゴルフ倶楽部追加工事 33.2竣工	23,120		
4 25			役員異動 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 安達貞市 // 岸 亨 // 安達禮三 監 査 役 鳥海房助	
4	森林公園ゴルフ場9ホールズ新設 32.8竣工	13,694		
6	奈良国際ゴルフ倶楽部造成 32.12竣工	13,243		
7	松山ゴルフ倶楽部9ホールズ新設(第1期) 33.10竣工	32,240		
8				
9 ~ 10				

日 観 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
東京都民ゴルフ倶楽部富士コース9ホールズ オープン		
東京都民ゴルフ倶楽部草薙一郎支配人就任		
東京都民ゴルフ倶楽部富士コース18ホールズ // 筑波コース9ホールズ オープン		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株	
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴	
昭32.10	東京都民ゴルフ倶楽部追加工事 33.2竣工	7,908			
11	京都ゴルフ倶楽部舟山コース18ホールズ新設 及び第2期工事 36.12竣工	151,332			
11.17					茅ヶ崎ゴルフ倶楽部9ホールズオープン 支配人 岸 亨
33.3	若松ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 34.5竣工	81,400			
3	淀川ゴルフ倶楽部9ホールズ新設 33.6竣工	7,500			
5					
11	岐阜カントリー倶楽部18ホールズ造成 34.5竣工	40,000			
34.1	茨木カントリー倶楽部18ホールズ造成 36.5竣工	82,000			
1	東京都民ゴルフ倶楽部追加工事 34.4竣工	18,191			
4	芦の湖カントリークラブ18ホールズ新設 35.7竣工	49,450			
4.25			鳥海房助取締役就任 岸 亨監査役就任		
5.25					役員異動 代表取締役社長 安達貞市 取 締 役 桐村四郎 // 平山 孝 // 浜村保三 // 横田 巖 // 井上清一 // 中尾庫一 // 岸 亨 // 小寺卯三 監 査 役 松原延年 // 古賀 始
6					京都ゴルフ倶楽部舟山コース9ホールズオープン
9	相生カントリー倶楽部18ホールズ新設 35.4竣工	48,260			
12	茨城ゴルフ倶楽部36ホールズ新設 37.6竣工	150,420			
12	姉ヶ崎カントリー倶楽部18ホールズ新設 35.9竣工	73,000			
35.1	田辺カントリー倶楽部18ホールズ新設 35.7竣工	91,900			

年月日	安 達 建 設 株			親 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭35 5.27				取締役桐村四郎退任
6	小野ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 36.11竣工	100,000		
6	豊川ゴルフクラブ18ホールズ造成 36.6竣工	38,600		
8.10			取締役鳥海房助退任	
36 4	松永カントリークラブ18ホールズ新設 37.9竣工	81,386		
4.29				
12	大阪パブリックゴルフ場9ホールズ新設 37.7竣工	45,660		
37 1 2				京都ゴルフ倶楽部舟山コース18ホールズオープン
2	茨木カントリー倶楽部改修	9,003		
~38 7	長良川カントリー倶楽部改修 他2件 39.2竣工			
37 3	宇治カントリークラブ18ホールズ新設 40.5竣工	433,000		
9.28				
10	樽前カントリークラブ18ホールズ新設 38.6竣工	44,520		
11	玄海ゴルフクラブ18ホールズ新設 38.9竣工	148,000		
11.27				
38 2	松山ゴルフ倶楽部9ホールズ新設(第2期) 39.7竣工	125,000		
2.25				
3	知多カントリー倶楽部18ホールズ新設 39.7竣工	160,000		
5.28				安達禮三取締役に就任
9	鳴門カントリークラブ18ホールズ新設 39.10竣工	77,221		
11	岐阜関カントリークラブ18ホールズ造成 39.10竣工	45,000		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭39 5 30				
6	札幌ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 40.10竣工	150,000		
9	美合ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 40.10竣工	90,000		
40 2	相生カントリー倶楽部4ホールズ新設 40.10竣工	23,926		
3 15				
4 22				京都ゴルフ倶楽部上賀茂コースに於いて第4 回日本プロシニアゴルフ選手権開催 優勝 石井治作
9 15				
10	太宰府ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 41.10竣工	150,187		
41 5 27				取締役井上清一退任
7 14				

日 観 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
株式会社札幌スポーツセンター設立 本社 東京中央区日本橋通り3丁目8番地 代表取締役社長 安達貞市 取 締 役 安達慎三 // 古賀 始 // 有坂隆祐 // 安達精太 監 査 役 岸 亨 資本金 500万円		
	筑紫野観光太宰府ニュータウン株式会社設立 本社 福岡県福岡市中央区那の川2丁目 9-22 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 高木泰助 // 坂田嘉久 // 渡来新平 // 鳥海房助 // 藤森英治 // 奥村好美 // 諸富敬一 監 査 役 喜多三郎 資本金 250万円	
株札幌スポーツセンター札幌ゴルフ倶楽部18 ホールズオープン 取締役支配人 有坂隆祐		
	増資・役員異動 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 安河内久敏 // 高木泰助 // 坂田嘉久 // 尾形 浩 // 安達貞市 // 岸 亨 監 査 役 喜多三郎 新資本金 1,000万円	

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭41 10 18				
10	南九州カントリークラブ伊集院コース18ホールズ新設 42.8 竣工	145,000		
10	伊賀パブリックゴルフコース9ホールズ造成 42.5 竣工	68,000		
42 1	広島カントリー倶楽部西条コースグリーン改造 42.4 竣工	8,000		
3	広島ゴルフ倶楽部鈴ヶ峰コース造成 42.10竣工	41,698		
6				京都ゴルフ倶楽部福島禎太郎支配人就任
11				
43 2	岐阜関カントリークラブ9ホールズ増設造成 43.8 竣工	40,000		
2	奈良カントリークラブ五条コース18ホールズ新設 44.10竣工	220,420		
5	賢島カントリークラブ18ホールズ造形9ホールズ張芝造成 44.5 竣工	35,762		
5				
5				
7	松ヶ峯カントリー倶楽部18ホールズ新設 45.6 竣工	74,500		
12 21				
44 1	姉ヶ崎カントリー倶楽部9ホールズ増設 44.10竣工	120,000		
1 ～ 2	京都ゴルフ倶楽部蟻ヶ池埋設土砂浚渫工事及び米軍基地サッカー場造成 44.3 竣工	7,196		

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
	太宰府ゴルフ倶楽部18ホールズオープン 取締役支配人 安河内久敏	
	増資・役員異動 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 安河内久敏 // 高木泰助 // 坂田嘉久 // 尾形 浩 // 安達貞市 // 岸 亨 監 査 役 渡来新平 新資本金 2,500万円	
茨城ゴルフ倶楽部草薙一郎支配人就任		
東京都民ゴルフ倶楽部渡辺 操支配人就任		
株札樽スポーツセンター朝里ホワイトパレー スキー場オープン		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭44 8	神鍋高原カントリークラブ18ホールズ新設 45.11竣工	165,000		
8				
11 1			住居表示の実施により本 社住所の変更 本社 東京都杉並区荻 窪4丁目10番13号 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 安達貞市 // 安達禮三 監 査 役 岸 亨	
11	小野東洋ゴルフ倶楽部18ホールズ造成 45.10竣工	150,000		
12	鳴門カントリークラブ3ホールズ改造 45.3竣工	31,174		
45 1 10				取締役中尾庫一逝去
1	ジャパンエースゴルフ倶楽部18ホールズ新設 46.11竣工	393,201		
5 28				役員異動 代表取締役社長 安達貞市 取 締 役 安達慎三 // 安達禮三 // 平山 孝 // 浜村保三 // 岸 亨 // 古賀 始 監 査 役 松原延年 // 横田 巖
7				茅ヶ崎ゴルフ倶楽部村松秀夫支配人就任
9	熊本中央カントリークラブ18ホールズ新設 46.7竣工	162,514		
46 3	日野ゴルフ倶楽部36ホールズ新設 48.10竣工	1,455,550		
4	交野カントリー倶楽部18ホールズ新設 47.12竣工	747,000		
10	花屋敷ゴルフ倶楽部吉川コース18ホールズ造 成 47.8竣工	68,520		
11 21				京都ゴルフ倶楽部 *東コースキャディー「午前9時始業」を 要求し、長期労働争議始まる。

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
	太宰府ゴルフ倶楽部押方昌巳支配人就任	
取締役中尾庫一逝去		
役員異動 代表取締役社長 安達貞市 // 柿沼エイ 取 締 役 安達慎三 // 大山雅二 // 古賀 始 // 横田 巖 監 査 役 藤縄英作 // 岸 亨		
		*京都ゴルフ倶楽部「東コースキャディーによる争議」 社史(166)頁参照

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭47 3	額田ゴルフ倶楽部36ホールズ新設 49.12竣工	2,400,000		
12				日野ゴルフ倶楽部キングコース18ホールズオープン 支配人 石井治作
48 1 1				住居表示の実施により本社住所の変更 本社 東京都中央区日本橋通り3丁目4番12号
5 30				監査役横田巖退任
8				
10 15				日野ゴルフ倶楽部キング、クイーン36ホールズオープン
49 1	朝日野カントリー倶楽部18ホールズ新設 52.2竣工	1,412,068		
3	庄原カントリークラブ18ホールズ新設 51.7竣工	742,000		
5 30				福島横太郎取締役就任
6 26				
7 11 ～ 14				
12				京都ゴルフ倶楽部 東コースキャディーによる「労働時間の短縮」に関する労働争議解決
50 4 21				取締役役浜村保三逝去
6 29				
8 1			増資・新資本金 525万円	

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
住居表示の実施により本社住所の変更 本社 東京都中央区日本橋通り3丁目4番 12号		
	増資 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 安河内久敏 // 高木泰助 // 坂田嘉久 // 尾形 浩 // 安達貞市 // 岸 亨 監 査 役 渡来新平 新資本金 3,000万円	
額田ゴルフ倶楽部18ホールズ仮オープン		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第25回関 東オープンゴルフ選手権開催 優勝 青木 功		
額田ゴルフ倶楽部東西36ホールズオープン 支配人 尾形 浩		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭51 7:28				
52 4:21 ~ 24				
4:25				
5:30				
7 7 ~ 10				日野ゴルフ倶楽部キングコースに於いて第43 回関西オープンゴルフ選手権開催 優勝 山本善隆
7 14 ~ 17				
10 1				
53 3				京都ゴルフ倶楽部舟山コース久保田桑吉支配 人就任
53 4:20 ~ 23				
5 10				取締役福島楨太郎退任 石井治作取締役に就任
6				京都ゴルフ倶楽部上賀茂コース尾形 淳支配 人就任

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
代表者変更 代表取締役会長 安達貞市 代表取締役社長 安達慎三 取締役副社長 古賀 始 取 締 役 岸 亨 // 柿沼エイ // 大山雅二 // 横田 巖 監 査 役 藤縄英作 // 松原延年		
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第1回ダ ンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 ベン・アルダ		
	筑紫野観光太宰府ニュータウン株社名変更 新社名 太宰府ニュータウン株式会社 本社住所、役員変更なし	
取締役横田 巖退任		
	太宰府ゴルフ倶楽部に於いて第7回九州オー プンゴルフ選手権開催 優勝 鈴木規夫	
株札樽スポーツセンターを合併 本社 東京都中央区日本橋通り3丁目4番 12号 代表取締役会長 安達貞市 代表取締役社長 安達慎三 取締役副社長 古賀 始 取 締 役 岸 亨 // 安達禮三 // 有坂隆祐 // 安達精太 // 柿沼エイ // 大山雅二 監 査 役 藤縄英作 // 松原延年 新資本金 750万円		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第2回ダ ンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 郭 吉雄		

年月日	安 達 建 設 株			親 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭53 9 10				
11	大洲ゴルフ倶楽部改造工事測量設計 54.1 完成	5,000		
11	芦の湖カントリークラブ改造 54.4 竣工	35,000		
54 4 6				
4 19 ~ 23				
4				
4				
5 29				大谷 毅取締役役に就任
10	東海カントリークラブ改造造成 55.4 竣工	55,000		
11 1 ~ 4				日野ゴルフ倶楽部キングコースに於いて第44 回日本オープンゴルフ選手権開催 優勝 郭 吉雄
12 1				
55 4 24 ~ 27				
6 20				大阪事務所開設 所長 安達精太
7	朝日放送ABCゴルフ倶楽部18ホールズ計画設 計実施設計工事監修 60.9 完成	25,000		
9 11			ゴルフ場の建設及び経営 に関し先駆者である当社 の取締役安達貞市逝去 (享年84才)	ゴルフ場の建設及び経営に関し先駆者である 当社の代表取締役安達貞市逝去(享年84才)
9 12				安達貞市逝去に伴い代表及び役員異動 代表取締役社長 安達慎三 取 締 役 安達禮三 // 岸 亨 // 古賀 始 // 石井治作 // 大谷 毅 監 査 役 松原延年

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
		設計者上田 治氏逝去
	安河内久敏取締役副社長就任 安達禮三取締役副社長就任	
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第3回ダ ンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 石井祐士		
札幌ゴルフ倶楽部島田敏夫支配人就任		
茨城ゴルフ倶楽部織田末雄支配人就任		
安達禮三取締役副社長に就任 大谷 毅取締役役に就任		
朝里ホワイトバレースキー場から朝里川温泉 スキー場に名称変更		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第4回ダ ンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 尾崎将司		
ゴルフ場の建設及び経営に関し先駆者である 当社の代表取締役安達貞市逝去(享年84才)	ゴルフ場の建設及び経営に関し先駆者である 当社の取締役安達貞市逝去(享年84才)	
安達貞市逝去に伴い役員異動 代表取締役社長 安達慎三 取締役副社長 古賀 始 取締役副社長 安達禮三 取 締 役 岸 亨 // 有坂隆祐 // 安達精太 // 大谷 毅 // 大山雅二 // 柿沼エイ 監 査 役 松原延年 // 藤縄英作		

日 観 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
東京中野の宝仙寺にて故安達貞市社葬		
	太宰府ゴルフ倶楽部に於いて第10回九州オープンゴルフ選手権開催 優勝 秋富由利夫	
	代表役員異動 取締役会長 安達慎三 代表取締役社長 安河内久敏 取締役副社長 安達禮三 取締役 高木泰助 // 坂田嘉久 // 古賀 始 // 岸 亨 監査役 渡来新平	
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第5回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 島田幸作		
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第46回日本オープン第一次予選競技開催		
		設計者井上誠一氏逝去
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第6回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 中島常幸		
渡辺 操取締役役に就任		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第7回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 ラリー・ネルソン		
茨城ゴルフ倶楽部に於いて第34回関東アマゴルフ選手権開催 優勝 坂田哲男		
小西祥司取締役役に就任		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭58: 5	札幌ゴルフ倶楽部改造 58.10竣工	99,300		
6	三重白山ゴルフ倶楽部伐採抜根測量 59.11完成	120,000		
10	朝日放送ABCゴルフ倶楽部18ホールズ造成 61.4 竣工	776,000		
59: 4.19 ~ 22				
5	札幌ゴルフ倶楽部改造 59.9 竣工	101,600		
6				
8.30 9.2				日野ゴルフ倶楽部キングコースにて第50回関西オープンゴルフ選手権開催 優勝 中村 通
12	三重白山ゴルフ倶楽部18ホールズ造成 61.10竣工	837,000		
60: 3.9			監査役岸 亨逝去	取締役岸 亨逝去
4.12				
4.25 ~ 28				
4	徳島フォレストゴルフ倶楽部18ホールズ計画 設計 60.6 完成	20,000		
5.14 ~ 15				日野ゴルフ倶楽部クイーンコースに於いて第34回関西女子ゴルフ選手権開催 優勝 文平友恵
5	札幌ゴルフ倶楽部改造 60.9 竣工	80,000		
10	関西ゴルフ倶楽部18ホールズ計画設計 平1.4 完成	30,000		
10	ザ・クラシックゴルフ倶楽部27ホールズ計画 設計実施設計工事監修 平2.8 完成	75,000		
61: 1				
3	芦の湖カントリークラブ改造 61.5 竣工	12,800		
4.24 ~ 27				
7	徳島フォレストゴルフ倶楽部18ホールズ実施 設計工事監修 63.6 竣工	20,000		
7	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部27ホールズ計画 設計実施設計工事監修 平2.10完成	90,000		
8.18				本社、警眼社ビル改築のため移転する 東京都中央区京橋1-1-1 八重洲大阪ビルディングB階B4号室

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第8回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 J・ジェイコブス		
増資・新資本金 2,250万円		
取締役岸 亨逝去	取締役岸 亨逝去	
	押方昌己取締役役に就任	
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第9回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 陳 志忠		
額田ゴルフ倶楽部石野仁平支配人就任		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第10回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 重信秀人		
本社、警眼社ビル改築のため移転する 東京都中央区京橋1-1-1 八重洲大阪ビルディングB階B4号室		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭61 10	美奈木ゴルフ倶楽部18ホールズ新設 平1.4竣工	4,235,000		
10	芦の湖カントリークラブ改造 61.12竣工	15,500		
11 27				
62 1	市野ミニゴルフコース造形 62.6竣工	30,000		
3	芦の湖カントリークラブ改造 62.5竣工	14,200		
4 1				
4 8				
4 23 ~ 26				
4	こんびらレイクサイドゴルフ倶楽部増設9ホールズ設計工事監修 平3.5完成	30,000		
6 3			増資・役員異動 代表取締役社長 安達慎三 取締役 安達禮三 // 鳥海房助 // 大谷 毅 監査役 片桐誠一 新資本金 1,050万円	
6				京都、日野ゴルフ倶楽部石井治作取締役総支配人兼任
7	VIPジャパングolf倶楽部18ホールズ計画設計 62.9完成	20,000		
63 2	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部18ホールズ新設 平1.10竣工	1,632,700		
3	朝日野カントリー倶楽部練習場造成 63.8竣工	53,500		
3	キングスロードゴルフ倶楽部18ホールズ計画 設計実施設計工事監修 平3.7完成	50,000		
3	芦の湖カントリークラブ改修 63.5竣工	7,800		
4 21 ~ 24				
5 14				京都支社を関西支社に名称変更 尾形 淳取締役支社長に兼任
5	京ヶ野ゴルフ倶楽部36ホールズ計画設計 実施設計工事監修	120,000		
5				日野ゴルフ倶楽部細島昭八支配人兼任
5				京都ゴルフ倶楽部舟山コース浜田 剛支配人 兼任

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
取締役有坂隆祐逝去		
札幌事務所開設 所長 畑中史雄		
	小西祥司取締役就任	
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第11回ダンロップ国際オープンゴルフ選手権開催 優勝 青木 功		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第12回ダンロップオープンゴルフ選手権開催 優勝 尾崎将司		

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
昭63 6 1				本社、警眼ビル改築完成により再入居する 東京都中央区日本橋3-4-13 警眼ビル3階
7 14 ～ 17				
10	ザ・クラシックゴルフ倶楽部27ホールズ造成 平2.8竣工	1,150,000		
12	ベルフラワー CC18ホールズ計画設計実施設 計工事監修 平5.7完成	70,000		
64 1 7				
平成1 2 24				
3	シーダーヒルズ CC18ホールズ計画設計実施 設計工事監修 5.5完成	60,000		
3	広陵ゴルフ倶楽部18ホールズ計画設計 2.2完成	20,000		
4 20 ～ 23				
4	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部9ホールズ造形 仕上他 2.9竣工	978,800		
4	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部27ホールズ別途 工事 2.11竣工	706,700		
4 26			代表役員他の変更 代表取締役社長 安達禮三 取 締 役 安達慎三 // 鳥海房助 // 大谷 毅 監 査 役 片桐誠一	
5 24 ～ 29				美奈木ゴルフ倶楽部開場式
5 31				役員異動 代表取締役会長 安達慎三 代表取締役社長 安達禮三 取 締 役 古賀 始 // 石井治作 // 大谷 毅 // 安達精太 // 尾形 淳 // 久保田条吉 // 片桐誠一 監 査 役 松原延年

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
本社、警眼ビル改築完成により再入居する 東京都中央区日本橋3-4-13 警眼ビル3階		
	太宰府ゴルフ倶楽部に於いて第18回日本女子 オープンゴルフ選手権開催 優勝 谷 福美	
		昭和天皇崩御
		昭和天皇大喪の礼
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第13回ダ ンロップオープンゴルフ選手権開催 優勝 テリー・ゲール		
増資・役員異動 代表取締役会長 安達慎三 代表取締役社長 古賀 始 取締役副社長 小西祥司 取 締 役 安達禮三 // 安達精太 // 渡辺 操 // 大谷 毅 // 久保田彗吉 // 大山雅二 // 柿沼エイ 監 査 役 松原延年 新資本金 4,500万円	役員異動 取 締 役 会 長 安達慎三 代表取締役社長 安河内久敏 取 締 役 安達禮三 // 高木泰助 // 坂田嘉久 // 古賀 始 // 押方昌己 // 小西祥司 監 査 役 田中良一	

年月日	安 達 建 設 株 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
平 1 6 1			鈴木正一取締役役に就任	美奈木ゴルフ倶楽部18ホールズオープン 支配人 進藤三男
6 13 ~ 15				
8	タイガースゴルフクラブ18ホールズ計画設計 実施設計工事監修	60,000		
2 1	キングスロードゴルフ倶楽部18ホールズ造成 3.7 竣工	752,000		
4 19 ~ 22				
5 23				
6 5 ~ 7				
6 9			増資・役員 代表取締役社長 安達禮三 取 締 役 安達慎三 // 鳥海房助 // 大谷 毅 // 鈴木正一 監 査 役 片桐誠一 新資本金 1,575万円	
6	網走ゴルフ倶楽部18ホールズ計画設計 3.2 完成	10,000		
8 30 ~ 9 2				
11	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部9ホールズ計画 設計実施設計工事監修 5.7 完成	30,000		
3 1	城陽カントリー倶楽部西コース改造 3.4 竣工	65,800		
1 11				取締役尾形 淳取締役副社長に就任
2 2			京都営業所開設重岡頼利 所長に就任	
2	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部クアハウス廻り 植栽 3.6 竣工	112,600		

日 観 興 業 株	太宰府ニュータウン株	備 考
社 歴	社 歴	
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第43回関東アマチュアゴルフ選手権開催 優勝 丸山茂樹		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第14回ダンロップオープンゴルフ選手権開催 優勝 フランキー・ミノザ		
取締役柿沼エイ逝去		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第11回日本女子アマチュアゴルフ選手権開催 優勝 元 載淑		
	太宰府ゴルフ倶楽部に於いて第20回九州オープンゴルフ選手権開催 優勝 友利勝良	

年月日	安 達 建 設 株			観 光 日 本 株
	工 事 名	請負金額 (単位千円)	社 歴	社 歴
平 3 4	サンセットヒルズCC18ホールズ計画設計実施設計工事監修 5.7完成	80,000		
4.25 ~ 28				
6	ベルフラワーCC18ホールズ造形仕上張芝 5.6竣工	847,600		
6	柳井北CC18ホールズ計画設計実施設計工事 監修	60,000		
7	シーダーヒルズCC18ホールズ造形仕上張芝 4.6竣工	880,750		
7				京都ゴルフ倶楽部舟山コース大西 勉支配人 就任
9 5 ~ 8				
4 1				
1				
1	白山ヴィレッジゴルフ倶楽部ロイヤルコース 9ホールズ追加新設 5.5竣工	1,347,600		
4	ひかみカントリークラブ改修 4.9竣工	60,183		
4.23			重岡頼利取締役役に就任	
4 4.23 ~ 26				
5	シーダーヒルズCC18ホールズ維持管理 5.9終了	161,700		
5.31				
6 9 ~ 12				美奈木ゴルフ倶楽部に於いて平成4年度関西 アマチュアゴルフ選手権開催 優勝 中川隆弘
6 1				
7	東城カントリー倶楽部計画設計実施設計工事 監修	100,000		
9 3 ~ 6				
9.23				
5 2.14				
7 1			重岡頼利取締役副社長に就任	

日 観 興 業 株	太 宰 府 ニ ュ ー タ ウ ン 株	備 考
社 歴	社 歴	
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第15回ダ ンロップオープンゴルフ選手権開催 優勝 ロジャー・マッケイ		
額田ゴルフ倶楽部西コースに於いて第21回中 部オープンゴルフ選手権開催 優勝 中村輝夫		
東京都民、茨城ゴルフ倶楽部渡辺 操取締役 総支配人就任		
東京都民ゴルフ倶楽部家村一敏支配人就任		
茨城ゴルフ倶楽部西コースに於いて第16回ダ ンロップオープンゴルフ選手権開催 優勝 尾崎将司		
織田末雄取締役役に就任		
茨城ゴルフ倶楽部 渡来 平 支配人就任		
茨城ゴルフ倶楽部東コースに於いて第43回関 東オープンゴルフ選手権開催 優勝 白石達哉		
茨城ゴルフ倶楽部創立30周年記念	取締役坂田嘉久逝去	

あとがき

かねてより、安達建設株式会社の経歴書をひもとく度に感じていた事は、そこに我が国の著名ゴルフ場の多くが名を連ねている事だった。かつてあるゴルフ雑誌に「小金井カントリー倶楽部」という読み物が連載されたことがあった。これを読んだ多くの人々は、われわれの創業者安達貞市翁の果たした業績に興味を引かれたことと思う。そしてこの記事は安達建設グループの社員にとっては、一つの誇りとして読まれたに違いないと思う。

しかし、昭和50年頃以降に入社した社員にとっては、日常の業務に追われることが多く、仲々先人の業績にまで思いが届かない様であった。これがこのたび社史を作りたいと思った発端で、平成2年3月2日、札幌での役員会の席上でこのことを提案したところ、即座に編集委員長に任命され、限りなく当惑した。

さて、仕事にとりかかると当たって唯一の資料は安達建設株式会社の工事経歴書のみで、どう取り組んで行けば良いかと思案に暮れていたところ、貞市翁が密かに書かれた回顧録が京都にあると聞き、これを関西支社より取り寄せ、漸く全体の構想がまとまった。

工事に関する部分については、それまでの経緯とかその後の経過などの記事を安達慎三会長に依頼し、その補足訂正には鈴木正一取締役が当たった。工事の概要については尾形浩氏、図面その他に就いては横山良氏に依頼したが、いずれも日常業務と兼務であったため十分に意をつくせなかったうらみはある。

また、手書きの原稿をワープロ化した下田貴代美嬢、数字の正誤を仔細に行った有坂昭一氏の努力も多としたい。

また、この社史の体裁は(株)ブレインプール社長の小檜山範男氏の示唆に依る処が大きく、一般にいう社史とは些か趣きを異にしたものとなった。

尚、各ゴルフ場ホールのヤーデージはゴルフダイジェスト社刊『全国ゴルフ場ガイド』より引用し、世相に関する歴史的な写真は、毎日新聞社情報サービスセンターから借用しました。また、関係各社の社名についてはいずれも敬称を省略させていただきました。

今回の社史編纂に当たっては戦前と戦後に分ける方針であったが、その後いろいろな史料が発見されたので、資料編を含めて5部構成ということになった。平成5年7月より、活字となった原稿の検討会を数回開いて漸く本書を上梓する運びとなった。

この間、関係各位の絶大なご協力を戴いたことに対し、厚く御礼申し上げます。

平成6年12月
安達建設グループ社史編集委員会委員長
大谷 毅

社史 **安達建設グループ110年の歩み**

発行

安達建設グループ社史編集委員会
(編集委員長 大谷 毅)
東京都中央区日本橋3丁目4番13号
観光日本株式会社内
Tel. (03)3271-5511



企画・編集

株式会社ブレインプール
東京都中野区中央3丁目32番2号
Tel. (03)3383-2791



印刷・製本

株式会社石田大成社
東京都千代田区外神田2丁目18番2号
Tel. (03)3255-8916



写真提供

毎日新聞社